

日本語への自動翻訳。

オリジナルバージョン:

http://pos.eicos.psicologia.ufrj.br/wp-content/uploads/2020_Tese_Doutorado_Leonardo_Viana.pdf



UNIVERSIDADE FEDERAL
DO RIO DE JANEIRO

哲学・人間科学センター

心理学研究所

レオナルド・G・ヴィアナ

アドバイザー

ミルトン・N・フィールズ

アゴラ:遠隔教育に対する偏見の文脈における社会的表現の新しい見方。

リオデジャネイロ

2020

レオナルド・ゴンサルベス・ヴィアナ

アゴラ:遠隔教育に対する偏見の文脈における社会的表現の新しい見方。

博士課程の学位取得に必要な要件の一環として、リオデジャネイロ連邦大学心理学研究所のコミュニティと社会生態学の心理学の大学院プログラムに提出された博士課程の学位取得 - EICOS - UFRJ、アウトノマ・デ・バルセロナ大学で海外でサンドイッチ博士号を取得しました。

オリエンテーション:ミルトン・ヌネス・カンポス教授。

リオデジャネイロ

2020

CIP - 出版物におけるカタログ化

Gv61 ゴンサルヴェス・ヴィアナ(レオナルド)
4?

アゴラ:遠隔教育/レオナルド・ゴンサルベス・ヴィアナに対する偏見の文脈での社会的表現の新しい外観。-- リオデジャネイロ、2020年。
302 f.

アドバイザー:ミルトン・ヌネス・カンポス。
テシス(博士)-

リオデジャネイロ連邦大学、心理学研究所、地域心理社会学と社会生態学の大学院プログラム、2020年。

1. 社会的表現2. 偏見。3. 遠隔教育4. EAD.5.
アゴラ。I.ヌネス・カンポス、ミルトン、オリエント。II. タイトル。

FOLHA DE APROVAÇÃO

TÍTULO: ÁGORA: UM NOVO OLHAR SOBRE REPRESENTAÇÕES
SOCIAIS NO CONTEXTO DE PRECONCEITOS CONTRA A EDUCAÇÃO
À DISTÂNCIA.

Leonardo Gonçalves Viana -

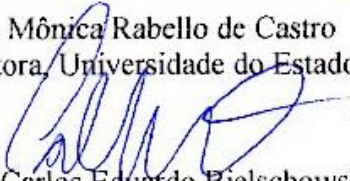
Tese submetida ao Corpo Docente do Instituto de Psicologia da
Universidade Federal do Rio de Janeiro - UFRJ, como parte dos requisitos
necessários à obtenção do grau de Doutor.

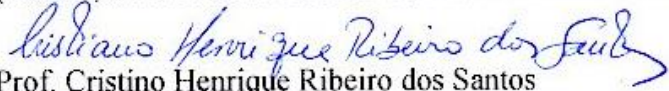
Aprovada por:


Prof. Milton N. Campos – Orientador
(Doutor, Universidade Federal do Rio de Janeiro - UFRJ)


Prof. Ibis M. Alvarez Valdivia
(Doutora, Universidad Autónoma de Barcelona - UAB)

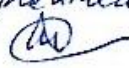

Prof. Mônica Rabello de Castro
(Doutora, Universidade do Estado do Rio de Janeiro- UERJ)


Prof. Carlos Eduardo Bielschowsky
(Doutor, Universidade Federal do Rio de Janeiro - UFRJ)


Prof. Cristino Henrique Ribeiro dos Santos
(Doutor, Universidade Federal do Rio de Janeiro - UFRJ)

Rio de Janeiro

2020

Título alterado a pedido da banca: "Agora, um novo
olhar sobre representações sociais no contexto de preconceitos
contra a educação à distância". Março 2020 

感謝

あなたの勇気、グリット、励まし、特にあなたの愛情がなければ、これは不可能です。私はこのテシスを母の彼女に捧げます。すべてを変革する意欲と、彼女は常に周囲の人々の鏡でした。あなたがいるすべてに感謝します。そして、私が今の私になるのを助けるために。

世界は大きく、彼女はそれを知っています。それは女性がシンプルな照らされた笑顔で持つことができるすべての強さと知性を示しています。私たちはこの博士課程と一緒に到着し、成長し、苦労し続けました。私は私の愛する花嫁ファビアンプロバに感謝します。あなたの側でますます、私はあなたの光と強さに感謝します。

世界が提供できるすべての可能性と確率の中で、私は私の家族をもたらした運命と幸運の恵みに落ちました。運命によって団結し、愛に縛られて、皆さんに感謝します!!!ベト、ヴァニルダ、フレッド、ニニブ、ロベルタ、クルティーニョ、サミュエル(カカ)、ペデリーニョ、パウリーニョ(私の神)、ラケル、イザ、カートと私の両親。

私のマスターミルトンN.カンポスには、常にメンター以上の存在でした。あなたの能力と知性は、私が人間として、そしてプロとしてより良くなるように私を鼓舞します。彼は職業を追求していない人の一人であり、はい、素晴らしい職業を生きています。この仕事と私の博士号を導いてくれてありがとう。彼の知性は、真の賢者だけが持つことができるファセットを示しています:人類。どうもありがとうございました。

ア・ラ・イビス・ヴァルヴィディア・ケ・ミー・アコギオ・エン・ラ・ユニヴェルシダード・アウトノマ・デ・バルセロナ・イ・フエ・ウナ・グラン・マエストラ・エン・ミ・デサロロ全体にムシャス・イ・ムシャス・グラシアス。!フエ・ウナ・パサダ○[エスパニョール]

グラシアス・カトルーニャ、グラシアス・バルセロナ、グラシアス・エスパ
ーニャ。トゥ・コール・イ・トゥ・ポブラシオン・ソン・ウナ・インスピラシオン
私は隅にいます。[エスパニョール]

グラシーズ・ア・ラ・ユニバーシタット・オートノマ・デ・バルセロナ
アポストタ・ペル・コナイセメント・イ・ラ・イノバシオ [カタラ - カタラン]

いつも私の中に居る友達に、ときどき遠く離れていても、この作品だけでな
く、日々の中で誰もがここに書かれていることを知っています。

フレッド・ヴィアナ、私の兄は、コンピュータサイエンスのための彼の才能
とこの作品を構築するための彼の知性で、この研究の開発における彼の素晴らしい
助けのために。ご友情とご友情をありがとうございました。

私はチェシエリ財団の友人、特に、この研究に直接役立った人たちに感謝し
ます:カルロス・エドゥアルド・ビエルセコウスキー教授、私の感謝の気持ち。ファ
ビオ・ラペッロ、対話や本のために、学術的な旅の間に常に貴重です。ヴィットリ
オ・ロビアンコ、常に歓迎コラボレーションのため。エステバン・モレノ教授は、
常に知恵を使って創造し、研究してきました。そして、体に私たちを残した素晴ら
しい先生、
親愛なるネチペレイラヌネス.この機関のコミュニケーションの私の友人に、
カルメムプエンテとリディアアゼベド、
あなたのサポートをどうもありがとうございました。

UFRJのクリスティーナ・ハーグナウアー教授に、EICOSプログラムの素晴らしいレ
セプションのために。Inter@ctivaの研究グループの私の友人に:アルミール・フェル
ナンデス、ロザンゲラ・デ・カルヴァーリョ、アリーン・サティヤンと特別なナタ
リア・ロンフィーニ以上、常にみんなと手ごわい。

事務局のリカルド・フェルナンデスとEICOSとUFRJのすべての教授に感謝します。

私はこの作品に多くのインスピレーションを与えてくれた様々な科学の巨人に感謝することは失敗しませんでした:深く、革命的な想像力で -
アルバート・アインシュタイン。知識と科学的普及の愛を持つ -
ファラデーとカール・サガン;そして洗練された観察で -
ダーウィン。より素晴らしい貢献:ホーキングから私たちの樹皮。ガリレオの多少の間に見る。ニュートン、マクスウェル、テスラ、ファインマンの知性。革新的なマリーキュリーと知識に彼らの人生を捧げてきたすべての科学者と教師。ありがとうございました！

この作業は、高等教育人材の向上のための調整の支援を受けて行われました -
ブラジル (CAPES) - ファイナンスコード001

「常識は世界で最も分配されるものです:誰もが自分がそれで非常に十分に提供されていると思うので、他の何かを満たすことが最も難しい人でさえ、通常、彼らが持っているよりも多くの常識を望んでいない。したがって、誰もが間違っているのはベズミリミルではありません。しかし、それどころか、これは、真実を判断し、偽と区別する力(まさに私たちが常識や理性と呼ぶもの)が、すべての人において本質的に平等であることを示しています。したがって、私たちの意見の多様性は、他のものよりも合理的であることから生じるものではなく、私たちがさまざまな方法で考えを行うだけである」

ルネ・デカルト

概要

この研究は、イデオロギーがエゴの世界のイメージによって導かれた人口のグループ化の中心を占める差別化された外観を通じて、距離教育(DISTANCE)への偏見に焦点を当てた社会的表現を研究することを目的としています。この観点から形成されたコングロマリットに、私たちはアゴラスと呼びます。このパノラマは、遠隔学習機関の入試に応募したい42,000人以上の人々との研究を通じて実証的にテストされました。データ抽出の方法として、ブリックの単語リコール技術(1994年)に基づくアンケートが使用され、研究者は自らの表現を得るために自らの表現を得て、他の表現を修正するために、自らの表現を修飾する5つの単語に言及するよう招待されました。結果の分析のために、カンポスの感覚の生態学の理論(2017)は、自然と社会環境での相互作用による被験者の世界画像の構成を理解するために採用されました。そして、マルコヴァの対話性理論(2003)、エゴ-alter-object(EAD)の反映で。研究は、リオデジャネイロ州の遠隔高等教育センターで行われました

CEDERJ.その結果、教える距離のモダリティに対する偏見は、主に、好奇心旺盛に、エゴではなく変化で検証された表現の否定性の出現によって構成されていたこと

が強調された。アゴラのアプローチとその様々な構成は、THEへの偏見の理解を広げる可能性を導入しました。

キーワード: 社会表現, 偏見, 遠隔学習, 遠隔学習, アゴラ

抽象

研究の目的は、自生と分身の世界のイメージに導かれて、イデオロギーが人口グループ化の中心的位置を前提としている異なる視点に基づいて、遠く離れた教育に関する偏見に焦点を当てた社会的表現の研究であった。この観点から形成された集まりは、私たちが「アゴラス」(ギリシャ語の「アゴラ」から「アセンブリ」)と呼んでいます。このシナリオは、遠隔学習機関の入試のための42,000人以上の候補者が関与する調査によって経験的にテストされました。データ抽出の方法論に関しては、Abricの単語喚起技術(1994年)に基づくアンケートが使用され、回答者は自らの表現と変化を得るために、自らの表現と変化を修飾する5つの単語について言及するよう求められた。結果の分析のために、カンボスの感覚生態学の理論(2017)は、自然環境と社会環境における相互作用による被験者の世界画像の構成を理解するために採用された。そしてマルコヴァの対話性理論(2003)、エゴの反映で - 変更 - オブジェクト相互作用(EAD)。研究は、リオデジャネイロ州高等教育センター(CEDE RJ)で行われました。その結果、距離教育モデルに対する偏見は、主に、興味深いことに、エゴではなく分化で検証された表現の否定性の出現によって構成されていたことが示された。アゴラアプローチとその様々な構成は、遠隔学習に対する偏見の理解を広げる可能性を導入しました。

キーワード:社会表現、偏見、遠隔学習、遠隔教育、eラーニング、アゴラ

ロス・レジサドスを分析するために、セ・メニド・ラ・テオリア・デ・ラ・エコロ
ジー・デ・ロス・センティドス・デ・カンポス(2017)、コン・エル・フィン・デ・
コンプレnder・ラス・コンフィデンサシオネス・デ・ラス・イマゲネス・デル・
ムンド・デ・ロス・スジェトス・ア・トラベス・デ・ラ・インターアッシオン・ア
ン・ウン・エントルノ・ナチュラル・イ・ソーシャル;イ・ラ・テオリア・デ・ラ・
ダイアログシダード・デ・マルコヴァ(2003)、エン・ロス・レフレホス・デ・ラ・
インターナシオン・エゴ - オルター -

オブジェクト(EAD)。エル・エスタジオ・セ・レアリゾ・エン・エル・セントロ・
デ・エドゥカシオン・スーペリア・ア・ディスタンシア・エン・エル・エスタド・
デ・リオ・デ・ジャネイロ -

CEDERJ.その結果、セ・デスタコ・ケ・エル・プレジュイシオ・コントラ・ラ・エン
セニャンザ・ア・ディストリビューション・コンスティトイド・プリンシパルメ
ンテ・ポル・ラ・アパリシオン・デ・ネガティビダデス・エン・ラス・アルシアシ
オネス・クエ、好奇心、セ・ベリフィカロン・アン・エル・オルター・イ・ノ・エル
・エゴ。エル・エンフォケ・アゴラ・イ・ス・ダイバーサス・コンフィギュラシ
オン・イントロドゥジェロン・ラ・ポジビリダード・デ・アンプリアー・ラ・コン
プレnsion・デ・ロス・プレジュイシオス・コントラ・エル・アプレنديサへ
・ア・ディファンシアロス・レジサドスを分析するために、セ・メニド・ラ・テオ
リア・デ・ラ・エコロジー・デ・ロス・センティドス・デ・カンポス(2017)、コン
・エル・フィン・デ・コンプレnder・ラス・コンフィデンサシオネス・デ・ラス
・イマゲネス・デル・ムンド・デ・ロス・スジェトス・ア・トラベス・デ・ラ・イ
ンターアッシオン・アン・ウン・エントルノ・ナチュラル・イ・ソーシャル;イ・ラ
・テオリア・デ・ラ・ダイアログシダード・デ・マルコヴァ(2003)、エン・ロス・
レフレホス・デ・ラ・インターナシオン・エゴ - オルター -

オブジェクト(EAD)。エル・エスタジオ・セ・レアリゾ・エン・エル・セントロ・
デ・エドゥカシオン・スーペリア・ア・ディスタンシア・エン・エル・エスタド・
デ・リオ・デ・ジャネイロ -

CEDERJ.その結果、セ・デスタコ・ケ・エル・プレジュイシオ・コントラ・ラ・エン
セニャンザ・ア・ディストリビューション・コンスティトイド・プリンシパルメ
ンテ・ポル・ラ・アパリシオン・デ・ネガティビダデス・エン・ラス・アルシアシ
オネス・クエ、好奇心、セ・ベリフィカロン・アン・エル・オルター・イ・ノ・エル
・エゴ。エル・エンフォケ・アゴラ・イ・ス・ダイバーサス・コンフィギュラシ
オン・イントロドゥジェロン・ラ・ポジビリダード・デ・アンプリアー・ラ・コン
プレnsion・デ・ロス・プレジュイシオス・コントラ・エル・アプレنديサへ
・ア・ディファンシア

パラブラのクレーブ:表現者の社交、プレジュイシオス、アプレنديザへ・ア・デ
イサンシア、EAD、アゴラ

数字一覧

図1 - 対面コースおよび距離コースの年齢グループ	25
図 2 - EAD.....	26
図3 - スペインと比較したブラジルの寸法	30
図4 - セデレイ・コンソーシアム・ポール	34
図 5 - EGO、ALTER、およびオブジェクト (EAO).....	65
図6 - 常識的なトブレロンモデル	66
図7 - 文化要素を持つモデル	66
図8 - 社会表現研究における主な研究軸	68
図9- 中央コアおよび周辺システムの特性	70
図 10- センシの生態 (CAMPOS, 2017).....	73
図 11 - アテネ アゴラ.....	79
図 12 - EGO	86
図 13 - EGO が ALTER	87
図14- 自動車の観測	88
図15 - 研究者によって定められた基準によって構成される集団の区切り。	95
図16 - Baran.....	96
図17 - ハブ94の形で.....	97
図18 - アゴラスの形成	97
図19 - 異なるグループを持つアゴラの形成	98
図20 - グループの投影	98
図21 - エゴとオルター	99
図22 - アゴラアフィニティプラン	100
図23 - 陰性アゴラ感の生態	184
図24 - 理論的枠組み: 感覚の生態学における文献レビューのアゴラ	235
図 25 - エゴ	246
図 26 - エゴ	246
図27 - エゴ	247
図28 - エゴにおけるアゴラの難しさと、オルター	248

図 29 – エゴにおけるアゴラの場合と、alter.....	248
---------------------------------	-----

フレーム一覧

表1- 遠隔教育の世代	26
表 2- EAD 分類.....	27
表3 - マタルの態度 (1997).....	38
表4 - THE.....	43
表5 - 対面教育の肯定的および否定的な側面	44
表6 - AEdとセントラルコアとの研究との比較 - THEと接触しない人々。	50
表7- AEdと中央核との研究の比較 - 距離モダリティに出席する人々.....	51
表 8 - 分析解釈プロセスの段階.....	103
表9 - 数量	107
表 10 - EGO および ALTER	110
表 11 - ALTER および EGO	111
表 12 - ALTER および EGO	112
表 13 - ALTER	114
表 14- 感覚の生態の機能における ALTER の表現	115
表15 - 感知の生態の機能におけるEGOの表現.....	115
表 16 - 感覚の陰性表現と生態	119
表 17 - エゴと ALTER の喚起 - アゴラ - アゴラ メド	120
表 18 - 年齢バリエーション - アゴラ・メド	120
表 19 -セックス -アゴラ恐怖.....	121
表 20- EAD の経験 - アゴラ メド.....	121
表 21 - 市町村地理分布- アゴラ・メド	122
表 22 - 地域の地理的分布 - アゴラ・メド	124
表 23 - 経済参加 - アゴラ・メド	124
表 24 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラ - アゴラ偏見	125
表 25 - 年齢変動 - アゴラ偏見	126
表 26 - セックス - アゴラ偏見	126
表 27- EAD の経験 - アゴラ・プレコンシト	127
表 28 -市の地理的分布- アゴラ・プレコンシト	127

表 29 - 地域の地理的分布 - アゴラ・プレコンシト	128
表 30 - 経済参加 - アゴラ・プレコンシト	130
表 31 - EGO と ALTER の喚起 - 弱いアゴラアゴラ	130
表 32 - 年齢変動 - 弱いアゴラ	131
表 33 - セックス - 弱いアゴラ	132
表 34 - EAD の経験 - 弱いアゴラ	132
表 35 - 市の地理的分布 - 弱いアゴラ	133
表 36 - 地域の地理的分布 - 弱いアゴラ	133
表 37 - 経済参加 - 弱いアゴラ	134
表 38 - 年齢バリエーション - 悪いアゴラ	135
表 39 - セックス - 悪いアゴラ	136
表 40 - EAD の経験 - Bad アゴラ	136
表 41 - 市町村の地理的分布 - Bad Agora	137
表 42 - 地域地理的分布 - Bad Agora	137
表 43 - 経済参加 - バドアゴラ	138
表 44 - エゴと ALTER の喚起 - アゴラ - アゴラ不信	139
表 45 - 年齢変化 - アゴラ不信	139
表 46 - セックス - アゴラ不信	140
表 47 - EAD の経験 - アゴラ不信	141
表 48 - 市区町村地理分布 - アゴラ不信	141
表 49 - 地域の地理的分布 - アゴラ不信	142
表 50 - 経済参加 - アゴラ不信	143
表 51 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラ - 複雑なアゴラ	143
表 52 - 年齢変化 - 複雑なアゴラ	144
表 53 - セックス - 複雑なアゴラ	145
表 54 - EAD 複雑なアゴラの経験	145
表 55 - 市町村の地理的分布 - 複雑なアゴラ	146
表 56 - 地域の地理的分布 - 複雑なアゴラ	146
表 57 - 経済参加 - 複雑なアゴラ	147
表 58 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラ - アゴラダウト	147

表 59-年齢バリエーション- アゴラ・ドウヴィダ	148
表 60- セックス - アゴラダウト	149
表 61 - EAD での体験 - アゴラ ドゥビダ	149
表 62 - 市区町村地理分布- アゴラ・ドウビダ	150
表 63 - 地域の地理的分布 - アゴラ・ドウビダ	150
表 64 - 経済参加 - アゴラ・ドウビダ	151
表 65 - エゴと ALTER の喚起 - アゴラ- アゴラ無知	151
表 66 - 年齢変動 - アゴラ・無知	152
表 67 - セックス アゴラ 無知	153
表 68 - EAD の経験 - 不明なアゴラ.....	153
表 69 - 市区町村地理分布- アゴラ不明	154
表 70 - 地域の地理的分布 - アゴラ不明	154
表 71 - 経済参加 - 不明なアゴラ	155
表 72 - エゴと ALTER の喚起 - アゴラ・ラジーネス	156
表 74 - 年齢バリエーション - アゴラ・プレギサ	156
表 75 - セックス - アゴラ・ラジーネス	157
表 76 - EAD の経験 - ラジーネス.....	157
表 77 - 市営地域地域分布- アゴラ・プレギサ	158
表 78 - 地域の地理的分布 - アゴラ・プレギサ	159
表 79 - 経済参加 - アゴラ・プレギサ	159
表 80 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラ- 困難なアゴラ	160
表 81 -年齢変動- 困難なアゴラ	161
表 82 -セックス- 困難なアゴラ	162
表 83 - EAD の経験 - 困難なアゴラ.....	162
表 84 -市の地理的分布- アゴラ・ディフィシル	163
表 85 - 地域の地理的分布 - 困難なアゴラ	164
表 86 - 経済参加 - 困難なアゴラ	164
表 88 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラ- アゴラ難易度	165
表 89 -年齢バリエーション - アゴラ難易度	165
表 90 -セックス アゴラ難易度	166

表 91 - AEd の経験 - アゴラ・ディフィカルダーデ	168
表 92 - 市区町村地理分布- アゴラ・ディフィカルダーデ	168
表 93 -地域の地理的分布- アゴラ難易度	169
表 94 - 経済参加 - アゴラ・ディフィカルダーデ	170
表 95 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラ・アゴラ・ファシリダーデ	171
表 96 -年齢変動- アゴラ施設	171
表 97 - セックス アゴラ 施設	172
表 98 - EAD の経験 - アゴラ施設.....	172
表 100 - 市区町村の地理的分布- アゴラ・ファシリダーデ	173
表 101 - 地域の地理的分布 - アゴラ施設	174
表 102 - 経済参加 - アゴラ施設	174
表 103 – 文献	184
表	104
文献レビューの感覚の生態学の私達の解釈に従って組織可能な社会的表現に関連する喚起	185
表 105 – EGO と ALTER	187
表 106 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラ コンビニエンス	188
表 107 - 年齢バリエーション - アゴラ コンビニエンス	188
表 108 - セックス - アゴラコンビニエンス	190
表 109 - EAD での経験 - アゴラ コンビニエンス.....	190
表 110- 市区町村の地理的分布- アゴラ・コンビニエンス	190
表 111- 地域地理的分布 - アゴラ・コンビニエンス	191
表 112 - 経済参加 - アゴラ・コンビニエンス	192
表 113 - EGO とオルター・エヴォーション-アゴラコスト	192
表 114 - 年齢変動 - アゴラ コスト	193
表 115 - セックス - アゴラ コスト	194
表 117 - EAD の経験 -アゴラコスト	194
表 118 - 市町村の地理的分布- アゴラコスト	195
表 119 - 地域地理的分布 - アゴラ コスト	195
表 120 - 経済参加 - アゴラ コスト	196

表 121 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラ規律	197
表 122 - 年齢変化 - アゴラ規律	197
表 123 - セックス - アゴラ規律	199
表 124 - EAD の経験 - アゴラ規律.....	199
表 125 - 市町村の地理的分布- アゴラ規律	200
表 126 - 地域の地理的分布 - アゴラの規律	200
表 127 - 経済参加 - アゴラ規律	201
表 129 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラ エコノミア	201
表 130 - 年齢バリエーション - アゴラ エコノミア	202
表 131 - セックス -アゴラ経済	203
表 132 - EAD の経験 - アゴラ エコノミア	203
表 133 - 市区町村地理分布- アゴラ エコノミア	204
表 134- 地域地理的分布- アゴラ・エコノミア	204
表 135 - 経済参加 - アゴラ・エコノミア	205
表 136 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラ柔軟性	206
表 137 - 年齢変化 - アゴラ柔軟性	206
表 138 - セックス - アゴラ柔軟性	207
表 139 - EAD の経験 - アゴラ柔軟性.....	207
表 140 - 市町村の地理的分布 - アゴラ柔軟性	208
表 141 - 地域地理的分布 - アゴラ柔軟性	209
表 142 - 経済参加 - アゴラ柔軟性	209
表 143 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラ インターネット	210
表 144 - 年齢バリエーション - アゴラ インターネット	211
表 145- セックス - アゴラインターネット	212
表 146 - EAD の経験 - アゴラ インターネット.....	212
表 147 - 市区町村の地理的分布- アゴラ インターネット	213
表 148 - 地域地域の地理的分布 - アゴラ インターネット	213
表 149 - 経済参加 - アゴラインターネット	214
表 150 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラ・オポチュニティ	215
表 151 - 年齢バリエーション - アゴラ・オポチュニティ	215

表 152 - セックス - アゴラの機会	216
表 153 - EAD の経験 - アゴラオポチュニティ	216
表 154 - 市町村の地理的分布- アゴラ・オポチュニティ	217
表 155- 地域地理的分布- アゴラ・オポチュニティ	217
表 156 - 経済参加 - アゴラ・オポチュニティ	218
表 157 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラプラティシティ	219
表 158 - 年齢バリエーション - アゴラ実用性	219
表 159 - セックス - アゴラ実用性	220
表 160 - EAD の経験 - アゴラプラティシティ	220
表 161 - 市区町村の地理的分布 - アゴラプラティシティ	221
表 162 - 地域地理分布- アゴラプラティシティ	221
表 163 - 経済参加 - アゴラプラティシティ	222
表 164 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラ・テンポ	223
表 165 - 年齢バリエーション - アゴラテンポ	223
表 166 - セックス - アゴラテンポ	225
表 167 - EAD の経験 - アゴラテンポ.....	225
表 168 - 市町村の地理的分布 - アゴラ・テンポ	226
表 169 - 地域の地理的分布 - アゴラ・テンポ	226
表 170 - 経済参加 - アゴラテンポ	227
表 171- レベル 5 EGO アフィニティー・プラン、より高いオカレンス	237
表 172 - A1 計画 5	237
表 173 - 年齢バリエーション - アゴラ "A1 プラン 5"	238
表 174 - セックス - アゴラ "A1 プラン 5"	238
表 175 - EAD の経験 - アゴラ "A1 プラン 5"	239
表 176 - 市町村の地理的分布 - アゴラ "A1 プラン 5"	239
表 177 - 地域の地理的分布 - アゴラ "A1 プラン 5"	240
表 178 - 経済参加 - アゴラ "A1 プラン 5"	240
表 179 - EGO	240
表 180 - 年齢バリエーション - アゴラ "A2 プラン 5"	241
表 181 - セックス - アゴラ "A2 プラン 5"	241

表 182 - EAD の経験 - アゴラ "A2 プラン 5"	242
表 183 - 市町村の地理的分布 - アゴラ "A2 プラン 5"	242
表 184 - 地域の地理的分布 - アゴラ "A2 プラン 5"	243
表 185 - 経済参加 - アゴラ "A2 プラン 5"	243
表 186- 否定性評価を持つ表モデル	252

チャート一覧

図1-人口リオ×南米諸国	31
グラフ2-完全に遠隔規制されたコースへの登録、学問レベル	32
グラフ3-高等教育で初めて	32
グラフ4- EAD	41
グラフ5- イード	41

内容

はじめに.....	20
1 遠隔教育	23
1.1 はじめに	23
1.2 EADとその特性.....	23
1.3 EAD.....	27
1.4 ブラジルのEAD.....	29
1.4.1 リオデジャネイロのEAD	33
1.5 フォード主義とアカデミーでの教えの商品化.....	34
1.6 EADに対する偏見.....	36
1.7 EAD.....	38
1.8	43
1.9 社会、技術、EAD.....	45
1.10 モード効率	47
1.11 社会表現とEAD.....	49
1.12 研究課題: 最初の近似.....	52
象徴的なコミュニティへの社会的表現の2	54
2.1 社会表現	54
2.1.1 バラは話さない: 表現から社会的表現へ	54
2.1.2 認知革命と社会的表現: 夢を共に夢見る夢は現実	56
2.1.3 社会表現論(RRT)	60
2.1.3 社会表現における対話性	64
2.1.4 要約: 主な研究軸 trs	67
2.1.5 社会表現に対する構造的アプローチ	69
2.2 感覚の生態	72
2.2.1 グリズとピアゲットが五感の生態に	74
2.2.2 影響度に関連する補完的な理論的考察	76
2.2.3 ダイアログシティ	77
2.3 可能なアゴラ理論に向けて	78

2.3.1 アゴラ概念について	78
2.3.1.1 象徴的なコミュニティ	80
2.3.2 その他	82
2.3.2.1	83
2.3.2.2 グループによる ALTER	83
2.3.2.3 ALTER と共感	84
2.3.3 アゴラの仮説	85
2.3.3.1 アゴラ仮説の例示である物理学の例	89
2.3.3.2 他の地域	90
2.4 研究課題:アゴラ	91
3 方法論	93
3.1 方法論的アプローチ	93
3.1.1 EAD	93
3.1.2 アゴラモデル	94
3.2 方法	100
3.2.1 喚起	100
3.2.3 被験者サンプリング戦略	102
3.2.4 データ収集機器	102
3.2.5 データ処理、解析、結果の解釈	103
4 データの結果と解釈の分析	105
4.1 結果の分析	105
4.1.1 はじめに	105
4.1.2 データ処理	106
4.1.2 一般大衆について	107
4.1.4 概要データの議論	114
4.1.5 全体データ分析	116
4.1.6 アゴラと5つの研究軸の分析	117
4.2 軸1 - 最も引用された否定的な表現のアゴラの分析	119
4.2.2 はじめに -ネガティブ表現のアゴラ	119
4.2.1 アゴラ恐怖	119

4.2.2 アゴラ偏見	125
4.2.3 弱いアゴラ	130
4.2.4 悪いアゴラ	134
4.2.5 アゴラ「不信感」	138
4.2.6 複雑なアゴラ	143
4.2.7 アゴラの疑い	147
4.2.8 アゴラの無知	151
4.2.9 アゴラの怠惰	155
4.2.12 怪しげな言葉のアゴラス	160
4.2.12.1 困難なアゴラ	160
4.2.12.2 アゴラ難易度	165
4.2.12.3 アゴラ施設	170
4.2.13 軸1の結果の全体的な分析 - 負のアゴラ	175
4.2.13.1 恐怖	175
4.2.13.2 偏見	176
4.2.13.3 弱い	176
4.2.13.4 悪い	177
4.2.13.5 不信感	178
4.2.13.6 複雑な	178
4.2.13.7 疑い	178
4.2.13.8 無知	179
4.2.13.9 怠惰	179
4.2.13.10 ハード	180
4.2.13.11 難易度	180
4.2.13.12 施設	181
4.3 Axis 2 - 文献レビュー	184
4.3.1 はじめに	184
4.3.2 アゴラの便利さ	188
4.3.3 アゴラコスト	192
4.3.4 アゴラ難易度	196

4.3.5 アゴラの規律	196
4.3.6 アゴラ経済	201
4.3.7 アゴラ施設	205
4.3.8 アゴラの柔軟性	205
4.3.9 アゴラインターネット	210
4.3.10 今ポートユニット	214
4.3.11 アゴラの実用性	218
4.3.12 アゴラ時間	223
4.3.13 軸2	227
4.4 軸3 - アゴラアフィニティ計画の分析.....	235
4.4.1 はじめに	235
4.4.2 アフィニティプラン	236
4.4.3	
アゴラ・デ・A1プラン	
5(規律、組織、動機付け、プロアクティビティ、自律性).....	237
4.4.4 アゴラ・デ・A2プラン 5(規律、組織、動機付け、プロアクティビティ、好奇心)	
.....	240
4.4.5 軸の全体的な分析 3	243
4.5 軸4 -アゴラの関係分析.....	244
4.5.1 はじめに	244
4.5.2 リレーショナル分析エゴとアルター	245
4.4.3 軸4	249
4.6 軸5 - アンケートの最初の 500 有効な回答の分析.....	251
4.6.1 はじめに	251
4.6.2 軸5の結果の全体的な分析	252
5 ディスカッション	254
5.1 研究問題について	254
5.2 EAD.....	257
5.3 文献レビューアゴラ	259
5.4 アフィニティプラン	260
5.5 アゴラの関係分析	261

5.6 その他の観測	262
6 結論	264
7 参考文献	Erro! Indicador não definido.
8 添付ファイル	262

紹介

現代社会は、情報技術に基づく新たな革命を起こしており、新しい富は知識に基づく

(LASTRES;アルバグリ、1999).この現代のパラダイムは、グローバル化した世界の文脈における情報に基づいており、インターネットの拡大(CASTELLS、2015)により包括的に推進されるIT(情報通信技術)の必要性を中心に考えています。情報フロンティアが開かれると、より速い教育橋を建設し、この「知識社会」(LASTRES)に新たなニーズを形成できる「サイバースペース」(LÉVY、1999年)が生まれるでしょう。アルバグリ、1999) ..

国境なき教育、つまり遠隔教育(遠隔教育)のようにいつでも空間的に、インターネットの毛細血管などを用いて情報を送信する。そして、ブラジルのような大陸の次元の国では、EADは知識の伝播を支援する力を持ち、地理的に孤立した人々が大学が通常拠点を置く大規模なセンターと同じ方法で知識に平等にアクセスできるようにします(SANTOS、2006)。

しかし、明らかに、「知識社会」(LASTRES)におけるEADに関連する問題。1999年、ブラジルのALBAGLI)は、技術秩序(インターネットへのアクセスの欠如など)であり、また、人口の一部によるモダリティの拒絶の形で、偏見を構成する象徴的なものとなる。多くの著者は、実験的なテストは、学習に関連して対面モダリティと距離の間に同等性を示したので、否定的な判断は根拠がないと考えていますが、それでも、社会の一部に関するこの種の教育に疑問と抵抗があるでしょう(MOORE, 2007;サントス, 2006;シルバ、2010)。

いくつかの著者は、この恐怖は、通信コース、低コスト、ほとんど学術的信用を持たず、適切な教育経験のないアマチュアによって導かれた国の非常に否定的な歴史を考慮して正当化することができると指摘しています(SCHLICKMANN et al., 2009)。大学では、遠隔教育の減価償却は、対面から遠ざかるためにこの過程で、教師が家庭教師や二次的地位に降格されたと感じた紙の変更があることを考えると、教師自身から来ることがあります(CORRÉA;サントス,2009;MAGGIO、2001)、物理的な教室の離脱による失業の脅威に加えて。公共政策として、THEはまた、一部の著者にとっては教育の民主化の慣行ではなく、政府が教育を安くする方法であるので

、いくつかの批判を受けました(BELLONI, 1999; ピーターズ, 2003; シルバ, 2010)、そして品質についてほとんど懸念を持っていないかもしれません。この慣行は、利益ベースの教育会社(BIELSCHOWSKY, 2018)でも使用できます。

このプロセスを通じて、社会的に共有された精神的イメージの一種を喚起することができ、それは社会的表現(MOSCOVICI, 2000)と呼んでいます。遠隔教育の失格の歴史のために、彼らの表現は社会の一部に否定的である可能性があります。プロを失格にする一般的な用語でさえ、「通信によって卒業証書を取った」(FERREIRA, 2010)、EADをした人をほのめかしています。社会の一部に関するこの悲観的な見解は、一部の著者がすでにこの問題について言及したことを考慮して、目新しさではありません(BELLONI, 1999; ムーア; キアズリー, 2010; ヴィアナ; プロブア, 2015)。

社会表現に関する研究は多様であり、異なるアプローチを持ち、そのうちの1つは構造的アプローチと呼ばれ、その主要な著者であるAbric(2004)の間にあります。

この行は、社会的表現を抽出するために研究によって呼び起こされる単語を使用しています。この研究の側面は、ブラジルで一連の経験的研究を有し、その中には、著者(1994年)が提案したこの技術を用いた国の一部を見つけることが可能であった(PEREIRA, 2014年)。

文献レビューにより、日常生活を指す柔軟性、時間、とりわけ表現が広く使用され、否定的な見解を提示することを検証することが可能であった。

方法論的には、一般的に、構造的アプローチに基づく研究において、調査対象者の集団は、特定の主題について思い浮かべる言葉や表現、およびアブリック(1999)を思い出すように求められる。したがって、このグループに関連する表現は、各集団によって形成されたアイデアを考慮して抽出される。しかし、この研究では、人との相互作用や特定のグループに固有のレキシコンの使用などの一連の要因のおかげで、イデオロギーが別々に研究される可能性を持つ異なるグループを形成できることを理解し、各考えによって形成された集団という逆ダイナミクスを考慮に入れています。彼らの組合の基礎としておおよその考えを持っているこれらの人口グループに、私たちはアゴラと呼びます。

この研究で提案された他の重要な点は、変化の間の切り離せない見解に関連して、モスコビッチ(2000年)によって提案されたエゴとオブジェクト(EAD)、マルコヴァ(2003)の対話性、カンポスの感覚の生態学(2017)は、エゴを含む2つの側面で重要な問題を策定するために提案された。この変化に及ぶ研究の方向は、エゴの認識だけでなく、変化の認識を考慮すると、人間と社会環境の関係を理解する際の補助分析を凝集させる。

アゴラはネットワーク理論に触発されています(カウフマン、2012;MARTELETO、2001)とデータ抽出のための構造的アプローチを使用し、彼らの社会的表現を通じてグループ分析を求めることに加えて、おそらく、社会心理学の現代の課題の一つ(JOVCHELOVITCH、2014)、ネットワーク化された社会での相互作用を拡大することを視野に入れて、研究全体とその結果で理解することができます。

分析は、5つの主要な研究軸に分かれていました:

軸1	-
負の表現を持つアゴラの分析;	軸2 - 文献レビューの表現を持つアゴラの分析;
軸3	-
複数の表現を持つアゴラアフィニティプランの分析。	軸4
-	
変化とエゴから来るアゴラと社会的表現との間の関係分析;	軸5
-	

表現の否定性を特定しようとする最初の 500 の有効な回答の分析。

研究は、2019年の入試の過程でセダージ・コンソーシアムが遠く離れた場所で大学に入学することを意図した42,000人以上の人々を対象に行われ、アンケートが適用されました。この機関は、ブラジルのTHEの品質モデルと考えられています。この研究の実証結果は、この論文で提示されたアゴラスの結論で評価することができ、これは言及された一般の人々におけるTHEに関連する社会的表現の概要を提供する。

1 遠隔教育

1.1 はじめに

私たちは、AEに対する偏見と抵抗の存在を示唆する研究に巻き込まれた重要なリーをここから始めました。遠隔教育に関する文献レビューと、その問題に関する学術的理論的な反省から特定された問題から、この問題の文脈について議論する。教育学習過程における教師の中心性の変化、教育の商品化、教育の職人的構造の破壊が主なポイントとして指摘されている。社会では、THEは「ピアレタジェム」などの否定的な形容詞に関連しているため、このテーマを取り巻く抵抗と偏見に関する評価です。それに関連する肯定的な社会的表現は、この章で議論されます。

1.2 EADとその特徴

教育とは、ほとんどの場合、科目の身体的、道徳的、知的発達を発展させ、改善することを目的とする教育/学習プロセスです。このために、学習を目的とした教育の促進のための教訓的、教育的、アンドラゴジックな方法を作成します。しかし、教育の物理的な場所とは異なる場所で教育学習プロセスを促進することを目的とし、適切な技術を通じて計画および構築される場合、このプロセスは遠隔教育(MOORE;キアズリー、2010)。

一部の著者は、THEが「研究と問題解決に基づく知識構築の条件を支持することに加えて、集団的な仕事と学際的な研究、異なるアクターが共有する教育慣行の開発、コラボレーションと創造性の精神の刺激を可能にするので」私たちの教育システムに必要な変更に貢献することができると主張しています (VILLARDI;リュック, 2015, p. 216)。

EADは、誤って方法論と呼ばれる教育のモダリティです。この区別は、2001年1月9日の国家教育計画(PNE)の法律第10,172条で明らかにされており、ブラジルの教育のモダリティである:若者と成人教育、遠隔教育と教育技術、技術教育と職業訓練と先住民教育(BRASIL、2001)。

1988年の連邦憲法は、遠隔教育を次のように定義しています。

体系的に組織化された教訓的リソースの仲介により、自己学習を可能にする教育の形態であり、異なる情報媒体で提示され、単独でまたは組み合わせられ、さまざまなコミュニケーション手段によって伝えられる。(ブラジル、1988)

THEを通して学ぶことは偶然に行われることはないことを強調しています。インターネットサーフィン、インターネットユーザーによる知識(学習)を教え、構築する効果的な習慣があったことを意味するものではありません。THEによる教育学習プロセスを効果的に行うためには、他の手段によっても、プロセスが意図的に、組織化され、特定の教育目的(CORRÉA;;サントス,2009;ムーア、2007).Zerbiniら(2006)は、距離教育には、空間的および時間的距離、DISTANCEの特性を適切に使用できるように、より体系的な計画と高度な通信技術の使用が必要であることを説明する。

AEの定義はブラジル政府によって正式化され、2017年5月25日の法令第9,057によって次のように正規化されました。

Art. 1º この法令の目的のために、遠隔教育は、教育と学習プロセスにおける教訓的教育的調停が、情報とコミュニケーションの手段と技術を使用して、アクセスポリシーを持ち、アクセスポリシーを持ち、他の間で互換性のある監視と評価を行い、異なる場所や時代にいる学生や教育専門家による教育活動を開発する教育的モダリティと考えられています。(ブラジル、2017)

距離教育は、次の特徴を指摘するベローニ(1999)によっても定義されています。

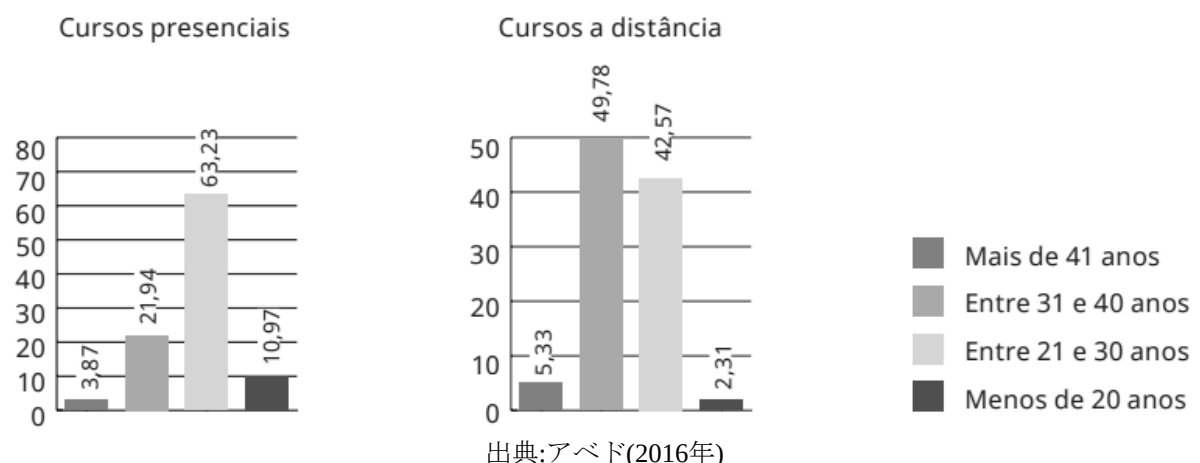
- a) 生徒と教師の間の物理的な分離;
- b) 教師と生徒による適切なコミュニケーション技術の使用。
- c) 学生による学習リズムの制御。

EADは現在、電子メール、インターネット、音声およびビデオ会議などの情報の技術的手段を使用して使用しています。特にインターネットなどの技術に基づく、多数の学生にサービスを提供する可能性のある経済的に有利な媒体です(BEL LONI, 1999;海岸から;フランコ, 2005;ANT;リット、2009).その後、遠隔教育は、学習や教育などの側面を含むが、教育の場は伝統的に学習(学校、大学など)が起こる場所とは異なり、様々な技術を用いてコミュニケーションが行われるので、計画も含まれると言えます。

もう一つの特徴は、方法論におけるアンドラゴジー技術の使用に関連している(FORMIGA;リット、2009).私たちは、一般の人々のための独自の教授法のセットによって提唱された大人向けの教育について話します。アンドラゴジーのテクニックの一つは、例えば、この議論を動機付け要因として使用して、学生に彼の人生のための学習の利点を説明することです(FORMIGA;リット、2009)。

アンドラゴジックな側面は、距離教育協会(ABED、2016)の国勢調査調査で確認されていますが、遠隔教育協会(ABED、2016)が到達した主要な一般市民としての成人の優位性があるため、遠隔教育によって到達する主要な一般市民としての成人の優位性があるためです。この優位性は、学生のより大きな自律性と規律、遠くでの活動のパフォーマンスに必要な条件に関連している可能性があります。図1に示すように、対面コースとDISTANCEコースの参加者の年齢変動を比較すると、対面教育の学生体が21年から30年(63.23%)の範囲に集中し、距離コースの年齢は31年から40年(49.78%)の範囲であることが確認されています。これらのデータはまた、INEP(国立教育研究研究所アニシオ・テイシェイラ)を通じて、2017年に対面モダリティにおける高等教育の平均年齢は21歳であり、距離モダリティは28歳であったことを示すデータ省(MEC)を裏付けています(INEP、2016;グローブ、2017)。

図1 - 対向および距離コースの年齢グループ (%)



ムーア(2007)にとって、この教育のモダリティの最も重要な特徴の1つは、彼が「コペルニクス革命」(図2)と呼ぶ学生の中心性に焦点を当てており、太陽が太陽系の中心であると述べることによって科学者によって促進されたことをほのめかし

ています。ムーアのたとえばは、学生は情報通信技術(ICT)に関与し、その結果生じるすべての教育プロセスに関与する中心人物であり、その中心性が教師(FORMIGA;;リット、2009;ムーア;キアズリー、2010).

図 2 - EAD の受講者用インターフェイス



出典:ムーア(2007年、p.22)

著者ベローニ(1999)とコスタフランコ(2005)は、THEがデジタル技術的なコミュニケーション手段の使用に基づいているという考えを付け加えます。メディアは、EADのために、それらに採用されている技術の開発の段階に応じた特性として、社会のさまざまな技術提供と並行して進化しました(FORMIGA;リット、2009).ムーア(2007)の場合、これらのモダリティの5世代は:まず、手紙で書くの始まり以来行われ、グテンベルクの発明と拡大しました。
第二に、ラジオとテレビの作成、第三に、学生が大学のキャンパスに出席する必要がないオープン大学の概念で、第四に、テレビを使用してテレビを使用して別のコーナーにクラスを発行できる電話会議(MOORE、2007)、そのマイルストーンはインターネットの到来です(表1参照)。

表1-遠隔教育の世代

一致	第一世代
----	------

ラジオ放送、テレビ放送	第二世代
オープン大学	第3世代
会議	第4世代
インターネット/ウェブ	第5世代

出典:ムーア (2007)。

技術の進化はまた、ADの種類と学生との関係の分類(表2)と通信形式(BELLO NI, 1999;ムーア;キアズリー、2010)。

表 2- EAD 分類

コミュニケーションの種類	コミュニケーションの性質	技術サポート
一対一	同期	電話、ファックス、テレビ電話
一対一	非同期	メール、ファイル転送、ホームページ
一対多	同期	相互作用による直接衛星伝送
一対多	非同期	ディスカッションのリスト、ファイル転送
多対多	同期	相互作用による直接衛星伝送
多対多	非同期	コンピュータを介した会議

出典:ムーアとキアズリー(2010)

1.3 EADの歴史

遠隔教育は、古代ギリシャの時代に特定され、ローマ帝国を通過する起源は、長い時間から来ているモダリティです。それは、メッセージだけでなく、教育目的のために開発され、ミサイルによって伝えられた発見や科学的情報を通じて、後に中世にキリスト教の教義をもたらすために使用された書面による通信の広いネットワークを持っていました。その後、人道主義と啓蒙時代(SARAIVA、1996)の間に、これらのコミュニケーションの大きな発展がありました。

Saraiva(1996)によると、現代のAEADは、1728年3月20日にボストン・ガゼットで発表された、コーレブ・フィリップス教授が提供する速記の職業訓練コースに関する広告を思い浮かべます:「この芸術を学ぶことを望む地域のすべての人は、毎週彼の家でいくつかの教訓を受けることができ、ボストンに住んでいる人々(SARA19、19)など完全に教育することができます。

THEの発展を示した他のいくつかの歴史的出来事はトーレス(2002)によって強調されています:コーレブ・フィリップスが1728年に彼の速記のレッスンを始めた後、
 、
 他のコースが始まりました:1833年、イギリスでは通信で教え始めました。1840年、アイザック・ピットマンは学生と交換したはがきに速記の原則を教えました。
 1891年、同じく米国のスキャプトンのトーマス・J・フォスターは、鉱業作業におけるセキュリティ対策に関するコースを策定し、1891年、1891年、1891年、1891年、1891年、1891年、1891年、1891年に、鉱業作業におけるセキュリティ対策に関するコースを策定し、*国際通信研究所*を設立しました。ウィスコンシン大学は、大学拡張サービスの通信コースを開催しています。1892年、シカゴ大学はエクステンション部門に通信教育課を設立しました。1894年、イギリスのオックスフォードで、ジョセフ・W・クニペは6人の学生と30人の学生を対応によって*認定された教師試験*のために準備しました。

最後に、20世紀には、ラジオやテレビなどの新しい情報伝送技術がEADに関連付けられます。その後、テレコースなどのオーディオとビデオの技術が組み込まれる1960年代と1970年代に、世界中で広く普及しています(SANTOS、2006)。

ブラジルでは、1891年にプロのタイピングコースの発表は、EADの重要なマイルストーンと考えられています。しかし、サライバ(1996)によると、この教育学習のモダリティは、印刷メディアによる実装後、そして通信によって、トーレス(2002)が指摘するように、20世紀に国に大きな強度で到着します。しかし、1922年の最初のマイルストーンは、この車両を通じて、教育の普及のためにロケテ・ピントによって設立されたラジオ・ソシエダデ・ド・リオデジャネイロ(1996)によると、発生しました。その日から、トーレス(2002)は次のような重要な日付を追加します: 1941 - ブラジルのユニバーサル研究所の創設;1965-1970 - 教育テレビの作成;1985年 - コンピュータは単独またはローカルネットワーク上で、1985-1998 - ストレージメディア(ビデオクラス、フロッピーディスク、CDROMなど)、1990年 - 電話会議(衛星)の集中的な使用の開始;1991 - RNPの作成; 1995 - ネットワークの普及(インターネット); 1996 - ビデオ会議ネットワーク; 199 - Virtual Reality.

EADにおけるこれらの行動はすべて、技術開発に従って開発され、伝播されています。遠隔教育は1世紀以上にわたる存在を知っていたが、高等教育では1996年(MORAN、2009)のLDB(基本ガイドライン法)でのみ認められた。

1996年12月20日の法律第9,394から - ダルシー・リベイロ法 -
EADは、国のより制度的地位を得る。ラセ(2014)が言うように。

ダーシーの提案は、国民会議で承認され、その後、1996年12月にフェルナンド・エンリケ・カルドーゾ大統領によって法律第9,394/1996に変換されました。遠隔教育に関するテキスト「リーン」と「ミニマル」は、国際機関が推奨するモダリティを規制し、公共当局をモダリティの偉大な推進者として、すべてのレベルで、同時に、公的機関の手の中で、高等教育がどのように実践するかを指定するために、将来の規制を残します。フェルナンド・エンリケ・カルドーゾの下で開始されたこのプロセスは、大きな進歩なしに、ルラ政府を横断し、2005年の法令5,622を通じて収容されます。その瞬間から、私立の遠隔教育は大きく広がっています。(ラセ、2014年、p. 172)

この正式な認識がなくても、ブラジルの距離学部コースの最初の記録は、デジタル技術を通じて、1994年に発生しました。その年、マトグロッソ連邦大学(UFM T)は、小学校の初等学年(PRETTI、1996)の専門家を準備することを目的として、基礎教育における教師養成のための距離コースの入学試験の登録を開始しました。(サントス、2006)。

1.4 ブラジルのEAD

日向キエ(1999)によると、EADは、その学術的なメリットが認められた公立大学が生み出した知識が遠い場所に到達することを可能にするため、ブラジルに「希望の技術」として浮上します。このように、ブラジルのような大陸の次元の国で有用な特性、偉大な分配力を持つことができます (BELLONI, 1999; ニスキエ、1999; シルバ、2010; ヴィアナ、2011)

.この次元は、ブラジルとヨーロッパの国との比較が行われた図3で評価することができます(この場合はスペイン(赤))。

図3 - スペインと比較したブラジルの寸法

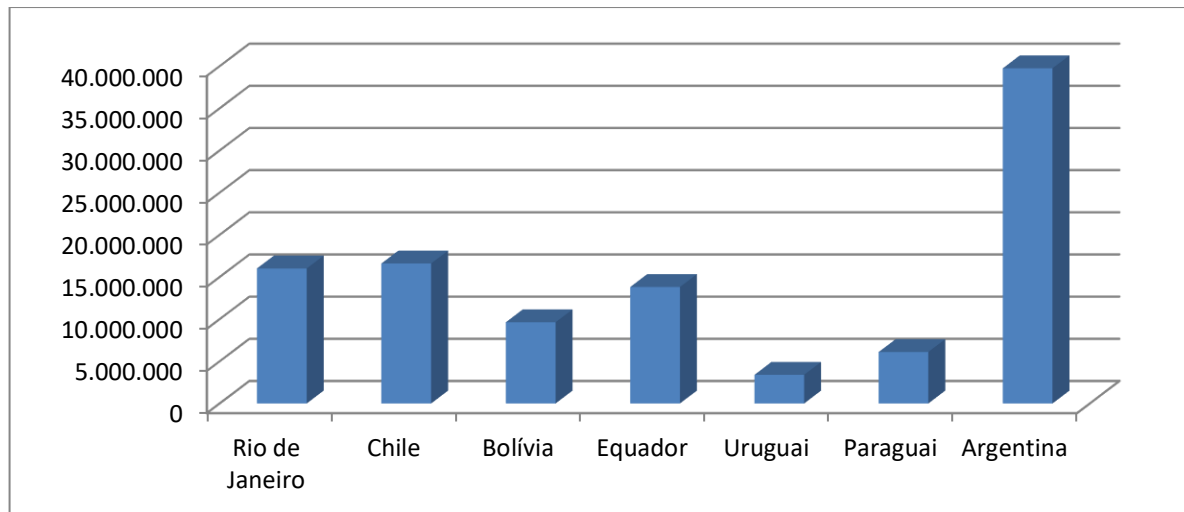


ソース: Googleマップから適応.

シルバ(2010)は、距離モダリティはまた、自分の地域で固定労働力の資格でより遠い地域を助けることができると付け加えます。したがって、労働者を大規模なセンターに移行する必要はありません、彼らの居住地で提供されていない資格を取得することを目的と.例えば、リオデジャネイロ州の公立大学の内部化と拡大の現在のプログラムでは、高等教育が可能になり(リオデジャネイロの首都圏に拠点を置く公立大学によって開発された)、首都(SILVA、2010)から遠く離れた地域に住む人々に届くという大きな役割を果たしています。ヴィアナ、2011)

.リオデジャネイロ州は、南米諸国の人口に対応しています(グラフ1)。

図1 -人口リオ×南米諸国

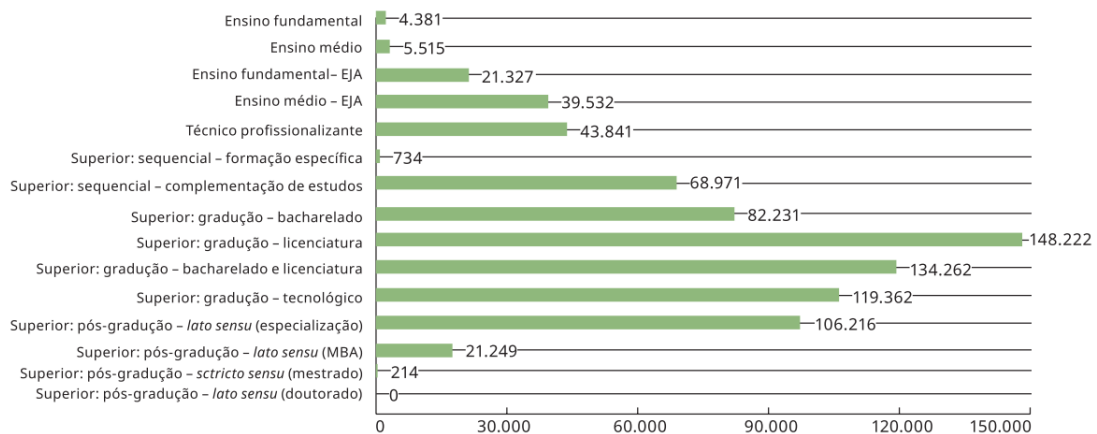


出典:IBGE(2018) .

EADを求める学生は、一般的に時間と場所の柔軟性の利便性に惹かれます。ブラジルでEADを求めるほとんどの人が働いています(ABED、2016;アブレーアド, 2008;ANT;リット、2009;ムーア、2007).勉強と仕事を調整する必要性は、ブラジルのTHEの大きな魅力の一つになることができます。例えば、民間の営利機関は、2016年に、学生の体の大部分であるこのタイプの教育を提供する機関の調査(ABED、2016)で、学生の70.45%、学生、勉強、仕事を報告しました。連邦公的機関は65.63%を記録しました(ABED、2016).この必要性和他の人は、国で遠隔学習を成長させる。

ブラジルで導入されて以来、距離のモダリティは、今日、学生が多く、下の図のように、学部コースで最も集中しています(グラフ2)。2016年の卒業生数は約553,000人で、初等中・技術教育に在籍する約114,000人を大きく上回りました。

グラフ2 - 完全に遠隔規制されたコースへの入学、学問レベル別



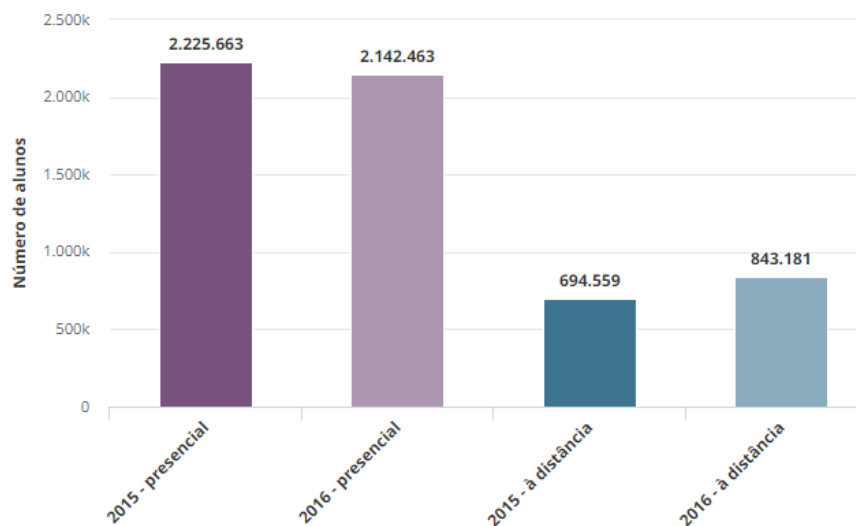
出典:アベド(2016年)

もう一つの関連点は、教育省(MEC)が実施した高等教育のために2017年に行われた最後の国勢調査で記録された国のTHEの指数関数的な成長です。対面システムの学生数は3.7%減少しましたが、距離モダリティでは20%(グラフ3)の増加がありました(INEP、2016)。

新聞O

Globo(2017)によると、1992年と比較して、2016年の対面教育の欠員は初めて減少し、1.2%減少した。しかし、遠隔学習コースでは、観察できるように7.2%増加しました。この車両はまた、遠隔学習コースの高等教育への総登録も成長を登録することを評価します。絶対数を割合に変換することで、2006年には、このモダリティの入学人数の4.2%が大学生で、2016年には18.6%(O GLOBO、2017)がありました。

グラフ3 - 高等教育からの新入生



出典:INEP(2016)とO GLOBO(2017)。

ブラジルの政府は、2005年のブラジルオープン大学(UAB)(SCHLICKMANNら、2009年)の創設などのイニシアチブで、この教育のモダリティを支持してきました。これらのイニシアチブは、THEを通じて教えられる高等教育コースの提供を拡大することを目的とした公共政策の一部である例です。

1.4.1 リオデジャネイロのEAD

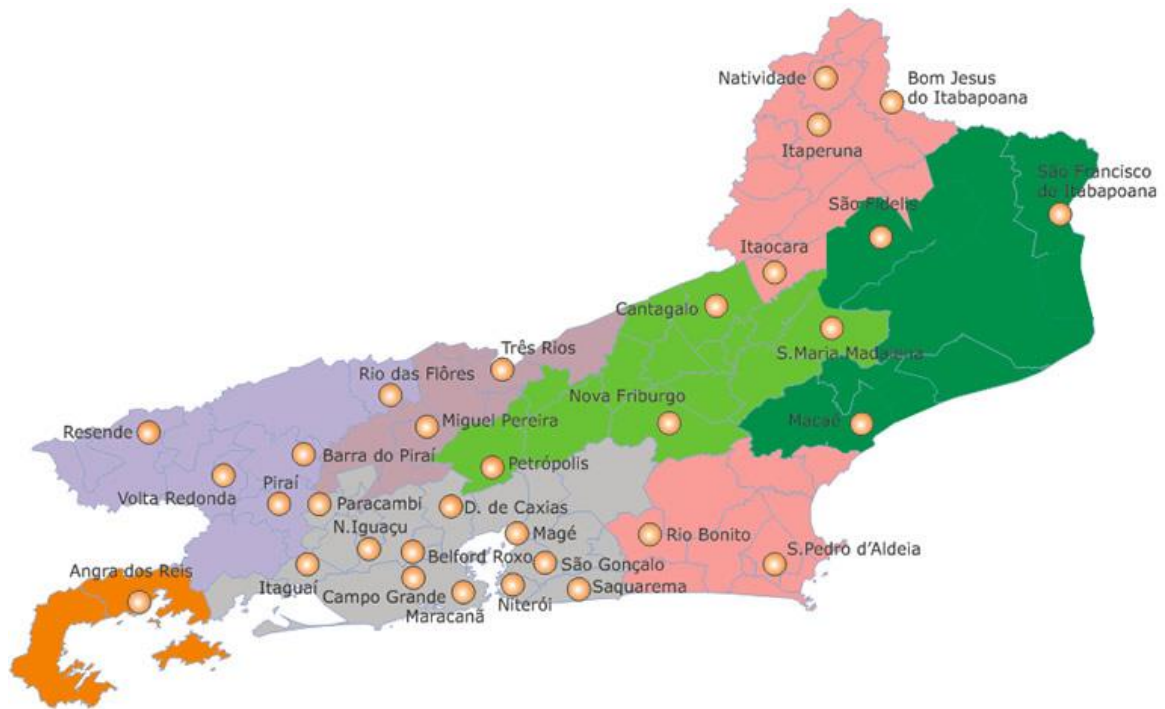
CEDERJ(リオデジャネイロ州遠隔教育センター)は、国家政府の機関であるCE CIERJ財団(リオデジャネイロ州の距離にある科学高等教育財団センター)が管理するEADの公立大学の働く武器の1つです。

セルソ・コスタ教授によると、

セデルジコンソーシアムは、ノルテ・フルミネンセ州立大学(Uenf)を設置する場所を探していたダーシー・リベイロのアイデアから生まれました。Uenfの最初の学長であったカンダリー・デ・ソウザの現在の秘書は、遠くに大学を設立するためにダルシー・リベイロの考えを中心に団結し、「内部に向かって彼らの扉を開く」ために州の公立大学に呼びかけた。このように、2000年に、セデルジ・コンソーシアムは、リオデジャネイロの6つの公立大学(ウエルジ、UFRJ、UFF、ユニリオ、ウエンフ、UFRRJ)によって設立されました。2年後、コンソーシアムはチェシエリ財団に加わり、リオ州政府の経営陣と資金を提供しました。(ハンセン、2004年)

コンソーシアムは、連邦技術教育セルソ・サッコウ・ダ・フォンセカ(CEFET-RJ)である州内で運営されている7つの公立大学によって形成されています。リオデジャネイロ連邦大学 (UFRJ) ;リオデジャネイロ州立大学 (UERJ) ;フルミネンセ州立大学フルミネンセ・ダルシー・リベイロ (UENF) ;フルミネンセ連邦大学 (UFF) ;リオデジャネイロ連邦大学 (ユニリオ州) ;リオデジャネイロ連邦農村大学(UFRRJ)、IFF(フルミネンセ連邦研究所)、FAETEC(テクニカルスクールサポート財団)、UEZO(ウェストゾーン州立大学センター財団)に加え、現在約50,000人の学生がいます。図4に示すように、Cecierj財団のセンターはリオデジャネイロの数十都市に位置しています。

図4 - セウレイ・コンソーシアム・ポール



出典:チェティエリ財団(2019)

このプロジェクトは当初、距離高等教育を内部化することを目的として開発され、正確で生物科学の分野で学士号を取得しました。コスタ(2005)によると、アイデアは、地域のセンター、様々な分野と対面した運用評価プロセスを共有するために、大学間のリソースの競争を避けるためにリオデジャネイロ州全体にそれらを配布することであった。教師にとって、cederjの基本的な職業は次のようになります。

- 内部の人口の確立に貢献します。
- 教師の訓練;
- リオデジャネイロの状態の経済発展;
- DISTANCE方法論を用いて、学部コースの品質パラメータを使用して貢献します。(コースト、2005)

1.5 フォードイズムとアカデミアにおける教育の商品化

教育の償還であるという見解は、ベローニ(1999)によって共有されていません。

その実施は、オープン教育の民主化の勝利ではなく、生産ラインのFordistモデルに触発された安価な教育形態であろう。批判の中で、著者は、政府がEADを使用して

高等教育の提供の統計を節約し、必ずしも教育の質を向上させるとは限らない(BELLONI、1999)。と指摘しています。

ピーターズ(2003)は、それがEAD現代の技術の結果であり、合理化、労働の分割と大量生産に焦点を当てたテーロ主義の典型的なインライン生産システムを作成し、教育の職人構造を傷つける可能性があるため、この見解を裏付けます。この大量の教育形態に対して、著者は「教育産業主義」(BELLONI、1999;ピーターズ、2003;シルバ、2010)。したがって、EADは、アカデミーのいくつかのビジョンのために、一種の「工場」であり、教育機関内の改善ではなく安価を目指し、ベローニが指摘するように、機関の従業員と教師(MAGGIO、2001)の大量解雇を生み出すことさえあります。

貧困国では、遠隔教育は教育問題の緊急解決として現れ、豊かな国ではあらゆるレベルで対面教育の質の向上に貢献しています。(ベローニ、1999年、p.20)

上記の問題は、機関内のEADが直面している唯一のものではないでしょう。他のいくつかの要因は、アカデミアのセクターに起因する抵抗と偏見に起因する批判に苦しむ原因となる問題を意味します。コレアとサントス(2009)とフェレイラ(2010)などの著者は、学生のための教育学習プロセス全体の焦点にシフトがあると主張しています(MOORE、2007;ムーア;KEARSLEY、2010)、教師が情報の所有者である伝統的な教養で観察されているものに反して。したがって、著者によると、教えることの中心性の力を失うことによって、教師はその品質を制御できないかもしれません(CORRÉA;サントス,2009;フェレイラ、2010)。コレアとサントス(2009)が指摘したもう一つの理由は、教育分野における機能の再編成、すなわち、教育の仲介者の前の教師が今やコンテューディストや家庭教師になることに関するものです:彼らはそれぞれ、配布物のディストリビューターや学生が疑問を持っている場合にリゾートするルームモニターの一種など、クラスのコンテンツのみを制作する人々です。これは、著者の見解では、降格の一種であろう(CORRÉA;サントス,2009;マッジョ、2001)。したがって、学校は集団組織の教育機関を液化し、単なるサービスプロバイダーに変身しました(BELLONI、1999)。多くのコースでは、このモダリティでは、家庭教師の役割はどちらも:誰か、顔のない、コンテンツを制作する人(MAGGIO、2001)ではありません。

1.6 EADに対する偏見

アカデミアで抵抗に直面するだけでなく、社会では一般的に偏見もあります。サントス(2006)が行った研究では、例えば、接触さえ持っていなかった人々による距離モダリティから来る卒業証書の減価償却が検証されています。フォルミガとリト(2009)のために、人口によってTHEに対する偏見があります:「私はそれを見ていないし、好きではありませんでした!(サントス、2006年、p. 15)、我々は以下に示すように。

社会心理学では、偏見の定義の一つは、彼の1954年の作品「*偏見の性質*」でアメリカの研究者ゴードン・オールポートによって与えられている:「彼がこのグループに属しているという理由だけで、グループに属する人に対する敵対的または予防的な態度は、彼がこのグループに起因する競争的な特徴を持っていると仮定した」(p.

22)。Allport(1954)はまた、否定的な言語化、回避、差別、物理的攻撃、絶滅の5種類の偏見の現れを示唆している。偏見のこの視点は、社会的認知プロセスに基づいています

(FIORIN;ペレイラシルバ、2016)間違ったアイデアのトレーナーとして、社会が日常生活のいくつかの現象をどのように表しているかに関連する親和性を保つ人(CABEC INHAS、2004)。つまり、一般的な方法で偏見は社会的要因と関係があり、常に自分自身を確立するための合理的な動機を必要としません。

これは心理的な現象でもあります。個人を偏見に導くものや偏見を持たなかったものは、彼が個人として変身して形成される彼の社会化プロセスで見つけることができます。つまり、個人が偏見を持つかどうかの責任として自分自身を構成することを可能にするものです。その現れは個人であり、個人の不合理なニーズに応えるが、そこで生じる紛争への対応として社会化の過程で生じる。(クロチク、2006年、P. 14)

遠隔教育は変わらないだろうが、偏見は社会的要因に結びつく可能性があり、合理的な動機なしにも起こり得る。新しい世代まで、いわゆる「デジタルネイテ

イブ」、つまりインターネット時代に生まれた人々は、教育が技術を通じて遠隔から流れ、これらの障壁を克服する可能性が高い未来の約束です(PRENSKY、2001)。しかし、彼らは偏見を持ち、恐怖と不信感の大きな負担を背負っています(CARLOS, 2007;AISA;サントス,2009;サントス、2006)に関してだけでなく、それらに先行する世代。データ・ポピュラー・インスティテュートが2016年に実施した調査によると、24歳未満の若者の93%、24歳以上の若者の79%が距離や半対面コースを受けたくないと考えています。大多数は、社会によるこれらの卒業証書の認識の欠如を恐れています(ポピュラー、2016)。

フェレイラ(2010)にとって、偏見は、以前に述べたように、アカデミアで始まり、DISTANCEを通じて教えるプロセスが教師から学生に焦点を移すという事実に関連するであろう(FERREIRA、2010;ムーア、2007)。

シュリックマンや共同研究者(2009)などの著者にとって、EADは労働市場への参入やより良い資格の探求など、さまざまな理由から、「期待される」時間内に研究を終えることができなかった人々のための社会の「第二のチャンス」の性格を持っています。これらの人々は、おそらく直接提供されるものと比較して、より質の高い教育を受けるだろう(SCHLICKMANNら, 2009)。

[...]偏見は、あらゆる目新しさに直面して現実である。結果だけがこれらの偏見に終止符を打つことができるので、実際に特定の方法でEADを働かせる必要があります。私たちはそれが困った教え方だとは思っていません。しかし、うまくいった場合、それは良いと質の高い果物を生成することができ、したがって、卒業または訓練する必要があります、対面機関に出席する時間がないそれらの人々の偉大な同盟国であることを知っています。(ヴァスコンセロス、2002年、P. 11)

したがって、モダリティと接触したことがない多くの人々はそれについて悪い認識を持っており、偏見の考えを強化します。コレイアとサントス(2009)によると、「ピック」、「不完全」、「表面的」、「反社会的」などの形容詞はEADに関連しています。この同じ研究では、距離モダリティに選択肢がある対面コースの学生の79%が、偏見の考えを強化し、私たちを否定的に評価します(CORRÉA;サントス、2009)。もう一つの仮説は、MECが2つのモダリティを区別しない場合でも、EADモダリティの同じコースの同僚との関係でいくつかの差を得たいという願望であろう。

距離コースとの接触がある場合、コースに関連して肯定的な経験を経ても、偏見を強化するモダリティに関して否定的な見解があることが観察されます(CORRÉ A;サントス、2009).AEdに関する抵抗の原因のいくつかは、偏見の考えを強化する経験を経験したことがない人々の部分に主に、不利な見解に基づいています(GOMES、2008)。

1.7 EADに対する抵抗

偏見は、EADに否定性を割り当てる唯一の属性ではありません。情報技術に精通していない、アカデミアの拒絶、社会における信頼性の欠如などの属性も、我々がAEに対する抵抗と呼ぶものを形成する (GOMES、2008;ヴィアナ、2011;ヴィアナ;プロブア、2015).したがって、抵抗は様々な動機を持っています。彼らは、THEが対面教育よりも学習成果が低いと評価されるとき、教育的性格を持つかもしれません。教育プロセスにおけるアクターの役割の変化に関連する。経済的に、資本の要求を満たすモダリティであると考えられる場合、教育はコストが低くなります。

抵抗の定義は、個人が変化の力の前に変わらない必要があり、その現状を維持しなければならない反応 である (ZALTMAN;ダンカン、1977). ラポイントとリヴァード(2005)にとって、個人とグループは、技術の変化の認識とは異なる意図と行動を持つことができます。研究者は、その中で、採用、中立性、無関心と受動的、アクティブで積極的な抵抗を強調しています。抵抗は、変化に関連する知覚から行動の意図と考えることもできます。つまり、抵抗を持つ変化が実際にある必要はない、あるいはそれが起こるためにそれを知る必要はない。

ゴメス(2008)の場合、抵抗は、マッタル(1997、p.197)にとって、「以前の経験、感情の認知、製品、組織、人または事実に関する彼の行動反応の決定に起因する人の崇高な素因である」という態度と考えることもできます。この研究者によると、態度は、感情、認知、行動の3つの次元で理解することができました(図表3)。

表3 - マタルの態度 (1997)

態度	定義
感情	それは、何かによって期待される品質、メスティブアイです
認知	製品属性または事実に関する信条を測定する
行動	意図を測定する

出典:マタール(1997年、p.197)。

Brauer(2008)の抵抗の問題は、多くの場合、必要な品質なしで、学生のプロフィールを考慮せずに、仮想コースに変換された対面コースのアマチュア変換であるDISTANCEのコースの準備に関するものです。著者によると、これは抵抗力の増大にも寄与する。これはまた、以前の失敗した経験の場合と、基本的なエレクトロニクス、縫製、力学、補足などの低所得者のための低い学術的価値の専門コースでTHEが始まったという事実です。つまり、これらのコースが社会のニーズを満たしていても、THE自身の歴史は抵抗の理由として構成されます。今日、誰かが不正または無能であると言われているとき、その人は通信によって卒業証書を撤回したと言われています(FERREIRA、2010)。AEの悪いコースによって生じるフラストレーションは、同じモダリティで新しいコースを実施する抵抗力を高める必要があります。しかし、悪いコースは、直接教えられ、また、フラストレーションを生成します。EADモダリティの悪いコースで作られている読書は、モダリティとより関連しているようで、コース自体には関係していませんが、伝統的なコースの欲求不満は、対面モダリティに関連しない他の原因を持っています。

ハラとクリング(1999年のapud

CaregnatoとMoura、2006)は、遠隔コースの不満を3つのグループに分けています:教師からの即時のフィードバックの欠如、ボディランゲージを含む学生を対面で評価できる人、教師が与えたあいまいな指示、技術の使用に関する問題。ペルデュエとバレンタイン(2000)が行った調査は、444のアンケートから、THEを通じた専門的な開発に関して、モダリティに強い消極的さがあると結論付けています。学生はモダリティに適応する能力を疑い、コースの質に関する質問、技術とそれに基づくスキルに基づくアクセス。社会的要因はまた、抵抗と協力するものの一つです。Inter@ctiva研究所のメンバーが行ったリオデジャネイロの若者に関する進行中の研究の予備

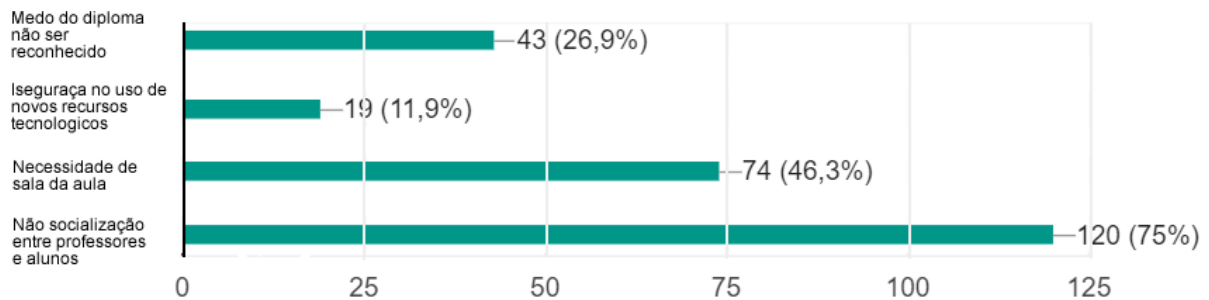
データによると、EADモダリティのコースを受講しない人を導く主な理由の中には、非社交化、教室の必要性、卒業証書が認められない恐れがあります。グラフ4は、リオデジャネイロの低所得の若者の動機に関する質問に対する答えを示しています。

。¹

¹Inter@ctivaのメンバー、

接続コミュニティ心理社会学と社会生態学の大学院プログラムはミルトン・N・カンポス教授、学生
のファビアン・プロバ、ナタリア・ロンフィーニ、アルミール・フェルナンデス・ドス・サントス、
アリーソン・カルヴァーリョ、ロザンゲラ・デ・カルヴァーリョ、レオナルド・ヴィアナです。プラタ
フォルマ・ブラジルに登録された進行中の研究の部分的な結果は、n. CAAEからの倫理証明書を持つ:
50100415.6.0000.5582.FAPERJ資金調達第2104842016019.

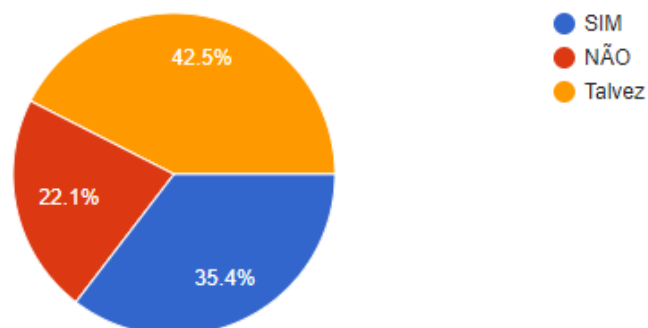
グラフ4 - THEを採用する際の抵抗に関連する理由



出典:Inter@tiva(2018) ¹

これらのデータは、抵抗要因が距離モダリティのコースに関する若者の決定に影響を与える可能性があるかと仮定します。この進行中の研究では、教室の若い学生が遠隔教育の公的機関の入試の準備をしており、このモダリティの大学に通うかどうかを知ろうとしていたので、回答者の64.6%が「いいえ」と「多分」と答えました。距離の大学に行くと言ったのはわずか35.4%で、距離教育機関の学生でさえ、このモダリティで卒業証書を取得することを望まないと宣言しました(グラフ5)。これは、CEDERJコンソーシアムは、この種の教育(VIANNEY、2009)でブラジルのメックと参照によってモデル機関と考えられているにもかかわらずです。

グラフ5 - イードモードで大学に通う可能性



出典:Inter@tiva(2018) ¹

ムーア(2007)にとって、学生の抵抗はいくつかの要因によるものです。そのうちの1つは、EADのコースが従来よりも簡単であることを発見し、別の現実に遭遇することです。さらに、EADでは、より責任を持ち、技術に精通する必要があること

に気付かなかったでしょう。著者によると、AEに対する抵抗につながる主な要因は次のとおりです。

-

THEはモダリティが容易であり、より少ない献身を必要とするという誤った認識。大きなフラストレーションは、それが正反対であることに気づいたときに続くだろう、

プロセスにおける学生より大きな役割の必要性のために、より大きな献身を必要とします;

-

使用されている技術との接続の欠如。この問題は、親しみやすさがあるとき、学生が正反対の認識をするので、この問題に悪い認識が続きます。

- コースの準備の失敗。

ブラジルでは、ABRAEAD(2010)が行った調査は、ムーア(2007年)の「学生側の誤った期待」の項目で、学生の51%が従来のシステム(CAREGNATO)が提供するよりも簡単なモダリティであると考えているため、DISTANCEのコースを中退したことを示しています。2006年、モウラ)ブラウアー(2008)が企業大学(UC)の抵抗をテーマに行った別の研究では、EADに出席する人の抵抗の伝導には8つの主要な次元があり、2つの特徴に分けられます: 一方で、私たちは個々のものを持っています:

(1)自己の自己伝導システムのために個人が持っている自己効力

(2) IT能力 - 個人が技術的要素を持つ親密さ。

(3) パフォーマンスの期待

個人が、これが自分の人生にどの程度影響を与えるかそして

(4) 努力の期待 - インタフェースなどのシステムで見られる容易さの程度

一方、環境に関連するものがあります。

(5)社会的影響とは、個人が他の関係者がシステムを使用すべきであると信じているという認識

(6)状況を促進する

技術的なセットと、個人がシステムの使用をサポートするために良いと考えるデバイス。

(7) 対話性 - 個人間の相互作用;そして

(8) 内部通信 – 応答の速度や通信システムの効率など、通信を含む要素。

THEとの接触を持っていなかった学生のために、Vianaは、3つの主な困難は次のとおりです:

(1)期待

(2) 自己効力; および

(3)技術との親密さの欠如。

メイレスとマイア(2002)にとって、否定的な認識は自分の学習結果を損なう可能性があるため、機関は学生の認識に注意を払う必要があります。EADの勉強に抵抗する理由を理解することは、大学のテーマを豊かにするのに役立ちます、これは統合された分野ではないことを考えると、しかし、それどころか、開発中です。

1.8 EADの正と負の側面

教育学習プロセスの任意のタイプと同様に、THEは肯定的および否定的な側面を有する(BELLONI,1999;ムーア;キアズリー,2010;ニスキエ、1999).肯定的な面では、コンピュータベースのコースで学生の認識を研究したカレニャートやモウラ(2006)などの研究者がいます。遠隔学習に関しては、研究者は、より大きな規律、仮想グループへのクラスのより激しい参加、およびファシリテーターとしての教師の役割の変革を伴う、時間の管理自体の柔軟性などの肯定的な経験を報告します。CaregnatoとMouraはまた、距離的なモダリティがグループ内のより低い相互作用を引き起こす可能性があるため、参加者の物理的な分散である技術への依存など、THEの否定的な側面についても議論しました。

表4 - THEの正と負の側面

EADのポジティブな側面	EADのネガティブな側面
• 利便性 • 学ぶ自律性 • 客観性 • 大規模な学生参加	• 技術依存性 • 物理的に分散した参加者 • より大きな学生のコミットメントの必要性 • ディスカッションの制限

• 講師として見られる教師 • ITC の操作	
--	--

出典:カレニャート・エ・モウラ (2006)

DISTANCEに関する対面教育に関しては、カレニャートとモウラ(2006年)によると、肯定的な側面は、クラスの接触と相互作用、機械の独立性、とりわけであろう。ネガ(図表5)は、変位、自分自身を表現するのが難しい、黒板とチョークと教師の権威として伝統的と考えられる技術の使用であろう。

表5 - 対面教育の肯定的および否定的な側面

THEとの対面の肯定的な側面	THEとの対面の負の側面
• クラス間の個人的な接触 • メディアを必要としない相互作用 • 機械の独立性 • トピックに関する議論の深化 • グループワークの可能性	• 授業に出席するロコモーション • 人前で自分を表現するのが難しい • 伝統的な技術の使用 • 教師の権威主義

出典:カレニャートとモウラ(2006年)、P. 11

CaregnatoとMoura(2006)によって上述されたTHEの負の要因に関して、ブラウン(2005)は、伝統的な教室のクラスで扱いやすいと思われる他の要因を追加することによって議論に貢献しています。著者が示す例は、学生が被験者やコースを楽しんでいるかどうかを理解しやすく、出席者の顔に刻印を付けたものです。身体のコミュニケーションは、生徒が特定のテーマを理解しているかどうかを教師が直接理解することを可能にする指標であり得る。そうでなければ、教師は他の方法で主題を説明しようとすることができます。EDでは、ブラウン(2005)の場合、教師は教訓的な紹介を変更することができなくなり、学生の理解が満足できるかどうかを診断するのに長い時間が必要でした。

ブラジルの大学キャンパスが大都市圏でより混雑していることを考えると、情報の提供と教育訓練の拡大を遠隔地に移すことができるため、教習プロセスの管理に関するこのモダリティの能力がTHEの肯定的なポイントの1つになります(BELLONI、1999;ニスキエ、1999;シルバ、2010).言い換えれば、THEは地理的に分散した人々が地理的位置に関係なく認知教育学習スキルを開発できる環境の創造を促進することができる(GARCEZ;ラドス、2002).また、学部の管理課程で行われた研究(SHILICKMANら、2009)、別の肯定的なポイントが浮上しました。学生は、主に研究ダイナミクス自体の組織の柔軟性に関連する要因のために距離モダリティを好むと結論付けました、すでに労働市場にいる人々によって高く評価されている属性.この研究は、シアとコルカボラドーレス(2001)が示唆していることを確認しています:THEを求める学生は、自分のスケジュールを作成し、それに役立つ場所で学習を開発する柔軟性の利便性によって駆動されます。

ムーア(2007)はまた、公共政策に関連する場合でもTHEが考慮される可能性がある」と報告しています。著者によると、学習機会へのアクセスの増加、スキルの更新、教育コストの削減、既存の教育構造の支援、教育システムの教育、年齢層間の不平等の平準化、特定のグループの指導、重要なグループのための緊急訓練、新しい分野でのスキルの向上、仕事、家庭生活と教育の組み合わせ、教育における国際的な経験の集約などの理由すべてが現代社会にとって重要な項目であろう(MOORE;キアズリー、2010).

1.9 社会、技術、EAD

トフラー(1997)にとって、現代社会は新しい変革、革命を起こしている。著者が波として理解すると、人類は3番目に達していたでしょう。最初の波は、遊牧民文明が農業になった約10,000年前の時間に関連しています。第二の波は、約200年前の産業革命に。第三は、1950年頃に米国と一部の豊かな国で出現し、情報革命に関連し、現在は富とみなされています。研究者(TOFFLER、1997)はまた、未来の戦いはもはやエネルギー源、商品や原材料のためではなく、インテリジェントなサービス

に加えて、通信チャネル、データベース、知的財産とその製品などの知識にリンクされた製品によるものになると考えています。

この革命を考慮したトフラーは、私たちが新しいタイプの社会組織である「知識社会」に住んでいるという理解から生きています。これは、経済技術(LASTRES)として考えられる情報通信技術(ICT)を通じた知識の管理を基礎と資本として持つこととなります。ALBAGLI、1999)、そのユビキタスな使用は、グローバル社会全体に浸透し、その経済的な結果は、日常生活の中で、避けられないからです(CASと、2015)。

今日、Casテルズによると、私たちは、新しい文化基盤を構成する情報および技術サービスにますますあこがれる社会に住んでおり、その価値はますます不可欠になっている(ValdiZ;オリリベラ・スミス, 2013;カルロス, 2007;カステル、2015;レヴィ、1999)

.新しい用語は、他の多くの人々に加えて、情報へのアクセスの増加のおかげでコミュニケーションによって結ばれる、人類の歴史の中で社会のユニークなモデルを指定するために、「情報社会」と「学習経済」として作成されています(LASTRES;アルバグリ、1999)。インターネットは、グローバル化した世界に浸透するICTの結果、完全に地理的に孤立した人々が情報に迅速にアクセスすることを可能にしました(SCHOENHERR、2001)。

このメディアと情報革命の裏で(CASと2015;ラストレス;ALBAGLI、1999)は、ICTがますますその拡大のための技術的支援として使用されているので、ダイナミックな成長の過程でEADにきます(FORMIGA;リット、2009).いわゆる「サイバー空間」を構成する仮想空間の創造により、社会は知識を生み出し、アクセスする他の方法(LÉVY、1999;2007)にアクセスし始めました。サイバースペースは、EADなどの教育学習の選択肢の成長を可能にし、開発する大きな力を持つことを可能にしました(FORMIGA;リット、2009).この成長は、インターネットのグローバルな接続と散布、時間と空間の柔軟化、運用コストの削減など、流通などの利点の出現を可能にしました。(カンポス、2015a;ANT;リット、2009;ニスキエ、1999).技術の進歩は、情報の転送のための新しい可能性を作成し、異なる時間と空間での教育を可能にします(アルバレス;オリリベラ・スミス、2013).

電子メディアのこれらの進歩は、EADの使用を最大化します。これらの施設やその他の施設では、近年EADの成長が著しく増加しています(PACHECO、2007)。また、学生が自分の生活に固有のスケジュールとダイナミクスに従って、情報にアクセスできる社会の一部に柔軟なタイプの教育が必要です(VILLARDI;オリベイラ、2005)。この必要性から導き出された概念は、新しい教育要求の履行に沿っているため、今日の社会でますます存在するオープンな教育モダリティの考え方の根底にある(ROCHA;バルディビア;フィエロス、2015)、世界経済秩序の変化に起因する(BELLONIら、2002)。つまり、インターネットなどのサービスが世界中に広がるにつれて、フォルミガとリト(2009)によると、コースの需要も増加します。THEの普及は、今日のインターネットの可能性に基づく情報通信技術(CiT)のおかげで行うことができる行動のダイナミック性に本質的に関連しています。これは、技術を使用する可能性のおかげで、それを採用する機関は、時間の限界や教育活動の発展のための物理的な場所の必要性から自由であるため、THEを促進する可能性を高めるであろう。したがって、特に伝統的な教育にアクセスできない、またはアクセスできない人のために、別の方法で学ぶことが容易になります(FERREIRA、2010;ムーア,2007;ムーア;キアズリー,2010;シルバ、2010;ヴィアナ;プロブア、2015)。

THEは、対面と同様に、長所と短所を持つ教育モダリティであることを強調することが重要です。一部の減算、他の人は、新しい教育の可能性を追加します、特定の特性内に到達する特定の目標を可能にする(GOMES、2008)。しかし、サイバー空間で開発された正式な教育は伝統的な対面(SANTOS、2006)と同じ公的認識を持っていないので、THEに関する肯定的な認識は信用を持っていないようです(BELLONI、1999)。ヴィアナ, 2011;ヴィアナ;プロブア、2015)。

このように、社会の拡大のあらゆる可能性を持っていても、その起源と動機がEADに対する抵抗に影響を与える一連の偏見が生じました。

1.10 モード効率

実際には、否定的な認識につながり、この現代的な教育形態に対する抵抗に至る理由は、最終的な目的のTHEに適応した教授法の非効率性に関連するであろう。つまり、THEが学習の評価に期待される結果を達成することを許さなかった場合

にのみ、偏見の具体的な正当性がある可能性があります。しかし、DISTANCEと対面教育の有効性の同等の程度を指す研究(CARLOS、2007;AISA;サントス,2009;ANT;リット、2009;ムーア,2007;ムーア;キアズリー,2010;VIANA,2011)は、距離モードに対する偏見と抵抗性が根拠がない可能性があることを示唆しています。カンポス(2015)にとって、モダリティ以上に違いを生み出すものは、使用される方法です。例えば、リオデジャネイロ連邦農村大学(UFRRJ)では、距離モダリティの管理コースは、直接提供された同じコース(UFRRJ、2017)よりも高い学年を取得しました。発行されたランキングでは、距離モダリティのこのコースは、国のコースに作ることができる最高のグレードで分類されました:これは孤立した事実ではありません。

シルバ(2010)が報告したブラジルでの比較調査によると、CEDERJコンソーシアムのEADのモダリティと対面の間には、会計科学の特定の分野(一般会計IとII、管理会計、財務諸表の分析、財務諸表の分析)に関して大きな違いは存在しません。調査によると、学生の学習におけるパフォーマンスは、これらの分野において、評判の良い大学の対面コースで教えられ、ADに基づくコースを通じて教えた場合、上記のコンソーシアム(評判の良い大学によっても提供される)が同等であった(SILVA、2010)。同じ結論は、Cacique(2001)によって行われた研究によって指摘されました。

ミナスジェライス連邦技術教育センターでは、職人ブランデーの生産と制御の方法のコースのインターネットを介して対面および非対面のモダリティと比較すると、それらが似ていることがわかりました。この分析では、個々の学習軌跡が異なっているにもかかわらず、テストで学生の成績が明らかにした成績の平均が同等であることを認識しました(CACIQUE、2001)。

しかし、さらに多くがあります。ペルナンブーコ連邦大学の学生がADの経験を持っていた調査では、合計の64.8%がその経験を肯定的と宣言していることがわかりました。また、高齢者は、AD(CARLOS、2007)のモダリティに参加することに大きな関心を示しています。INEP(2007)が実施した調査では、異なるモダリティの比較評価の13の可能な分野のうち7つの分野で、コースははるかに優れていました。

オープン大学の英国研究者のために、マイケル・ムーア(2007)世界の様々な地域で学習の面で劣っていません。この学者によると、伝統的なものと比較して、THEを使用して提案を教えることを研究した複数の著者は、多く

の場合、第二と同じレベルで学習の質を提供することができるとして前者を指していることが分かる。

DISTANCEと対面教育の同等の有効性を指摘する研究が十分に根拠がある場合、これは距離モードに対する偏見や抵抗が根拠がないことを意味し、我々は主張する。要するに、THEの障壁は技術だけでなく、偏見や否定的なイメージのために社会的な分野では、常識の構築であり、客観的な基盤の何かではありません。したがって、否定的な社会的認識と象徴的な認識、すなわち社会的表現は、現代のAEdの主要な障害の1つであり、技術的障壁ではない可能性があります。

1.11 社会表現とTHE

AEdに対する偏見や抵抗の問題は、社会的表現に関連する数多くの研究で浮上しています。社会表現の研究のラインの中には、ジャン=クロード・アブリック(1998)によって作成された中央核のものである。この行の中で、この問題に関するいくつかの経験的研究が発見されました(BARRETO;メネセス;モスコン, 2016;コンセプション;シルバ、米国;ユーゼビオ, 2011;マルキソッティら, 2017;SANTOS、2006)から、中心核の概念を用いて比較基準を抽出することができました。この考え方については、この問題の後で深く取り組む予定です。しかし、下記の表6を理解するために、我々は、共通の社会的表現の基礎に対応する「中心核」は、あるグループの記憶からの合意は、ある程度の安定性とグループの集合的变化に対する抵抗性を提示することを指摘するであろう(SÁ,1996)。

上述の実証研究に関する結果を整理し、THE(図表7)に触れた人とTHE(図表6)と接触したことがない人を表しています。

表6 - AEdとセントラルコアとの研究との比較 - THEと接触しない人々。

研究	セントラルコア	公共	シ ョ ー (人)	EAD の結果	観測
ブラジルの視点 からの遠隔教育 の社会的表現(M ARCHISOTTIら 、2017)	柔軟性、容易さ、 実用性、規律、時 間、安い、コスト 、機会、インター ネットと利便性	明示 的な 利便 性	1 0 0	肯定的 な認識 EAD	81%が少なくとも大学院のコースを 持ち、その34%が修士号を持ってい ました。 結果は、次のようないくつかの注意 点で肯定的と見なされます: メソッドの非効率性, 教師との相互作用の欠如と可能な市 場切り下げ
遠隔教育の社会的 表現 (SANTOS、2006)	容易 フレキシブルアワ ー 利便性 インターネット いち早く	大学 教室 教育	1 9 5	柔軟性 に対す るポジ ティブ なイン サイト 結果と 努力に 悪影響 を及ぼ します 。	大多数は、市場がeadの卒業証書(学生 の3/4)とその周辺システムの言葉を「 疑わしい」と区別していると言いま す。THEと接触している人は、否定 的な反射の傾向が少なくなります。 テストや変位を持たないので、快適 さと柔軟性の感覚を持つ学生
オンライン遠隔 教育における教 師と学生の社会 的表現:抵抗お よび/または偏 見? (コンセプショ ン;シルバ、米 国;ユーゼビオ 、2011)	経済学と表面性、 孤独	教員 ・大 学生 高等 教育	2 0	—	85. 7%は対面コースで取得した卒業証書 が市場でより多くの価値を持っている ことを考慮します。

表7- AEdと中央コアとの研究の比較 - 距離モードに参加する人々

研究	セントラルコア	公共	ショールーム(人)	EADの結果	観測
遠隔教育の社会的表現 (SANTOS、2006)	イーズ、柔軟な時間、自由、利便性、速度	大学距離高等教育	201	ポジティブな洞察	彼らは、卒業証書は対面と同じ価値を持っていないと信じています。「怪しげ」や「インターネット」などの概念の周辺に出現。勉強する柔軟性が、多くの献身とインストゥルメンタルと実用主義としてのTHEの理解
オンライン遠隔教育における教師と学生の社会的表現:抵抗および/または偏見? (コンセプション;シルバ、米国;ユーゼビオ、2011)	自律性、未来、教師の準備、未来	教師と大学生遠隔高等教育	20	—	85.7%は対面コースで取得した卒業証書が市場でより多くの価値を持っていることを考慮します。「経済」や「表面性」などの言葉が見つかりました。
遠隔学習と雇用可能性に関するEaDの学生の社会的表現 (BARRETO;メネセス;モスコソ、2016)	難易度、柔軟性、認識、時間と利便性	大学距離高等教育	26	+	参加前の学生は、モダリティが難しいと考えました。 負の側面は、あなた自身の研究を管理することの難しいです。 EADの就職市場と学生の雇用可能性について、学生から懸念はありません。

上の表6と7から出てくるいくつかの問題を以下に示します。

サントス(2006年)では、

距離モダリティでは、78%の学生が教育の質について心配していないと答えていますが、この答えは、ほとんどの場合、市場が対面コースと同じ価値を適用していないと答えることを妨げるものではありません。この同じ研究では、著者

(SANTOS、2006)は、

このグループのために、THEの選択に関する器械的かつ実用的な価値があることを繰り返します。前述の研究では、たとえポジティブバイアスがあっても、市場の期待を考えると、主にEADモダリティの卒業証書の性質に関する恥ずかしさがあることは注目に値する。

1.12 研究課題:第一のアプローチ

これまで広く議論されているように、THEは高等教育における正規年齢ではない人々のための第二選択のモダリティであった(BELLONI、1999;カシケ,2001;ヴィアナ、2011).しかし、時間の柔軟性など、実用的な利点は数多くあるようです(GOMES、2008;ニスキエ、1999).学習に関する損失がない場合(フェレイラ、2010;ムーア,2007;SILVA、2010)、なぜ遠隔教育はまだ抵抗と偏見の下にあるのですか (BRAUER, 2008;コンセプション、シルビア;シルバ、ベント・ドゥアルテ・ダ ;ユーゼビオ, 2011;ヴィアナ、2011)?

特定の著者(コンセシサン;シルバ、米国;EUZEBIO,2011)には、感情や社会的文脈など、意思決定に関連する他の要因があります。その効果は、彼の日常生活と社会のプレッシャー

(STRUNGA、2015)に起因して、彼が自分自身に忠実であると理解していることに基づいて決定を下すので、その効果は実用的であろう。

意思決定は、合理的なが、常に表現によって形成された否定的または肯定的なイメージシステムを通過します(CASTELLS, 2015;ダマーシオ、1995年、2004年)

THEのオプションによる意思決定は、通常、労働市場におけるモダリティの受け入れに関する否定的な社会的圧力によって生じる社会的に構築された画像に関連する以前の感情的要因を考慮に入れることができる。社会的シンボルは効果的な障壁になります(CONCEIÇÃO;シルバ、米国;EUZEBIO, 2011)の否定的な表現以来、「結晶化された態度として、そしてこの種の教育の有効性への象徴的な障害として表示されます」(CONCEIÇÃO;シルバ、米国;ユーゼビオ, 2011, p 1273).

我々の見解では、EADに対する抵抗の構造には、個々の要因に関連するマイクロの2つの力があるようです。社会的側面にリンクされた別のマクロ。特定の著者によると、両方の要因 (CONCEIÇÃO;シルバ、米国;ユーゼビオ, 2011;STRUNGA、2015)、意思決定に直接主題に影響を与えます。彼らによると、個人が自分の人生に利益をもたらすことを理解していても、彼は彼の個々の理解を裏

付けない社会的表現があることを認識したとき、彼は彼の行動を変え、彼/彼女の教育に関連して労働市場の将来の罰を予見する。

この点を考慮して、この章で紹介するこの問題に取り組んだ多数の著者が議論した問題をさらに探求したいと思います。したがって、最初の研究の質問は、これらの研究者の貢献で特定されたギャップに基づいていました。この研究の目的は、偏見と抵抗をTHEにマッピングし、新しい視点で概説された現象の絵を提示することです:この研究の中心的な要素であるagorasの、理論的アプローチの提案と社会表現の理論の一つの側面の方法論的枠組みの重要な修正に起因する質問の処理に独創性が与えられる。この意味で、我々は、この研究の後半で定義されるアゴラ概念を中心に特徴づけられる、そのグループとの社会的表現の関係を強調する。理論の章の最後に、以下に示す反省に従って研究の質問を再開します。

象徴的なコミュニティへの社会的表現の2

本章では、我々の研究の精緻化に関する3つの理論的な側面を論じろいろと考える。まず、社会表現理論に関するアプローチについて簡単に説明します。第二に、相互作用における交流の過程を説明するために採用した感覚の生態の理論を紹介する。最後に、後で話す社会表現の研究にしばしば使用される、喚起方法の補完的なモデルとして採用する交流の形成メカニズムであるアゴラ仮説を提示する。

2.1 社会表現

2.1.1 バラは話さない:表現から社会的表現へ

結局のところ、何かを表すものは何ですか?人間の心は、精神的なイメージを内部で保持し、再現する能力を持っています、それらを注文し、それらを意味を与えることに加えて、.これが私たちが表現と呼ぶものです(DAMÁSIO,1995,2004;ピアゲット、1964;ヴィゴツキー;セメノビッチ、2014).このストレージは、単にビジュアルイメージ用ではありません。「音のイメージ」や「嗅覚画像」(DAMÁSIO、1995、2004)などもあります。

これらの多様な知覚画像は、現実の過去から呼び起こされ、将来の計画から呼び起こされる - 脳の構造です。確かに知ることができるのは、彼らが自分自身にとって本物であり、同じタイプのイメージを構築する他の存在がいるということです。私たちは他の人間と、あるいはいくつかの動物と、私たちの世界の概念が支えられているイメージを共有しています。異なる個人が環境の本質的な側面(テクスチャ、音、形、色、空間)に詳しい構造に顕著な一貫性があります。したがって、私たちが心に持っているイメージは、私たち一人一人と私たちの生物を取り巻く物体との相互作用の結果です。(ダマシオ、2004年、p.116)

心は表現を作成し、それらを蓄積し、それらを整理することができます。意味の帰属によって、私たちが「思考」と呼ぶものを通して表現する意味を生み出します。これらの表現は、例えば、行動を行ったり、将来のアクションを操作したりすることが可能です。表現は、主題の相互作用の実りである(DAMÁSIO、1995年、P.

108)。人間の表現は意味を言語と文化に結び付ける。意味のセットは、グループの

メンバーによって共有することができます (HALL, 2009).

しかし、感覚は世界とそのオブジェクト、人、出来事、事実などに関連する他の変数に依存しますが、象徴的表現は人間に排他的ではありません。例えば、イタリアの霊長類学者エリザベタ・ヴィサルベルギがローマの認知技術科学研究所が行った研究では、アメリカ大陸最大の霊長類であるカプチンザルは、たとえ不完全であっても、シンボルの精神的表現に必要な認知回路を有すると結論付けられた(ADDESSI et al., 2008)。

しかし、人間には、抽象化と象徴的な操作のための大きな能力があります。使用および問題解決の目的を表す能力は、小児期に生まれ、感覚運動期(18～24ヶ月)から、子供たちが表現と思考を構築し始める(PIAGET, 1964)。

アリストテレスは、すでに知識は、画像や精神的表現の力なしで普及することはできないと述べた(MARKOVÁ, 2003)。

マルコヴァにとって、「現在知られている精神的表現は、鏡や自然の兆候であり、象徴的な構造の形式化であり、脳内のプロセスとルールである」(2003年、p. 34)。

カルトラとして知られる偉大なブラジルのサンビスタ詩人アゲノール・デ・オリベイラの言葉を言えば、「バラは話さない」(O GLOBO, 2007)。

詩人は、この文の中で、比喻で、表現の力、一般的に、そして社会的表現の力を要約する。バラは、オブジェクトとして、客観的な物理的な世界に属するものとして、私たちの心(表現)に保存されています。しかし、それは、美しさと繊細さのものになる客観的な世界を超えた意味を持っています、とりわけ、花のカテゴリに属する以外に、

このような心地よい匂いや調和などの精神的なイメージの別のシリーズを渡すことができます。これらの意味は、私たちの文化(社会的表現を構成する)でまとめて共有されています。誰かにバラを与えることは、単に植物を提供するのではなく、意味に満ちた愛情の行為です。客観的な観点から見たカルトラのフレーズは明らかです。しかし、私たちが与えることができる意味は数え切れないほどです。バラはポルトガル語を通して意味を生み出すのではなく、人々はバラに意味を帰属させる。結局のところ、「バラは話さない」ので、これらの線の真実性についてこれらの花を尋ねても無駄でしょう。

2.1.2 認知革命と社会的表現:夢を共に夢見る夢は現実

私たちは今、認知革命の視点の中で、社会的表現の形成の読み取りを行います。この研究の文脈では、生物学的社会的側面が社会的表現の概念を形成し統合し、人間と人類に関する今日の理解の構成要素であることが理解されています。ここでは、自然の人間現象としての社会的表現(RS)と社会表現理論(RRT)とその様々なアプローチの違いが、Sを研究する分野として強調する。

人間の種(ホモ・サピエンス、ラテン語の「賢者」から)は、少なくとも20万年前から西アフリカに生息していました。その遊牧民のライフスタイルは、世界中に自分自身をスプレーする種を引き起こしました(SANTOS;DIAS、2013)、より高度なツールを構築し、その生存に欠かせないものになり始めました。これにより、種は様々なタイプの環境に適応する能力を持ち、縫製アーティファクトから切断まで発展しました。70年から3万年前の間に、ホモ・サピエンスは弓矢、ランプと容器を開発し始めました(PRADEEP、2012;セインツ;日、2013)。また、この時点で宗教と社会階層の最初の兆候、つまり、私たちは物語を伝えるだけでなく、それらを信じ始めました。この期間は、人間の認知革命と呼ばれています(HARARI、2017)。言い換えれば、ハラリによると、私たちは言語で対話し、社会的にこの情報を共有することができました。

認知革命は、人間が彼のコミュニケーションで信じられないほどの汎用性を開発することができました。しかし、それ自体は、その偉大な知性の唯一の理由ではなく、特にメンバー間のコミュニケーションの形によって形成されるであろう(HARARI、2017)。

バイソンや他の動物の位置など、世界に関する客観的な情報よりも、人間のコミュニティについて知ることが重要でした。重要なことは、誰が誰を導いたのか、誰が誰を導いたのか(FREEMAN, S.;ヘロン, 2009;2017年ハラリ;プラディープ、2012)。

ホモ・サピエンスは主に社会的動物です。実際、複雑なやり方でコミュニケーションを取る行為だけが、人間に彼の偉大な知性を与えることはできないでしょう。昆虫や他の動物は様々な方法で通信します:霊長類の特定の種では、個人は捕食動物の到着を群れに伝えることができます。

ミツバチは花のハイズの正確な場所に移動することができます。私たちを「人間」にするのは、情報交換の複雑さだけでなく、社会的に進化したコミュニケーションは物質の観察を超えて、例えば触れたことも感じたこともないもの、主観的な新しい世界を作り出し、完全に見えない、現実の一部として信じるものを表すかもしれません(HARARI、2017)。

したがって、認知革命と社会的表現は、主観的と世界の目的という2つのタイプの現実の形成を可能にするであろう。

この物語のネットワークを通じて人々が作り出すものの種類は、学界では「フィクション」、「社会的構造」、「想像された現実」として知られています。嘘とは異なり、想像された現実是谁もが信じているものであり、この共通の信念は持続しますが、想像された現実の世界に影響を与えます。認知革命以来、*サピエンス* は二重の現実の中で生きてきた。一方で、川、木、ライオンの客観的な現実。一方、神、国家、企業の想像現実。時間が経つにつれて、想像現実はさらに強力になったので、今日、川、木、ライオンの生存は、神々、国家、企業などの想像上の実体の恵みに依存しています。(ハラリ、2014年、p.38)

社会的に表現するという事実は、他の種の男を強調しています。例えば、サルとしての霊長類は「自分の視野から奴隷の奴隷」(VYGOTSKI、1991)です。

デュルクハイム(1999年、*apud*

MOSCOVICI、2000、p.180)にとって、「概念を持って考えない人は、社会的存在ではないので、個々の認識だけに制限されるので、彼は動物と変わらないだろう」。基本的に、概念と社会は人間としての基盤の一部です(MOSCOVICI,2000)。

生物栽培や社会文化史の中で種の個人の心の中で開発されたスキルを作成し、コミュニケーションし、妊娠させるスキルは、したがって、人間性の不可欠な部分である(MARKOVÁ、2003)。

言語は概念を人と人と結び付け、例えば、現実の物体を、出来事から想像力の世界まで、私たちに知ることができます(HALL、2009)。

ヴィゴツキー(1991)にとって、世界は単に色と形を持つ客観的な平面上ではなく、意味と感覚の世界としても見られます。時間を見るという単純な行為は、客観的な理解よりも複雑なものをそれ自体が運びます。「私たちは、丸くて黒いものが両手で見るだけではありません。私たちは時計を見て、片手を別の手と区別することができます」(VYGOTSKY,1991, P. 25)。

社会的に受け入れられた概念のいくつかは、人間の想像力の単なる溶出物です。例えば、会社で働く現代人を見てみましょう。この概念は、物理的計画に存在するのではなく、集団社会構築の結果として存在します。ポルトガル語と英語で、ラテンコーパスから「法人」または企業という用語を使用する会社を指定します。私たちは、社会体を作成し、それを維持し、独自の個性を持つ生物としてそれを供給します。私たちは、この体の中で明確に定義された行動規範を持つ俳優のための役割を行動し、作成します(HARARI、2014)。

ホモ・サピエンスの認知後革命は、通貨のような非常に複雑な概念を作り出します。この社会的概念は、発行国と運営者の間の相互信頼に基づいています:人々が発行されたお金が価値を持っていると信じないようになれば、それは受け入れられなくなり、単なる紙になります。ブラジルのマネーノートを他の国に持ち込む場合、他の国では通貨が有効であるとは一括して考えられていませんので、交換事務所の外では受け入れられない場合があります。それは価値のない紙です。南米のエクアドルなど、他の国では通貨は米ドルです。この場合、独自の通貨を持っていないにもかかわらず、エクアドルは国家として存在しないとは言われません。2002年には、ユーロはドイツのマーク、フランスフラン、スペインのペセタ、イタリアのリラ、ポルトガルの盾などのコインを置き換えると考えられていたが、とりわけ、ヨーロッパは金の棒を溶かせず、新しい通貨に変換しただけだった(THÉRET、2008)。

国家の概念そのものは、誰もがいうという集団的な虚数に基づいています。非常に少数の例外を除いて、国を分割する国境のほとんどは、カートグラフィックマップと税関の複雑な回遊プロセスにのみ存在するため、仮想です。ブラジル人、アメリカ人、フランス人につながる遺伝的組み合わせの引き出し以上に、それは物理的な形質ではなく、ルール(法律、規範など)によって規制された象徴的な単位内で、それを信じる他の人のそれによって支持されていると主観的アイデンティティです。

社会的および生物学的力学は、直接的でおそらく普遍的なつながりを持つことができます。モスコビッチ(2000)によると、私たちの社会の形成を助けた2つの原則は、一貫性と安定性です。マルコヴァー(2003)は、個人が内部に一貫した構造で自分の信念を整理しようとすることを示唆しています。その結果、人間は不安定な構

造よりも安定した構造を好む。社会心理学のいくつかの研究は、グループを形成する個人は、自分の現状を維持し、紛争を避けるために同様の意見、好みや行動を持っている傾向があると言います(MARKOVÁ, 2003;モスコビッチ、1978).マルコヴァ(2003)にとって、安定性は停止することを意味するものではなく、この現象をジャン・ピアエ(1976)のバランスの理論と分析する際に当事者間の継続的な行動感があり、著者が観察する過程は動的である(MARKOVÁ, 2003)。

国家、通貨、国籍、すべてが私たちがつながっていると信じている社会的シンボルの一部であり、個人のグループやコミュニティに安定と一貫性を提供します(MARKOVÁ, 2003;MOSCOVICI,2000)特定の物理的、象徴的な領域、またはその両方を共有しています。安定と一貫性によって社会的に構成されていることを理解する際には、次の3つのことを考慮に入れる必要があります。

- (1) 自然界と社会の両方を知っていると考える。
- (2) 当社は、他者が追跡した体験を利用する。そして
- (3) アイデアや信念は、クラブ、一族、教会、家族(MOSCOVICI、1978)などの既存の社会構造に直面することを可能にします。

文化の概念そのものは、客観的な世界と主観的で社会生活を統合する現実によって形成されたこの理解に結びついています。

文化の概念は本質的に記号的です。マックス・ウェーバーのように、その人は自分が織った意味の天井に縛られた動物であると信じて、私はこれらの天井とその分析として文化を取ります。したがって、法律を求める実験科学としてではなく、解釈科学として、意味を求めて。(ゲールツ、1989年、p. 15)

ルウィンの言葉で (1948, *apud* MOSCOVICI, 2000), 「現実とは、人のために、主に現実として社会的に受け入れられているものによって決定されます。しかし、個人の存在は、私たちがグループやコミュニティに属していることを理解することから私たちを排除し、社会的現実を受け入れ、社会そのものに私たちを統合するものではありません。1974年に書かれたラウル・セイシャスの歌を通じてブラジルで知られる「夢は夢、夢が現実である夢」という言葉は、ミゲル・デ・セルバンテス・サアベドラ(詩人、劇作家、スペインの小説家、有名な作家、ドム・キホーテ・デ・ラ・マンチャの作家)に起因する。この文は、このサブセ

クションを要約しています:現実を客観的な世界としてだけでなく、私たちの認知能力を通じて構築されたアイデア、夢、社会的に構成された積み合いを一括して信じることによって、私たちはインタラクティブに、私たちの主観から変換します。単純な思考の行為は、客観的な世界に対する私たちの認識、認知、感情と共に構成される、内なる現実のプロセスを反映したダイナミックな行為です。

2.1.3 社会表現理論(RRT)

RRTは1961年に提案された(アルメイダ;セインツ;TRINDADE, 2014)セルジュ・モスコビッチによる社会心理学研究の観点から表現のテーマを再開しようとしています (MOSCOVICI, 1978;SA, 1996).社会表現論は、科学的枠組みとしての体質におけるプラグマティズムを示唆するものではなく、人間性そのものの対話性に基づく常識の論理を示唆している。それゆえ、文化、伝統、言語(マルコヴァ、2003)の過去において、日常の思想、いわゆる「常識」によって生み出される自然と社会現象が確立されています。特定のグループに属する個人の間でこの情報を保持し、広めることができるチャネルのシステム内の人々の相互作用なしに社会的知識は存在しません (MOSCOVICI, 2000;ローマ、1992).

モスコビッチの定義(2000)では、社会的表現は「対人コミュニケーションの過程で日常生活の中で生まれた概念、命題、説明のセットです。彼らは私たちの社会では、伝統的な社会の神話と信念システムに相当します:彼らはまた、常識の現代的なバージョンとして見ることができます。(モスコビッチ、2000年、P. 45)

Jodelet(2001)にとって、社会的表現の定義は、「社会的に精巧で共有された知識の一形態であり、実用的な目的を持ち、社会的なセットに共通する現実の構築に貢献する」。著者ジャン=クロード・アブリック(2004)は、それが「個人またはグループが直面し、特定の意味を属性する現実を再構成する精神的活動の製品とプロセス」であると述べています。Geertz(1989)は、個人や個人のグループが行動を導く心理的構造として文化を置くことを示唆しています。最後に、スチュアートホール(2009)は、表現と文化を「共有概念図」と定義し、社会表現がどのようなものかを理解することに貢献します。

表現は、文化のメンバー間で意味を持つ要素を生成し、共有するプロセスの重要な部分です。文化が「共有感覚または共有概念マップ」の観点から定義されることがあるのは偶然ではありません(HALL,2009, p. 45)。

表現の考え方は、社会的に受け入れられ、使用された概念と関係があり、現実の伝導または生産を支援することができる。社会表現は、個人や集団に関して一種の雰囲気と見なされるべきです(MARKOVÁ,2003)。

例えば、金融にリンクされたグループの場合、赤い数字は否定的な性質(MOSCOVICI, 2000)のようなものと見なされ、社会的に受け入れられ、この媒体の理解の一部です。「私は赤に入った」などのフレーズは、このアイデアを反映し、誰かがお金がないと言う意図で、すなわち、中心的な考えの表現があります。対象物のグローバルイメージは、比喩的な核(SÁ, 1996)と呼ばれています。

社会表現理論は、2つの社会認知と方言レベルで構成されています(MAZZOTTI, 2005; MOSCOVICI, 1978) - 2つの観点から観察される:(a)個人 - 集団の共通要素の個別に開発され、配布された表現であり、(b)集団 - グループ内の被験者のコミュニケーション関係から来る、社会的グループの個人によって生成された社会的に共有された表現に関する。しかし、環境には自律性と条件付けの両方があり、自然であれ社会的であれ、Moscovici(2000)によると、2つの特定の機能を持つ表現があることを受け入れます。

a) まず、彼らは彼らが遭遇したオブジェクト、人やイベントを慣習化します。彼らは彼らに決定的な形を与え、特定のカテゴリにそれらを見つけ、徐々に特定のタイプのモデルを配置し、明確で、人々のグループによって共有されます。b) 第二に、表現は規範的であり、すなわち、彼らは魅力的な力として私たちに自分自身を課す。この力は、私たちが考え始める前に存在する構造の組み合わせであり、伝統は何を考えるべきかを定めています。(モスコビッチ、2000年、P. 36)

つまり、社会的表現は、従来の表現と規範的な両方と見なされ、すなわち、彼らは前に、社会的行動と関係の指導として役立つ(MOSCOVICI, 2000)、主題に自分自身を課す(ABRIC, 1998)。Abric (2004, p. 14)の表現は、社会のダイナミクスと実践において基本的な役割を果たし、それらをサポートする4つの機能があります。

- 知識の機能:現実の種類を説明または理解することができます。

-
アイデンティティ機能:被験者とグループとの関係を位置付け、個人および集団のアイデンティティを定義します。

- 指導機能:社会における個人の慣行と行動を行う。

- 機能を正当化:被験者が行為と位置を正当化することができます。

社会表現は、世界や人々の様々なイメージを構成する物理的および社会的環境で識別することができます。また、新しい表現による表現を継続的に追加、交換、廃棄します(ABRIC、2004;ホール,2009;ジョデレ、2001年、2005年)

社会的表現の目的は、モスコビッチ(2000)がアンカレッジと異議申し立てと呼ぶ二重のプロセスを通じて、個人にとって、家族になじみのないものを変えることだ。異議申し立ては、コンクリートを表現に同化するプロセスであり、アンカレッジは、表現されたオブジェクトを認知的に既存の思考システムに統合する機能を有する(JODELET, 2005;モスコビッチ、2000)。
したがって、この二重プロセスは次の処理を生成します。

- 異議申し立てシステム -

見慣れない何かを見慣れたものに変換し、象徴的な品質をアイデアに帰属させる。

- アンカーシステム -

過去の記憶と結論に基づいて、何かを分類し、命名することは、あなたが何かを分類できないときに抵抗が経験される理由です。

分類と、同時に名前を付けることの活動は異なります。私たちが何かを呼び出すとき、私たちはモスコビッチが「不穏な匿名性」と呼ぶものからそれを取り除き、私たちの文化的な貯蔵庫に命名されたこのオブジェクトを組み込んでいます(MOSCOVICI,2000, p. 66)。

これは、私たちの文化のマトリックスでこの新しいオブジェクトを見つけるための系譜を提供します。すでに慣れない、合意の宇宙を作り出し、私たちが動くことができる。モスコビッチ(2000年、p.59)によると、親しみやすさのプロセスは、私たちが社会として知っていることの中で、グループと個人に継続性の意味を与えることによって、私たちを「確認し、慰める」。つまり、研究者にとって、社会的に表現することは、不慣れな人々を取り除き、不連続性と意味の欠如によって脅かされるグループをリードしています。それでも心理社会学者によると、したがって、集団

性が作動することなく、画像と感覚の基質を構成する常識を再構築する必要があるが続いている。

RRTのもう一つの重要な概念は、ヨヴチョロヴィッチ(2014)の言葉で「外部の観察者にとって不合理または間違っているように見えるものは、知識の主題にとって意味があり、個人とコミュニティに何を表現し、意味するかに関連している」という「認知多形症」と呼ばれるものです。つまり、この概念を通して、絶対的な真理はなく、各社会に従った真理のバージョン(JOVACHELOVITCH、2014;モスコビッチ、2000).この概念の一例として、私たちの社会では、人が病気のために、医師が自分の病気を選ぶのは当然であるということが観察できます。しかし、先住民族では、シャーマンは健康における権威の表現であり、白いコートを着た人ではありません。これらの概念は、各社会集団またはコミュニティの理解に応じて交互に行うことができます。しかし、一方では、部族が間違っているという理解を引き出す必要はありません。白人は間違っているだろう。良い医学になるものの概念でさえ、世界で最も人口の多い国である中国のように、大多数の住民が西洋の同道性を利用するのではなく、伝統的な中国医学を利用しています。しかし、ブラジルなどの他の場所では、その妥当性は紛争や論争の対象となります(FOLHA DE SÃOPAULO、2013)。

私たちは、グループのためのvalorは、1つが価値を学ぶものになることができます。例えば、金を求めてアメリカ大陸に到着すると、フランシスコ・ピサロ・ゴンサレスは現在のパナマに上陸し、この地域のインディアンを奴隷にし、カラベルを解体し、太平洋で奴隷部隊で再構成しました(BUENO、2018)。

これは、ダリエンの地峡を横断した後、この日にアメリカ大陸で最も危険な地域の一つと考えられています (BBC, 2018), "エルドラド"を求めることを目的と(ペルー).スペイン人にとって、金は幸運とファウストのアイデアでしたが、その地域のケチュアインディアンとインカインディアンにとって、金属は金銭的価値を象徴するのではなく、「太陽の神の涙」(BOUYASSE-CASSAGNE、2017)を象徴していました。

これは、社会的表現から世界や感情を理解する論理まで、グループと個人の両方で見ることができます。このトピックでは、哲学者、物理学者、数学者ルネ・デカルト(2001)の貢献を追加することができます。彼の著書「方法の言説」の中で、彼は「

常識は世界で最も分配されたものである:誰もが彼らがそれで非常によく提供されていると思うので、他の何かを満たすことが最も難しい人でさえ、通常、彼らが持っているよりも常識を望んでいない」と述べています。したがって、誰もが間違っているのはベズミリミルではありません。しかし、それどころか、これは、真実を判断し、偽と区別する力(まさに私たちが常識や理性と呼ぶもの)が、すべての人において本質的に平等であることを示しています。したがって、私たちの意見の多様性は、他のものよりも合理的であることから生じるものではなく、私たちがさまざまな方法で考えを行うだけである」(デカルト、2001年、P. 5)

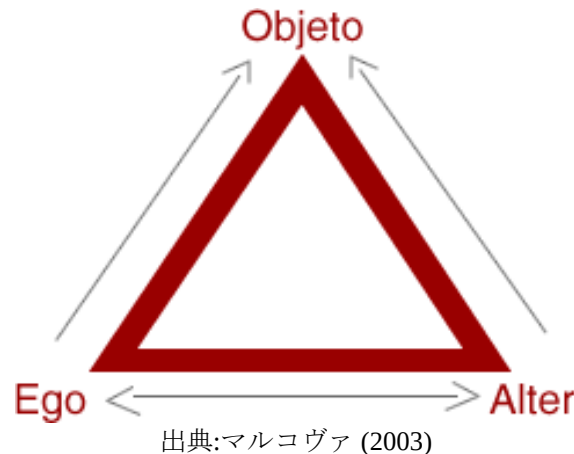
認知多語学のこの読み取り - 個々に理解された論理と社会的表現 - それは、すぐにこの研究で提示され、議論される社会集団への様々な帰属を考慮に入れて提案されるアゴラスの論理の主題から拡張されます。

2.1.3 社会表現における対話性

社会表現理論を導く心理社会的アプローチをよりよく理解するために、Moscovici(2000)は、主題対象の三角測量を指導パラメータとして扱う必要性を追加します。言い換えれば、EU (EGO) -その他 (ALTER) -OBJECTの間に三角形があります。これらは、ダイアログシティから構成される 3つの固定されたが動的なエンティティ (MARKOVÁ、2003、2017) です。要約すると、社会表現は、これら3つの切っても切れない実体を通じて作成され、開発されます。モスコビッチ(2000)にとって、RRTの出発点は、主題と物体の古典的な区別を伴う破裂である。この帰化されたフランスのルーマニアの社会研究者は、主題とオブジェクトは機能的に異なるものではなく、むしろ切っても切れない先験的なセットであり、これはオブジェクトが単独で存在するのではなく、主題(個人またはグループ)に関連してのみ存在することを意味すると説いた。彼にとって、主題とオブジェクトの関係は、オブジェクト自体を決定するものです。つまり、他の思考とは異なり、EGOとALTERは、この文脈では対戦相手としてではなく、コミュニケーションシステムの極として考慮されます(MARKOVÁ、2003;マルコヴァ、2017)。マルコヴァ(2003)は、この構造を社会知識理論の基本単位と考えている(図5)。人間

の心は、EGO、ALTER、OBJECT(EAO)の対話を処理し、伝えることができるので、社会的現実を生み出します。²

図 5 - EGO、ALTER、およびオブジェクト間の対話性 (EAO)



言語と社会観は、AOE関係によって引き起こされる動的現象であり、対話的な性格を提示する。彼らは緊張と紛争の発電機であり、常に自分自身を維持するためにバランスの取れたプロセスを必要とします。つまり、このトライアドのパートナーシップは、当事者間の交渉を常に必要とします(MARKOVÁ, 2003, 2017a; ジットーン、2014)

.したがって、エゴとアルターの間には電圧関係があります(MARKOVÁ, 2003)。

したがって、社会表現の理論は、社会心理学(MARA PALLÚ;)におけるあらゆる命題の中心点としてコミュニケーションと言語を置く。ラロック、2007;マルコヴァ、2003)。

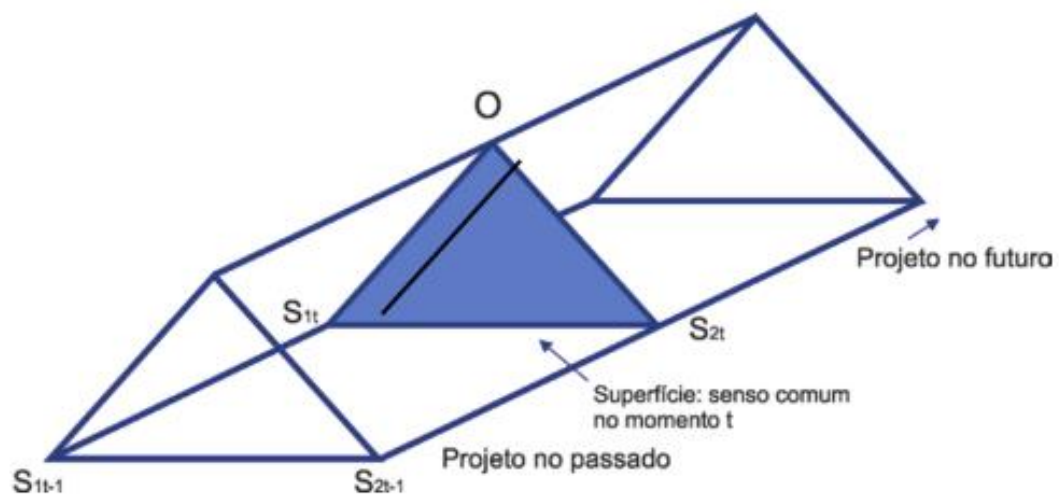
社会知識とは、コミュニケーションの知識と行動における知識です。社会の中、個人間、グループ間、サブグループ、文化の形成、維持、普及、形質転換をしない限り、社会的知識はあり得ない。社会知識とは、安定性と変化のダイナミクスを指します(マルコヴァ、2006a、p.27)。

EGOとALTERは、それらに基づいているオントロジー自体のドメインです:自然で人間に適切な、象徴的に通信する種(MARKOVÁ、2003)。
社会表現の研究のためのEGO-ALTER-

² 「EGO」や「ALTER」について話すとき、私たちは世界のイメージを表す用語を呼び起こす何百人もの人々を指す限り、定義された記事を利用してそれらの言及をすべて廃止します(「o」個人を指す「ALTER」)。私たちは、できるだけ同じ方法で、未定義の記事を使用して、中立的な形式(EGOとALTER、記事なし)を好むのは避けます。

OBJETO(EAO)三角測量の構築に関する領域の他の文献で見つかった他のモデルの中で、バウアーとガスケル(1999)は、将来の出来事が過去の蓄積に反応することを予測するスイスのチョコレートと同様の幾何学的側面を提示するためにトブレロン(図6)と呼ばれるモデルを提案しました。この場合、切り出された表現は、被写体の人生の特定の瞬間(瞬間T)に起こり、したがって、暫定的な性格が常に変化する可能性があります。ALTER (S1) と EGO (S2) の両方が時間的な動きになります。したがって、クリッピングの合計は OBJECT (O) に対する相対的な時間に関連付けられます。

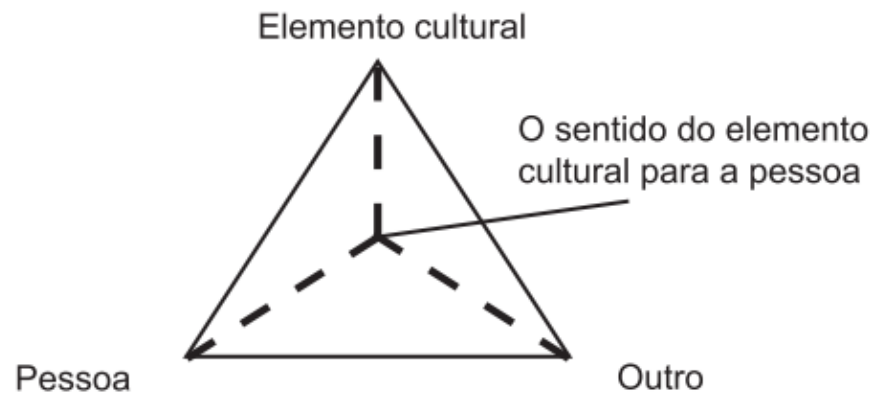
図6 - 常識的なトブレロンモデル



出典:バウアーとガスケル(1999)

もう一つのモデル(図7)は、大きな親和性を持ち、研究者に対するヴィゴツキーの影響を示すジットーン(2014)のモデルです。著者は、他のオブジェクトやオブジェクトとの対話に加えて、主題は自分自身との内部対話、すなわちオブジェクトに関する自分自身との対話にも関与していると述べています。したがって、知識の対象と主題の内部対話は2行に沿って進行する。内部対話は、既存のメモリが新しいエクスペリエンスを関連付け、統合しているために発生します。主題のための意味は、これらの内省的な側面の合流点であろう(MARKOVÁ, 2017;ジットーン、2014)。

図7 - 文化要素を持つモデル

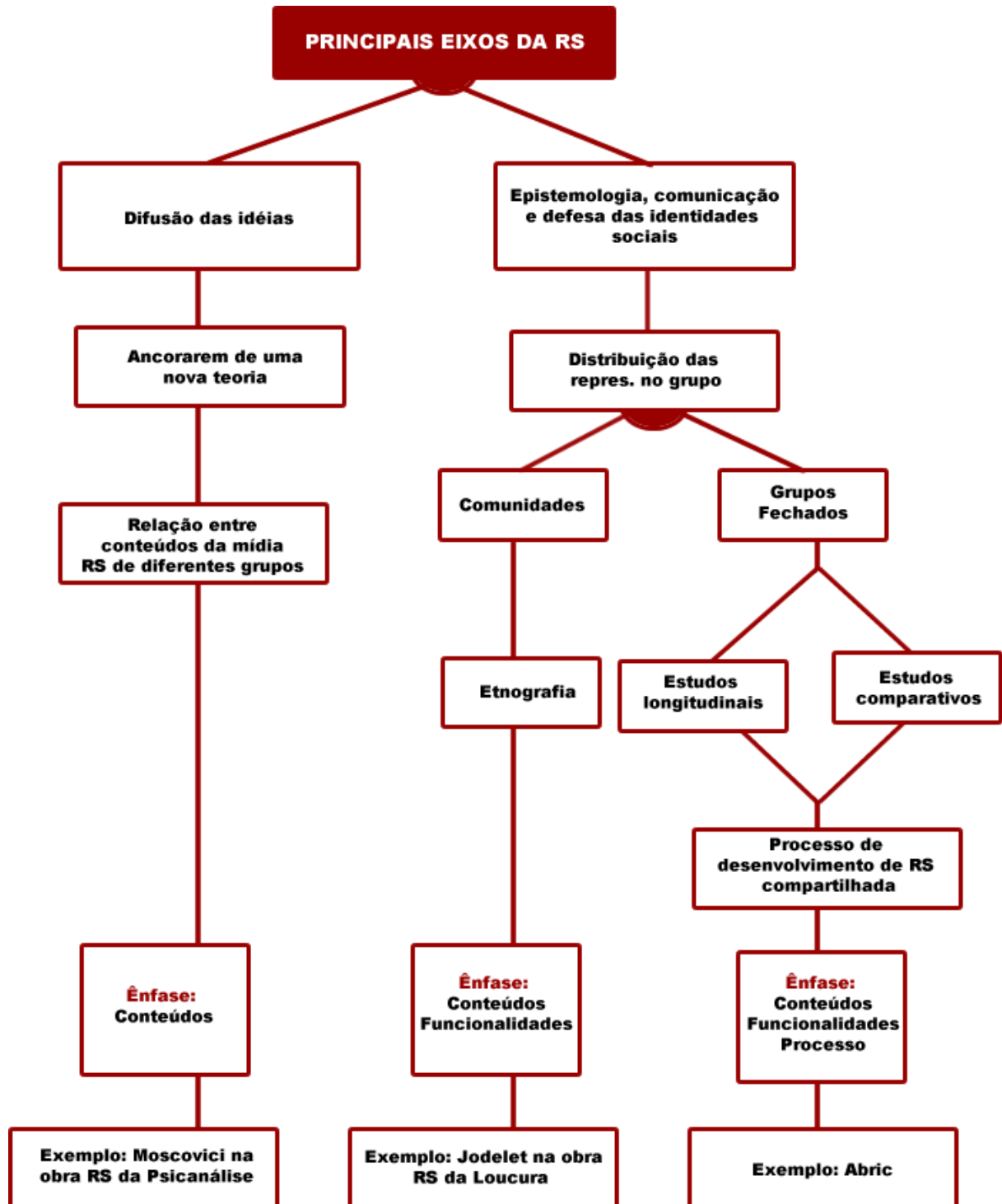


出典:ジットーン (2014)

2.1.4 要約: RRT の主な研究軸

社会表現の理論に関する主な研究軸の一部の分析から、この分野で開発されたさまざまなアプローチは、異なるエンデポジションによって導かれるそれらの目的に従って理解することができる。これらの軸は、図8に示すように、Spink(1996)によってプロットされた。

図8 - 社会表現研究における主な研究軸の一部



出典:スピנק (1996)

他の著者は、密接に、しかしsá(1998)と等しくないが、3つの主要な流れがあり、モスコビッチの「偉大な理論」を補完することを理解しています。

a)

手続き、およびその主な構成は、デニス・ヨデレ(2005)の著作によって提示された。著者は、社会的表現の支援として、談話の社会的慣行に加える。

b)構造は、ジャン・クロード・アブリック(2000、2003)によって提案され、クロード・フラメントによって補完された表現の構成における複製されたデータの抽出を伴うより積極的な方法論的焦点を持つ中央コア理論とも呼ばれる。そして

c)ウィリアム・ドイーズの社会は、その仕事は、決定要因としての個人の社会的地位と社会的表現の生産の先取り者としてのグループの社会的地位に焦点を当てたジュネーブ学校にリンクされています。彼の理論的根拠は、ピエール・ボルデュエ(MACHADO、2018)の仕事にかかっています。

本研究では、社会表現の構造的アプローチを概念的・方法論的枠組みとして選ぶ。

2.1.5 社会表現に対する構造的アプローチ

社会表現の研究の方法論的理解は、一般的に、インタビュー、フィールドノート、観察、参加型観察などの社会科学の伝統的な技術を用いて開発された(REIS;ベリーニ、

2011;SPINK、1996).これらの形態の作品は、研究の構築(MARKOVÁ、2003)の職人的、非自動化的、解釈的な優位性から成り立っていますが、数学的システム(SÁ、2002)に基づいて、より客観的になり得るサイバーの動きと方法論に触発されています。

この性質のデータを使って社会表現を理解し、ジャン=クロード・アブリックが開発し、後にフラメント、モライナー、ギメッリなどによって補完された最初の提案を持っていたフランスのグループミディ(地中海、モンペリエ大学に設置)が出現します(SÁ、2002)。この種の研究は、表現または中心コア理論に対する構造的アプローチと呼ばれた(ABRIC、2004;サ、2002)

.構造理論は、社会表現理論を用いた最初の実験試みである、システム化された方法論と実験原理を視点として持っている(SÁ,1996)。

このアプローチには3つの基盤があります(ABRIC, 2004;SÁ, 2002)

(1) 社会表現は、構造化され、組織化された社会認知セットである。

(2)

社会表現の完全な構造は、中心核と周辺システムの2つのサブシステムから構成される。

(3)

構造化モデルにおける社会的表現の内容を知ることは、完全な定義を意味するものではありません。その形質に反応する複合コンテンツの要素を互いに結合する結合の識別を提供する中心核を同定する必要がある。

Sá(2002)によると、アブリック自身は、(a)中央核の性質の分析とそれを決定するプロセス、および(b)中央および末梢システムと社会慣行との関係など、いくつかの点をさらに探求することができると述べています。各個人のために比喩的な核、すなわち認知要素の画像再編成の構築があります。この構造は、Abricの研究によると、2つの明らかに矛盾した特性を持つ多様な形成を持っています (2004, p. 71): "表現は安定しており、モバイルで、剛性で柔軟です。表現は合意に基づくものです、個人間の強い違いによっても特徴づけられるのです。

その後、Abricは、社会表現が、中央核と周辺によって形成された互いに補完的な二重内部システム(図9)によって支配される一体型の実体になることを提案する(MAZZOTTI, 2005)。

図9- 中央コアおよび周辺システムの特性

Núcleo Central	Sistema Periférico
Ligado à memória coletiva e à história do grupo	Permite a integração das experiências e das histórias individuais
Consensual: define a homogeneidade do grupo	Suporta a heterogeneidade do grupo
Estável, coerente e rígido	Flexível, suporta contradições
Resiste à mudança	Transforma-se
Pouco sensível ao contexto imediato	Sensível ao contexto imediato
Gera a significação da representação e determina sua organização	Permite a adaptação à realidade concreta e a diferenciação do conteúdo: protege o sistema central

出典:マッツォッティ(2005年、P.23)

したがって、システムの一方向の側には、表現の基本的な意味を生成し、要素の組織を決定する機能を持つ社会的表現の中心的なコアがあり、次の特徴があります(ABRIC、2004;マッツォッティ、2005):

-
集団記憶の中に設立され、与えられたグループとその価値観の社会歴史的条件を転写する。

-
社会集団の均質性を定義する共通の根拠を持ち、集合的に共有された表現のコンセンサスを持つ。

- 安定性、変化に対する抵抗を持ち、したがって表現の連続性を保証する。

- 即時の社会的および物質的文脈に対する感受性はほとんどない。

システムの反対側は、中央核への保護と支持の他の要素がある表現の周辺を構成するであろう。これはまた、コア決定、すなわち「具体的現実と中央システムの間のインタフェース」(ABRIC、1994b、p.

79)を文脈化し、更新する責任があります。この領域には、モビリティと社会表現の個別の表現のためのスペースがあります (SÁ, 2002).マッツォッティの(2005)の理解によると、その特徴は次のようになります。

- 個々のエクスペリエンスの統合を許可します。

- 異種であり、グループの矛盾に耐える。

- 即時の社会的および日常的な文脈に対する感受性を持っています。

表現を形成することによって、被験者は自分の価値観に適応するために自分の認知システムを構成し、再構成する。しかし、このシステムは、それが挿入される社会的およびイデオロギーに依存するだろう

(MAZZOTTI、2005;モスコビッチ、1978).

社会的表現の構造化提案は、一般的に方法論的に、グループ内の個人によるキーワード複製のシステム化に変換される。キーワードを抽出するには、フリーアソシエーションまたはフリーリコール(EVOC)と呼ばれる技術を使用し、研究者は特定の物体の精神的イメージ(REIS;;ベリーニ、2011)

.アイデアが複製される限り、中央核の形成と、同じ単語がグループによって呼び起こされた回数に応じた社会的表現の周辺があります(MAZZOTTI, 2005;SA,

1996).したがって、この観点から、研究者がオブジェクトについて刺激した喚起を通じて情報を収集することが可能であると理解され、その答えの合計は、私たちが社会的表現と呼ぶものになります。

「遠隔教育」について思い浮かぶ最初の5つの単語や表現は何ですか?(コンセプション;シルバ、米国;ユーゼビオ, 2011);「遠隔教育について最初に思い浮かぶ5つの言葉やフレーズは何ですか?(サントス、2006年);「距離教育という言葉聞いたときに思い浮かぶ5つの言葉を表現する」(MARCHISOTTIら、2017)。前述の研究は、表6と7で先に発表されました。

世界の共有イメージとしてアイデアによって表現される社会表現の命題は、自己(EGO)と他者とのコミュニケーション(ALTER)、すなわち、グループ、コミュニティ、社会の形成が交流の表現となる世界の現象を持つ人々の対話的な関係において共同構築された現実によってのみ実現可能であろう。この側面に対処するために、我々は理論的なアーティキュレーション、この理論では、感覚の生態学の理論(CAMPOS、2017)に統合します。このコミュニケーション理論は、環境との相互作用から被写体の世界像の共構築を理解することを可能にする。

2.2 感覚の生態

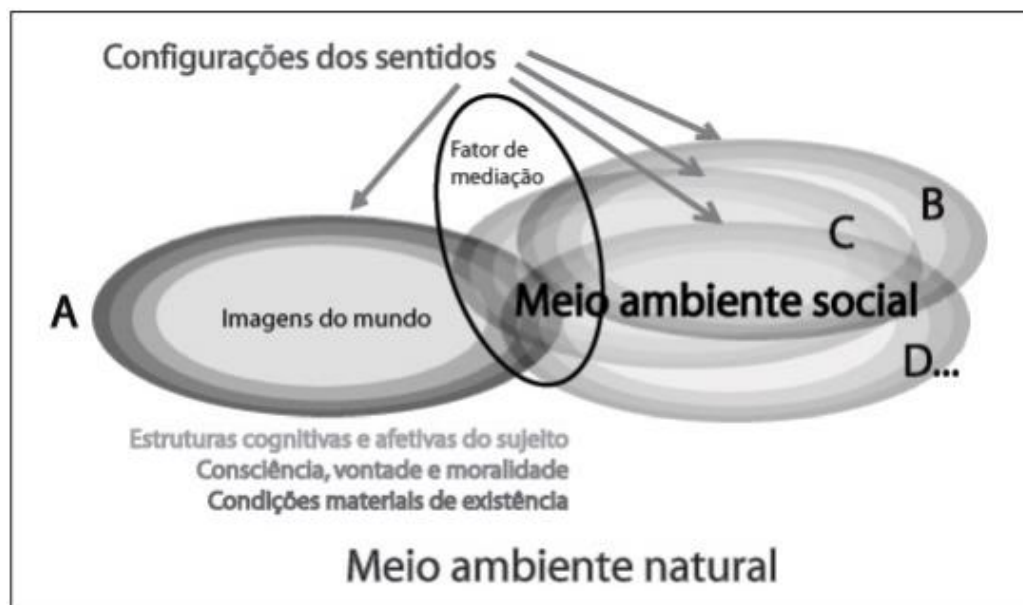
感覚の生態学は、知識の分野が、被験者、グループ、社会によって感覚の構成を生み出す世界のイメージの構築や共同構築によって交差していると理解するコミュニケーションの超越的な理論である(CAMPOS、2017)。

著者にとって、意味の構成は相互作用で構成され、感情と認知が世界のイメージの形成と一緒に寄与することを強調することが重要です。したがって、私たちは論理(認知)によって命じられただけ、または愛情によってのみ命じられることはありません。つまり、交換における認知と情動性のバランスがとれるでしょう。

世界のイメージに関して、カンポス(2017)は、被験者、グループ、コミュニティ、社会間の相互作用から共同で作成され、センス設定を生み出していると説明しています。この生産は、下記の図10に示すように、自然と社会環境を構成する)。また、この画像を通して、彼らは彼らの意識、意志と道徳を引き出す存在の主題と物質的条件の彼らの認知的小および感情的構造のおかげで個人によって生成されること

も見ることができます。さらに、交換から出てくる可能性のある複数のソーシャルエージェント(図10のA、B、C、Dとして表される)は、可能な調停を受ける。カンポスが「センス設定」と呼ぶこのセット全体は、個々の表現、社交的表現(GRABOVSC HI;CAMPOS、2014)– 主題と社会の間にあるもの - と社会的表現。

図 10– センシの生態 (CAMPOS, 2017)



出典:カンポス(2017)

したがって、世界の画像(表現)の形成は、主題内の既存の構成が適応プロセスを通じて辞任されるように、動的インタラクティブプロセスで開発される。

ここでは、コミュニケーションは、被験者が自分自身と外の世界を理解することを可能にする生物学的メカニズムとして見られます。内部への動きは、外部への別の動きと相関しています。人間は、論理的推論と感情を統合する言語を通じて、内部現象学的体験を構築する能力を進化させ、発展させてきた。(カンポス、2015b、p. 981)

上記の著者の我々の解釈は、表現の生成のための前提は(図10)ということす

-

社会と自然環境の交流における「世界のイメージ」の創造と共創は、「認知的情動構造」のおかげで、「意志」の機能に「意識」と「道徳」をもたらす。

-

社会的、コミュニケーション的な世界の解釈は、私たちが私たちのために世界の意識的な行動のエントリの基礎にあるので、「認知的および情動的構造」を通してのみ可能になります。

- 感覚の生態の形成は、環境における被験者の相互作用によって可能になる。

-

「物質的条件」は、感覚の生態の根底にある、そして、それを通して、我々は世界と対話する条件である。

- すべてのプロセスは、自然環境で同時に行われます。

したがって、すでに述べたように、被験者の世界表現の範囲は、彼の認知的および情動的な構造、グループおよび/または社会によって区切られ、その結果、存在の環境および物質的条件に関連し、被写体の倫理的・道徳的感情を生み出す意志によって指示された意識の表現を可能にする。コミュニケーション(CAMPOS, 2017)を通じて、これらの次元が社会的に生み出され、表現から感覚の深化と出現を可能にします。

著者はまた、彼の理論では、世界のイメージが様々な社会的側面に従って仮定することができる可鍛性の形について議論する(CAMPOS, 2017, p. 430)。コミュニケーション行為は他の人に役立ち、様々な意図、動機などを抱えるプラスチック活動をモデルにしています。実際には、思考の流動性と複雑さは、いくつかの方法で現れます。その輪郭は文脈と他者との関係と辞任に依存しますが、これは常に解釈プロセスにおいて意味します。

2.2.1 グリズとピアゲットが五感の生態に与える貢献

カンポスがアプローチする交流のプロセスをよりよく理解するには、ヌーシヤテル大学の神学的研究センターの創設者であるスイスのジャン＝ブレイズ・グリズが提案した自然論理の教訓を理解する必要があります。自然論理は、論理論理とは

異なり、「真」または「偽」の考え方につながる前提に基づいていません。これは、特定の状況下で通信する対象者が必ずしもイエス、いいえ、そしておそらく一連のシーケンスに限定されない論理です。つまり、正式論理が実現するものは、その雇用可能性において、物理科学において、例えば、被験者の関係状況を理解するために人間科学において上回る必要がある(GRABOVSKI;カンポス, 2014;グリゼ, 1996).正式な論理では、命題は時代を超越しており、抽象的で数学的な概念を中心にしています。しかし、議論を考えると、それは別の人に対して何かを宣言する主題に基づいています。Grizeの声明では、自然な議論の論理と正式な控えめなアプローチを区別するのは、聴衆を説得するために、説得の修辭的なプロセスとしての交換です(CAMPOS, 2017)。

この意味で、Grizeの理屈っぽい論理の命題は、実際には、スキーマ化された取引所のゲーム(GRABOVSKI;カンポス, 2014).

スキーマ化は、前提として 5 つの基本的な事後を持つことになります (GRABOVSKI;カンポス, 2014;グリース, 1996):

1- 対話 -

たとえ談話に方向性があるとしても、たとえそれが単一の話者(話者や教師など)から発されたとしても、それは、その生産が互いに向けられているので、それ自体に対話の痕跡をもたらします。

2-

対話の状況は、特定のコンテキストでどのタイプの通信が行われるかによって理解を指します。

3- 表現 - 主題、グループまたは社会のスキーマ化は、次の 3 つのコンテキストで生成されます。

a) 自分自身の表現(A)でさえ

「レプラ(A)」;

b) 対話者の表現 (B)

'reprA (B) ';

c)と、最後に、テーマの表現(T)は、議論しました:

« reprA (T) »

4)その表現の構築において対話者によって動員された情報のセットを参照する、事前に構築された文化的な。

5)オブジェクトの構築

コミュニケーションの動機と目的に応じてスキーマ化を目的として、用語の意味からオブジェクトへの標識の適用としての談話。

Grizeのコミュニケーションへの貢献は、社会的表現が共同構築されたとき、コーディング/デコードと送信者/受信機のペアに基づいて従来の通信モデルとは異なる動きをするという理解にあります。つまり、メッセージを送信する件名と歓迎する別の人を考慮するだけの問題ではありません。グリゼンの観点からは、文脈が決定的な対話の状況(口述と書面の両方)でのスキーマ化があります。この談話は、主題に対してのみではなく、別の観点から、スキーマ化が構築されるという、議論的な次元を持つことになります。

カンポスの感覚の生態をよりよく理解できるもう一つの貢献は、基本的に、この研究のアプローチと並行して、コミュニケーションにおけるEGOとALTERの関係に対処する価値の交換のピアジェモデル(ETUDES社会学、1977)に関するものです。ピアゲによると、被験者、グループおよび/または社会(EGOとして理解されている)は、他の人との関係における行動と反応のダイナミクス(ALTER)で、(1)満足度、負債と感謝の気持ちを引き換えに生成することができます。(2)不満、信用感(または他の人が彼に何かを負っていると信じている)と切り下げ。(3)中立性、あいまいさや無関心がある場合。この意味で、カンポスが持ってきた「負債や信用」と「満足または不満」の意味をピアゲットから含める価値があり、著者は社会表現の形成に寄与する社会遺伝学的・歴史的文化的メカニズムについて議論することを理解する。すなわち、五感の生態学の交換のゲームは、前述の著者の両方のインタラクティブなメカニズムを統合する機能に従う。

2.2.2 相性に関する理論的な補完的な考察

借金や信用の道徳的感情は、感覚の生態のシステム内の世界のイメージの共構築を知らせる感情の分野で動作します。例えば、毎日の状況では、脳が質問に対する答えを求めるときに選択をする必要があることを理解することによって、この

プロセスはコミュニケーションにおける表現の共有に影響を与える可能性があります。このプロセスは、体細胞マーカー仮説の理論モデルと類似点を保持し、感情が選択の過程で認知と共に働くことを根拠としている。この仮説は、ポルトガルのアントニオ・ダマシオ(1995)によって策定されました。著者によると、感情的な事実は、意思決定に貢献し、特定の状況に値の帰属に貢献します。実際には、分析のオプションとアプリケーションに直面して、被験者は、そのオプションに関連して否定的または肯定的な自動感覚に直面している、内部アラームトリガーは、拒否またはオプションの即時受け入れ対象を導くトリガ(DAMÁSIO、1995、2004;シュナイダー; 相対,

2006).「感情は私たちの周りの環境を評価する自然な手段である」(DAMÁSIO、2004、p.45)、カンボスの理解(2017年)を考えると、感情が与えられた表現の出現に影響を与え、「信用または負債」「満足または不満」の基質を与える可能性があることを認めることもできます。

この議論の象徴的な例は、Facebookが主導し、コーネル大学がカリフォルニア大学と共同で行った研究でした。2012年、このソーシャルネットワークは、研究者が「感情的な伝染」と呼ばれる仮説をテストするために、70万人のユーザーとの実験を開始しました。1週間、人々はタイムラインに否定的で悲しい投稿を受けました。この期間の後、否定的な画像を受け取ると、これらの被験者は否定的な画像を投稿する傾向が高くなることがわかりました(G1、2012)。これは、感情が被験者の精神的選択に存在するという考えを強化するだろう。すなわち、被験者が、感情的満足感や不満の結果として債務や道徳的信用の状況を受けると、伝達される世界のイメージの形成に基づく表現は、最初にプロセスを開始した要因の影響を受けるであろう。ピアジェが提案したこのやり取りの論理は、感覚の生態と統合され、認知と感情が表現形成において一緒に表現されるという考えを強化する。

2.2.3 対話性に関連する理論的な補完的な考慮事項

このテーマのもう一つの重要な点は、対話のテーマに関連しています。研究者自身の質問が面接の状況で論理的な議論のプロセスを引き起こすという前提に基

づいています。以下に示す研究は、研究者が尋ねる方法を提示するので、この質問は、私たちが進める結果を出すために重要であると思われます。コミュニケーション手段に関係なく、単純な抽象化や直感的な抽象化に関連する自発的思考プロセスではなく、質問を通して被写体の思考の仕組みに意図的に干渉した場合、我々は理論的な要素としてこの干渉を認めます。そこから食べる相互作用を伝える行為は不正確さを生み出す可能性があることがわかります。カンポス(2017)は、詩人フェルナンド・ペソアを言い換えると、コミュニケーションプロセスの不正確さを強調するために、彼の本に「ナビゲートは正確で、不正確なコミュニケーション」というタイトルを与えます。私たちの意見では、Sense Ecologyの理論は、不正確ではあるが、その原因、手続き的発達および結果よりも広く、より複雑な解釈に固定されているが、表現プロセスの文脈化を可能にする。この理論は、例えば、対象の認知的および情動構造の次元に直接関連する、異議申し立てと停泊の過程に統合されているため、Moscovici(2000)の観察と一致していると考えています。さらに、マルコヴァ(2003年)とGrize(1996年)が議論したように、対話性のおかげで、被験者の記憶の中でこれらの構造を根付かすことで、それらを理解することができ、その出現は、相代わりに、主観的、社会的、客観的な世界を動員する世界のイメージの共同構築と共有として出現します。

これまでの経路は、以下に示す補完的な理論的提案(項目2.3)で明示されています。

2.3 可能なアゴラ理論に向けて

2.3.1 アゴラの概念について

古代ギリシャの「アゴラ」という言葉は、「ポリス」の重要なアイデアが議論された公共広場を表していました。アゴラは、集合的な空間として、時代、高い神社、小さな神社にも適用され、ギリシャ神話のデミゴッド(CAMP、2010)などの英雄に捧げられたものもあります。我々は、グループの個人および社会的利益から生じるアイデア現象および/または事実を含む表現の共構築をモデル化することができ

る表現の共構築をモデル化することができる表現として、公共の交換で、公共の交換で世界のイメージの共同構築のこの原則を採用しました。

私たちにとって、「アゴラ」の理解は比較的簡単です:彼らは自分自身(EGO)、または他の(ALTER)のどちらであっても、社会的表現を持ち、共有する人々のセットです。そして、ここでアゴラは、オブジェクト、現象、事実などに関するアイデアを引き出すので、自発的に構成されている構造として、すなわち、共有された社会的表現です。

図11 - アテネのアゴラ



つまり、EGOとALTERの両方が考慮される構造から出現する可能性のある社会的表現(イデオロギーを形成する、または形成しない)を通じて、同様の考え方のグループ化または共有をアゴラと呼んでいます。したがって、グループ、コミュニティ、社会の人々は、異なる場所で、異なる概念やアイデアに出席し、持つことができると仮定されます。また、アイデアに国境がない前提を念頭に置かなければなりません。例えば、インターネットでは、ますます広がります。したがって、ある人が複数のグループに参加すると、オブジェクトの社会的表現が変える可能性があります。このアーティキュレーションは、人間がEGOを持ち、ALTERの表現を持っているという仮説に従い、OBJECTの表現をアーティキュレーションとして構築します

。社会集団に属するに従って、社会的表現の変化、調整、操作、その他の形態の再構成は、人間のコミュニケーションプロセスの構成要素である。

以下のサブ項目では、象徴的なコミュニティの問題でアゴラの考えを明確にします。

2.3.1.1 象徴的なコミュニティ

既に述べたように、人間が貪欲な動物としてグループに残る必要性は、認知革命を通じて進歩し、改善してきました(HARARI、2017;レケイロ、2002).このアイデアは、従来の材料生産社会の概念から、大規模で複雑なネットワークを特徴とするグローバル化した生産の概念に拡大していました。この意味で、ノーベル賞受賞者のミルトン・フリードマン研究員(1980年)は、グローバル化した社会において私たちの依存は非常に大きく、鉛筆のような単純な物体でさえ一人の人が作り出せないと述べていることは注目に値する。

生産の依存形態は、異なるグループや社会間の交渉と歴史的相互作用の年の成果です。昔、男性が食料、商品、製品の生産に彼らのグループと独自の技術に依存していた場合

(HARARI、2017)、今日のグローバル化社会は、象徴的な世界だけでなく、材料に含まれる世界的な依存の複雑な特性を持っています。この文脈では、社会とコミュニティの2つの概念を分析する必要があります。社会の概念は比較的安定していますが、以下に説明するとおり、コミュニティはいくつかの変革を遂げています。

技術的には、私たちの仕事はコミュニティの考え方を直接扱うものではありませんが、社会集団の表現に関する研究を行うと、コミュニティの問題が浮かび上がります。コミュニティのアイデアは常に存在し、私たちの種がホモサピエンスに進化するために必要でした(HARARI、2017)。

しかし、今日では、コミュニケーションメディアの進化と物理的距離の相互作用の拡大に伴い、コミュニティや社会などの概念が拡大し、議論されるべきです。

コミュニティの概念は広く、この地域の古典的な著者の一人であるフェルディナント・タニエは、それを社会の概念と区別しようとしました。Töniesにとって、1人は家族、村を代表し、伝統によって縫い付けられた有機性、地元の交流、そして

ドイツ語のゲマインシャフト(コミュニティ)を通じて定義した地元の文化から逸脱した合意の規範によって維持された愛情の関係によって促進されました。

Gesellschaft(社会)は、国家国家(RECUEIRO、2002)に従属する規範、法律、運営上の動機付けと超上局的な関係によって維持される契約関係に基づいて関係を確立し、「これにより、コミュニティの概念は生物として理解され、社会は集合的で機械的なアーティファクトを持つ社会と言える」と述べた。

コミュニティに関して、ブランカレオーネ(2008)は、彼が彼らの関係の面でTönniesの「主な法律」と呼んだものを説明します:a)配偶者、家族、隣人、友人間の相互的な愛情の交換を持っています。b)お互いを好きで、合意を確立する個人の間で。c)お互いを理解し、お互いに好きな人の間で、一緒に暮らし、一緒に残り、共通の生活の儀式を確立する方法に加えて(BRANCALEONE、2008)。

コミュニティが感情的な統合で見られるこの概念は、連帯感に基づいて社会関係コミュニティと呼ぶウェーバー(2002年)にも言及されており、彼は「参加者の感情的または伝統的なつながりの結果」(p.

71)と呼ばれるものであろう。社会の社会的関係とは、ある目的のために判断によって動機づけられた合理的な方程式の結果であり、また「それに従う義務の義務の強制的な妥当性の信仰に基づく」(WEBER,2002, P. 71)。

ウェーバー(2002年,P.74)は言語の重要性に注目を集める。それは言語ではないでしょう。確かに言語と言語自体はコミュニティを形成するのに十分ではありませんが、メンバー間の交流を容易にします。つまり、同じ言語を話し、共通の状況を共有する個人は、ウェーバーの言葉で「コミュニティの感覚を経験するかもしれない」(2002年、P.

74)。

この単語は、対象者を結び付け、対象と収集性との間のリンクを形成する(JACQUESら、2013)。ブランカレオーネ(2008年、p.99)として、「[.]最初はやり取りがあった」そこから言語、シンボル、コードが発生します。社会やコミュニティとして私たちが構築するグループとすべてのものは、相互作用、コミュニケーションプロセス(CAMPOS、2017;ハラリ、2017)

.これらの配置は、アゴラ理論を理解するために重要です。

2.3.1.2 アゴラと象徴的なコミュニティ

私たちが見てきたように、コミュニティと象徴の感覚は、特定のグループに属する感覚の原則から始まります(PALACIOS、1996;レケイロ、2002)

.しかし、アゴラ概念は、特に今日、コンピュータ化されたネットワークでより大きな相互作用を持つコミュニティに属する感覚から独立しているという象徴的な次元の前提に基づいています。Jovchelovitch(2014)などの著者にとって、このテーマは新しい技術に直面した社会心理学の大きな挑戦です。

知識の社会化とそれを特徴づける認知の多様性は、人間社会の基本的な現象であり、現代社会の中心的なマークです。私たちが住む世界は、時代と場所の新しい組み合わせによって特徴付けられますが、新しい社会技術とますますデジタル化された公共の場から生じる高いレベルの象徴的な飽和を示しています。他者の思考と知識は「クリック」に過ぎません:この出会いの可能性がどのように起こり、表現プロセスを形成するかを決定することは、社会心理学にとって大きな課題です (JOVCHELOVITCH, 2014, P. 5)

以下で詳しく説明するアゴラは、コミュニティや社会などのインタラクティブなトレーニングを無効にしません。思考の性質は物理的な次元を超えて、象徴的な世界は境界の剛性を持たないことを理解し、時には力によって刻まれることは注目しに値する。コンピュータの仮想化の問題でもありません。明らかに、アゴラは、見えない分野の基礎となるネットワークである共通の何かを共有する要素のリンクから生じるでしょう。

アゴラは、その形成は必ずしも物理的または仮想空間の共有を伴うものではなく、アイデアの近接を通じて起こるという前提を持っているという以前の考えを含むことができました。つまり、アゴラを支配するのは、同じオブジェクトの共有表現、つまり共通の意味であり、相互作用のダイナミクスに応じていくつかの方法で形成することができるということです。私たちは、象徴的なコミュニティは必ずしも共通の領域から来るのではなく、帰属意識を持ち、分散しているグループから来ることを思い出させます。アゴラ は表現現象です。これは、EGO と ALTER の 2 つの球体で表現と軌道の世界で発生します。両方とも、各グループに応じて明確な変化を受ける可能性のある表現から始まる理解と感情を共有しています。

2.3.2 その他

2.3.2.1 他人の言葉の世界に生きる

自己の存在は、他者の方向に言語や記号を通して自分自身を向けるときにのみ意味を持っています:それは世界にいるという私たち自身の概念を構成しています(HARARI、2017;ヴィゴツキー、1991)

.それは常に他の人と国境を共有しているので、私の領土に対する完全な主権は不可能であろう。私たち自身の視線では、私たちは他の人のビジョンを持っています、でも、言語は、私たちの到着に先立って多くの人によって事前に構築されました。これは、他の人が私たちを構成し、統合するように自己の存在を否定するものではありません(MOSCOVICI, 2000;ヴィゴツキー、1991)

.その他の特徴は、ヒトの系統形成の結果である(HARARI, 2017)。

コミュニケーションのための人間の能力としての対話性は、世界のOBJECT(EAO)との関係でEGOとALTERの相互作用を通じて経験の中で兆候、記号、記号、意味を共に構築し、意味を与えるために、この理論章(CAMPOS、2017;2017)の初め以来、ここで議論のために採用した著者の見解の間の緊張を指します。マルコヴァ、2003;グリゼ、1996;ピアゲット、1977).この理解は、英語の私によって形成されていると自己を理解するジョージ・ミード(*apud* ABIB、2005)や、生物学および認知的主題の重要な観察者としての社会変化の代理人としての代名詞Iの社会的主題などの作品にも見られる。

2.3.2.2 グループに応じて ALTER

カーネマン(2011)とミード(1934)に基づいて、人間は常に客観的ではないエンティティで人格やペルソナを作成する能力を持っているとこの理論で理解されています。

他の一般化された態度は、コミュニティ全体の態度です。したがって、例えば、ボール選手のチームであるソーシャルグループの場合、他の一般化されたチームは、それが参加する場合、組織化されたプロセスまたは社会活動として、各メンバーの経験において (MEAD、1934、p. 132)

EGOがグループや社会に与えることができるが、架空の、他人についての自分自身の表現である人格特性があります。そんなうなずきは、EGOの視点を通して

魂と感情を伝えます。「労働市場」、「金融市場」、理想化された分類やフレーズなどの表現は、ステレオタイプ化され、想像上のものであっても、つまり、ALTERのEGOの観点から広く解釈されても事実としては見つからずあります。実際には「就職市場」のような面接はできない!他者の存在しないグループが存在し、目に見えない場合、彼らは時々体、構成ロジック、または代表を持っていない場合、どのように形成されますか?一貫した答えは、これらのグループは、表現の形で主題のためにのみ存在し、その可能な形成は相互作用に由来するであろうということです。つまり、グループは、私たちがそれに人格を判断したり、帰属したりするために本物である必要はありません。

アゴラの観点から、重要なのは、グループに対する主題の認識です。したがって、この考え方は議論される意図に完全に適合しないため、この論証では「一般化されたグループ」(MEAD、1934)という表現を使用しないことを提案する。おそらく、キメラとも呼ばれる「形而上学的グループ」(キメラ、ヘビの尾、ヤギの体とライオンの頭を持っていた神話上の生き物をほのめかす)。このようなグループは、特定の時間/空間の認識を指し、私たちの感情や認知の断片や痕跡との様々な相互作用を作成し、主題の寓意であろう。つまり、バックグラウンドオブジェクトまたは偽装オブジェクトに常に関連付けられるグループです。無視してはならないもう一つの点は、グループ内の被験者の複雑な相互作用の形態である。相互作用はますます複雑な現実を生み出します(CAMPOS、2017)。

いま、現実の形成は、私たちの生物学的生命段階に従って現実の様々なタイプの解釈を持っているので、それが真実であることを意味するものではありません。グループは、存在がそれらと統合されている既存の各主題の行為からの表現を通じて現実を共同生成します。このプロセスの重要な側面は共感であり、以下で説明しました。

2.3.2.3 ALTER と共感

アゴラは、表現オブジェクトとそのグループに関連して、自分自身とグループの知覚の関数としての被験者のトポロジカル分析(「上」:場所のギリシャ語の接頭辞)です。ALTERについて考えることは、前提として、私たちが一般的に同情と呼ぶ

感情に関連する人間の能力を仮定します。社会的感情と考えられ、それは私たちの脳に染み込んだより深いものとして理解することができます(DAMÁSIO、2004、2009)。

社会的感情は、オオカミ、イルカ、サルなどの一部の動物では理解することができます、これらの感情は脳の形成にも浸透しており、単なる文化の表現ではないと信じています(DAMÁSIO、2004)。同情の感情は、人間に共感を生み出します。

また、脳は「共感」の感情が「共感」の感覚に変わる過程で起こるように、身体の特定の感情状態を内部的にシミュレートできる可能性が非常に高い。例えば、よく知られている誰かが重傷を負った恐ろしい事故をあなたに話した読者を想像してみてください。しばらくの間、読者は、彼自身の心の中で、問題の人の痛みや吐き気の可能性をよく表す痛みや吐き気を感じるかもしれません。....事故の大きさや負傷者との関係によって、気持ちは多かれ少なかれ激しくなります。(ダマーシオ、2004年、P. 92)

実際には、共感の力は、社会集団の表現を生み出す適応プロセスに関する手がかりを与えてくれます。「感情は私たちの周囲の環境を評価する自然な手段である」(DAMÁSIO,2004,p.

45)を考慮すると、相互作用における自分自身と他方の認識の評価が可能であることを理解しています。したがって、アゴラにおけるalterの位置は、他の人との関係におけるiの思考の分析を意味し、人間の共感的特徴にも固定される。環境対応は必ずしも正確さをもたらすとは限りませんが、ALTERに関連する自己の認識に過ぎません。

2.3.3 アゴラ仮説

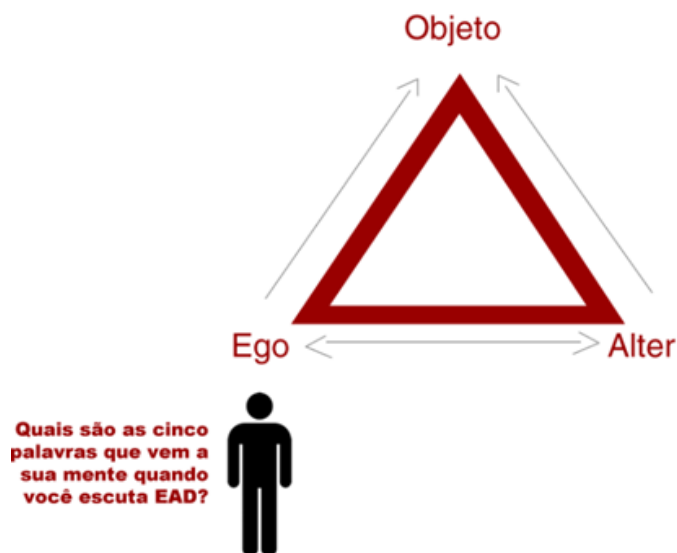
アゴラは、1つの補完的な社会的表現のシステムのモデルであり、生きていてダイナミックで、一方で「EGOの表現」、つまり主題がテーマを作り、他方では「EGOがALTERを作る表現」、つまり主題が同じテーマ上で別の表現を構築する表現を持つものになります。EGOとALTERの関係に関連して見られるさまざまなアプローチを考慮して、仮説を立て上げます。その中で、2つの次元は、自由な喚起の方法でAbricによって予測されるものとは異なります。

(a) 喚起は明確な質問に向けられる。

b) エゴとALTERの相互作用のダイナミクスが考慮される。

この研究の提案の進化を参照してください、
 社会表現の抽出のための喚起の方法論に関して： 図 12 – 質問は EGO
 にのみ向けられていると 13 図 - 質問は、EGO と ALTER に宛てるとき.図 13
 に提案を示します。

図 12 - EGO に焦点を当てた EAO

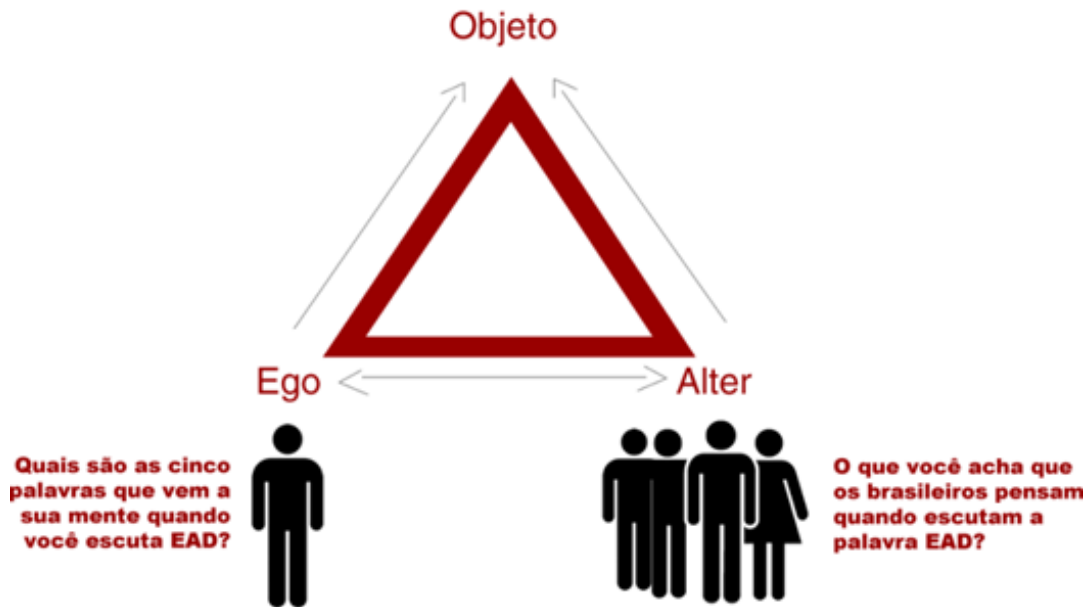


私たちは、自分自身に関するEGOステートメントと、それを他の人に投影する声明との間に重要な違いがある可能性があるかと仮定しました。THEに関する表現が対話的に組み立てられ、それらを構成する次元が三重で不溶性の相互関係を想定していると理解される観点では、主題の形式的表現を理論的に特定するために主要な質問を立ち上げるという考えは、EGの合計だけでなく、投影されたALTRSの合計でもあり得るを、下の図

13

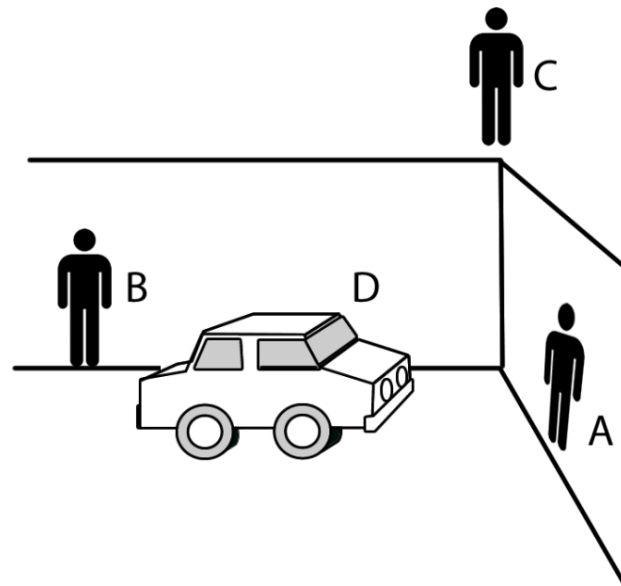
に示すとおり。この観点から、北方の質問は、主題から始まる2つのフィールドを持つことになります。この研究ではコミュニティとの相互作用とは見なされませんが、ALTERには少なくとも1つのEGOミラーがあります。この方法論的観点は、上記の分野の不溶性を前提としています。

図 13 - EGO が ALTER についてどう思うかに焦点を当てた EAO



この解釈は、社会表現理論と感覚の生態学と一致する貢献を提供します。ピーター・ベルガー(2001 p.108)が述べているように、「人々は人間だけではあり得ない」。社会環境が象徴的な共同生産者であるならば、主題が彼の考えから生み出す表現と彼が他の考えから構築する表現を統合する観点から社会的表現を理解することの重要性を守ることは可能である。もちろん、現象に対する認識は、観察者の視点に応じていくつかの方法で解釈することができます。視覚に基づく表現の一例として、様々な点に位置する複数の観察者を考慮して、物体「車」を知覚する人間の能力を示す(図14)。

図14-車の観測



この状況では、オブジェクトは4点から見るができます。オブザーバーAは車の前にあり、Bは横にあり、Cは上にあり、Dは図14に示すように内部にあります。各観測点の視野は異なりますが、オブジェクトは同じです。記号オブジェクトを扱う場合、社会動態は互いの表現の過程によって共同生成される(マルコヴァ、ライン、グロセン、&オルヴィグ、2007;ジームケ、セミン、スミス、2002)

要するに、この研究のEGによって呼び起こされる社会的表現は、それぞれ1つだけでなく、各主題を周回する表現のシステムであろう。つまり、私たちはお互いの表現を持っているだけでなく、コインが2つの側面を持つことができるのと同じように、主題の同じ認知情動道徳的空間内で共存する他者の投影表現の表現も持つことになります

。異なるファセットを持っているという事実は、それを形成するエンティティを解体するのではなく、それを単一として構成し、同時にいくつかの状態にあり、表現が言説や社会構造で1つの答えしか持てなかった状態で、表現的な重ね合わせまたは並置と言え、いくつかの環境条件を原理的に比喩的に反映していることが理解されています。これは、異なる環境ポイントに従って、指示され、リダイレクトされ、再現され、壊れているため、表現のプラスチックキャラクターを補強します。

したがって、環境への適応の人間の能力と、社会的表現の不可欠な分野として、世界の彼のイメージを構成する生きた認知的情動的道徳的構造(CAMPOS、2017)に基づいて、相互作用における現実の主題のコンストラクションを理解する。実

際には、空間/時間(CAMPOS、2017)の各オブザーバーによると、同じ自然環境と社会環境の中で表現のいくつかの可能性があります。

すなわち、被験者の認知情動性・道徳的レパトリーに固定された多数の表現的可能性(GRABOVSKI;カンポス, 2014;グリゼ、1993;MOSCOVICI,2000)は比喩的に重ね合わせたり並置したりすることができると思われる。

私たちの場合、読者は、ガイドの質問がリリースされると、ある時点で、答えの形で命名され、具体化された研究科目が一度に解決したことを見るでしょう。したがって、我々の研究は、ここで探求された物体(EAD)の評価の瞬間、フラッシュ、瞬間を明らかにするだけである。

2.3.3.1 アゴラ仮説の例示である物理学の例

1935年、いくつかの実験では、観察者が原子レベルで物質の挙動に影響を与える兆候があるので、一部の理論物理学者は原子物質の状態を理解しようとした。つまり、誰かに実験を見せるかどうか結論に影響を与える(ROSENBLUM;クトナー、2017)。まもなく、一部の物理学者は、ニールス・ボーアとヴェルナー・ハイゼンベルクによって提案されたコペンハーゲンの解釈として知られるようになった原子スケールの物質の状態は確率的であると提案した。彼女によると、原子レベルでの出来事は、観察者を持つことが原子状態を変えるという絶対的または論理的かつ単純な事実の理由によってではなく、「運」によって定義されるであろう。この議論は、物理学の2つのノーベル賞と知的対立につながった。この話題について、アルバート・アインシュタインは彼の有名なフレーズ「神はサイコロを投げない」と言いました。これに対し、ボーアは「神が宇宙をどのように導くべきかについて話すのをやめる」(ROSENBLUM;クトナー, 2017, P. 124)。

この議論を考慮して、物理学者アーウィン・シュレーディンガーは、猫が箱の中に閉じ込められる精神的な実験を提案します。この容器には、毒物を50%壊し、猫を殺すか殺さない可能性がある放射性元素が含まれます。この物理学者が尋ねた質問は:猫は、外部の観察者に、死んでいるか生きているか?その後の答えは:猫は生きても死んでもいない:彼は同時に生きている/死んだ重ね合わせの状態になるだろ

う。そして、観察者が箱を開けると、この猫の状態が崩壊し、生きているか死んでいるかのいずれかである

(ROSENBLUM;クトナー、2017).重ね合わせは観測できない現象であり、測定と最終結果しか見ることができません。その中で、同じ原子はいくつかの状態にあり、そのうちの1つだけに条件付けする必要はありません。このテーマが今日まで議論されているとしても、それが完全に定義された輪郭を持っていないという事実は知覚に基づいており、私たちは相手の頭の中で何が起きているのかを想像させるのと同じです。

この点に対する我々の関心は、議論を提起することです。物理学を支配する原理は社会心理学とは異なりますが、物理学の議論は、社会表現について考えるために重要な次の問題を考えるインスピレーションを与えてくれます。

- 表現は1つの状態に適合する必要はありません:それは異なる角度から構築された複数の感覚を持ち、最終的には「重ね合わせる」ことができます。
- 表現の形成は観察できず、後で「撮影」した「瞬間」の研究で得たルックスの尺度と最終結果を与えます。
- AOSの理解に基づいているため、相互作用が起こる社会環境宇宙としての感覚の生態学と一致し、観察する人は、交換中の物体の状態に影響を与えるだけでなく、環境や環境の中で行動することができます(私たちの研究でコミュニティとその交流を研究していない場合でも)。
- 調査対象者は、質問に答えるレパートリオを持っていない場合もありますが、毎日の観察の最も可能性の高い仮定の中で答えを作成します。
- 各研究者の見解は、同じ現象を理解する論理を変えることができる。実際には、例えば、アインシュタインでは、システムが与えられ、絶対的なスキームによって形成されました。ボーアの場合、システムは順番にランダムでした。

2.3.3.2 他の地域で

人間と社会科学の分野に私たちの命題をもたらすために物理科学の憶測を放棄し、心理学は、実用的な文脈で、電子GOに質問が策定されるとき、これは研究者

が彼に特有のコミュニケーション反応を通じて、彼の質問を策定する瞬間に現れます。しかし、ALTERに関する質問は、主題が他方の表現の表現を投影する領土化を必要とする。この記号的な領土で、ALTERを囲む

"[...]その看板とそれが含まれる社会状況は、ひどく結びついています。その記号は、その記号的性質が変化するのを見ずに社会状況から切り離すことはできません」(BAKHTIN,1981, P. 58)。

これは、言葉がアナウンサーと面接者の共通の領域であるという考えに同意する私たちを導きます。

(バハティン、1981;ジャックら、2013).したがって、EGOとALTERの間の対話性で指摘された要因と互換性のあるインタラクティブ表現の仮説を補強する共有(GRIZE、1993;マルコヴァ、2003).エゴの領土をアルターの領土に精神的に変えると、オブジェクトの可塑性と理解に影響を及ぼす可能性があることを強調することが重要です(ZIEMKE;セミン;スミス、2002).

THEに適用すると、我々が提案する分析の仮説は、仮説によって、EGOに対して正に、ALTERに対して否定的に、または逆に見ることができる。この見解では、人のコミュニケーションの性質や、社会関係に存在するミクロ・マクロ要因の重要性という点で、社会表現のシステムを否定することは失敗にならなかった。ALTERの介入は、オブジェクトに関して、社会的ポリフォニーとして理解することができます。なぜなら、「これらの異なる立場は、内部および外部の両方の対話的関係を確立する声として組み込まれ、他の声と組み込まれている。自己と社会の両方が子音のポリフォニーと不協和音で構成されています、交換の対話的な関係を含みます"(LOOTS;コッペンズ;セルミジャン, 2013, p.110).

2.4 研究課題:アゴラ仮説

(1)アゴラの問題を含む研究課題を、(2)THEの社会表現に関する研究に関するギャップの検証を、より明確に提示することができます。

(1)前者の観点から、我々はむしろアゴラの仮説を要約する:インタラクティブゲームで生み出された社会的表現では、一方で、特定の主題が任意のテーマを作り、他方

では「EGOがオルターの表現」を作り出す表現は、その同じ意味を持つ表現である。この理解では、EGOとALTERの分離ではなく、生き生きとダイナミックな同じ社会表現システムの2つの機能の補完性があります。我々は、仮説によって、アゴラの問題が社会的表現の研究に適用されるだけでなく、被験者が何を考えているかを知るという意味でのみアクセスを与えることができないことを確立するので、それを拡張するが、それは他者との関係でどのように置かれているか、すなわち、社会的表現のシステムの分野で起こる、感覚の生態学で動作します。

(2)第二の観点から、1.12の点で説明したように、私たちは、DISTANCEのシステムを通じて高等教育へのアクセスを求める個人は、仮説として、この現代的な教育教育形態に関連して偏見と抵抗の罪に関連する社会的表現を有すると仮定する。しかし、私たちは、これらの人々に関連するものに関するこれらの表現の演劇と、他の人々の表現を作る世界のイメージについて何も知りません。

これらは、私たちの仮説で検証しようとしている2つの仮説です。したがって、私たちの研究の質問は次のとおりです。

-

アゴラは、社会的表現の理論の範囲を拡張することができるモデルとして関連していますか？

-

被験者自身と他者の社会的表現で構築できるアゴラの検証は、文献で検証されたTHEに関する偏見や抵抗に関してうなずき、地域の知識に拡大し、貢献していますか？

3 方法論

本章では、研究の方法論を紹介します。(1)

AEdの社会的表現の研究で使用される方法論的アプローチに対する短い書誌レビューから始めます。(2)研究方法は、(3)研究対象者のサンプリング戦略に続く。(4)データ収集に用いた機器の、および(5)の分析手順は、結果の分析のために動員された理論的概念(アゴラ)に焦点を当てた。

3.1 方法論的アプローチ

3.1.1 EADにおけるSSCsの研究で用いられる伝統的な方法論的アプローチ

ここでは、この作業の目的をはるかに超える、定量的、質的、論理的、論理的な議論とハイブリッドという、可能なすべての方法論的アプローチを反映しているため、社会表現の研究のために開発されたすべての方法を探求しません。しかし、THEのようなテーマの社会的表現を研究するために、それについて意見を述べることができる被験者へのアクセスが最も適切であるように思われることを強調すべきである(例えば、新聞やメディアの言説に掲載されたテキストの社会的表現を研究する。我々は、このテーマに関する研究慣行を何らかの形で定義しているため、THEの社会的表現で既に開発されたデータ収集へのアプローチをいくつかここに提示することを提案する。

いくつかの著者によると(REIS;BELLINI, 2011) ADに関する社会的表現に関するデータを取得するための最も一般的なアプローチは、観察、データ収集および分析手順を含みます。この観察は、特定のグループやコミュニティに適用される体系的なプロセスに対応し、事実や現象を理解しようとする(SPINK、1996)。

情報の収集は、研究プロセスに参加しているグループの注釈で構成され、常に各グループに従ってコンテンツの自然な対話と文脈化を維持することをお勧めします。

多くの場合、反動言語化の技術も使用され、それらを調査する一般的な方法と考えられている(REIS;BELLINI, 2011),

彼らはインタビュー対象者に声を与えることから構成されているので、研究者の可能な先入観を課すことを避ける (JODELET, 2005; ヨヴチェロヴィッチ, 2014; キングス; ベリーニ, 2011). これらの手法の例としては、対象に関連する、(1) アンテーションによるコミュニティ交換のデータ収集に関する参加者観察。;(2) オープンまたは半構造化スクリプト(REIS; ベリーニ, 2011; SPINK, 1996; (3) フォーカスグループは、グループの相互作用に基づく集団インタビューの種であり、データと洞察を生み出す目的を持つ(MARKOVÁ et al., 2007; キングス; ベリーニ, 2011).

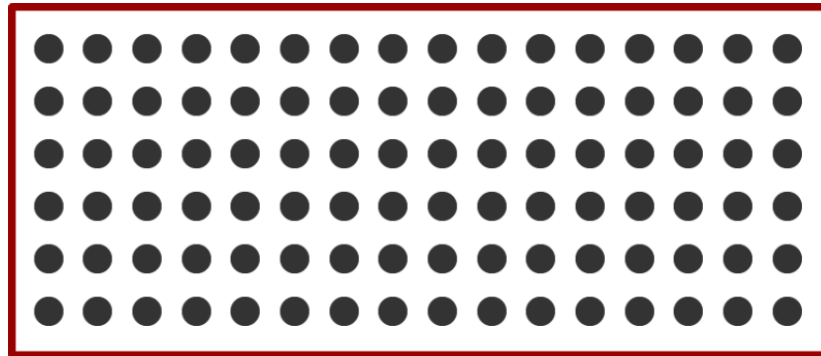
音声収集および分析に関連するその他の手法と方法(REIS; BELLINI, 2011)は:(1) 修辞的な構造の研究やテキストから出てくる可能性のある感情など様々な形を取るもの(JACQUES らら, 2013) など; および、前の章で既に述べたように、(2) EVOC - 自由協会またはフリーリコール(この研究に統合されます: 以下の項目3.2.1を参照)- 少数の刺激語から、社会的表現が識別され、それらの間に自由な関連が確立されます(ABRIC, 2004; キングス; ベリーニ, 2011).

最後に、THEの社会表現に関する多くの研究は、公式の国勢調査や、テキスト、図面、文書、個人データ、パンフレットなどの世論調査 (REIS;; ベリーニ, 2011; SPINK, 1996).

3.1.2 アゴラモデルの適用に基づくSRの研究のための補完的方法論的アプローチ

いくつかの研究では、一般的に、研究されたグループの方法論的境界は、調査対象者の間で共通のポイントに過ぎない人口を通じて(BOOTH; コロンブ; ウィリアムズ, 2007). 例えば、特定の学長、大学生、映画鑑賞者、特定の学校の学生などに投票した人の人口。実際には、図15に示すように、研究者は視点に従って研究をフレーム化し、境界線をトレースして区切ります。

図15 - 研究者によって定められた基準によって構成される集団の区切り。



しかし、表現などの象徴的なオブジェクトに関しては、グループ(MARKOVÁ、2003)との相互作用(VYGOTSKY、1991)による社会的学習の前提から始まります。ピアゲット、1975;VYGOTSKY、1991)、そして感覚の生態学が捕獲することを提案する相互作用の宇宙における交換の複雑さを考慮に入れて(CAMPOS、2015、2017)、我々はもはや人口について話しません。これらは、記号分野において、必ずしも共通の歴史または相互作用を有するわけではない、したがって、アンカー化および異議申し立てのプロセスが理解できる分野を作り出すことさえできない(MOSCOVICI、2000)。

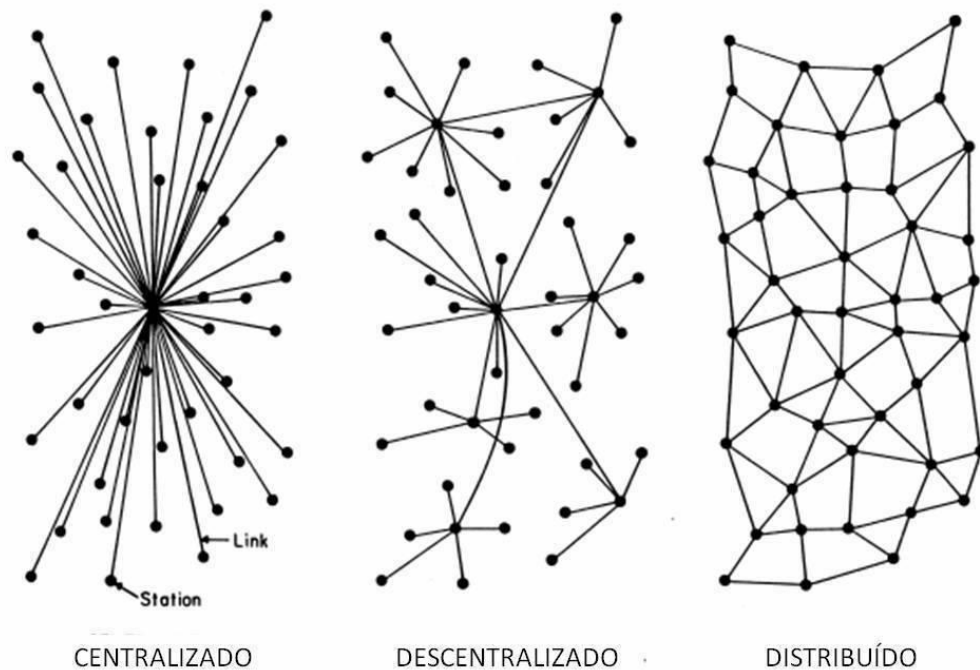
したがって、この視点を仮定して、我々は、この章の次のセクションで提示されるアブリック(1997)によって開発された喚起の方法の適応からアゴラを識別する方法を提示したいと思います。

ネットワークを理解することは、この研究の仕組みを理解する上で役立つため、まずはネットワークの研究から始めたいと考えています。たとえば、Baran (1964) の場合、ネットワークの形成は、集中化、分散、および分散 (MARTELETO、2001) の

3

つの方法で行うことができます。Recueiro、2002)、下の図16で見ることができるように。各ネットワークには、クラスターを生成する共通の相互作用点(ノード)があり、そのノードは、一連の関係が確立されるノードです。

図16 - バランによる可能なネットワークの形成



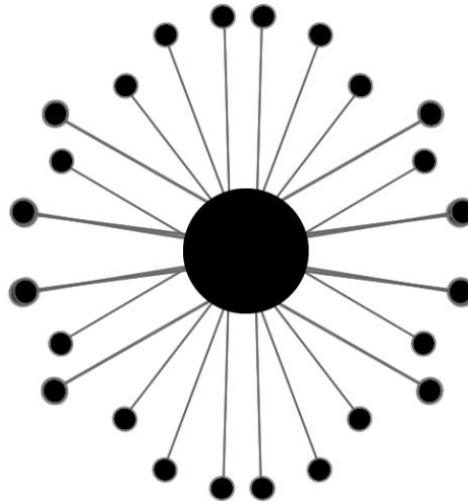
出典 : (バラン、1964)

中央ノードの「集中」部分では、"分散型"では複数のノードが関係が発生させることができ、また「分散」では、すべてのノードが隣接ノードと相互接続します。

アゴラスは、モデルとして、表現が形成クラスターを共同構築する構造として理解することができる。

これらのノードは、関係のネットワークによって関与し、同様の表現を共有する人、グループ、コミュニティまたは社会を示します。モデルとして、agorasはネットワークの観点から社会的表現を示しています。このモデルは、下の図17に示す"集中型"ハブ(KAUFMAN、2012)など、いくつかの構成を取ることによって提示することができます。

図17 -ハブの形でのクラスタの形成

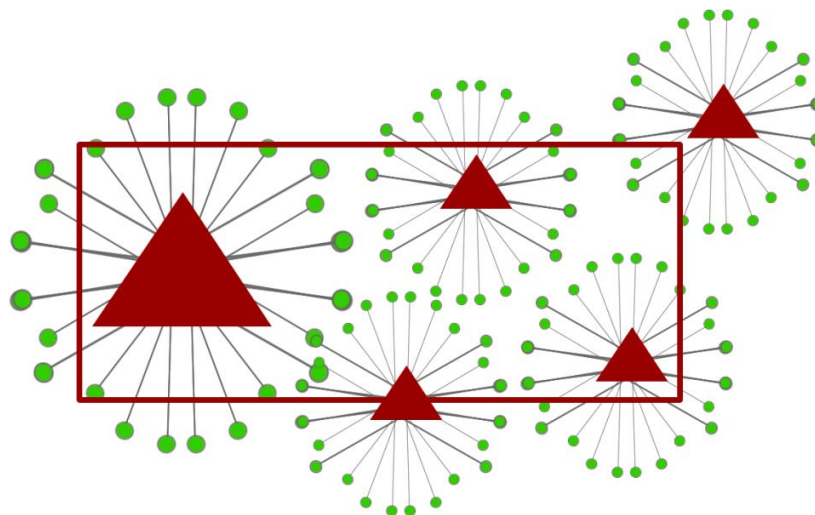


ここでは、クラスタがネットワークで取り込むことができるさまざまな構成を調べるためのものではありませんが、上の図

17

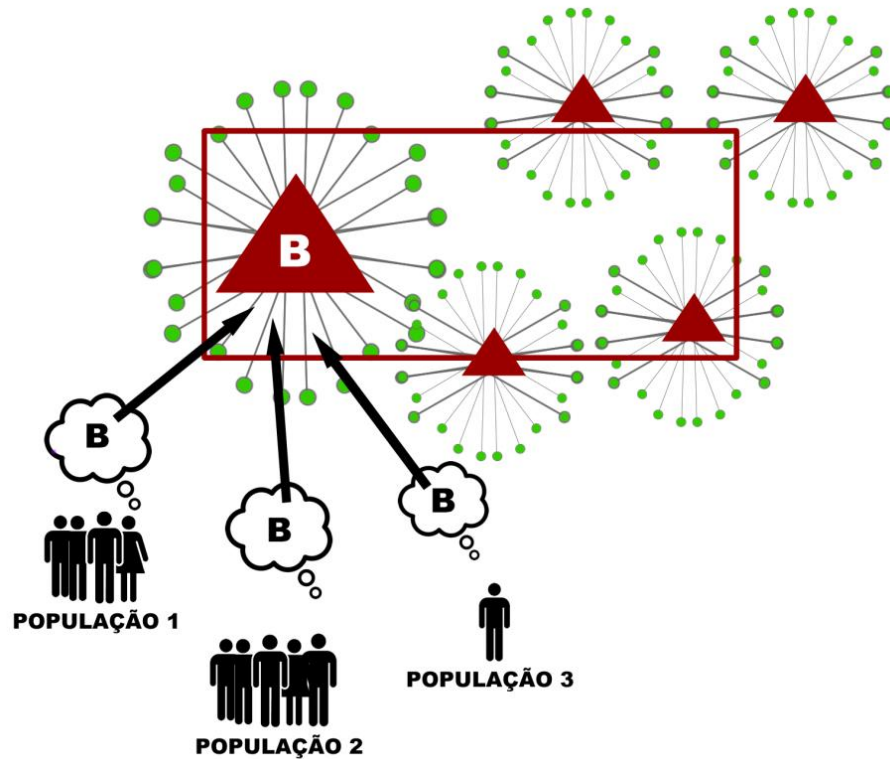
は、私たちが通過したいことを示しています。私たちが提案する社会的表現を分析するための提案をよりよく理解するために、我々は、三角形が共有RSが生成されるノードを表すハブの中央集権的な形で、以下の(図18)クラスタのセットを提示する。ニューロンの可塑性はハブ型のネットワークには対応していませんが、この図は、意味の生態学で生み出される関係のモデルとして機能します。

図18 - アゴラの形成



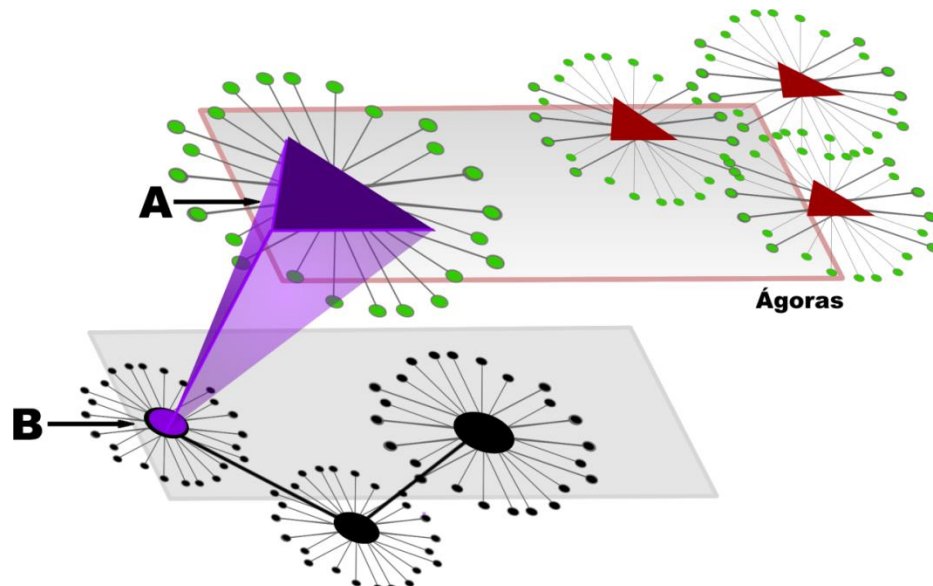
下の図19では、人口1、2、3はEGO(B)に関して同様の社会的表現を共有し、アゴラスを形成している。特定の人口のアゴラは、部分的または完全に、他のアゴラのイデオロギー分野を共有することができます。

図19 - 異なるグループを持つアゴラの形成



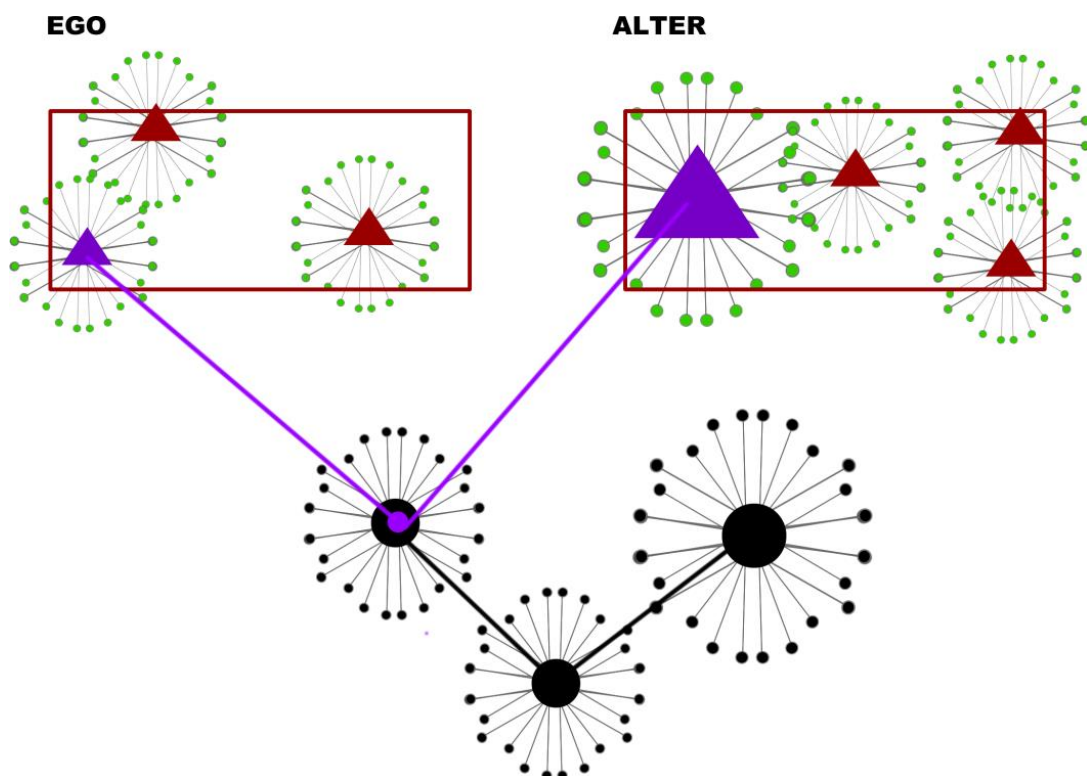
我々の研究では、アブリック(1994)によって開発された喚起の方法を適用し、アゴラスは、THEについて研究したのRSから形成されました。図20では、人口は、ハブの形で社会的表現のクラスターの発電機として、投影によって異なるアゴラを共有する:EGOから出てきてALTERの表現を生成するもの。

図20 - グループの投影



この表現に加えて、同じ図(図21)で、アゴラスA(変更投影)とB(エゴバックプロジェクション)の両方をモデル化します。

図21 - エゴと変化を理解するアゴラ



この分析的解釈的な提案は、アゴラの建設を通じて上記の研究問題(項目2.4)に答え、他方ではAEdに対する偏見と抵抗に関する社会的表現を探求することを可能にすると信じています。

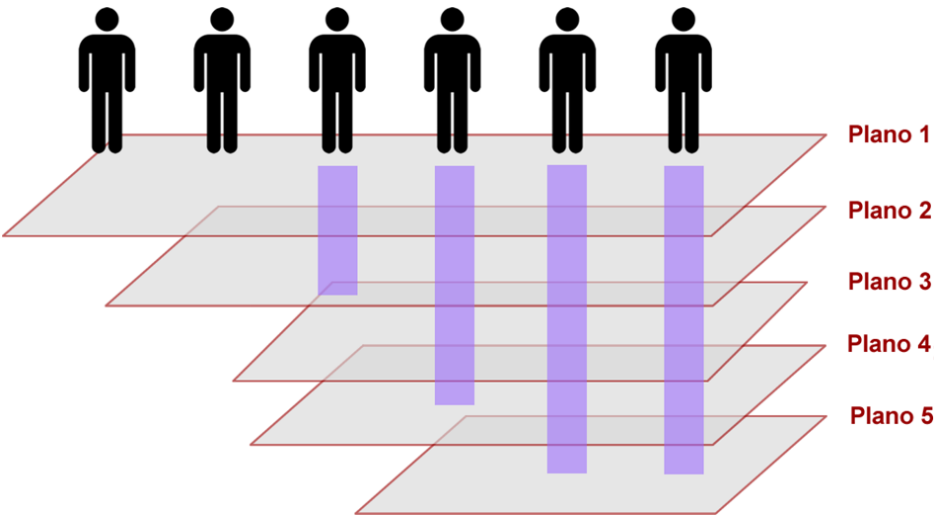
3.2 方法

3.2.1 喚起

この研究では、定量的アプローチを採用し、起工法を用いて測定した。この方法は、研究の回答者に質問から少数の刺激語を尋ねることから成り立っている。したがって、すでに前述したように、経験的に働くことができるデータを作成することによって、フリーアソシエーションまたはフリーエボネーション(EVOC)と呼ばれるものを確立することができます。;ベリーニ、2011).単語の喚起のテクニックは、被験者が研究で知りたいことに関する質問をすることになり、対象の被験者の前に現れる言葉(口頭または書面で言語化されている)がオブジェクトに関する表現を示していると仮定します(BARRETO;メネセス;モスコン, 2016;コンセプション;シルバ、米国;ユーゼビオ, 2011;マルキソッティら, 2017;サントス、2006).

この手順には、2つのプロセスを関連付けます。(1)第一の懸念は、EGOとALTERに関してevocによる単語キャプチャとしてそれを理解することですアゴラモデルに基づいてそれを拡大することです。(2)2つ目はアゴラの観察方法に関係している。EVOCの応用から生じる社会表現の間でアフィニティプランを特定することが可能であると考えています。つまり、個人間でグループ化できる同じ意味を持つより多くの表現の組織は、同じ意味の2、3、4、5の単語のアゴラを形成する。実際には、特定の集団の類似した表現に対する多かれ少なかれ付着から構成される分析を得る。これにより、方法論的に、一致する喚起の数に応じて被験者間のイデオロギー的なつながりのポイントを確立することができました。研究では5つのキーワードが要求されたので、被験者間の最大5つの同時表現のアフィニティ計画を作成することが可能であった。上記で説明する際に、1から5の一致する意味を持つ単語数は、以下の図22で示すように、被験者を同じレベルに配置します。

図22 - アゴラアフィニティプラン



3.2.3 被験者サンプリング戦略

いったん、エボケーション法の適用に定量的なアプローチを採用した後、研究対象者は、デジタル形式でアプローチされたCEDERJ前庭の選択プロセスから18歳以上の人々を提示する必要があります。この目標を達成するために、CEDERJとの研究連携を確立し、この車両が得た情報の割り当てを承認しました。

サンプルを構成するために、UFRJの倫理証明書の条件に参加したくないか、または反対の表現をした人のみを除いて、42,626,000人の前庭大会の候補者の全人口に招待状が提示されました。³統計における人口の一度のcは、共通点を持つ要素に焦点を当てています、すなわち、年齢によって有効な人口を定義することができます、職業、性別や主題の親和性 (ANDERSON;スウィーニー,スウィーニー,スウィーニー,ウィリアムズ, 2007) .この場合、集団はCEDERJ前庭のすべての参加者とみなされた。

3.2.4 データ収集ツール

私たちの研究に使用されるデータ収集装置は、EGOのデータ抽出用とALTERの2つの基本的な質問に関連する一般的な社会人口統計学的アンケート(性別、人種、年齢、学校教育などのデータの知識)でした。その答えは、呼び起こされる社会的表現を示すものと考えられていた (ABRIC,2004;マゼラン, 2014;マルコヴァ, 2007, 2017;SA, 1996).

リコールテストで定める質問は次のとおりです。

EGOについて

「EAD」という言葉を聞いたときに思い浮かぶ5つの言葉は何ですか?

ALTERに関連する

ブラジル人は「EAD」という言葉を聞いてどう思いますか?5つの単語や表現を引用する。

³哲学・人間科学評議会が発行した意見 n. 3.159.251 CAAE: 04553218.0.0000.5582

3.2.5 データ処理、解析、結果の解釈

得られたデータは、3つの段階に編成されたいくつかの段階に従った。第1段階(第1段階)では、データの定量的処理を行った。第2及び第3段階(最終2段階)において、以下の表8に示すように、単語の自由な喚起の手法に基づく定量的データの処理。

表 8 - 分析解釈プロセスの段階

ステップ 1	データのコンパイルと書式設定
ステップ 2	文学や研究でEGOやALTERなしで呼び起こされる単語を識別するデータ組織
ステップ 3	斧1から5のアゴラの分析と五感の生態学の次元に従った結果の解釈。

詳細は、次のようにして処理を行いました。

最初の段階では、人口は非準拠データの排除、誤ったまたは不適格のセグメント化されました。空白の回答、誤って型指定されたデータ、または無意味なデータは、不適格データと見なされました。

第2段階では、上記の2つのガイド質問からのデータをまとめ、理論に従って社会的表現の組織を抽出する (ABRIC、2004;ブース、ブース、2010年コロンプ;ウィリアムズ,2007;カンポス,2017;マッツォッティ, 2005;モスコビッチ, 2000;ペレイラSA, 1996).

第3段階では、文献レビューの結果と比較できるアゴラス(a)「負」と見なされるアゴラス(a)、(c)アフィニティ計画、(d)関係分析、(e)最初の500回答を観察したため、最初の100語から1から5の軸でデータを整理しました。同じ段階で、我々は、アゴラスのグローバル分析を行い、センスエコロジーの次の感覚に基づいて結果を解釈しました。

a)被験者の性質(EGOとALTER)の観点から、**認知的意味**を持つ言葉、**感情的意味**を持つ言葉、**倫理的道德的な問題**を指す言葉。

(b)環境や社会の観点から、**環境**を指したり、それを示唆する言葉を語る。

c)世界のイメージの観点から、主観的解釈は、研究者の視点から、世界の特定の画像(またはテーマ)で意味する理論システムに基づく。

4 データの結果と解釈の分析

4.1 結果の分析

4.1.1 はじめに

この最初の部分では、読者が収集したデータをより一般的に理解できるように明確にします。これは、この一般的な基礎のために別の結果が発生する可能性が高くなるため、いくつかのアゴラ形成を理解するために必要です。

当初、60,292の回答が社会経済的な形から抽出され、入学試験の登録には必須ではなく、候補者が提示されたすべての質問に答えることは課されませんでした。必須の充填の欠如を考慮して、研究に参加することに同意した人々のグループは42,626人によって構築されました。したがって、このグループは、研究を構成するために使用される作業の基礎でした。

質問を作成するために、機関の標準的な構造化された形式(CEDERJ)が使用されましたが、この研究の目的のために、\EGOとALTERに関連する質問が追加されました。使用された質問は次のとおりです。

1. セデリの入試について、どのように学んだのですか?
2. 高校ではどのような教育施設に通っていますか?
3. どのような高校の研究を行いましたか(高校のコースは何年で修了しましたか?
5. 高校以外の受験コースに参加しましたか?
6. 受験前に受験したことがありますか?何。
7. 大学の学位を取得しましたか?
8. 家族の月収は?
- 9.

有給の活動を行う場合、家族の経済生活への参加はどのようなものですか?

10. どこに住んでいますか?
11. 学校の本を除いて、平均して年間何冊の本を読みますか?
12. イベントについて常に情報を得るために最も使用する媒体は何ですか?

13. 新聞を読んだら、どのセクションが一番読みたいですか?

14. コンピュータを使っていますか?

15. 毎日の勉強の可能性は?

16.

課外コースは体系的に受講していますか?あなたの時間を最も多く取る1をマークします。

17. 外国語を習得していますか?

18. 以下に挙げた活動のうち、最も時間を占めているのはどれですか?

19. 大学のコースに最も期待しているものは何ですか?

20. なぜ距離コースを選んだのですか?

21. 遠隔教育の経験は?

22. このコースの選択に最も貢献したものは何ですか?

23. あなたの住居から、あなたが競争しているセデジポロまでどのくらい?

24. セデジの地域センターに行かなければならないのは何ですか?

25. EADを聴くときに思い浮かぶ5つの言葉は何ですか?

26.

ブラジル人はEADという言葉聞いてどう思いますか?5つの単語や表現を引用する。

我々は、最後の2つの質問(25と26)が社会的表現の形成のためのガイドとして私たちを提供するものであることを強調する。

4.1.2 データ処理

データ処理手順として、この情報は Access 2016
プログラムでコンパイルされ、このシステム上のデータベースが形成されました。
情報の抽出と照会では、コマンドは
SQL(構造化照会言語)と呼ばれる言語で使用されました。ポルトガル語で構造化され
たクエリ言語。抽出されたデータは、後に Microsoft Excel 2016
システムにインポートされ、グラフのコンパイルと作成のためにさまざまな性質の

数式やフィルターに適用されます。上記の手順は、アゴラ(共通の社会的表現を持つ人々のグループ)ごとに行われました

4.1.2 一般の人々について

この部分では、総人数、すなわち42,626人の回答者に対して実行された統計の概要を説明します。このキャッチは、先に見られるagorasの構成で読者を導くために重要です。アゴラはアイデアからグループを形成するものであるので、すべてのアゴラの形成は、全体として結果に影響を与える誘導を生成するこの初期ベースの基質であることを強調することが重要です。例えば、女性の人が多いというのを想像してみてください。したがって、このセックスの人々によってアゴラが形成される確率は高くなります。これは方法論の問題ではありません。しかし、アゴラの最初の考え方は、人々の社会表現、すなわち彼らの考えや概念によって形成されたグループから自然に抽出することから来ているので、いくつかの現象を学ぶためには、この段階の読者を理解する必要があります。しかし、最初の統計にもかかわらず、結果に見られるのは、世界のイメージと初期データの変更の不可欠です。

以下の表9は、参加者の総数とその平均年齢を示しています。

表9 - 数量

型	番号
回答	42.626
平均年齢	32歳

以下、本研究の基礎から統計データの概要を示す。

この調査では、市に関連する参照は、大学に通うために選択されたポールに関するものであり、必ずしも研究が住んでいる都市に関するものではありません。2つのセンターを含む唯一の都市はリオデジャネイロで、カンポグランデとロシーニャにユニットがあり、他の自治体は1つのユニットしか持っていません。この研究で調査された都市/センターについて、リオデジャネイロの大都市圏が優勢で、州内に住む人は6%多く、学生の数が最も多いのはノヴァ・イグアス、カンポ・グランデ、

サン・ゴンサロ、ベルフォード・ロキソ、ドゥケ・デ・カシアスです。年齢変動に関しては18歳から20歳の間のピークですが、それでも、平均年齢が32歳前後の大学時代と考えられる地域外の人には大きなマージンがあります。セックスに関しては、約56%の女性の優位性があります。

教育の一形態としてEADモダリティを選択する原因から、ほとんどの彼らは伝統的な大学によって実践された時間で高等教育に出席する時間がないということが指摘されています(33%).次に、33%の距離高等教育の選択において、金融環境が重要視されることも観察される。レジャーに関しては、国民のほぼ半数(49%)インターネットで楽しまれると言い、続いて同じ割合で読書とスポーツをする(15%)。また、この調査の大多数の国民は、半数以上(54%)が最低賃金1~3の家族所得を持っている。遠隔教育の経験に関しては、半分以上(51%)このモダリティに参加した人は何も言いませんが、それでも、オンラインコースで経験を積んだ大勢の人々がいます。コースやキャリアの選択に寄与した要因については、ほとんどの人が個人的なスキルに適した理由(37%)が原因であり、その後に専門的な理由で学位を取得する必要があると言われています。調査された国民の大半は高等教育を受けていない(82%)。また、大多数が公立学校の生徒であることが確認されました(66%)働かない人(32%)が、家族から金銭的援助を受ける。家庭で働いたり経済的に援助したりする人が多く、この2つのケースは全体の47%を占めています。大多数が年間1~2冊の本を読み、国民の44%を読み、インターネット(82%)を特定することが可能です。は主な情報源です。新聞の読み取りに関しては、大多数が読んでいないと言っています(29%)そして、読む人は文化、教育、レジャーの分野に主に興味を持っていることを観察することができます。この視聴者のほぼ半数(48%)自宅でインターネットアクセスを持っています。この視聴者の大半(72%)課外コースには一切参加しません。

上記のデータは、読者がこの研究の聴衆について少し理解するための基礎に過ぎませんが、すでに述べたように、アイデアで人々をグループ化する際に、これらの統計は以下のagorasの分析に見られるように変更されます。

4.1.3 表現の概要

定義上、アゴラは社会的表現を通じて人々のグループを結集します。したがって、この最初の瞬間に、我々は研究を構成する単語のリストを選択しました。このために、最も高い入射回数を持つ最初の100語が選択され、分析ができるようにしました。このリストの分離は、EGOのためにさらに引用された50語とALTERのために最も引用された50の単語として起こった。以下の表10のリストを参照してください。

表 10 - EGO および ALTER の 100 の最も引用された表現

自我		変更	
表現	人数	表現	人数
機会	10539	容易	8918
時間	10372	時間	6772
容易	8551	機会	6238
実用 性	8384	実用 性	3764
柔軟性	6667	困難	3417
規律	6553	経済	3146
献身	5852	柔軟性	3126
経済	5061	利便 性	2718
可用性	4551	困難	2553
利便 性	3718	規律	2406
ナレッジ	3412	可用性	2069
フォーカス	3379	献身	1999
責任	3066	怠惰	1909
組織	2993	偏見	1670
コミットメント	2567	ナレッジ	1286
学習	2444	簡単	1286
品質	2398	品質	1246
アクセシビリティ	2374	悪い	1175
形成	2103	フォーカス	1164
決定	1970	トレーニング	1138
努力	1720	アクセシビリティ	1116
達成	1453	責任	1085
コミットメント	1452	組織	1080
教育	1435	時間の不足	1035
快適 さ	1289	仕事	1034
自主 性	1271	距離	1002
仕事	1236	不信	947
成長	1211	学習	941
研究	1206	努力	885
将来	1077	教育	826
学習	1076	コミットメント	803
コミットメント	1039	お 金	786
困難	973	恐怖	784
敏捷 性	965	快適 さ	767
コスト	938	研究	732
意志	938	インターネット	722
距離	931	コスト	713
必要	913	決定	649
お 金	905	必要	634
卒業	869	いち早く	628
挑戦	860	複雑	618

インターネット	858	実用的	614
資格	854	疑い	610
セキュリティ	842	無知	594
包含	809	弱い	570
フィットネス	797	コミットメント	564
テクノロジー	791	成長	552
アクセス	760	テクノロジー	507
は	714	アクセス	501
トレーニング	687	敏捷性	501

この語の読者は、単語が一方の構造と他方の構造の両方で繰り返されているにもかかわらず、ある列から別の列への繰り返し数の差が大きいことに気づくかもしれません。たとえば、最初の列に "商談" という単語が 10,000 回以上引用され、もう一方の列 (ALTER 列) では、繰り返し回数がほぼ半分になります。ALTER と EGO の両方で、レプリケートされていない単語については、以下にも表示されます。100 語のうち、30 の表現は、各カテゴリ (ALTER の 15、EGO の場合は 15) で繰り返しを持っていません。

表 11 - ALTER および EGO で繰り返しが行われなかった単語

自我	変更
アクセス	安い
フィットネス	複雑
学習	不信
自主性	無知
挑戦	困難
コミットメント	疑い
意志	簡単
将来	時間の不足
卒業	弱い
包含	恐怖
自由	実用的
資格	偏見
達成	怠惰
セキュリティ	いち早く
は	悪い

以下の表12は、表12において、EGOおよびALTERの両方で複製されたキーワード:35にすべて観察することができる。

表 12 - ALTER および EGO で繰り返しが行う単語

エゴとオルター
アクセシビリティ
敏捷 性
学習
利便 性
コミットメント
コミットメント
快適 さ
ナレッジ
成長
コスト
献身
決定
困難
お 金
規律
可用性
距離
経済
教育
努力
研究
容易
柔軟性
フォーカス
トレーニング
インターネット
必要
機会
組織
実用 性
品質
責任
テクノロジー
時間
仕事

ALTERとEGOの両方に共鳴した言葉は、後でアゴラの形で提示されます。

4.1.4 概要データの議論

最初の100の最も呼び起こされる単語(50 EGOと50とALTER)を明らかにすることによって、反射のために興味深いもののいくつかを観察することが可能です。最も引用された100語のうち、50のALTERの一部は否定的な表現を示し、EGOの50では否定性はありません。彼らは、以下の表13に、呼び起こしの順に従います。

表 13 - ALTER による負の単語のリスト

ALTER の否定表現
恐怖
偏見
簡単
悪い
不信
つらい
複雑
疑い
無知
弱い
怠惰

グローバル分析のために、この研究はカンポスの感覚の生態学の次元を使用しました (2017) 各単語に対して、社会的表現を行うとき、我々は、次の次元を関連付けます:

認知と感情構造;良心、意志と道徳、そして存在の物質的条件。社会表現の性質を評価するために、最初の100語、50 EGO、50語を使用しました。

悪い、怠惰、恐怖、疑いなどの言葉が、他の人との関係で被写体の世界のイメージに関連していることに図表14で気づくことは可能です。良心、意志、道徳性については、「偏見」、「不信」「無知」、「難しい」など、意味の点で否定的な言葉を見ることもできます。一方、「責任」や「コミットメント」などの言葉は、逆の意味を示唆していることに気付きます。存在の物質的条件において、ALTERの場合、「仕事」や「形成」などの肯定的または否定的な表記を持たない単語のリス

トがあることを検証しました。また、「実用性」、「容易さ」、「経済」など、対象者の日常生活とつながりを持つ可能性のある言葉が登場しました。

表 14- 感覚の生態の機能における ALTER の表現

表現(ワールドイメージ) - 変更		
認知的および情動的構造	良心、意志、道徳	存在の物質的条件
ナレッジ	偏見	容易
悪い	困難	時間
学習	規律	実用 性
教育	献身	経済
恐怖	フォーカス	柔軟性
研究	責任	利便 性
弱い	困難	組織
品質	不信	アクセシビリティ
無知	コミットメント	トレーニング
複雑	決定	仕事
	プレギカ	時間の不足
	簡単	距離
	コミットメント	お 金
	成長	快適 さ
	機会	コスト
	可用性	インターネット
	努力	必要
	疑い	いち早く
		練習
		安い
		テクノロジー
		敏捷 性

EGO(図表15)の表現では、被験者の認知的および情動的構造に関連する肯定的な性質の言葉を「知識」、「実現」、「意志」、「自由」として知らせ得る。意識、意志、道徳性について、「機会」、「容易さ」、「献身」など、複製の数が多い言葉を観察しました。存在の物質的条件に関しては、定量的に最も偶然を持っていたALTERの構造に近い言葉を見つけます。

表15 - 感知の生態の機能におけるEGOの表現

表現(世界像) エゴ

認知的および情動的構造	良心の意志と道徳	存在の物質的条件
ナレッジ	機会	時間
品質	規律	実用性
学習	献身	柔軟性
達成	可用性	容易
教育	フォーカス	経済
研究	責任	組織
学習	コミットメント	アクセシビリティ
卒業	決定	トレーニング
は	努力	快適さ
	コミットメント	仕事
	自主性	利便性
	将来	敏捷性
	コミットメント	コスト
	困難	距離
	意志	お金
	セキュリティ	必要
	挑戦	インターネット
	資格	テクノロジー
	包含	フィットネス
	成長	アクセス
	自由	

「簡単」と「難易度」という言葉は、前者がTHEが簡単または入りやすいという感覚を持っているかもしれないので、異なる意味を示唆しているようです。第二は、科目を学ぶことが困難であるか、遠隔学習が実際のものよりも困難であることを示唆しているかもしれません。この 2 つの単語は、EGO と ALTER の両方に含まれる。彼らが示す可能性のある表現に注意を引くのは、引用の同じ文脈における彼らの意味の敵対である(ALTERの「容易さ」と「難易度」とEGOの「容易さ」と「難易度」)。さらに、これらの可能な表現の特異な特徴は、同じ文脈で言及された場合、陽性性および否定性を反映する可能性があるということである。例えば、研究を仕事(肯定的な知覚)と調和させ、年を過ぎやすく(否定的な知覚)、この後者の概念が「合格しやすい」ためにTHEが悪いことを示唆する程度に簡単です。

4.1.5 全体的なデータ分析

この最初の一般的な結論では、観測値を集約したデータの全体の表面的な分析でアゴラを採用しました。次の項目とサブ項目では、アゴラス自体に向けて、リプレゼンテーションの分析が実行されます。すでに説明したように、否定的な言葉はALTERに直接関連しており、偏見の一般的な考え方の仮説を強化していることに注意することができます。また、感覚の生態の観点から考えると、否定的な性質の言葉は、認知のおよび情動的な側面、ならびに被験者の良心、意志、道徳に関するものに関連していることも指摘されている。また、「恐怖」や「悪い」という用語に関連するものなど、THEに関連する偏見に関連する言葉の存在も認識されます。

「機会」のような言葉は、EGO(i)の最も引用された言葉として表示されます。引用のランキングの中央値フィールドの ALTER (もう一方) に同じ単語が表示されます。もう一方が距離教育を否定的な用語と関連付けるかもしれないという感覚は、AEdに対する偏見と抵抗の生成を示唆する要因の1つです。上記のデータは、私たちや他の人々の社会的表現に関する多くの反省に私たちを招待し、人間の思考の理解の性質がいかに複雑であるかを示唆しています。これは、この論文のテーマの議論のために行われた書誌調査の著者の一部の立場を反映していることを考えると驚くべきことではありません。次の章では、この最初のデータの合計分析で既に検出された偏見に起因する可能性のある否定的な表現のアゴラスを調査しました。

4.1.6 アゴラの分析と研究の5つの軸

私たちは、社会的に共有された表現を示すと思われる「表現」の言葉によってここで理解される5つの分析軸を採用しました。

1- 軸1-最も引用された否定的な表現のアゴラの分析。

2- Axis

2

-

書誌調査(第1章)に示されているように、他の著者が最も頻繁に言及したものと比較して、最も呼び起こされる表現のアゴラの分析。

3- 軸3 - アゴラアフィニティプランの分析。

4- 軸4 - アゴラの関係分析。

5- 軸 5 - 適用されたアンケートの最初の 500 有効な回答の分析。

分析では、アゴラスの結果を、各フォーメーションに対する可能な解釈の関数として、またEGOとALTERの間の比較を提示します。

4.2 軸 1 - 最も引用された否定的な表現のアゴラの分析.

4.2.2 はじめに -ネガティブ表現のアゴラ

この軸では、この研究の目的が広く偏見の理解と遠隔教育への抵抗に関連しているため、負の用語を分析します。

最初の100語のうち、EGOの50語とALTERの50語のうち、ALTERで想定される否定的表現しか検出できなかった(図16)。しかし、研究で収集された重要なデータベースから私たちに利益を得て、最初の50の引用に加えて、EGOによって明らかにされた否定性からアゴラを特定することができることを評価することが可能である。したがって、データの公開が予想を超えて広がったとしても、最初の100引用の中になくても、関連する違いを生み出すために、それらを完全に表示することにしました。

意味の複雑な生態学の観点から呼び起こされる用語を考えることによって、認知的小および情動的構造に、そして個人の存在の物質的条件における意識、意志、道徳の過程にそれらの濃度があることを知覚することができる。

表 16 - 感覚の否定的表現と生態

表現(世界のイメージ) ネガティブアス		
認知的小および情動的構造	良心、意志、道徳	存在の物質的条件
弱い	疑い	
恐怖	不信	
悪い	困難	
複雑	偏見	
無知	簡単	
	怠惰	

4.2.1 アゴラ恐怖

「恐怖」という言葉に関連するアゴラの形成に関連して、最初はEGOとALTERの間に大きな違いに気づき、後者の再発回数は多くなります(約5倍の単語)。EGO

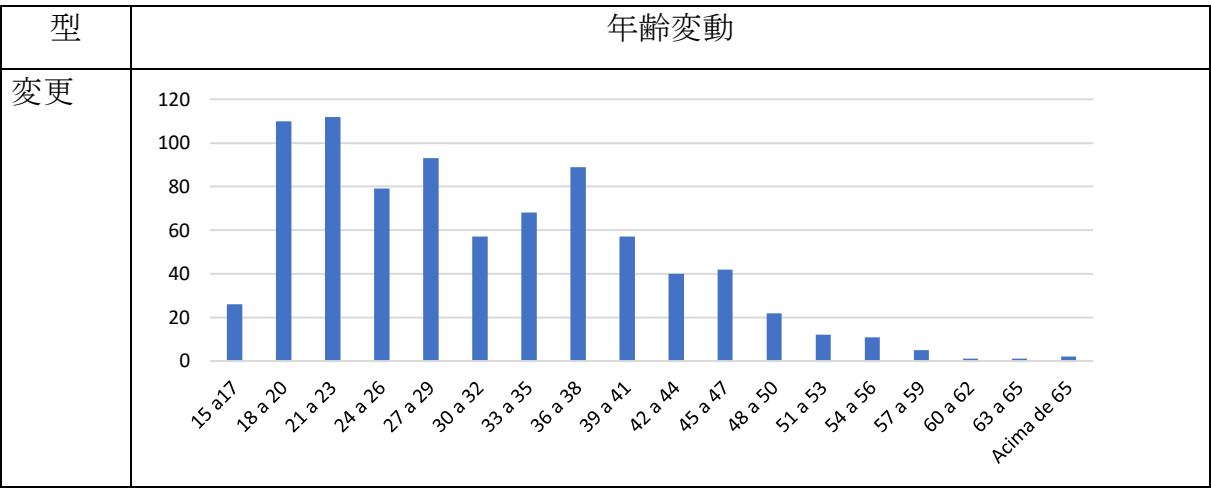
に関する「恐怖」という言葉に関連する可能な社会的表現は、以下に示すように、最初の50の引用の中でそのような表現が現れるALTERのために何が起こるかに反して、最も引用されたもののの中に現れる(図表17)。

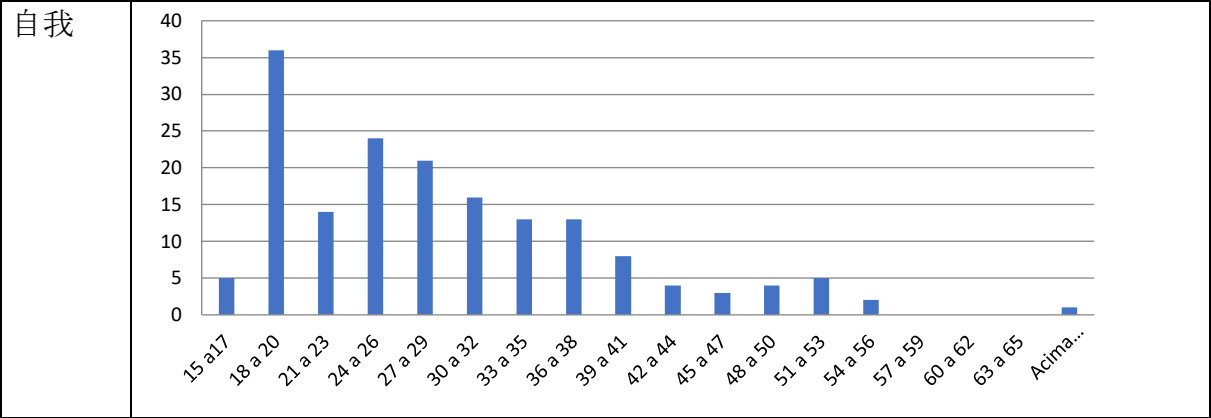
表 17 - EGO と ALTER に関する喚起 - アゴラ-アゴラメド

アゴラ	人々
自我	157
変更	784

表18は、21歳から23歳までの若者が、18年から20年の範囲に近いアゴラの形成における「恐怖」という言葉の優位性に責任があると指摘しています。その直後、24歳から26歳、27歳から29歳、36歳から38歳の3つのピークを持つ落下。しかし、図18に示すように、EGOを参照する列では、数が減少スケールで認識され、21〜23歳の範囲でのみ強い低下を伴う。

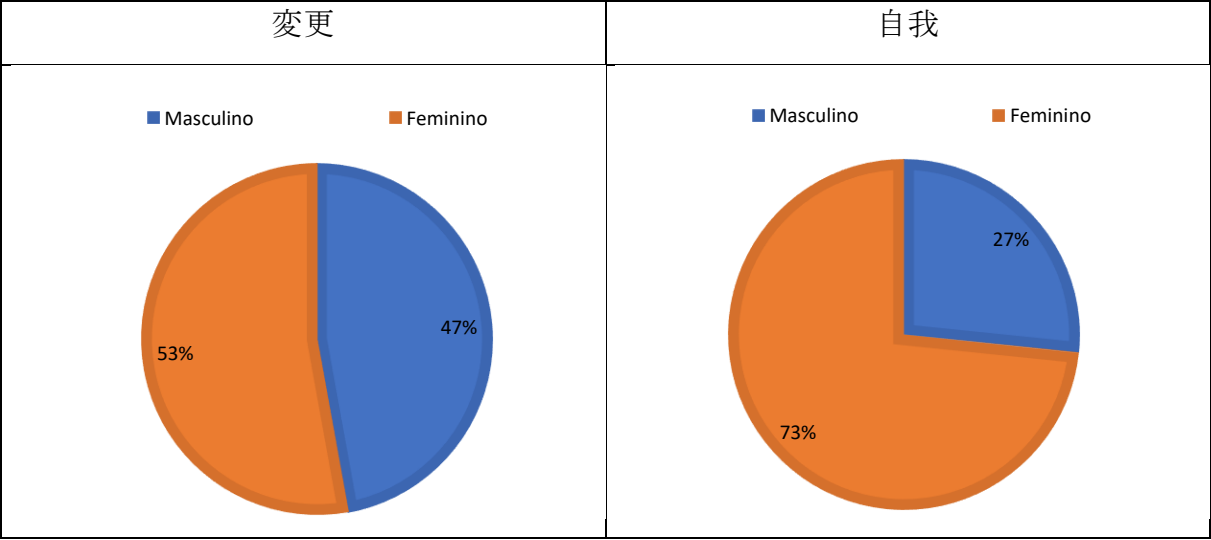
表 18 - 年齢バリエーション - アゴラ・メド





性に関しては、女性の優位性があることが観察できる。しかし、「恐怖」という言葉がEGOに焦点を当てると、それは深まります。つまり、表19に示すように、より多くの女性が遠隔教育を恐れていると認識している。

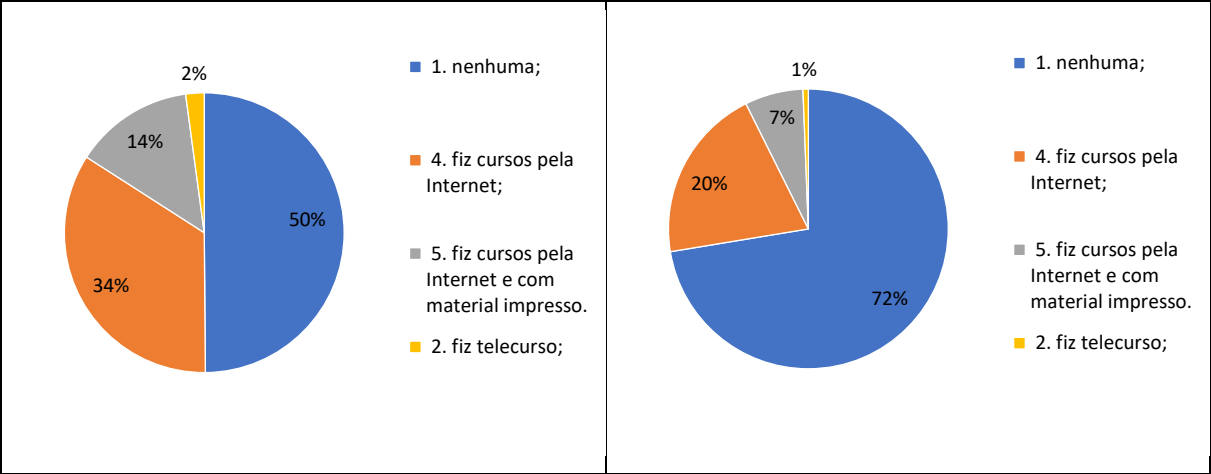
表 19 -セックス -アゴラ恐怖



また、遠隔教育を経験したことがないが、それに関連して恐怖の表現を持っている人々の優位性があること(図表20)も注意することができます(EGOでは72%、ALTERでは50%)。

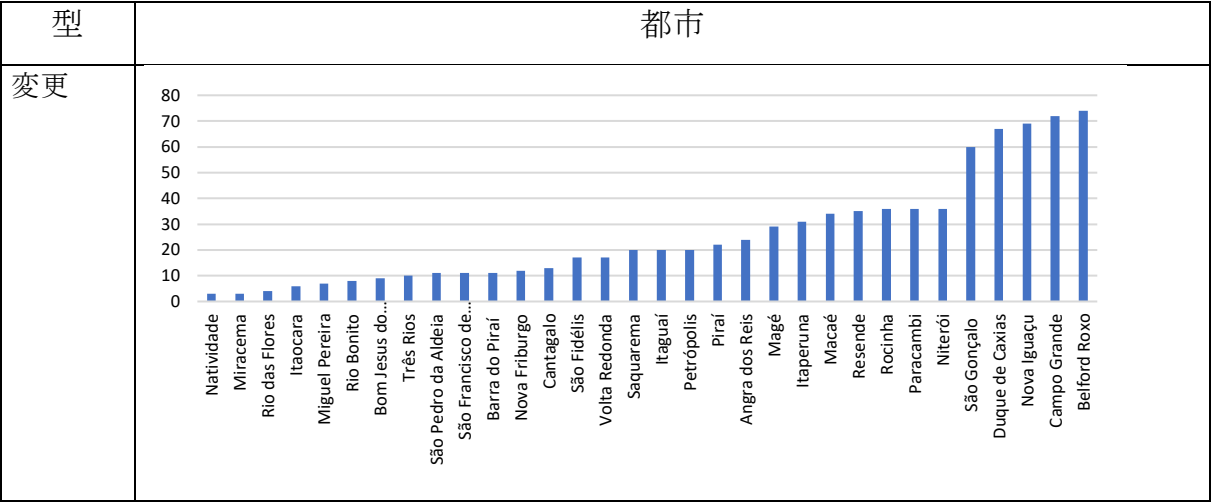
表 20- EAD の経験 - アゴラ・メド

変更	自我
----	----



ほとんどの都市が遠隔教育を恐れているものに関して、リオデジャネイロの都市による分布については、EGOとALTER(図表21)に関しては逆感情があります。例えば、人々が最も他の人がEADを恐れていると信じている都市はベルフォードパールであることに注意してください。しかし、EGOに関連して、想定される表現として最も恐怖を提示した都市は、リオデジャネイロ州の内部で、イタペルナでした。また、ALTERに関しては、大都市圏には恐怖の優位性があることも指摘されている(図表22)。この状況は、州内に優位性を持つEGOに関しては逆転します。

表 21 - 市町村地理分布 - アゴラ・メド



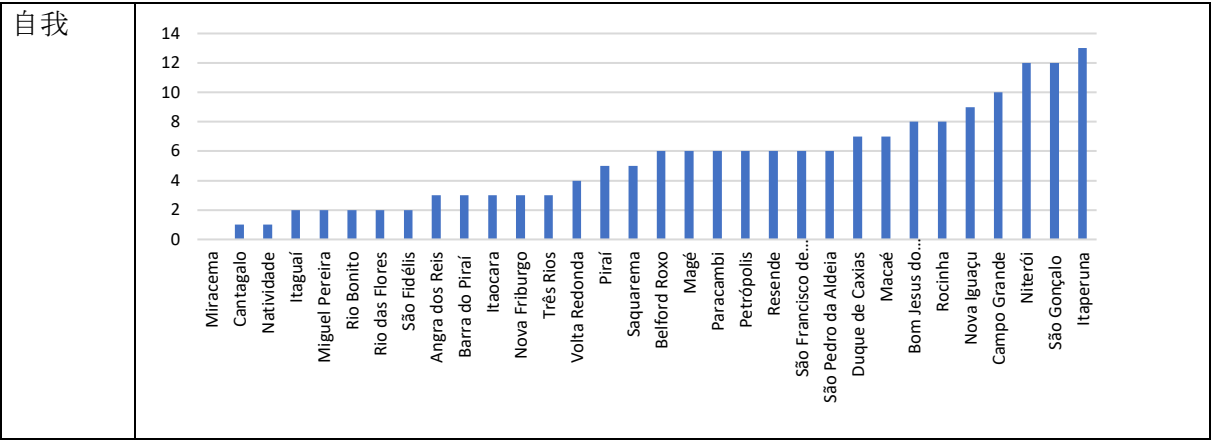
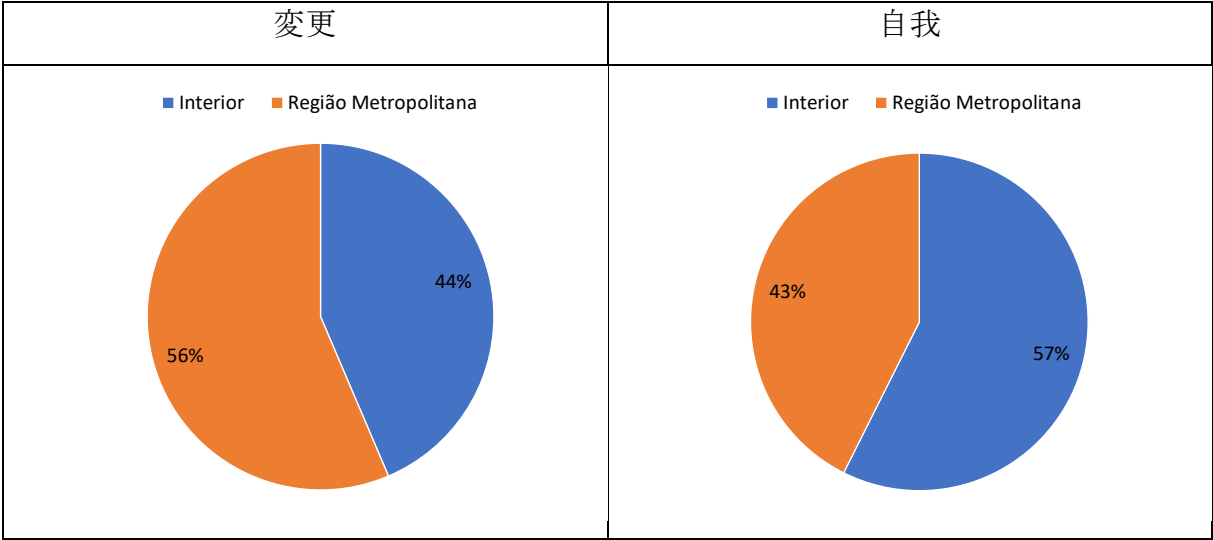
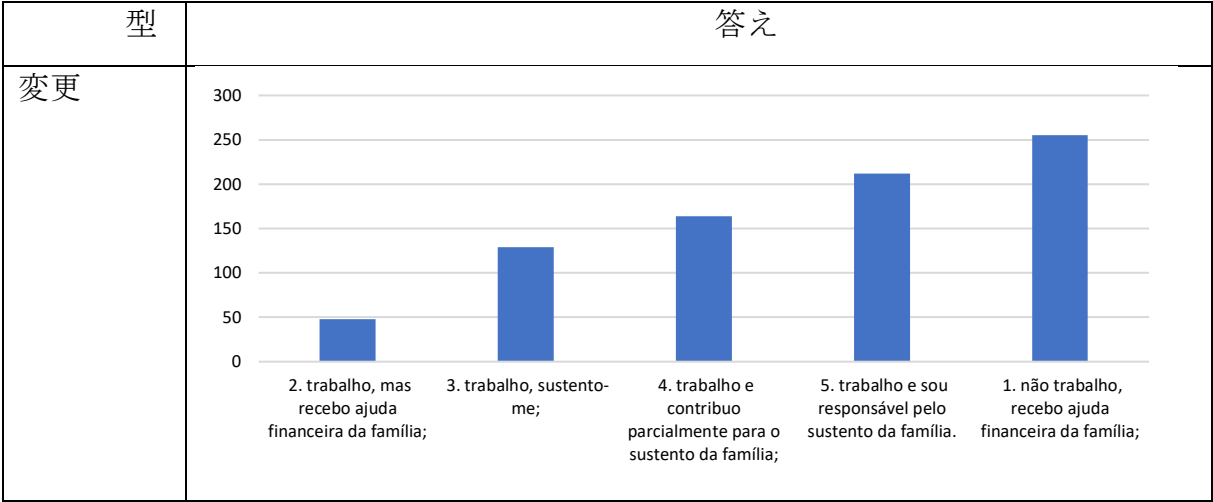


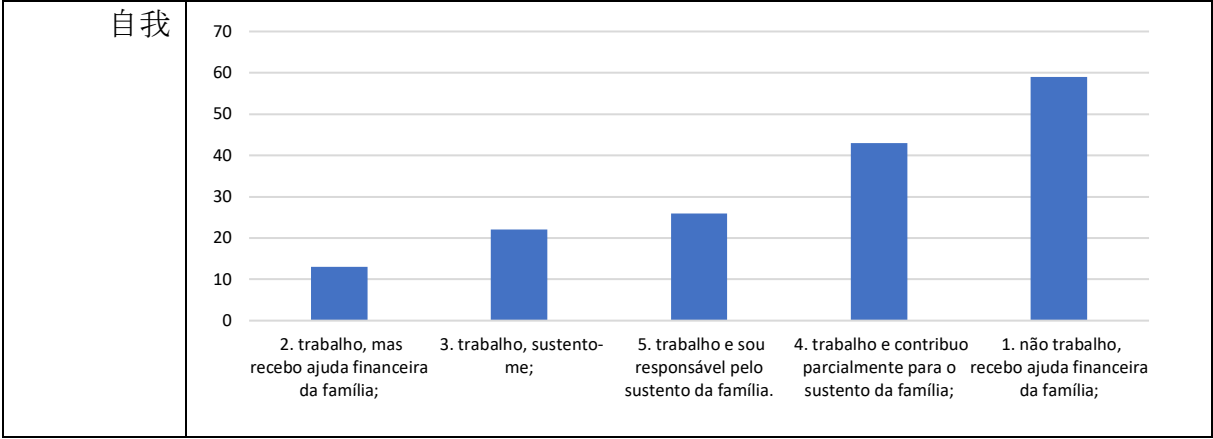
表 22 - 地域の地理的分布 - アゴラ・メド



経済参加に関しては、このアゴラからの回答者の過半数は、アルターの表現が仕事なしで家族からの資金援助を受け、第二に家族のリスクとして彼に与え、次に表23に示すように、EGOに関するものでも同じことが起こる。

表 23 - 経済参加 - アゴラ・メド





4.2.2 アゴラの偏見

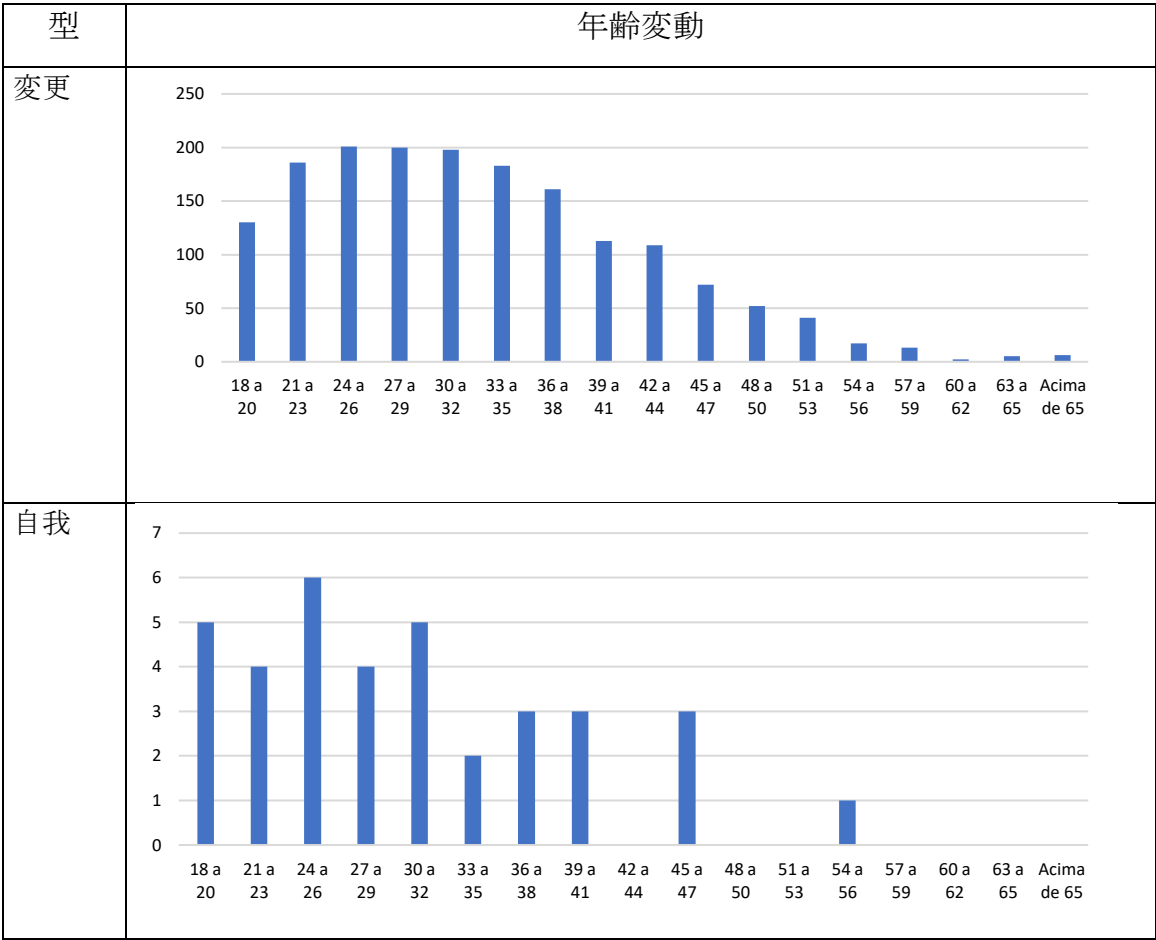
「偏見」という言葉に関連するアゴラの形成に関しては、EGOとALTERの間に大きな不一致があることにグラフ24で気付く事が可能です:後者は、大きな繰り返しを伴い、最初の複製は重要度の低い、1と他の差はほぼ50倍です。

表 24 - エゴと ALTER - アゴラ - アゴラ偏見

アゴラ	人々
自我	34
変更	1670

表25もまた、32歳前後の24歳から一定の安定化までの人数の増加が見られる。これは、ALTERに関して偏見の社会的表現の可能性を持っている高齢者のかなりの数があることを意味します。図表25では、人数がはるかに少ないにもかかわらず、EGOに関連して、18歳から20歳までの年齢層の変動が大きく、30歳から32歳まで、24歳から26歳の間にピークを迎える。

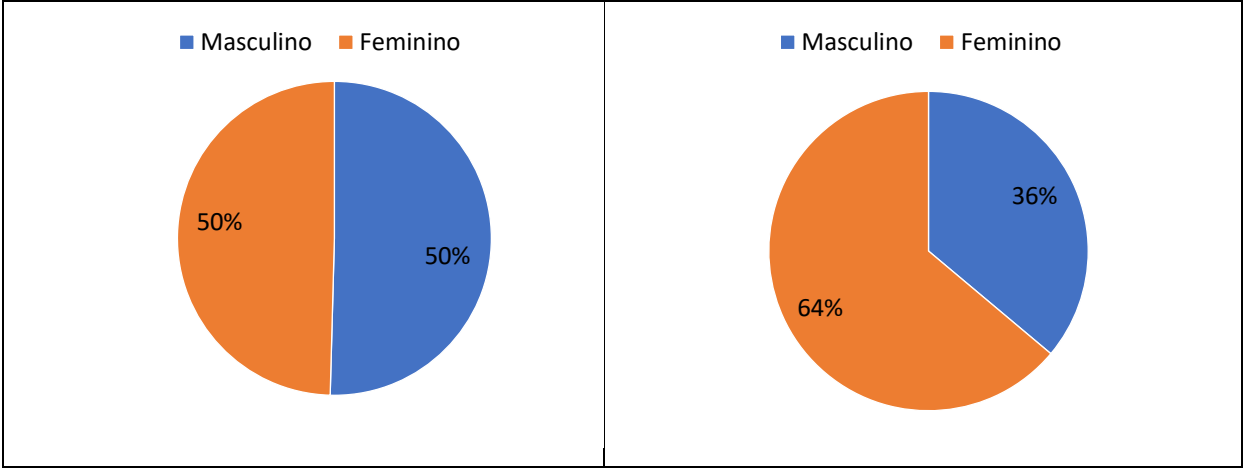
表 25 - 年齢バリエーション - アゴラ・プレコンシト



性別に関しては、図表26に示すように、ALTERとの関係には男女間のバランスがある。しかし、このバランスは、大多数の女性に提示するEGOに関しては終わった。

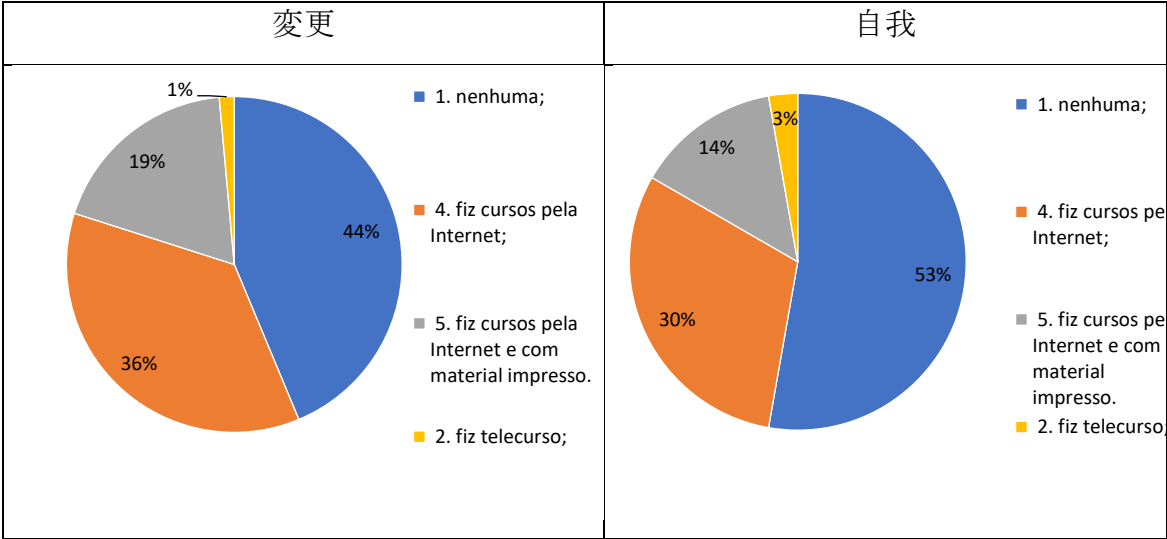
表 26 - セックス - アゴラ偏見

変更	自我
----	----



AEdの経験に関して、図表27では、ALTERに関連して、ほとんどがこのタイプの教育の経験を持たないことに注意することができます。しかし、インターネットを通じて教育学習の経験をすでに経験していると言う多くの人々は、依然としてALTERに関するTHEに対する偏見の社会的表現を強化しています。AEdで経験を積んでも、この人が他の人が持っていると感じているイメージは向上しません。

表 27- EAD の経験 - アゴラ・プレコンシト



大都市圏(図表28)に関しては、EGOとALTERの両方で強くマークされた偏見の社会的表現の可能性の発生を観察した。これと州の内部との比較では、図表28では、大都市圏における前者の発生率が高いことがわかります。

表 28 -市町村地理分布- アゴラ・プレコンシト

型	都市
---	----

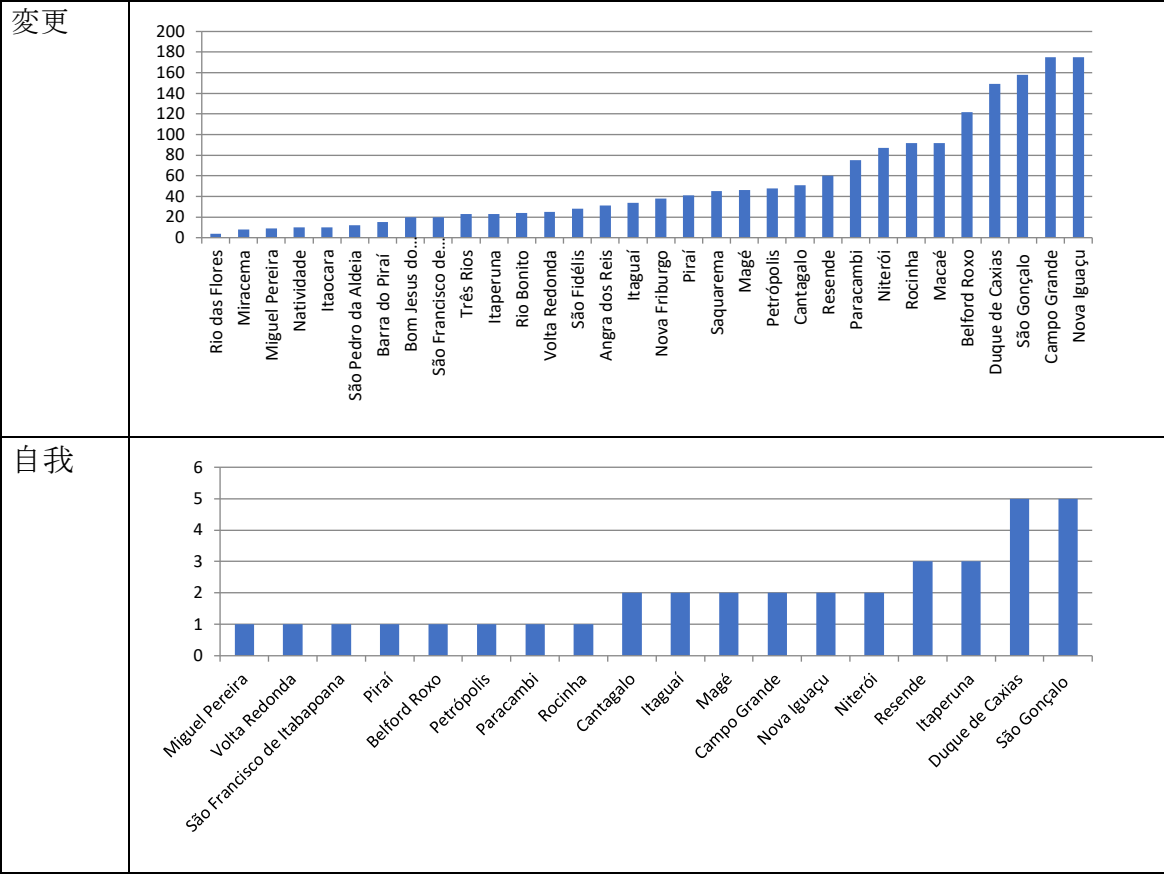
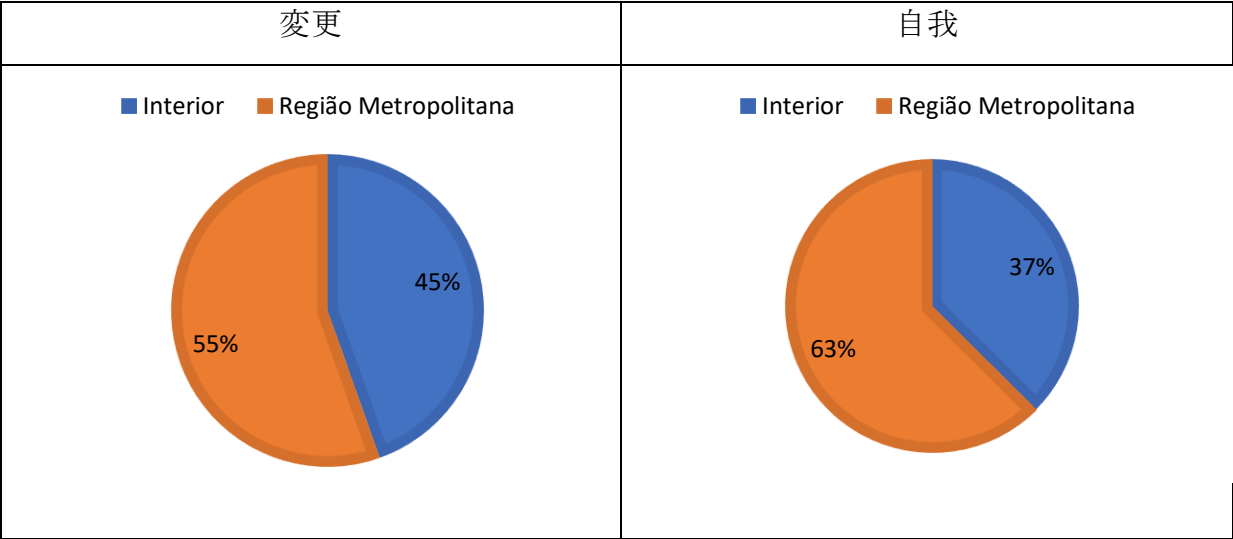
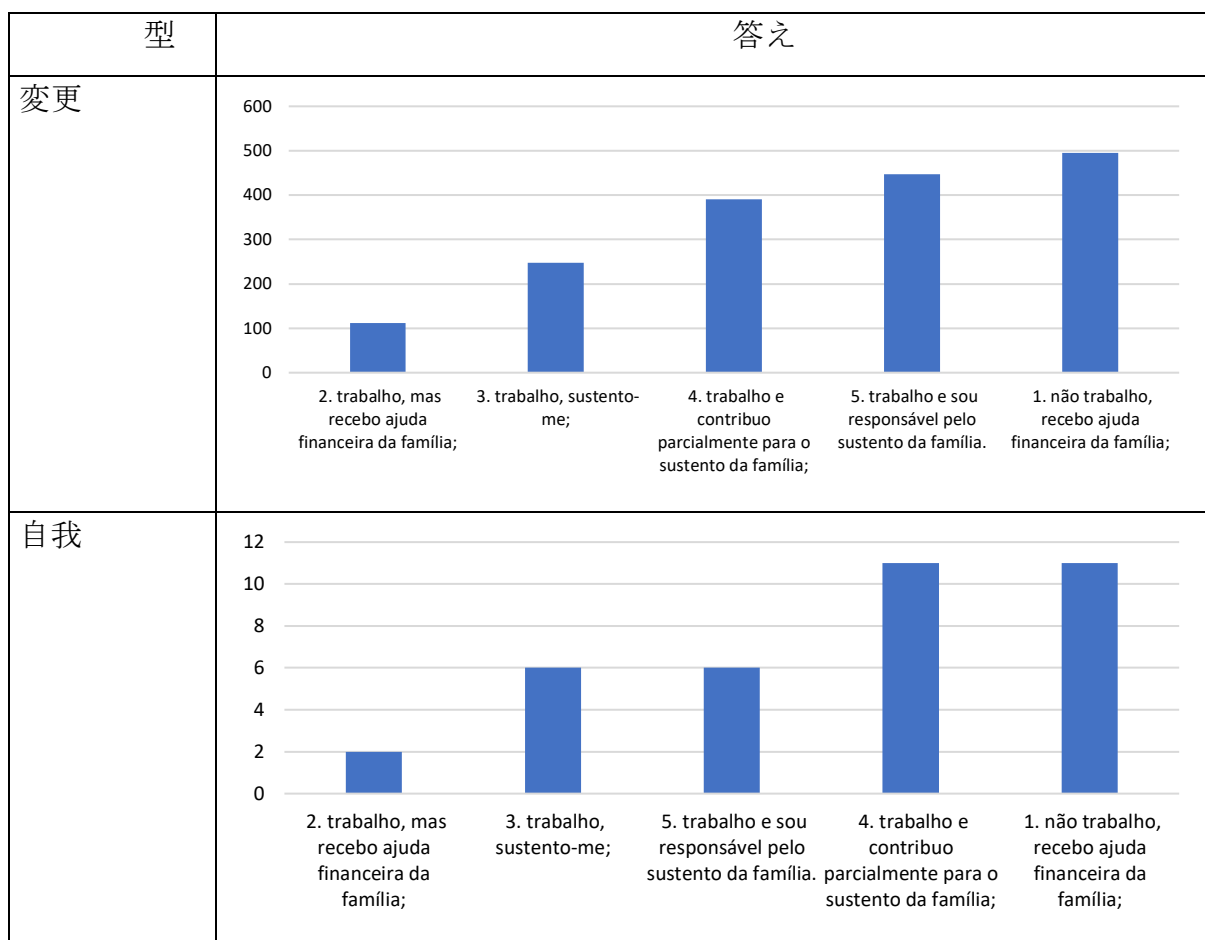


表 29 - 地域の地理的分布 - アゴラ・プレコンシト



ALTERに関する経済参加に関しては、家族に支えられ、家の主要な提供者である人々に従って働いていない科目の大半があります。EGOに関連する場合、主要なプロバイダであることと、働いていない人と財政援助を受けている人との間にバランスがあります。

表 30 - 経済参加 - アゴラ・プレコンシト



4.2.3 弱いアゴラ

表31は、「弱い」という用語に関連するアゴラの構築に関して、EGOとALTE Rの間の表現力的なギャップと見ることができる。比率は約78倍です。

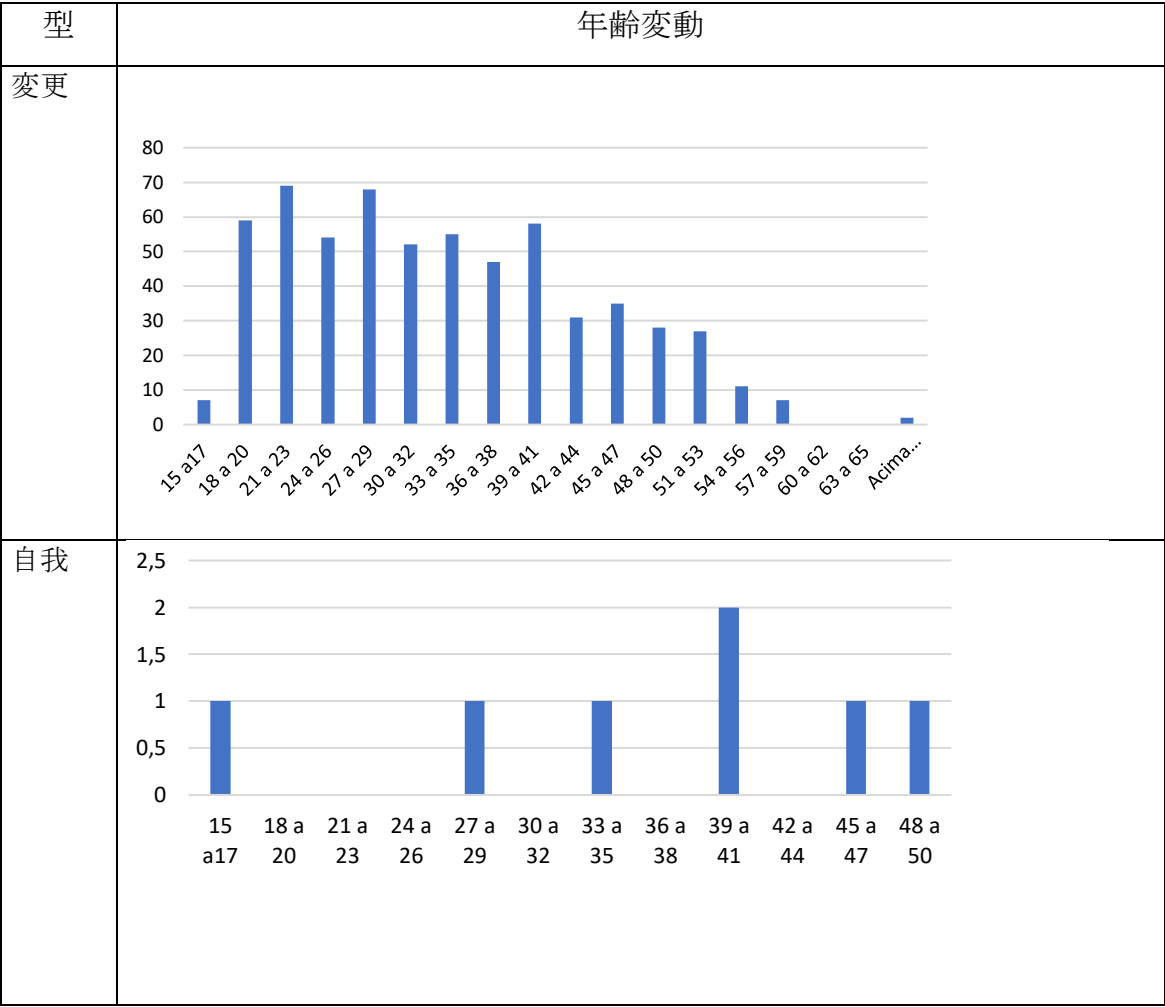
表 31 - EGO と ALTER の喚起 - 弱いアゴラアゴラ

アゴラ	人々
自我	6
変更	570

ALTERでは、表32において、「弱い」という言葉の発生に関連して21歳から23歳までのピークを観察することができ、その後のわずかな24～26歳の間に低下し、27～29歳から39歳および41歳までの上昇再開を伴う。私たちは、18年から20年の間

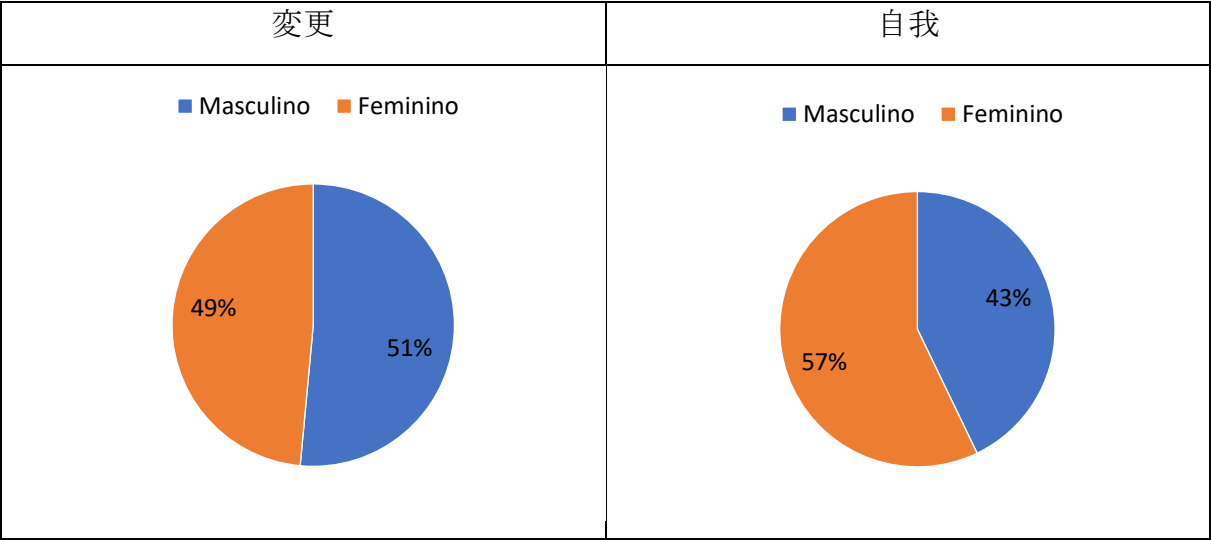
の範囲で、その後30と38の間の一定の安定性に気づいた。表32では、EGOに関して、回答者数が少ないため、発言することができない。我々はまだ39～41年の範囲でピークを観察しました。

表 32 - 年齢変動 - 弱いアゴラ



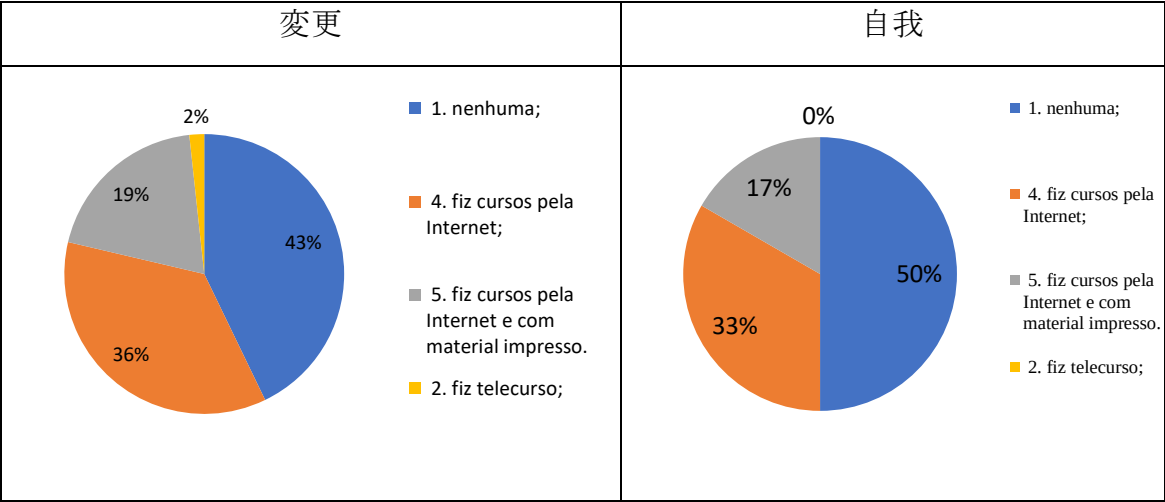
セックスに関しては、図表33に示すように、「弱い」の可能な社会的表現はALTERのための男性である。この大多数は、EGOに関連して概念が呼び起こされると、女性の聴衆に逆転します。

表 33 - セックス - 弱いアゴラ



遠隔教育の経験については、表34に示すように、「弱い」という言葉の喚起に有意な差はない。しかし、EGOによって形成されたアゴラは、ALTERと比較して、この種の教育の経験を持ったことがない人の数が多いです。

表 34 - EAD の経験 - 弱いアゴラ



遠隔教育は、主に大都市圏に住む人々によって弱いと考えられています。図表35に示すように、ALTERは、ノヴァイグアス、サンゴンサロ、カンボグランデの都市の大多数の人々がそう考えていることに注意することができます。この傾向は、表35の結果を観察すると、内部都市における「弱い」という用語の最も低い喚起を示す場合により明らかである。

表 35 - 市町村の地理的分布 - 弱いアゴラ

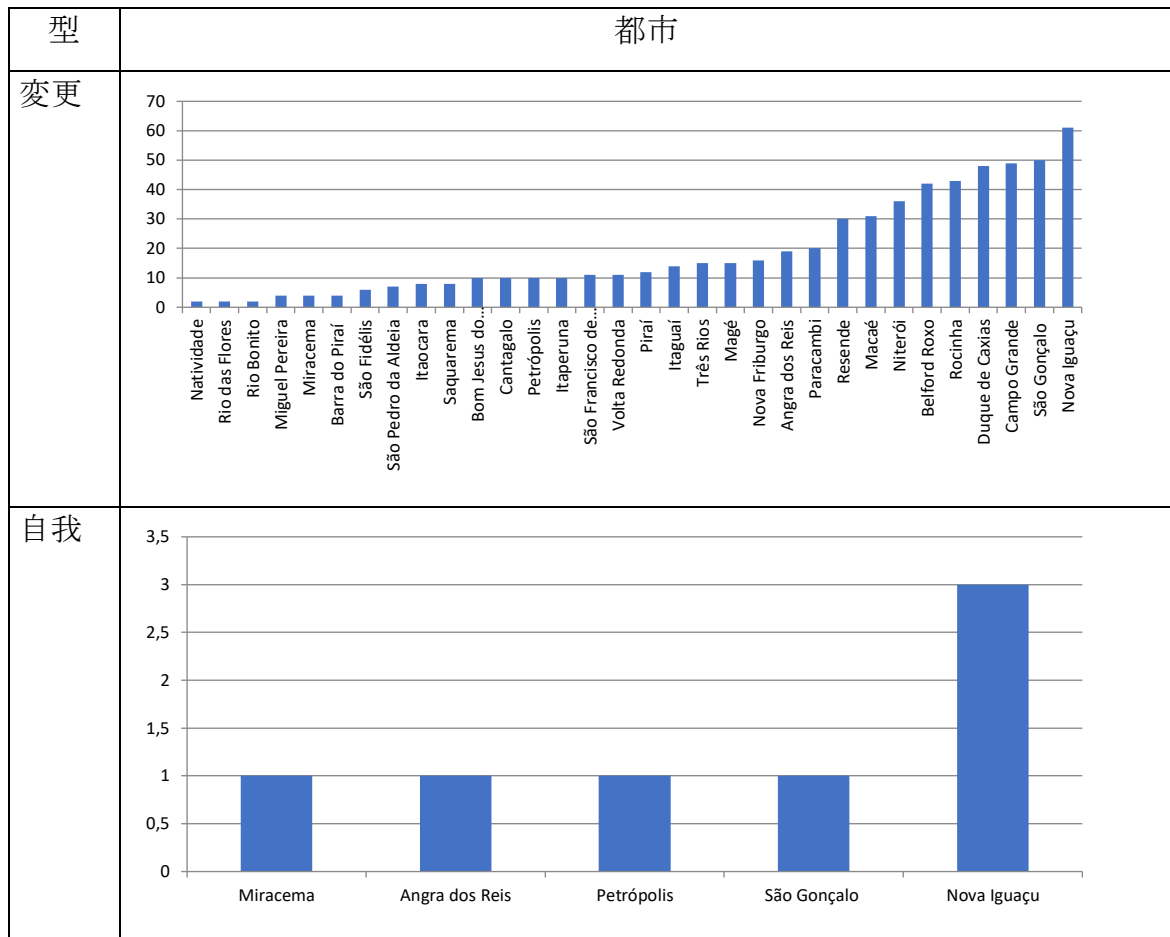
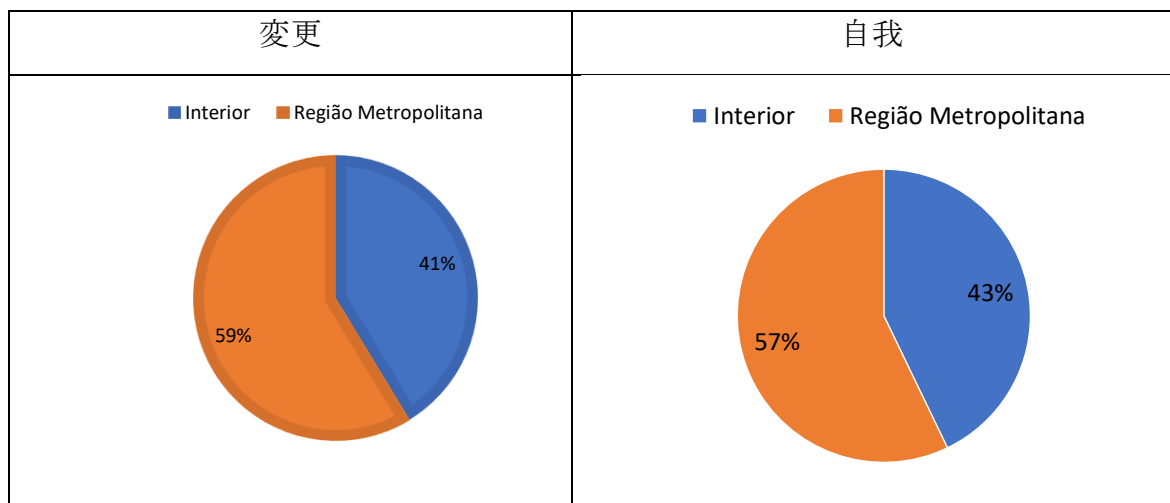


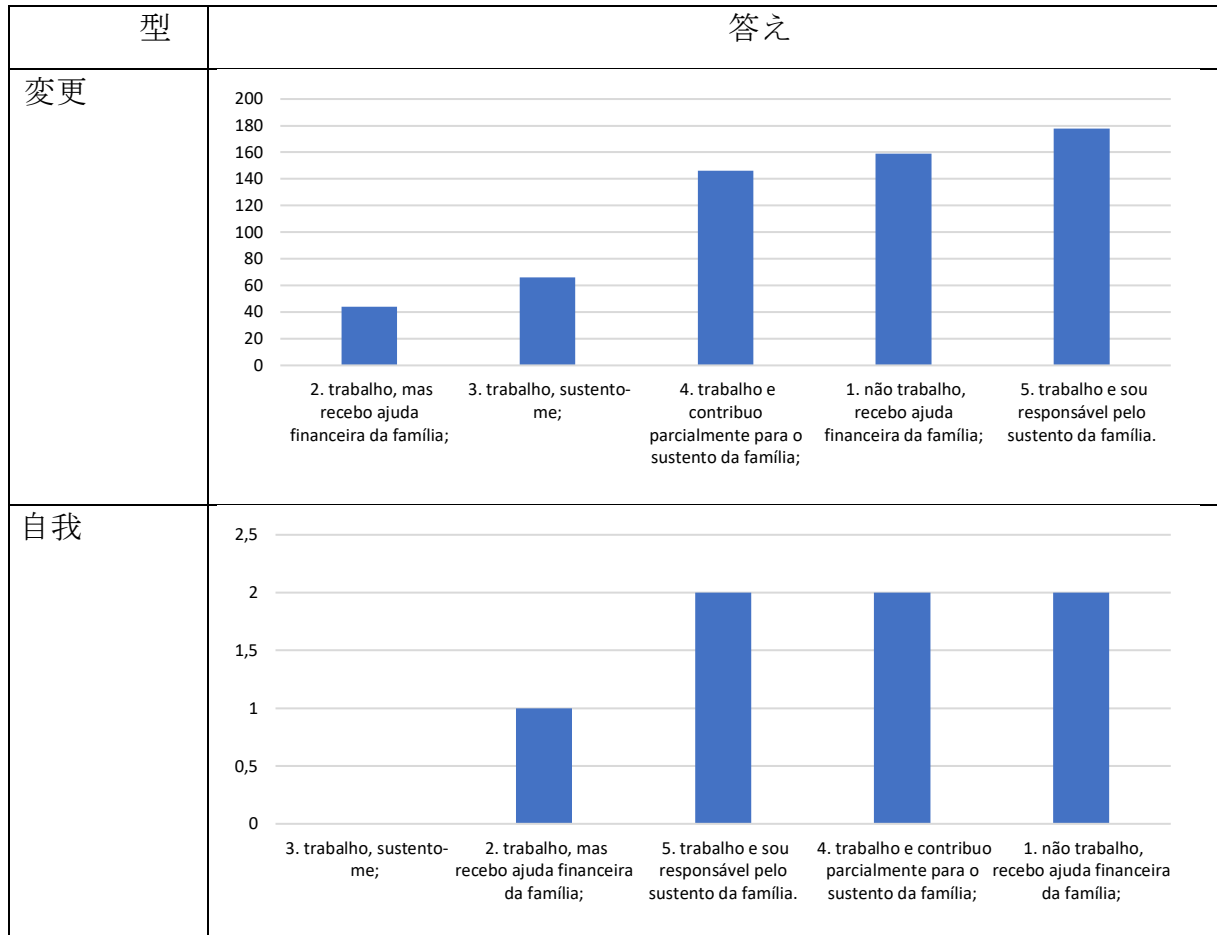
表 36 - 地域の地理的分布 - 弱いアゴラ



経済参加に関しては、このアゴラからの回答者の過半数が、そのALTERの表現は家族のリスクとしてそれを指し示し、その後、働いておらず、家族に支えられている状況が続きます。しかし、EGOに関連して、プライマリ、部分的なプロバイ

ダであることと、次の表37に示すように、家族から財政的援助を受ける間の関係があります。

表 37 - 経済参加 - 弱いアゴラ



4.2.4 悪いアゴラ

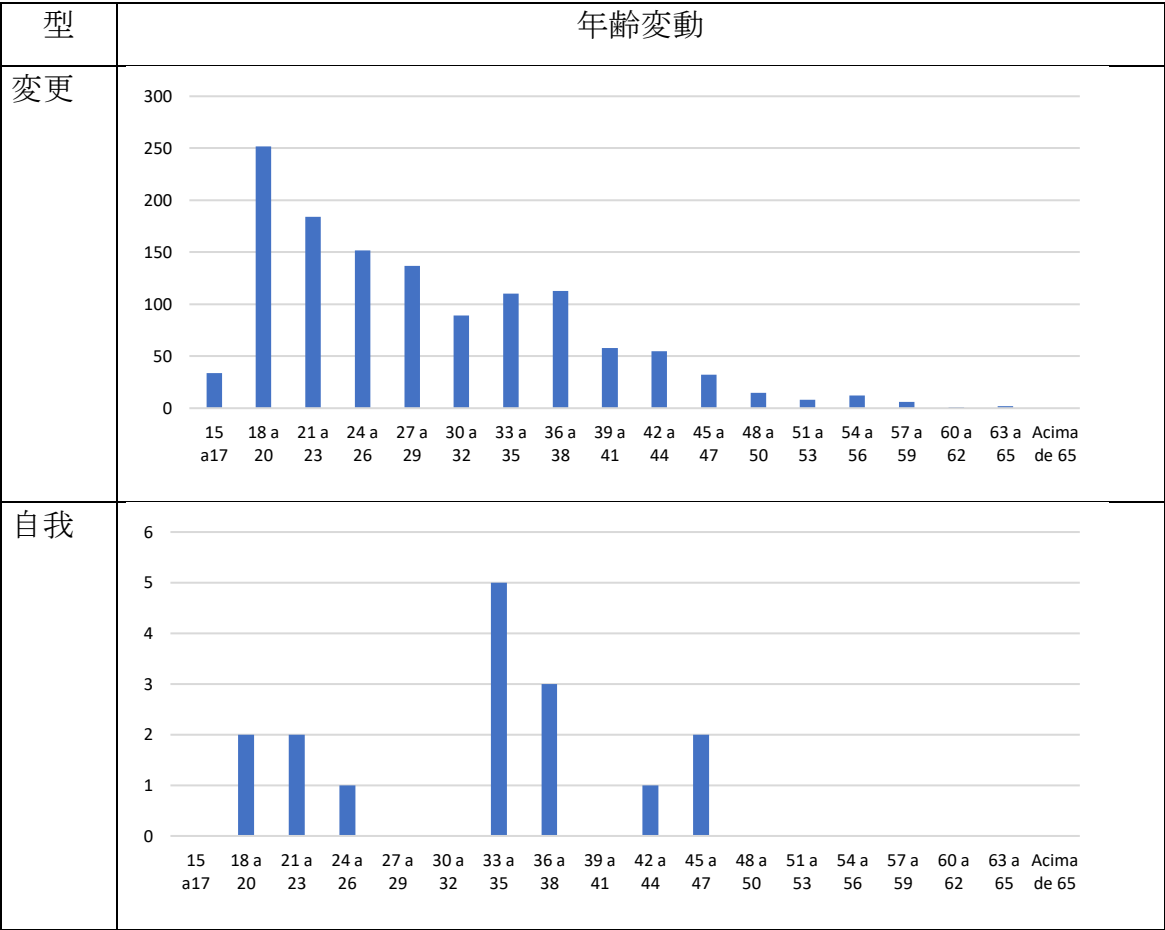
「悪い」という用語の喚起に関連するアゴラの場合、表37で観察され、当初、EGOとALTERの分布の点で大きな違いが見られた。この場合、約74倍に達する。

表 37 - エゴと ALTER - アゴラ-アゴラ・ルイム

アゴラ	人々
自我	17
変更	1175

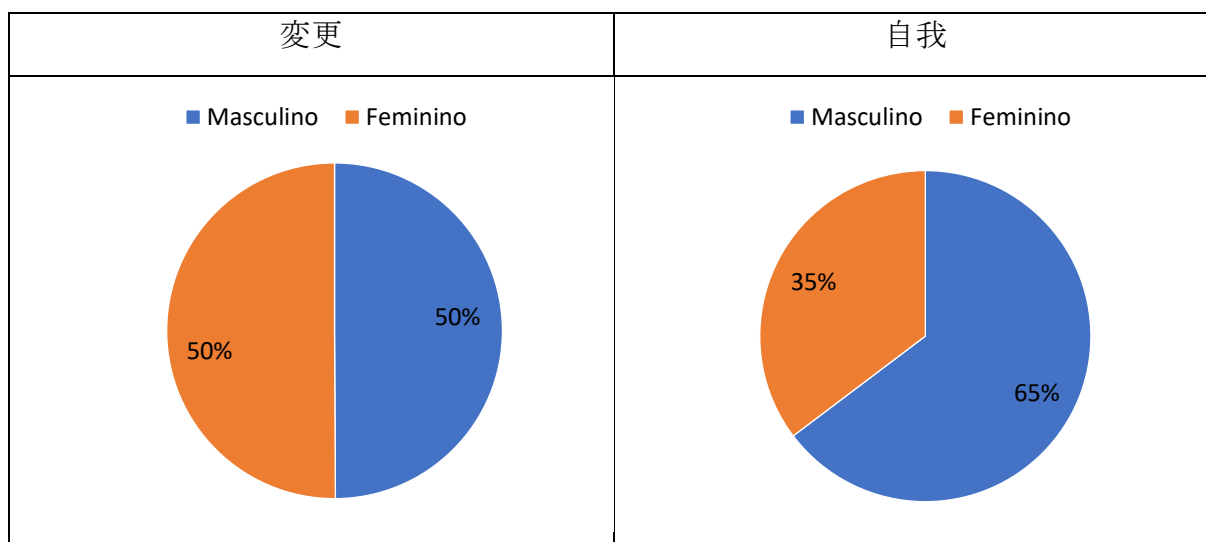
また、以下の表38では、ALTERに関して、若者が遠隔教育に関して他者の社会的表現を構築しているように見え、それが悪いモダリティであることを観察することも可能である。この可能な表現のピークは、18歳の年齢層で発生し、高齢の年齢層が減少する。35歳前後では、起起物は増加し、その後39歳から44歳まで安定している。EGOに関しては、回答者数が少ないにもかかわらず、35年頃にピークを迎えました。

表 38 -年齢変奏曲 バッドアゴラ



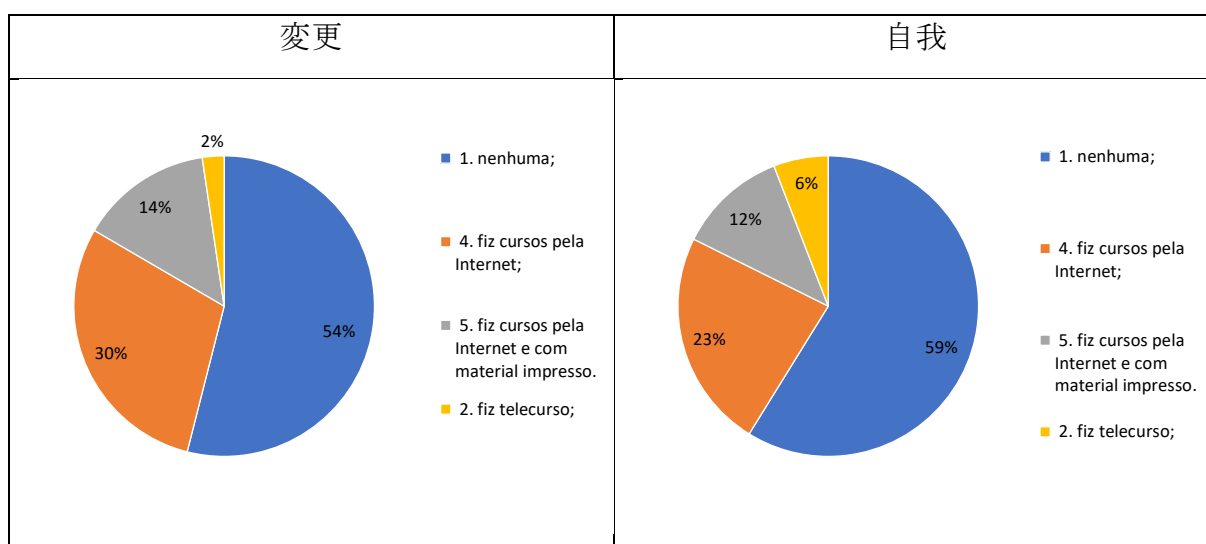
性別に関しては、図表39では、ALTERのバランスに気づくことは可能である。しかし、EGOに関しては、「悪い」という言葉と呼び起こす聴衆は主に男性的で、人口の約65%が遠隔学習の質の低さを信じています。

表 39 - セックス - バッドアゴラ



経験に関して、ALTERとEGOの両方で遠隔教育に関する経験の欠如に気づくことが可能であることを以下の表40に示します。どちらの場合も、回答者の半数以上が遠隔教育の経験がないと答えています。

表 40 - EAD の経験 - 悪いアゴラ



地理的分布に関しては、ノヴァイグアスとカンポグランデの都市では、以下の表41に示すように、距離教育の社会的表現が乏しいほとんどの人々が位置しています。地域に関して、以下の表41は、リオデジャネイロの大都市圏がALTERに関連して「悪い」の呼び起こしの大半が行われていることを示しています。しかし、EGOでは、この用語の喚起は内部で優勢です。

表 41 - 市町村の地理的分布 - 悪いアゴラ

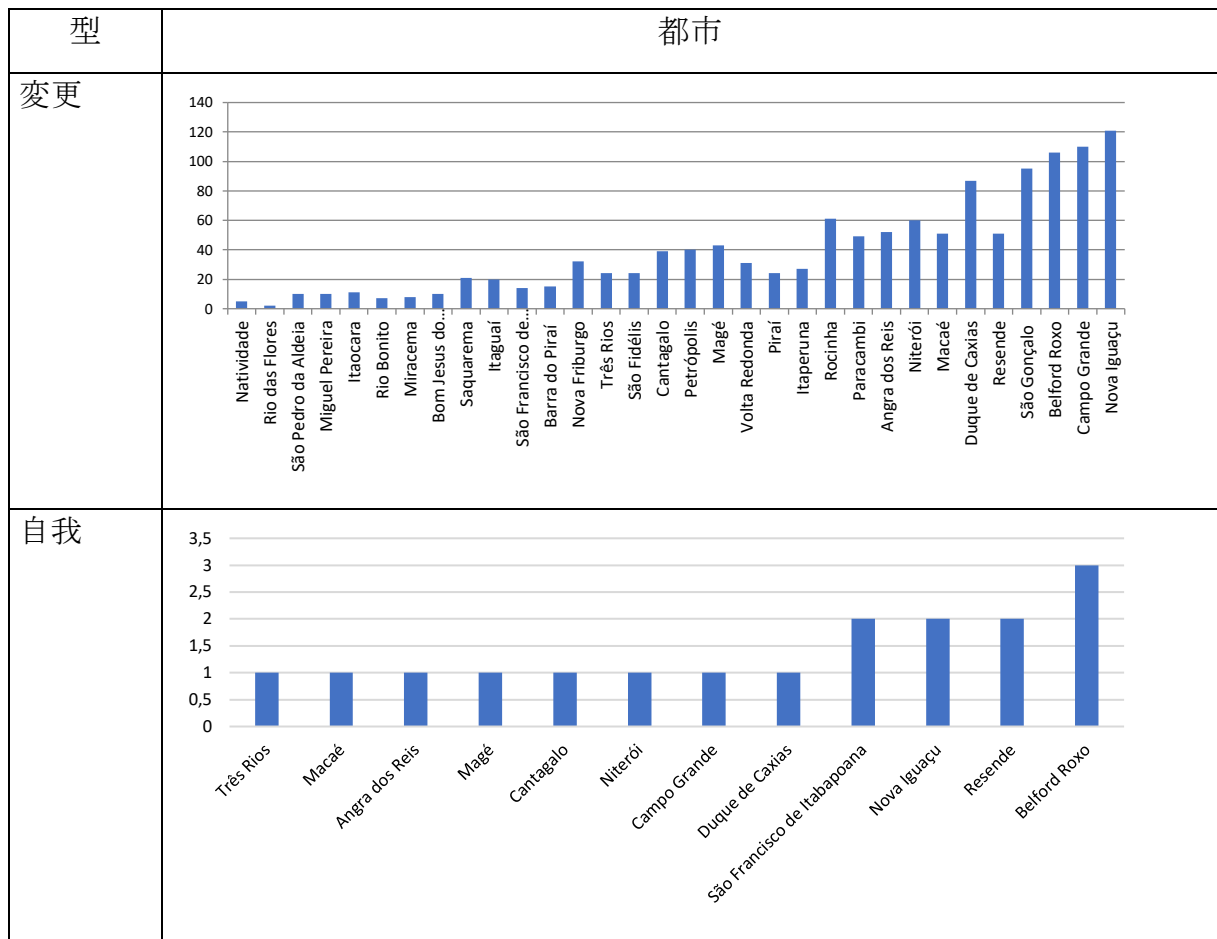
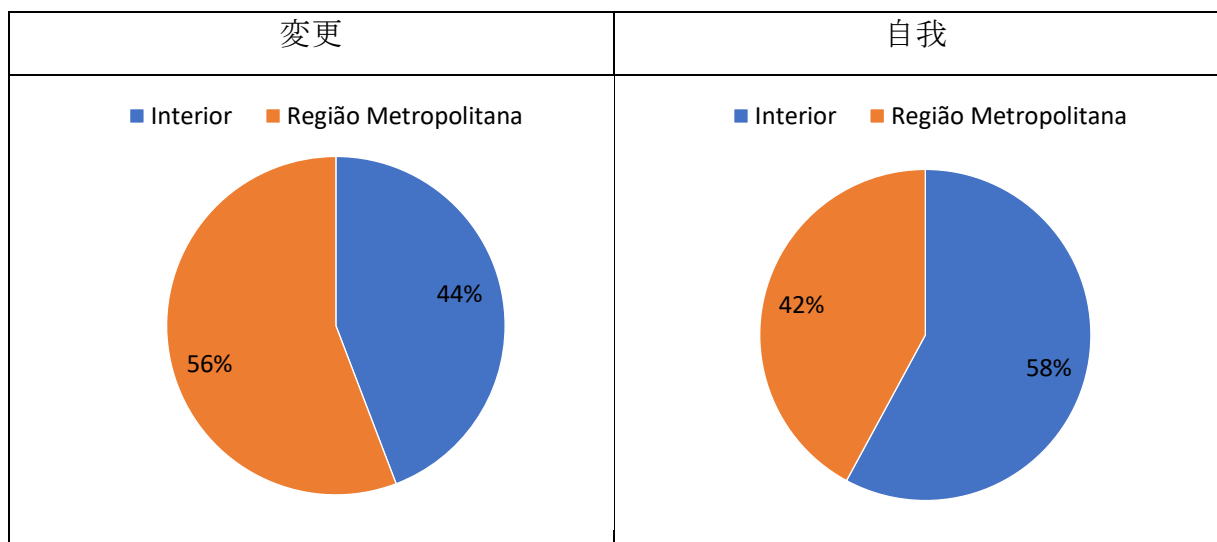
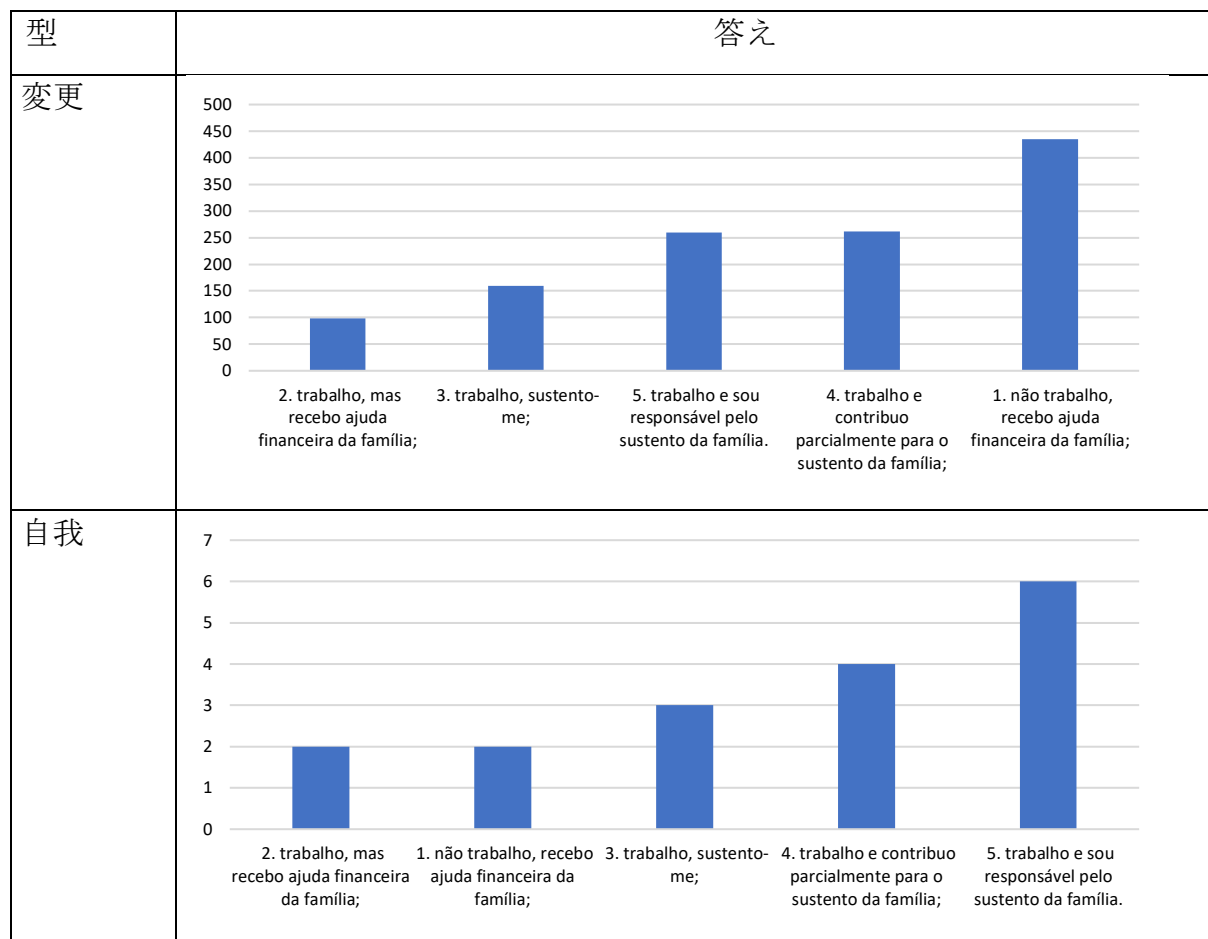


表 42 - 地域の地理的分布 - 悪いアゴラ



経済参加に関連して、ALTERのために働いていない人の大半があり、彼らがアリモであり、家の費用の一部に貢献していると答えた人々の間の実質的な結びつきに注意した直後に家族によってサポートされています。EGOに関連して、状況は変化し、主なプロバイダである人を構成する、下の表43に示すように。

表 43 - 経済参加 - 悪いアゴラ



4.2.5 アゴラの不信感

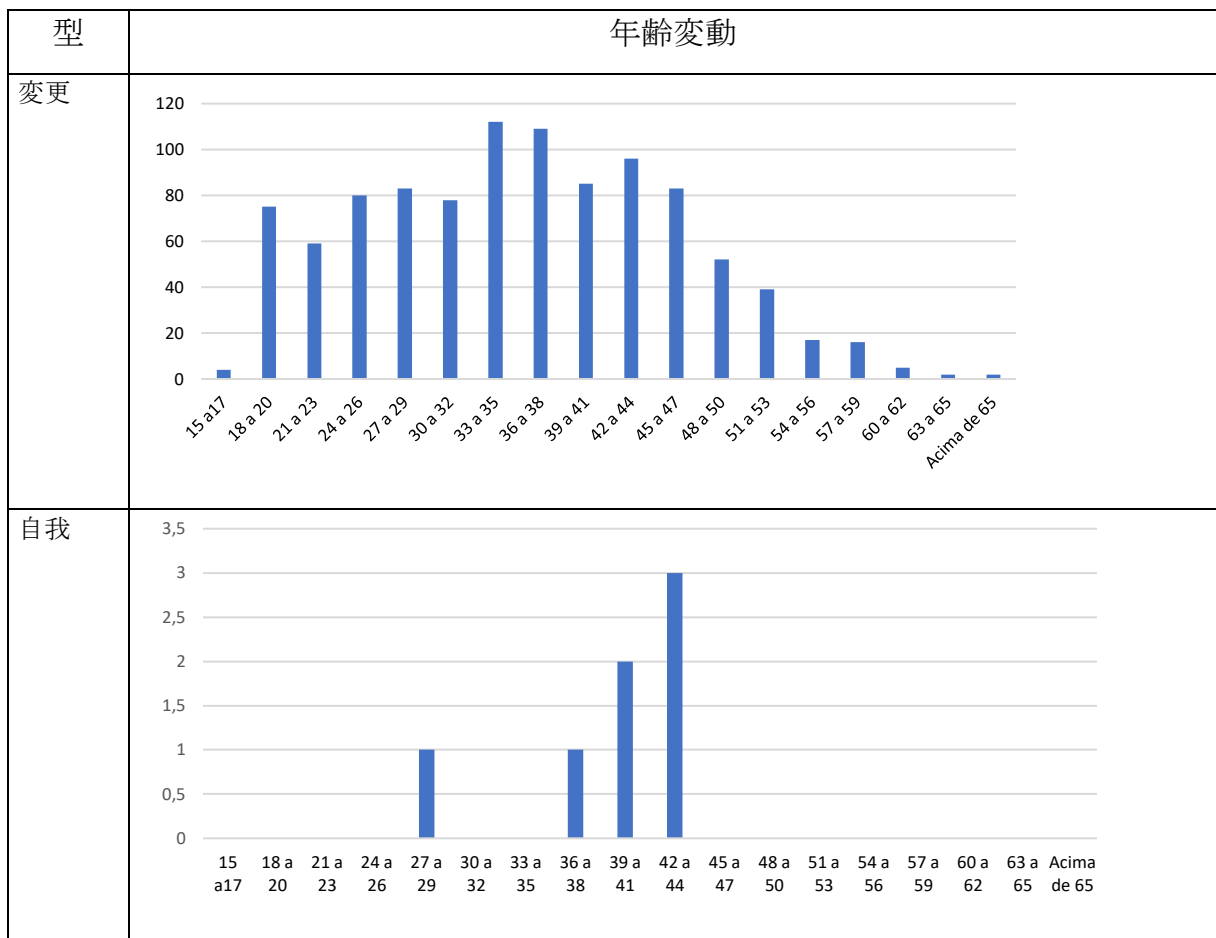
THEに関する不信感の社会的表現の可能性は、EGOに関する言及の頻度が非常に低く、以下の表44に示すように、事実上、喚起を変えることを制限された。2つの呼び出しフィールドの違いは、ALTERで147倍でした。

表 44 - EGO と ALTER に関する喚起 - アゴラ-アゴラ不信

アゴラ	人々
自我	7
変更	947

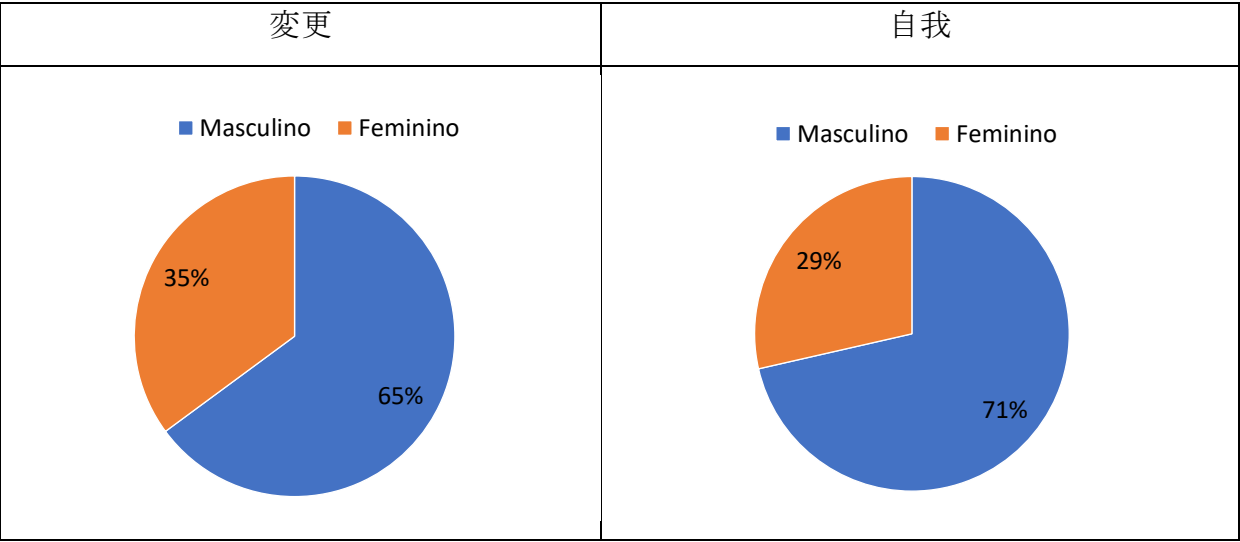
年齢分布に関しては、図表45に示すように、36歳から41歳までの高齢者の不信感が高いことが悪名高い。ALTER:39歳から41歳にわずかに低下し、42歳から増加している。これらのデータは、一般の人々が年を取れば取るほど、他方のTHE(ALTER)に対する不信感の認識が高くなると仮定します。EGOの喚起の数が非常に少ないにもかかわらず、不信感の社会的表現の可能性は、42～44歳の年齢層で蔓延しています。

表 45 - 年齢変動 - アゴラ不信



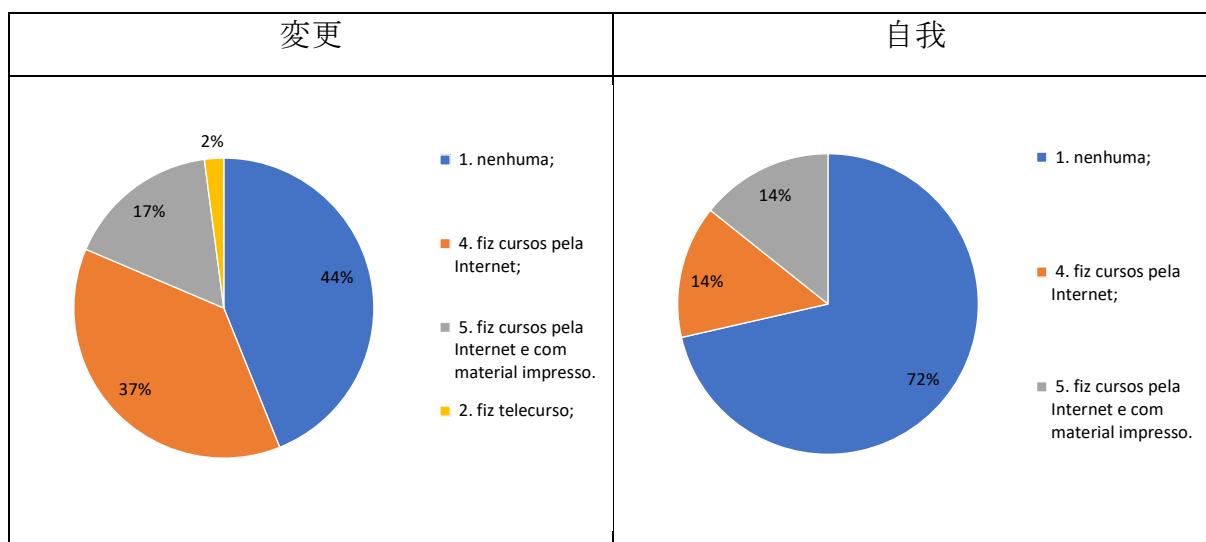
また、表46に示すように、「不信感」という言葉は、ALTERとEGOの両方で、女性の心よりも男性の心に現れることに注意してください。このアゴラを形成する不信感の喚起の大半は、男性の回答者によって形成されています。

表 46 - セックス - アゴラ不信



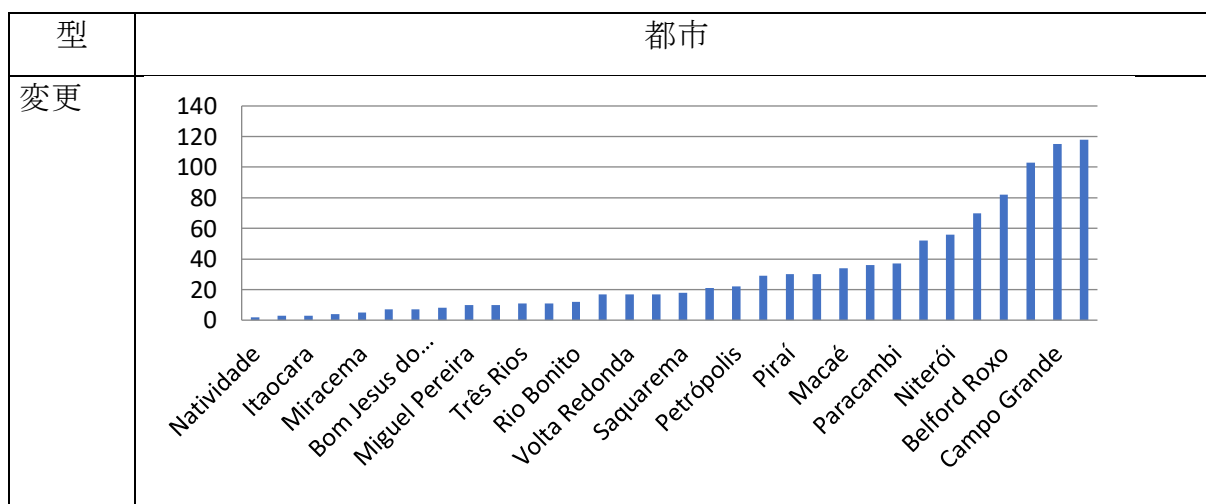
以下の図表47で観察できるもう一つの側面は、回答者の大半(44%)が、不信感に関するALTERの可能な表現を構築する際に、遠隔学習と直接接触したことがないということです。この数はEGO(72%)に関連して増加します。興味深いことに、EGOでは、回答者の14%からインターネットを通じてコースを受講したという回答を得たが、他の人(ALTER)はさらに多くのことを行っていると考えている。

表 47 - EAD の経験 - アゴラ不信



単語の喚起における地理的分布に関しては、大都市圏はALTERが「不信感」を持っていると最も信じている地域であり、回答者の65%がこの認識に起因する、下の表48に示されるように、.EGOの起用はバランスが取れ、下の表48に示すように、内部領域と大都市圏は地域で均等に分割されています。

表 48- 市区町村地理分布- アゴラ誤信頼



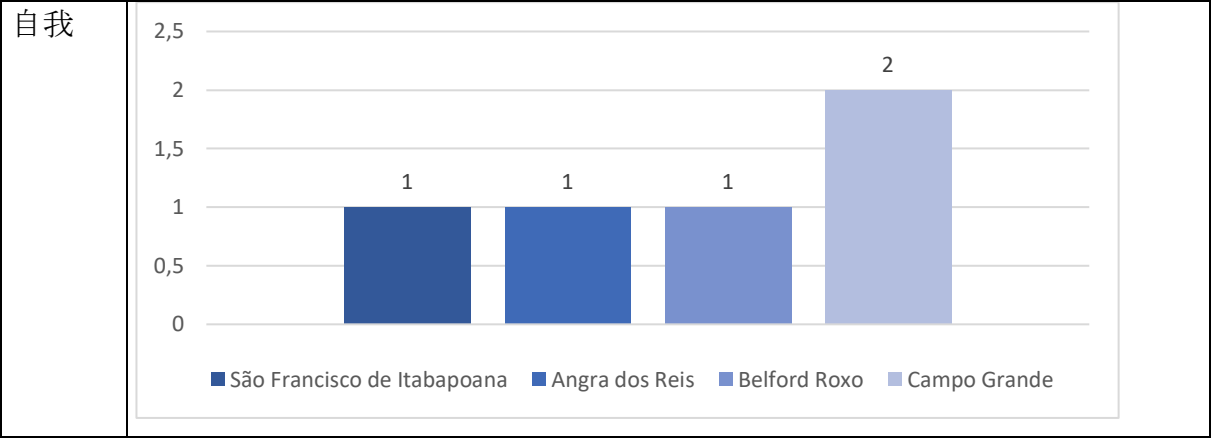
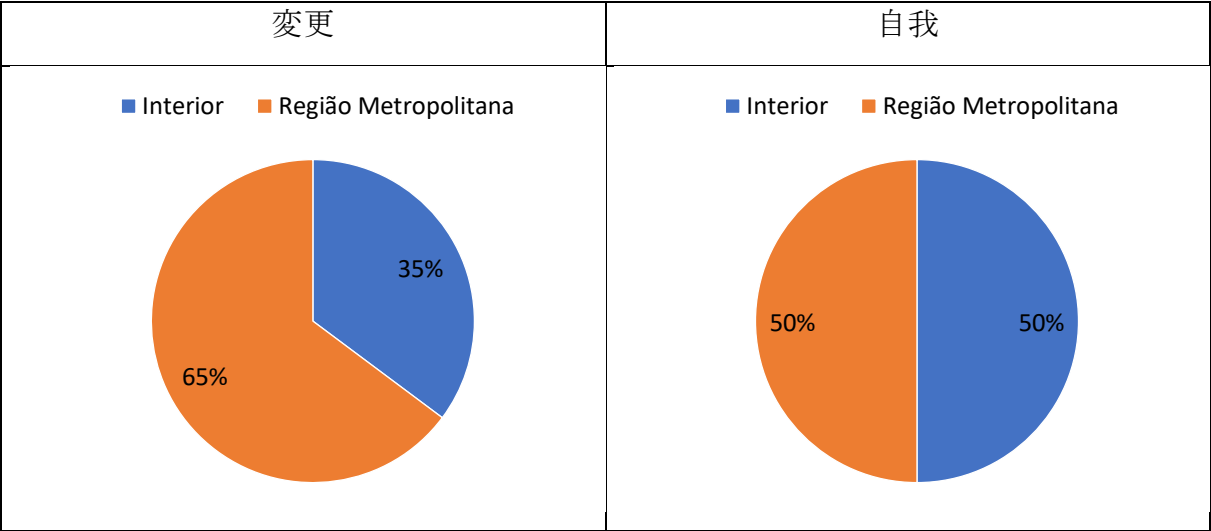
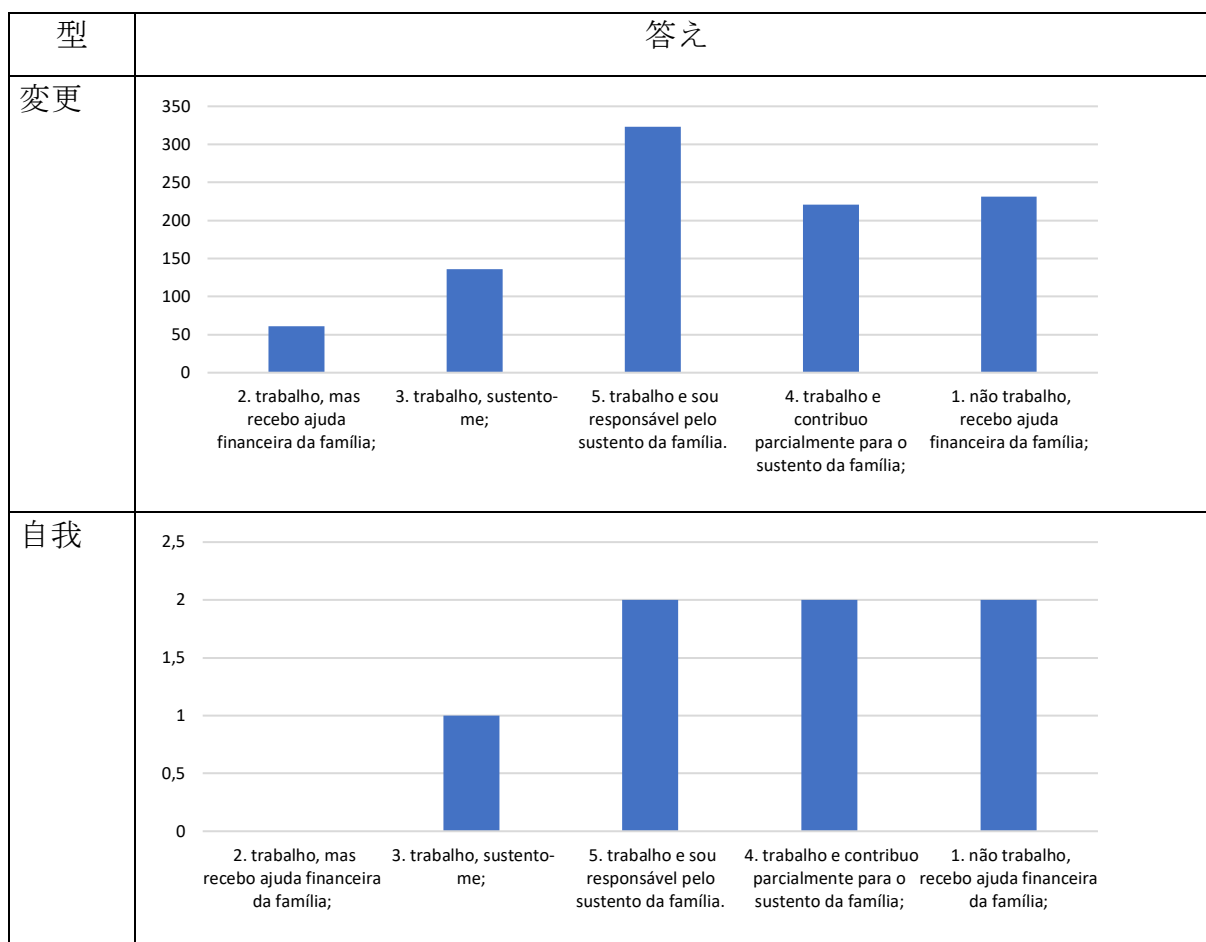


表 49 - 地域の地理的分布 - アゴラ不信



経済参加に関しては、以下の表50に示すように、ALTERの代表が彼に家の主要な提供者であることを与えるこのアゴラからの回答者の過半数があります。EGOに関連する場合、メインプロバイダー、部分的または非作業的な間のバランスがあり、財政援助を受ける。

表 50 - 経済参加 - アゴラ不信



4.2.6 複雑なアゴラ

「複雑」の可能な社会的表現に関連する喚起の発生は、少数派がこの考えを呼び起こすことがわかります - EGO -

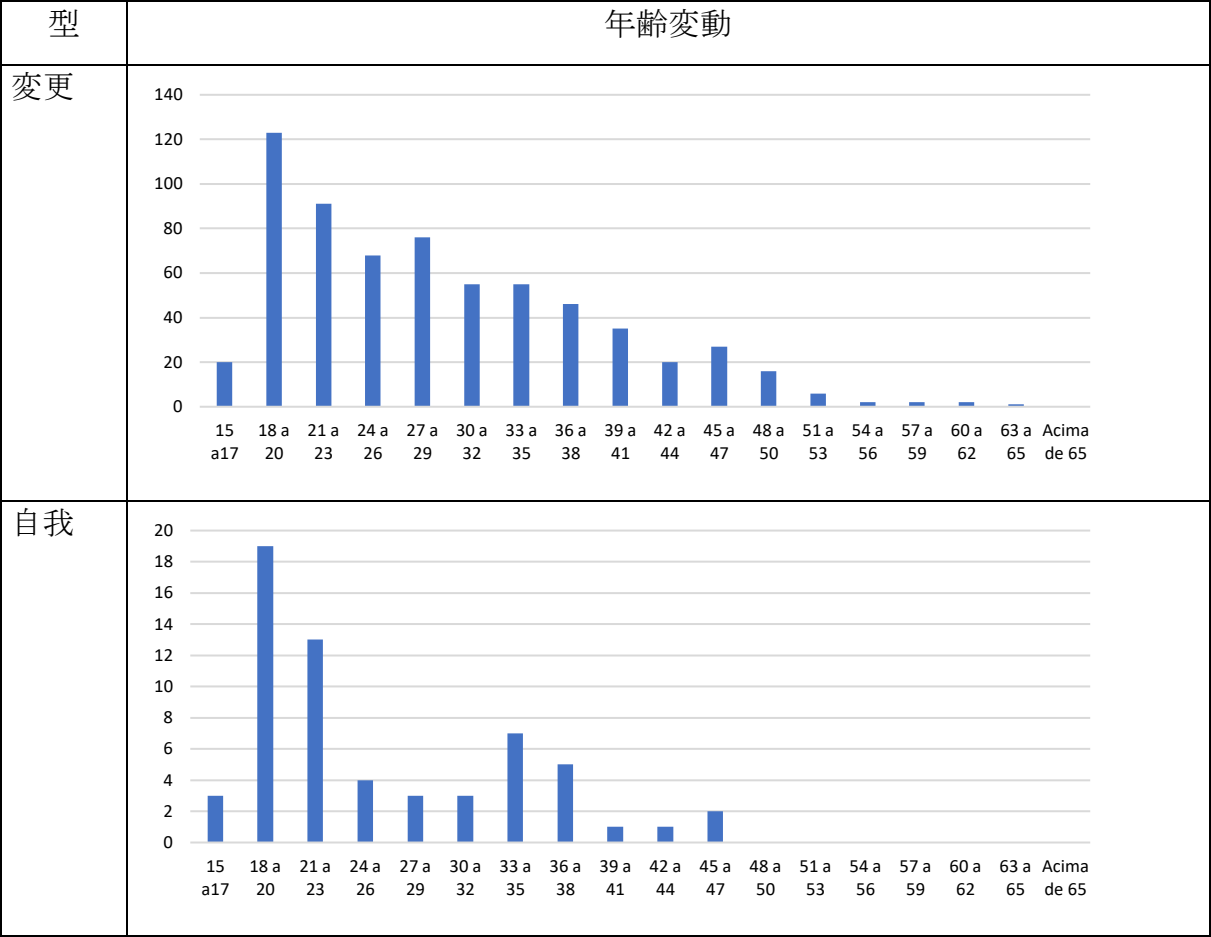
他の人との関係では起こらない、変更します。EGOとALTERの違いは約10倍に見え、そのほとんどがALTERが「複雑」を見つけるという信念を見落としています。

表 51 - エゴと ALTER の喚起 - アゴラ- 複雑なアゴラ

アゴラ	人々
自我	56
変更	618

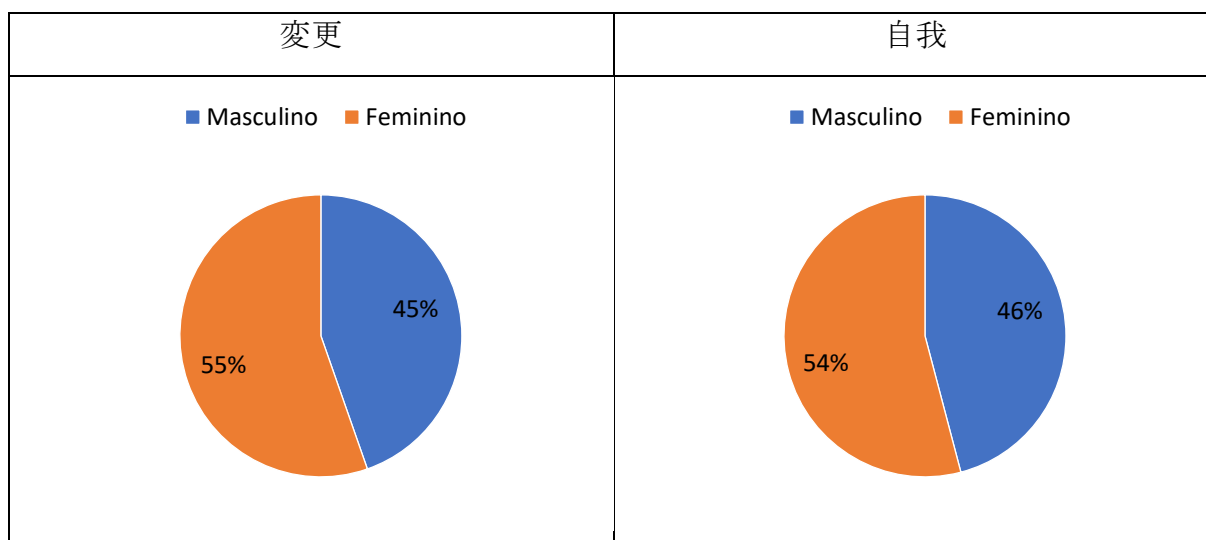
「複雑な」喚起を提示した人々の年齢変化は、主にEGOとALTERの両方で若い人によって形成され、下の図52に見られるように、若いから古い方への下降はしごの視覚効果を形成する。年を取れば取るほど、「複雑」という言葉が喚起される可能性は低くなります。EGOでは、23年後に最初のピークが落ちることを通知することができます。

表 52- 年齢変化 - 複雑なアゴラ



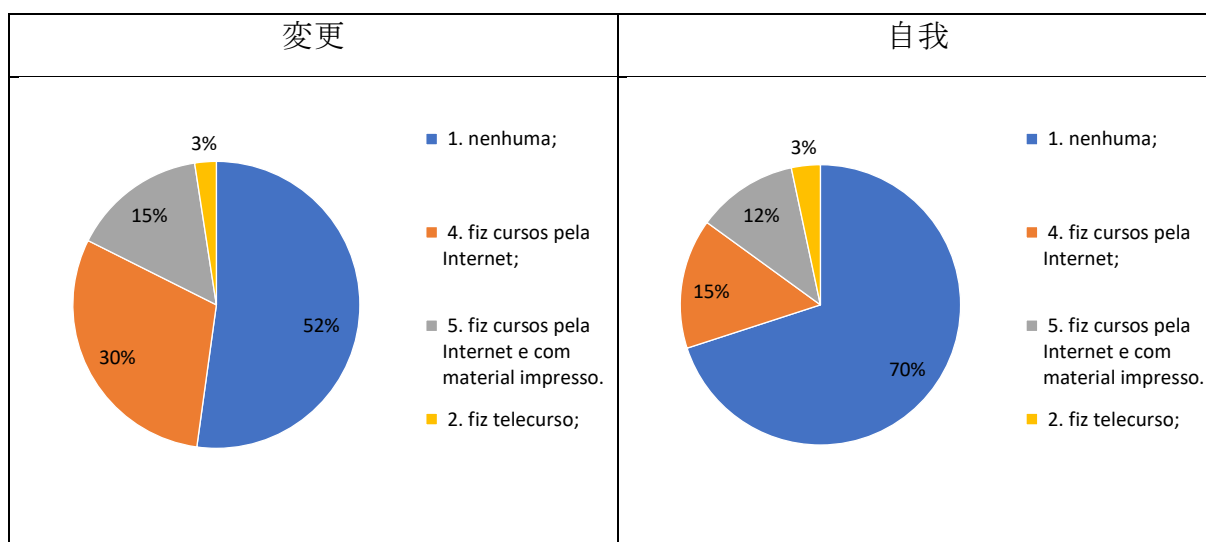
ALTERとEGOの両方で、セックスに関して「複雑」という言葉は、主に下の図53に示すように、女性によって呼び起こされます。

表 53- セックス - 複雑なアゴラ



経験に関しては、EGOがALTERとEGO自体を考えているものに関連して、単語の喚起は欠如を示しています。遠隔教育の経験のこの欠如は、以下の表54に見られるように、EGOがそれ自体を作る「複雑」という考えに起因するより大きな重みを説明するでしょう。

表 54- 複雑な EAD-アゴラの経験



ALTERについて、カンポ・グランデ、ノヴァ・イグアス、サン・ゴンサロを中心に首都圏の回答者の大多数が、以下の表55に示すように「複雑な」EADであると考えています。「複雑」という言葉はリオデジャネイロ州の内部、特にリオデジ

ャネイロ南部に位置するレゼンデ市とリオデジャネイロ北部のマカエ市からである
と考えているため、EGOの考え方は逆転しています(表55、下)。

表 55 - 市町村の地理的分布 - 複雑なアゴラ

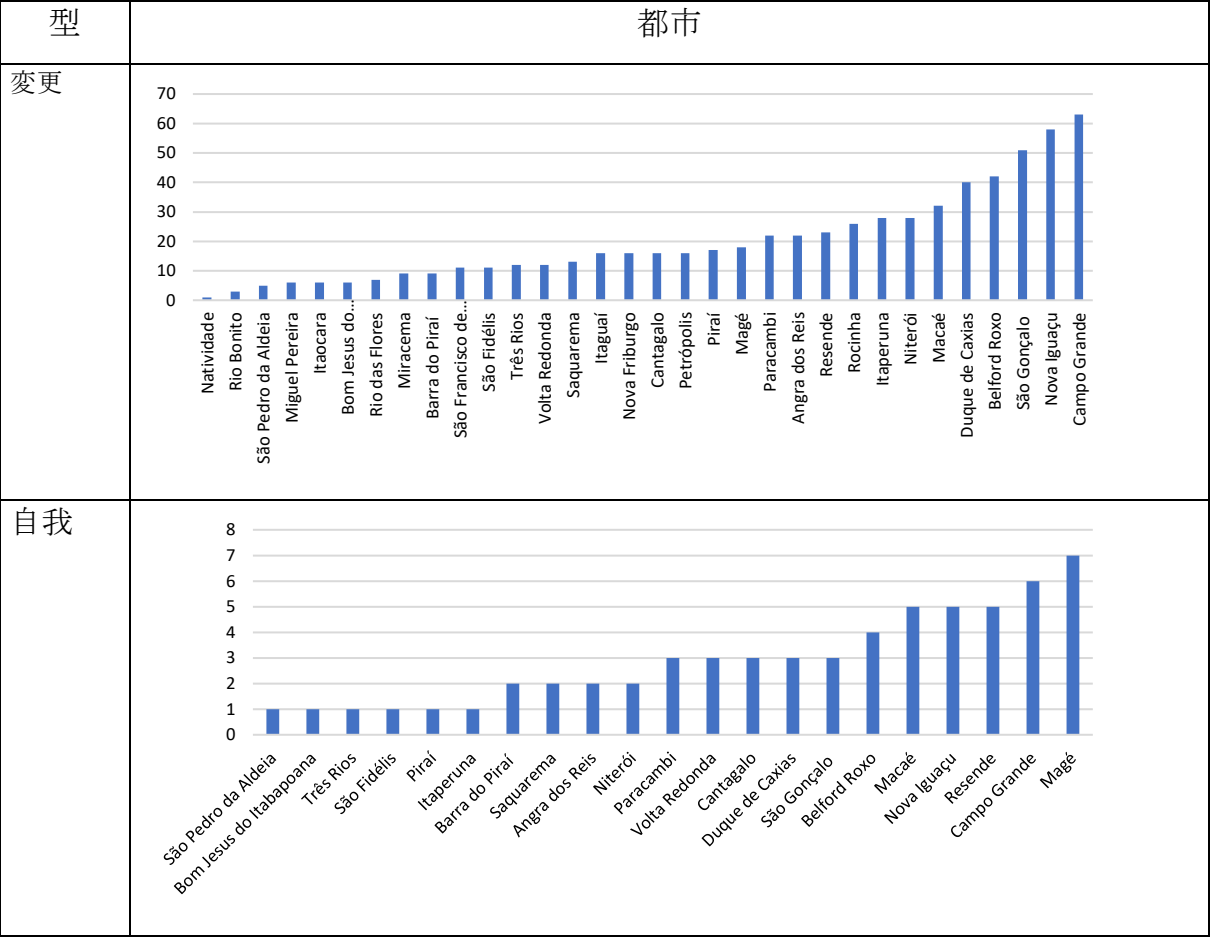
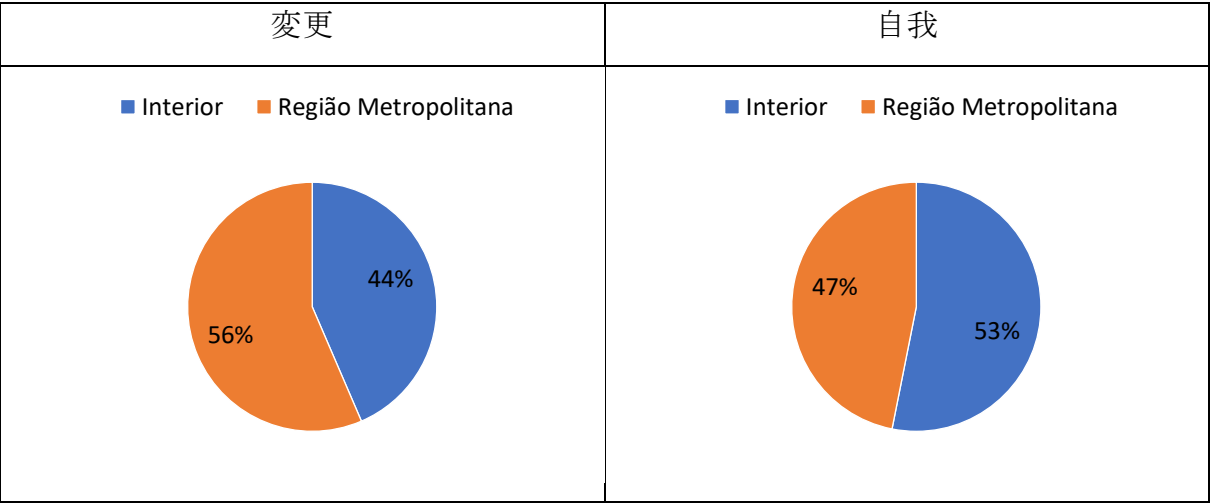
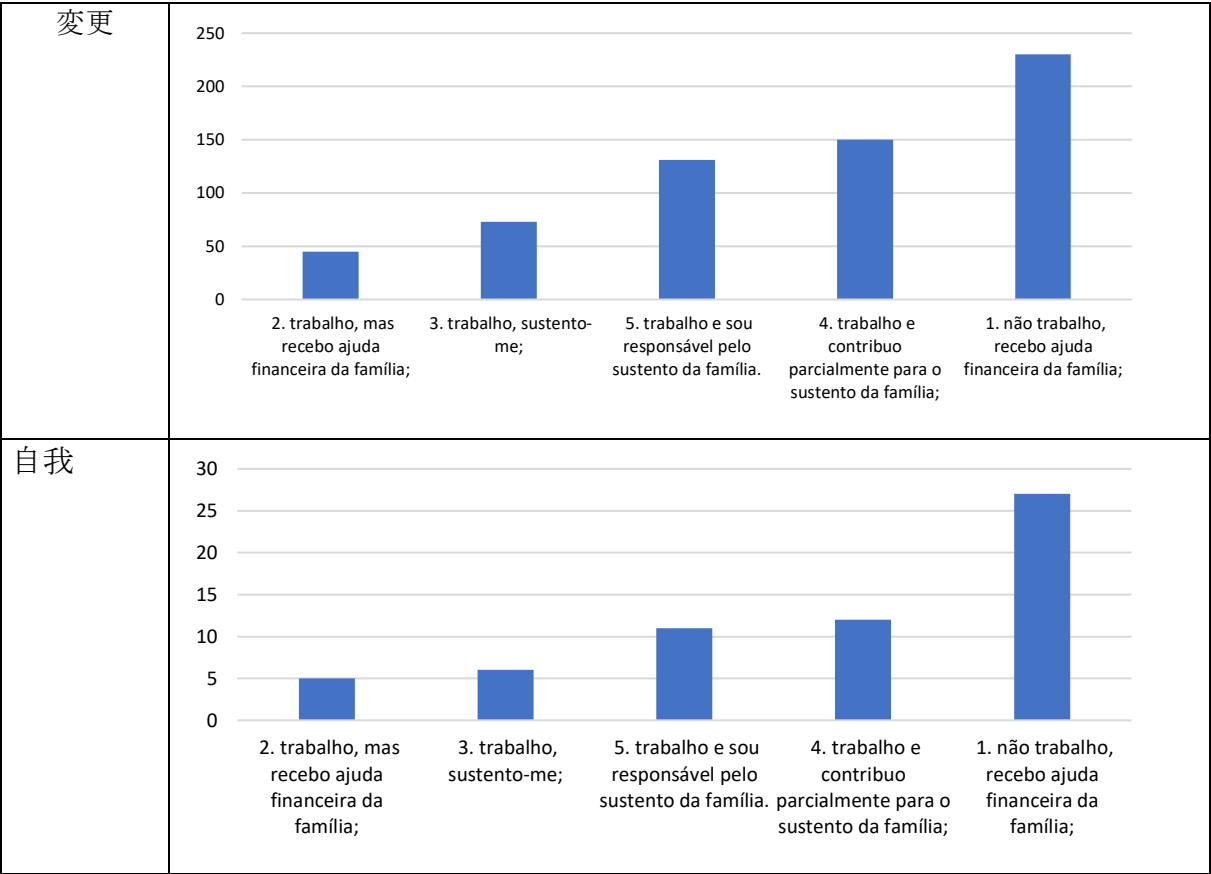


表 56 - 地域の地理的分布 - 複雑なアゴラ



経済参加に関しては、家族からの財政援助への依存の表明が構築されているこのアゴラ(表57、下)にも回答者が過半数を占めています。これは、自分自身で作られたもの-EGO-と彼が他の人との関係で作ったものの両方であるという考えの両方です - ALTER。

表 57 - 経済参加 - 複雑なアゴラ



4.2.7 アゴラの疑い

「疑い」という言葉の言及につながった喚起に関連して、私たちはEGOとALTERの間に不一致を見つけました。この場合(表58、下記)では、13倍を超える差を有する。

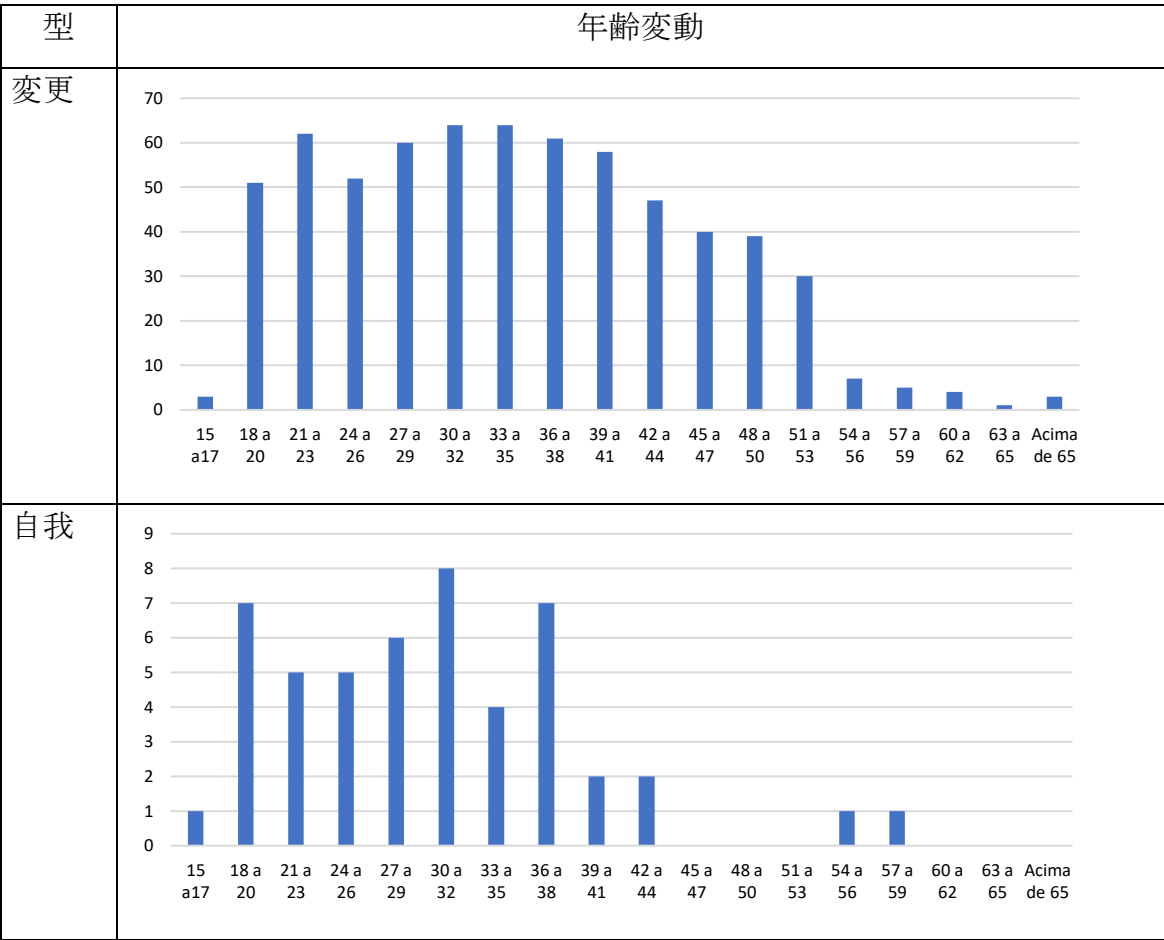
表 58 - EGO と ALTER - アゴラ - アゴラ ドゥビダ

アゴラ	人々
-----	----

自我	45
変更	610

変更に関する年齢の変化は、21歳から41歳で終わり、24歳から26歳の範囲が小さく減少し続ける「疑い」の社会的表現を示唆しているようです。図示(図59)に示すように、EGOに関連して、18～20歳、30～32歳、36～38歳の範囲で急性のピークがある。

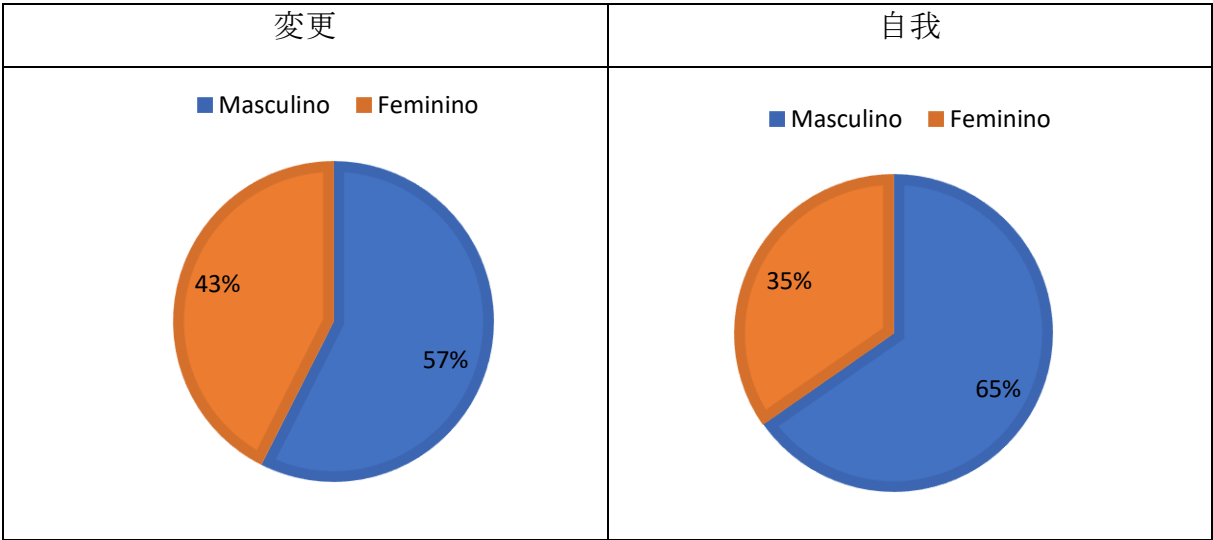
表 59-年齢バリエーション- アゴラ・ドウビダ



セックスに関連して、この言葉の喚起のために「疑い」の徴候は、ALTERとEGOの両方で男性の回答者にとってより多くのリンクされているようです。しかし、回答者は自分自身に起因する - EGO -

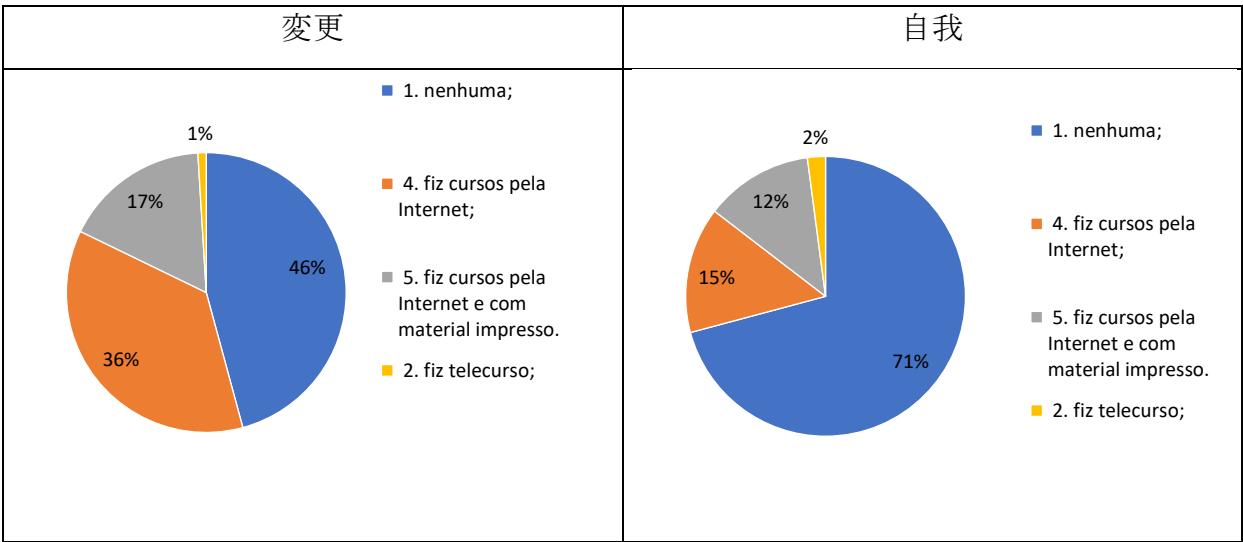
以下の表60に見られるように、変更に関連するよりもEADに関する疑念の可能性。

表 60- セックス – アゴラダウト



この経験に関しては、「疑い」という言葉を引き起こした回答者の70%以上が、何も持っていないと答えた。彼らが他の表現について構築した表現の場合、ALTE Rは、以下の表61に示すように、46%の大幅に低いレベルに達する。

表 61 - EAD での体験 - アゴラ ドゥビダ



EGOがALTERについてどう思うかに関して、前のケースのように、大部分は大都市圏の「疑い」のピークを表すNova Guguacuであることがわかりました(図表62を下図)。EGOがEADがもたらすものに関連して彼と経験する感覚の場合、「疑い」を引き起こした大多数はリオデジャネイロ州の内部からです(表62、下)。

表 62 - 市の地理的分布- アゴラ・ドゥビダ

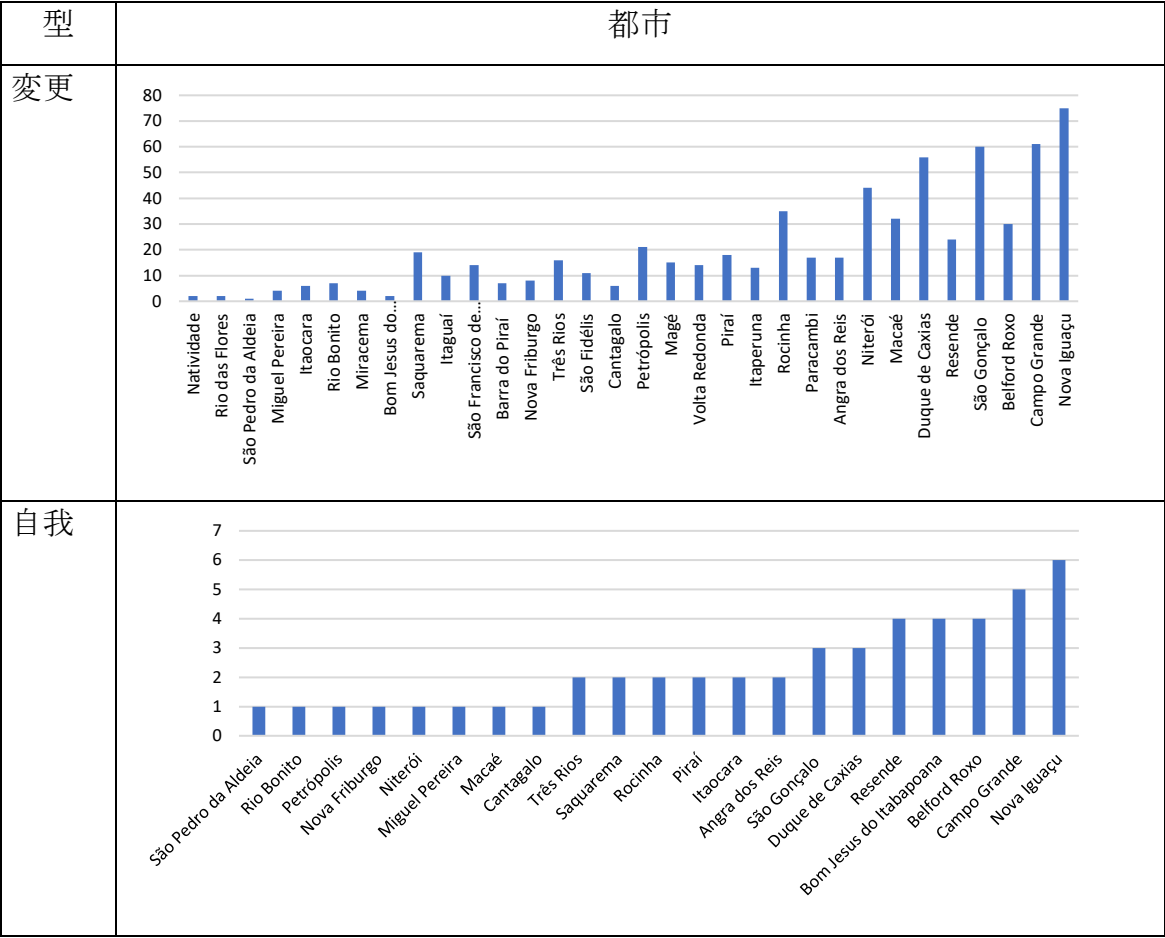
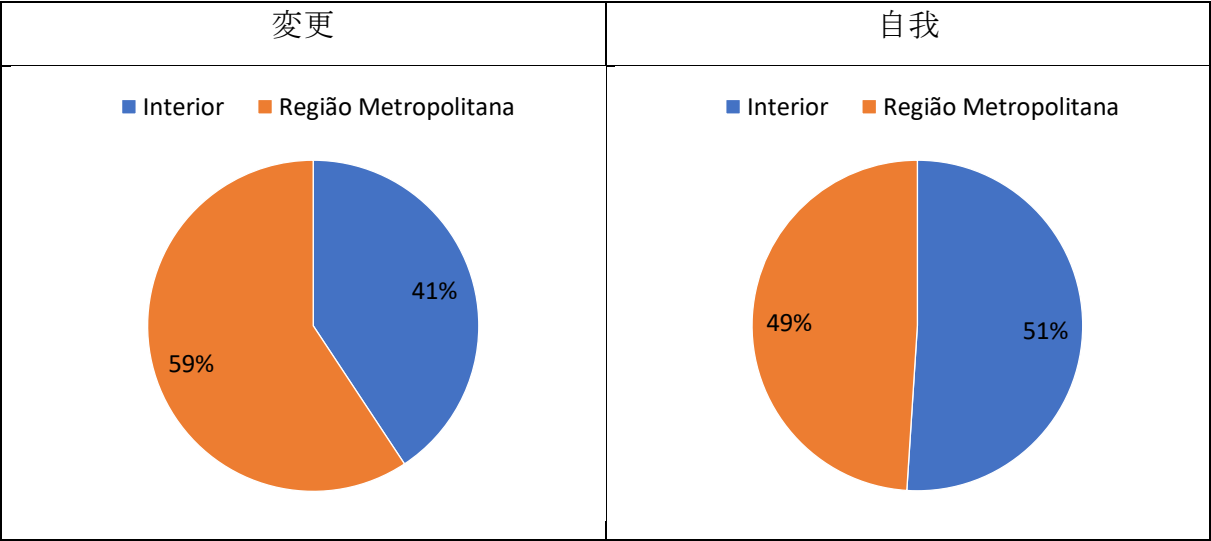


表 63 - 地域の地理的分布 - アゴラ・ドゥビダ

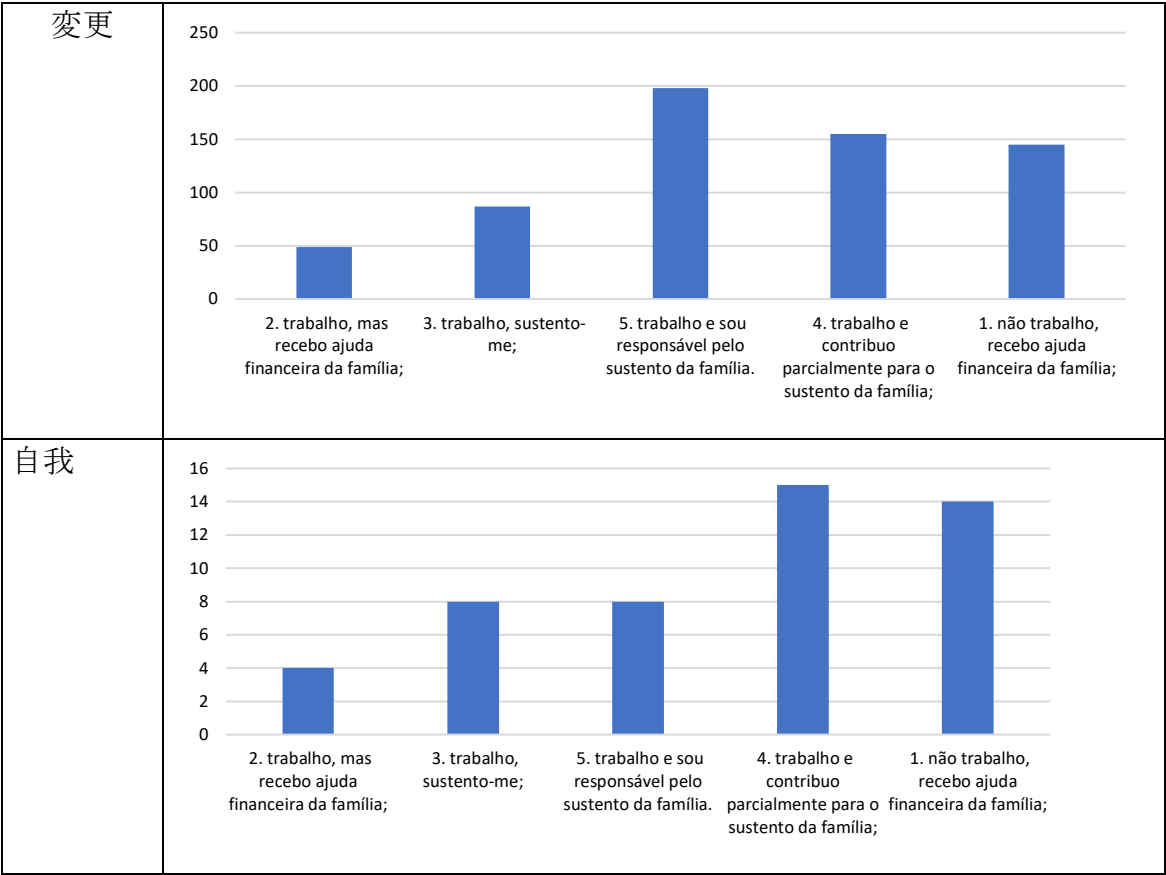


EGOの場合、EADの聴衆の大半はALTER

「疑い」という言葉を引き起こすが、家族のサポート、全体または一部、あるいは

財政援助を受ける人々の小さなグループに責任がある(表64、下)。EGOが自分自身を描写するとき、呼び起こしは主に家族のサポートに部分的に貢献する人々のために変わるか、働いて助けを受けることができません。

表 64 - 経済参加 - アゴラ・ドゥビダ



4.2.8 アゴラの無知

「無知」という言葉の喚起は、以前のケースと同様に、主にEGOによってALTERに起因していました(下記の表65)。一方、EGOが自ら呼び起こしたものはほとんど存在せず、EGOがALTERを可能にする表現に関して約160倍の不均衡をもたらした。

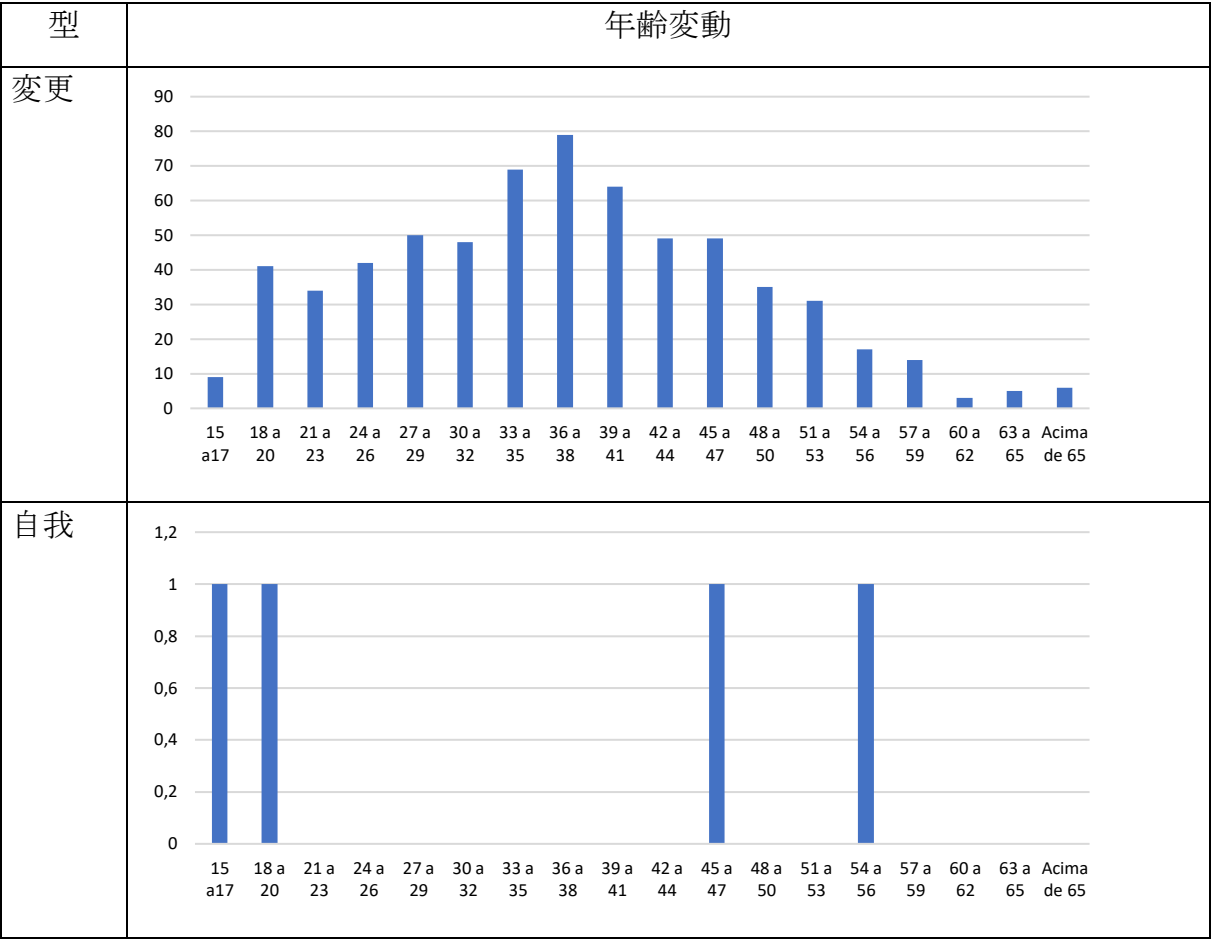
表 65 - エゴと ALTER - アゴラ - アゴラ・無知

アゴラ	人々
自我	4

変更	594
----	-----

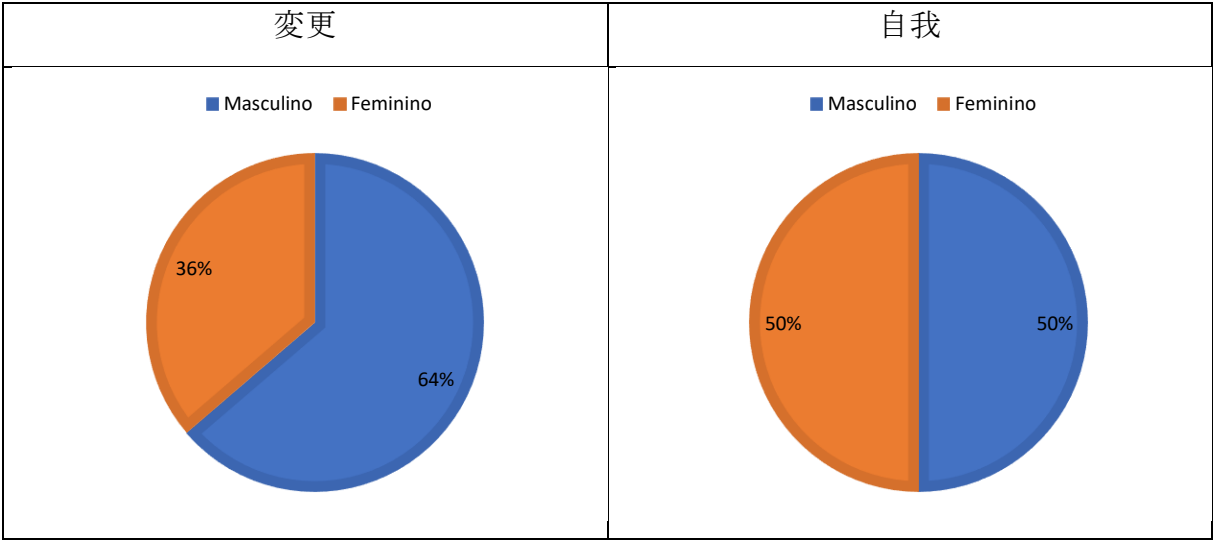
異なる年齢層間の変動に関しては、EGOがALTERについて行った喚起は、下の表66に示すように、36～38歳の範囲でピークに達する低年齢から徐々に増加し、後で減少することを主に指摘する価値があります。4つの単一のEGOの喚起の場合、彼らは非常に若く、高齢者の中にいました。

表 66 - 年齢変動 - アゴラ・無知



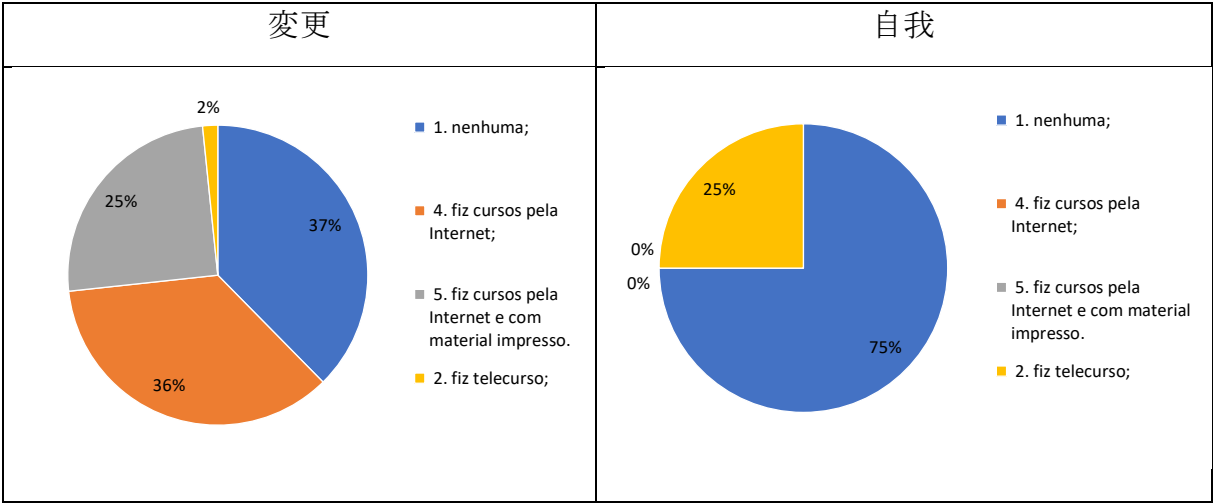
我々はまた、下の表67で見られるように、男性の性別は、64%の人々の「未知」という言葉の喚起に関連してALTERで主に優勢であることに注意してください。EGOに関連して、バランスがあり、再び非常に少ない人々を強調してください。

表 67 - セックス アゴラ 無知



従来の遠隔教育の経験に関して、ALTERでは、以下の表68に示すように、それを一度も使ったことがない人とインターネット上で何らかのコースを取った人との間にバランスがあることに気付きました。これらのグループに加えて、私たちはDSで何らかの経験を持つ人々の73%に達しました。EGOに関連するケースは、その数量に基づいて、無関係です。

表 68 - EAD の経験 - 不明なアゴラ



人々がTHEを知らないという用語を言及した人の中で、表69で観察され、その下に、ALTERに関して、この可能な社会的表現に関連する人々は、大都市圏に集中して、州全体に分布している。この場合、カンポ・グランデとノヴァ・イグアス

を強調します。前の項目と同様に、EGOによる「不明」という単語の喚起は事実上ゼロであり、EGOとALTERの点での内部/大都市圏の数学的分布は、EGOの回答者数が非常に多いため考慮されるべきではありません(表69、下)。

表 69 - 市区町村地理分布 - アゴラ不明

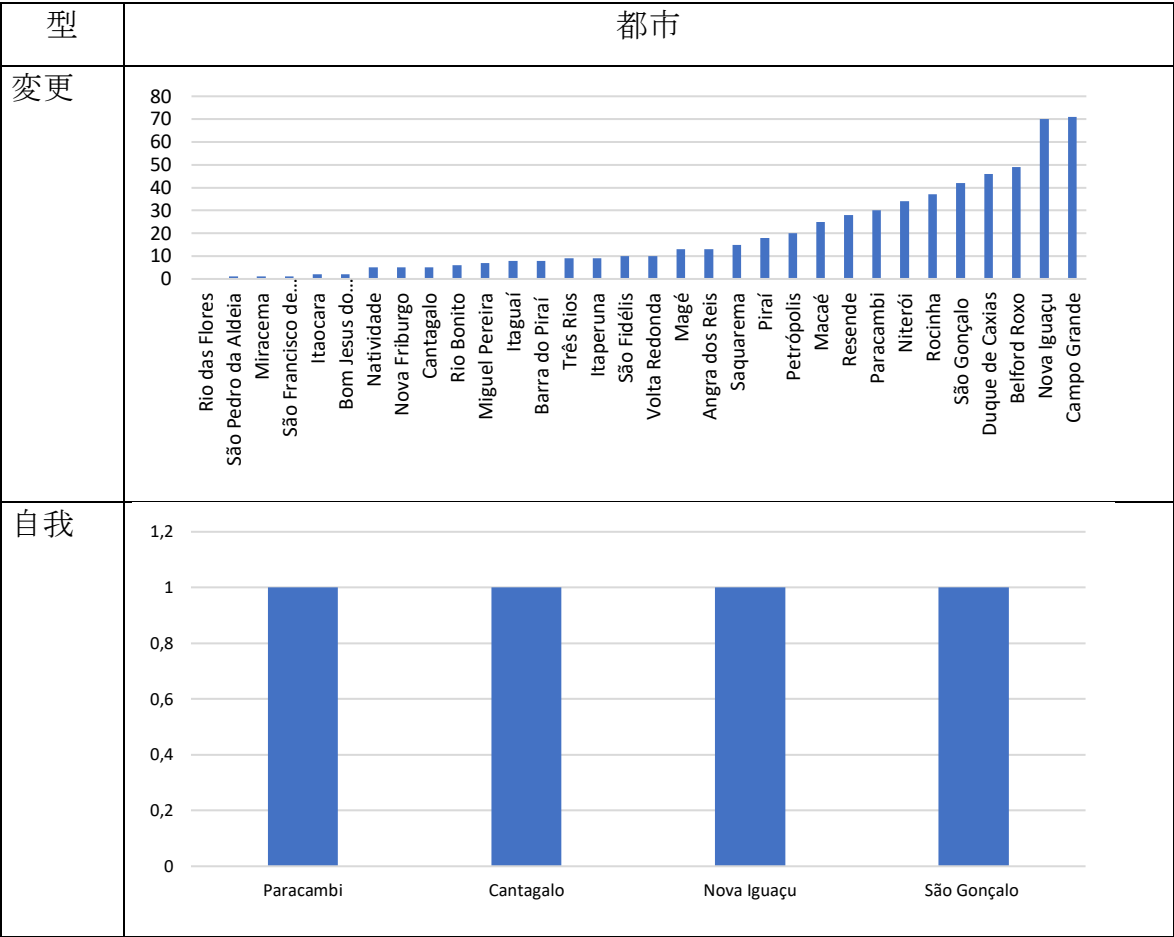
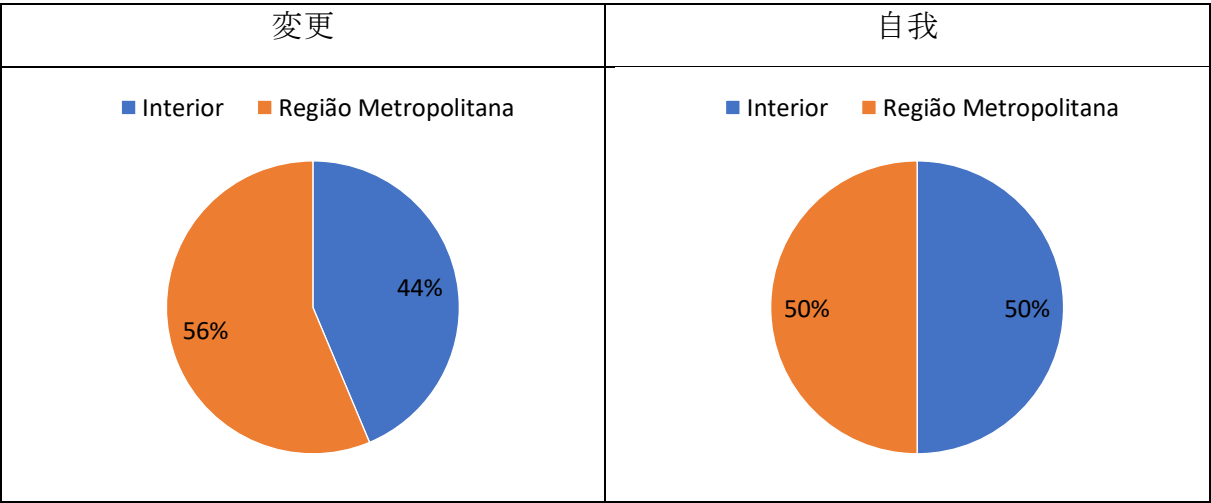
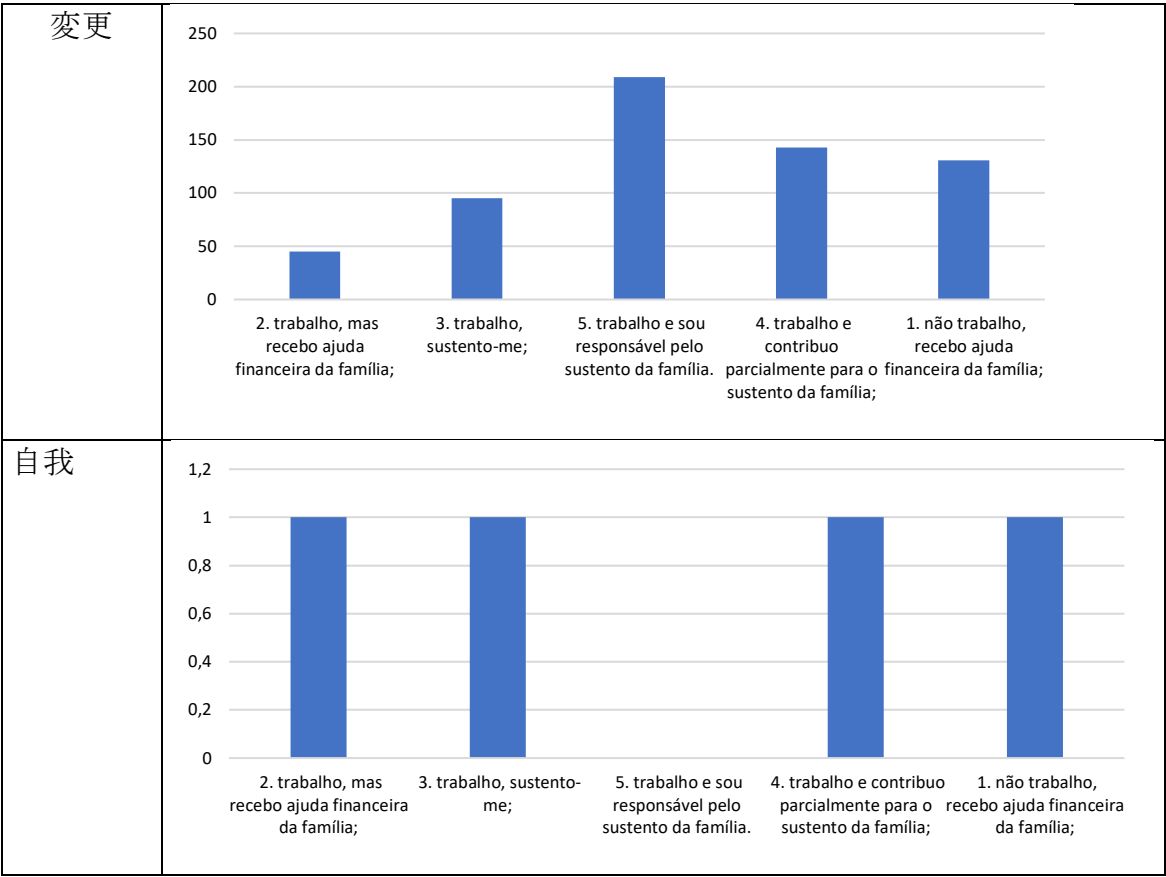


表 70 - 地域の地理的分布 - アゴラ不明



EGOが他者の「ALTER」を作るという考えに関連する「未知」という言葉の喚起に関しては、経済参加に関して、大多数が家族の支援に対して完全または部分的に責任を負う分布があることに注意してください。下の表71は、「未知の、ALTERに、自分の生計や仕事のために働く」を呼び起こしたかなりの数の人々からも見るることができます。

表 71 - 経済参加 - 不明なアゴラ



4.2.9 アゴラの怠惰

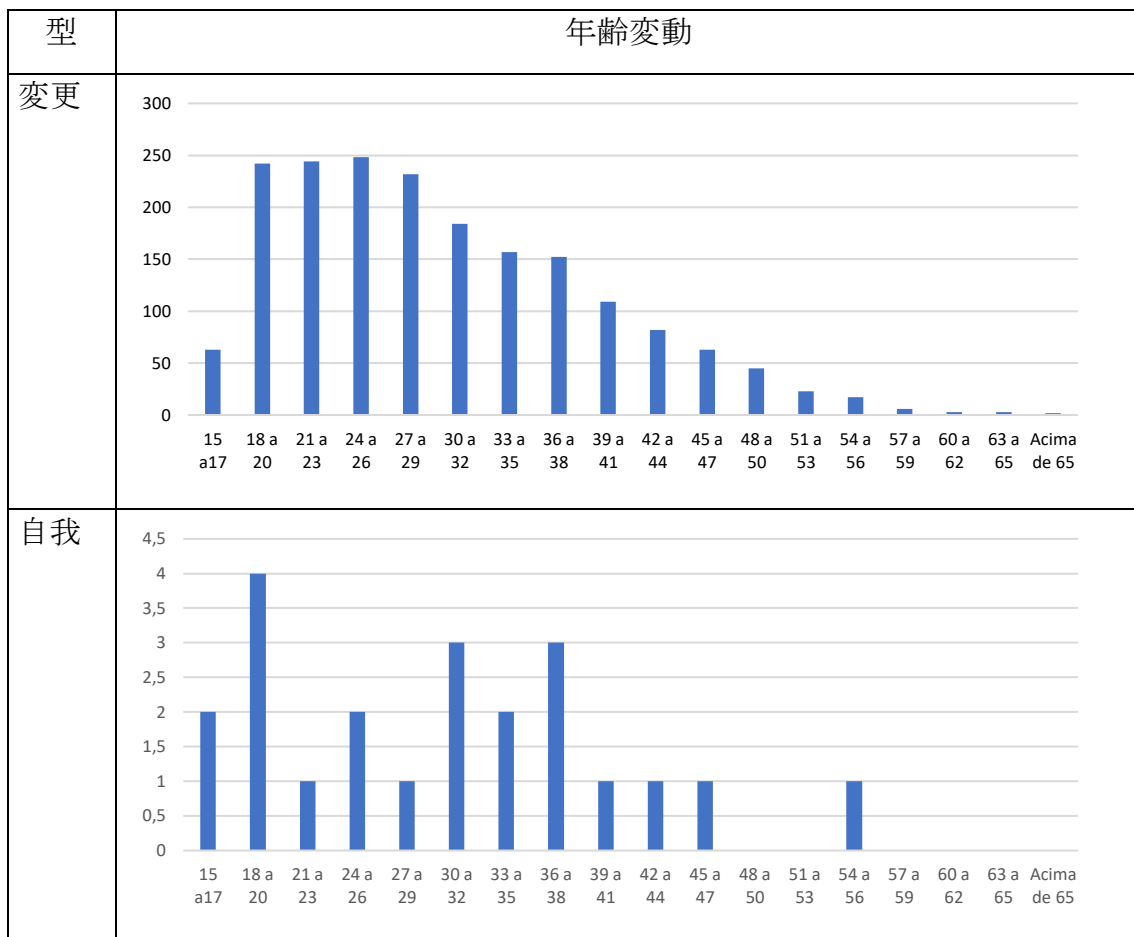
EGOとALTERの両方に関連する喚起は、「怠惰」という言葉で行われ、THEに関する否定的な社会的表現の可能性を示唆した。表72に示すように、EGOの言及の下にはALTER用に呼び起されるものより85倍低い。

表 72 - エゴと ALTER の喚起 - アゴラ・ラジーネス

アゴラ	人々
自我	22
変更	1909

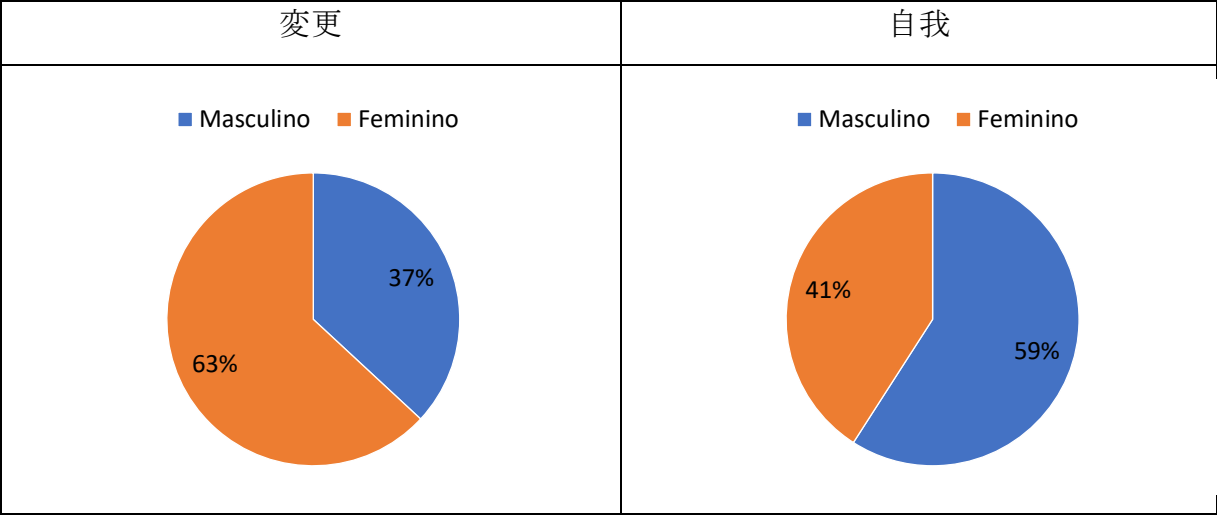
異なる年齢層に関連して(表74、下)、18歳から29歳までの若者のALTERに関連して、用語の喚起に一定の安定性があることを見ることができます。この時代から、年を取るにつれて「怠惰」という言葉が呼び起こされました。EGOでは、18歳から20歳までの若者のピークを特定し、30歳から32歳まで、36～38歳のピークを除いて、異なる年齢層で比較的安定した状態を維持する。

表 74 - 年齢バリエーション - アゴラ・プレギサ



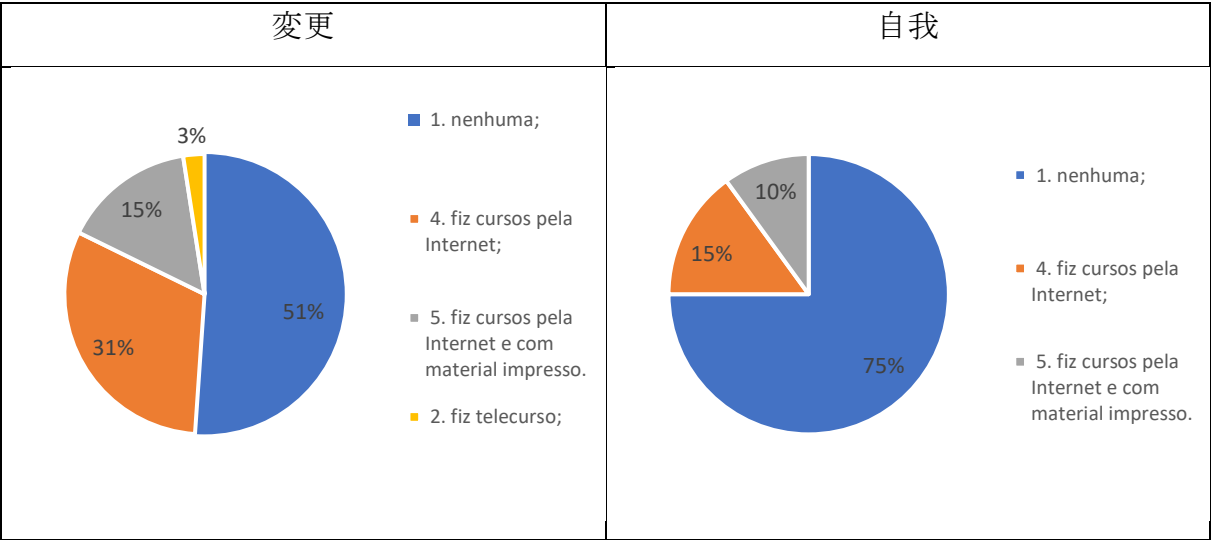
セックスに関しては、不思議なことに、私たちはEGOとALTERの「怠惰」という言葉の喚起に関連して反転を観察しました(表75、下)。私たちはALTERを持たない女性の大多数に気づき、この状況はEGOとの関係になっています。

表 75 - セックス - アゴラ・プレギサ



以下の表76では、EGOとALTERの両方で、「怠惰」という言葉を引き起こしたほとんどの人は遠隔教育の経験がないことがわかります。ALTERに関する「怠惰」の喚起の51%は経験のない別の経験に関連しており、EGOが独自の経験を見つけると75%に大幅に上昇します。

表 76 - EAD の経験 - 怠惰



都市に関連して、EGOの「怠惰」の喚起は、主にリオデジャネイロ郊外から離れ、ALTERでは、呼び起こしのほとんどが多かれ少なかれ首都、首都圏の他の自治体、内部の地域で混ざっていることに気付くことができます(図表77、下)。自治体の新しいイグアスは、ALTERのためにTHEを含む「怠惰」の社会的表現を示唆する最も多くの喚起を提示します。どちらの場合も(EGOとALTER)、図77によると、以下の、我々は内部と比較して大都市圏に関連する喚起の有病率を有する。

表 77 - 市営地域地域分布- アゴラ・プレギサ

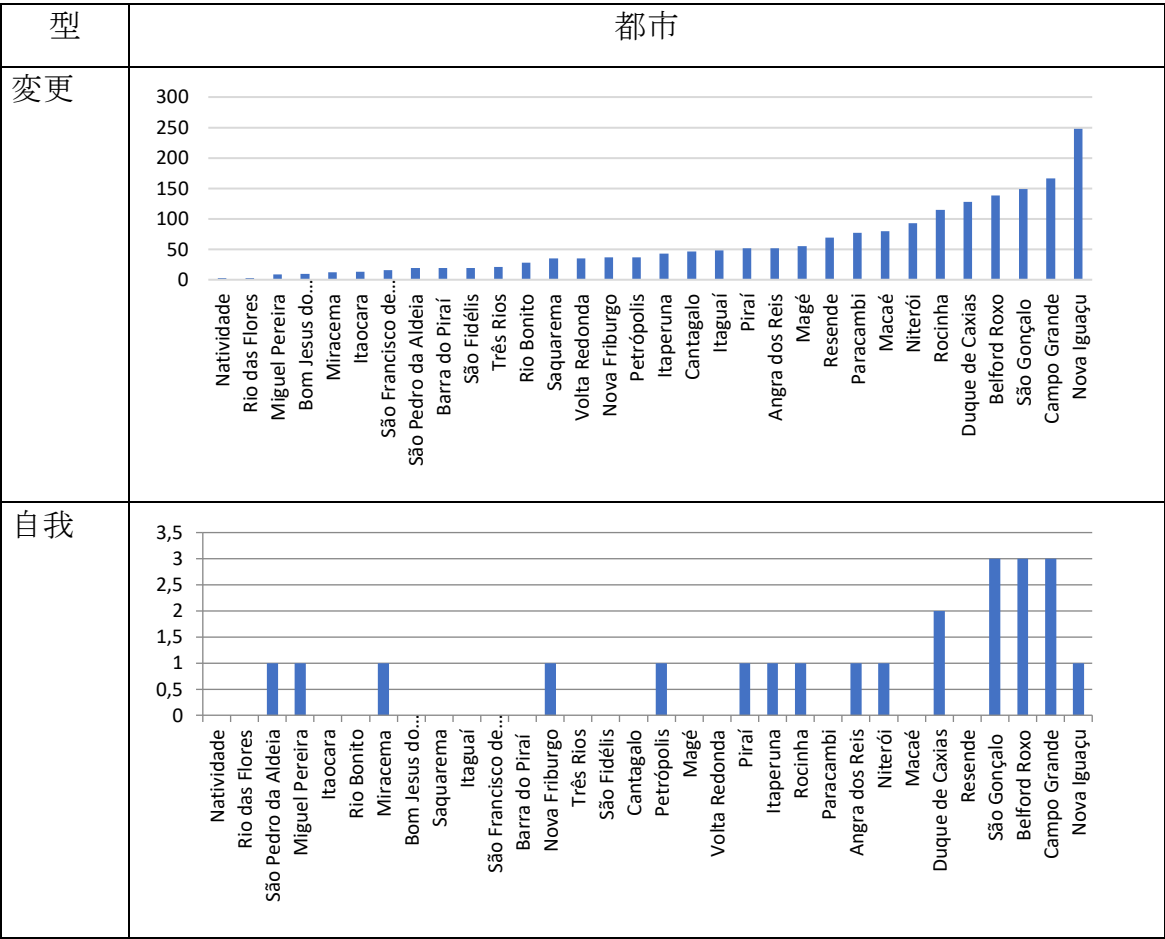
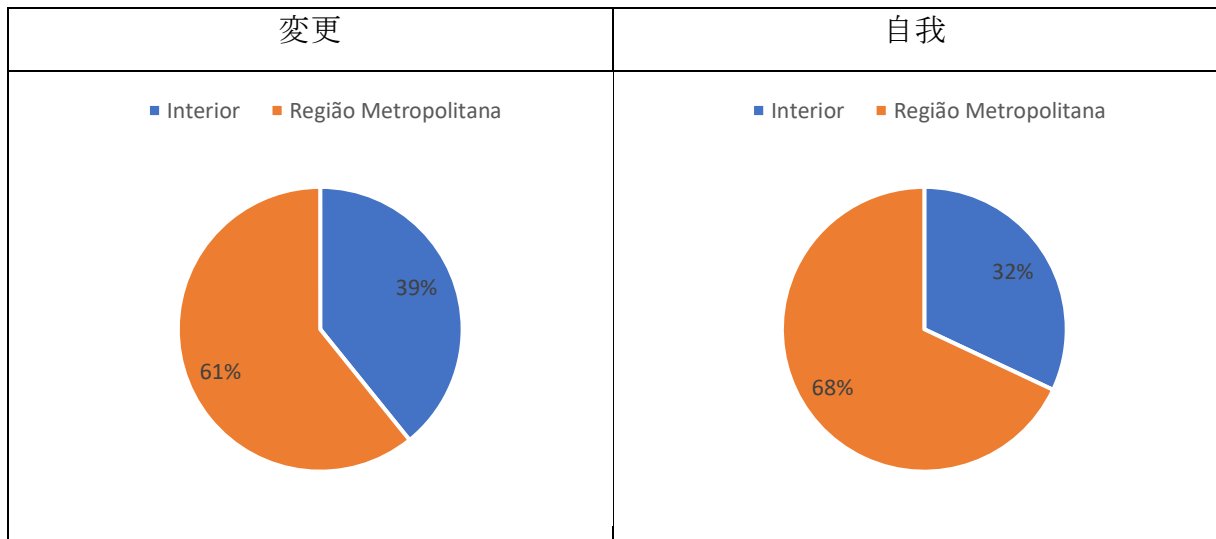
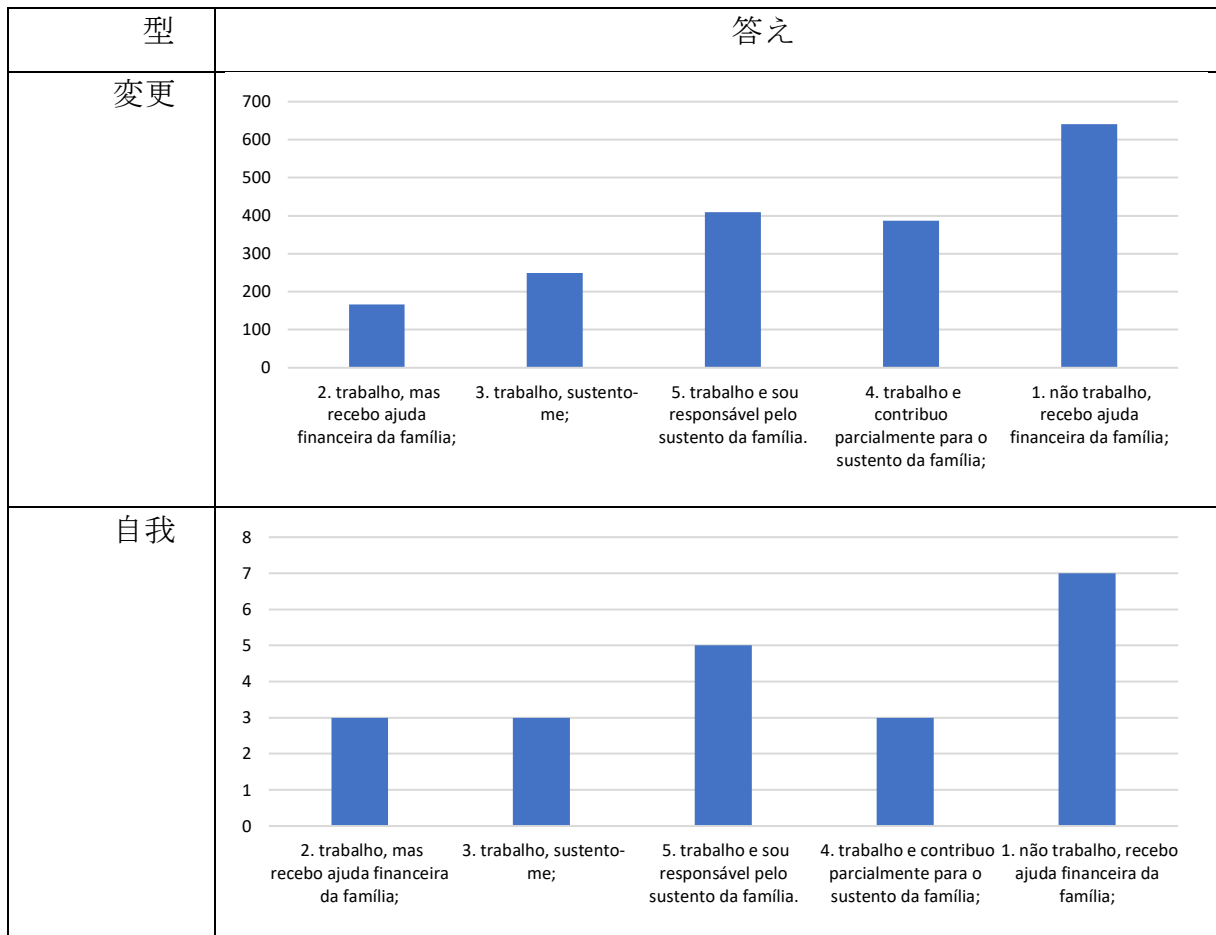


表 78 - 地域の地理的分布 - アゴラ・プレギサ



経済参加に関しては、以下の表79に示すように、このアゴラの回答者の過半数が、主に家族のリスクであると言われています。

表 79 - 経済参加 - アゴラ・プレギサ



4.2.12 怪しげな言葉のアゴラス

THEに関する社会的表現を示唆する最初の100の最も呼び起こされる言葉のうち、研究者側の否定的な解釈と肯定的な解釈の両方につながるものもある。言い換えれば、常識に関連する社会慣行と呼ばれ、彼らは疑わしい、あいまいな性格を持っています。私たちは、発生とその状況を研究し、これらの喚起は、他の考え方(ALTER)が自分自身について考えられているものよりも否定的であると考えられている以前のものとは異なり、EGOとALTERの間に有意な違いを提示しないことに気づくかもしれません(

以下のサブセクションでは、あいまいであると考えられるこれらのアゴラスについて説明します。

4.2.12.1 困難なアゴラ

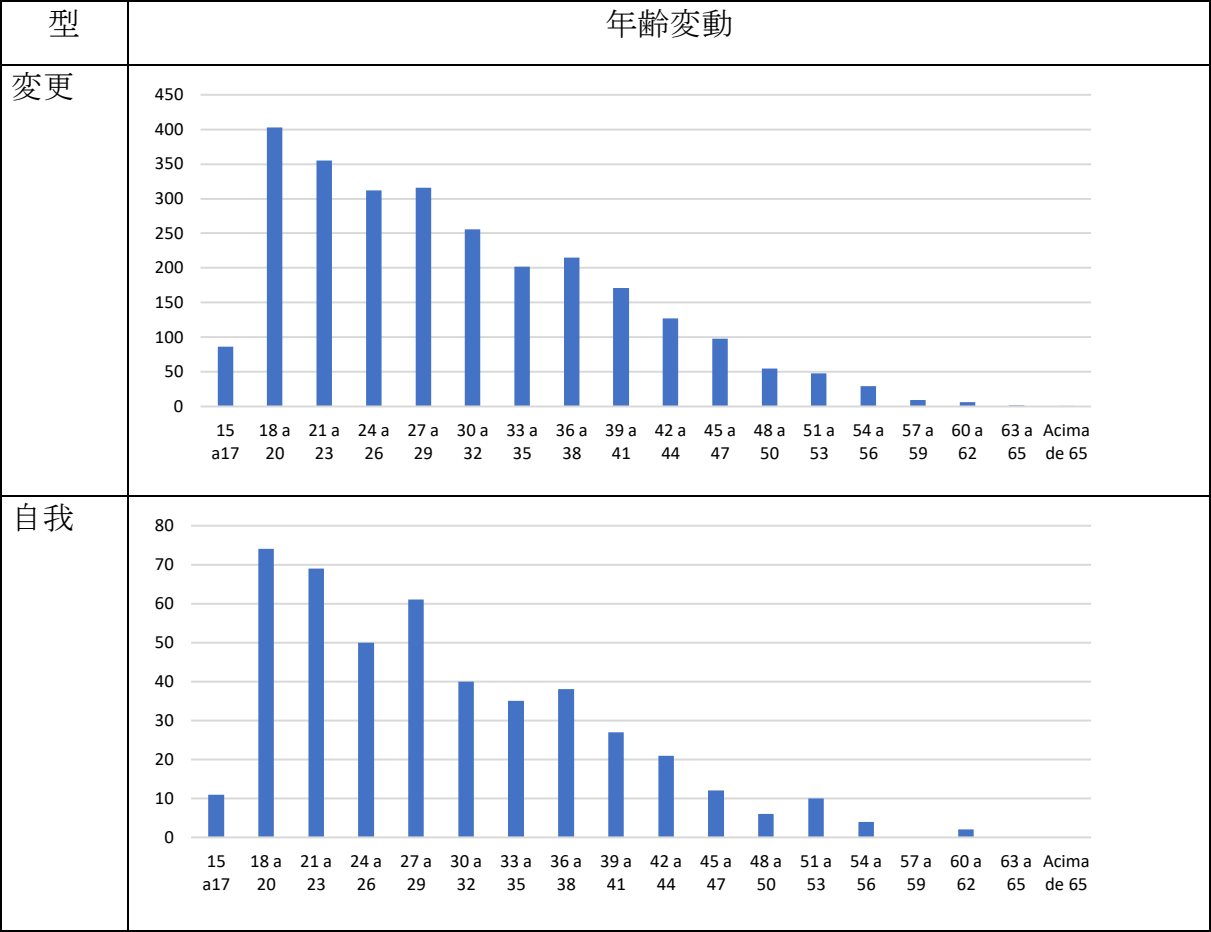
「難しい」という言葉の喚起から構築された最初のアゴラは、疑わしい表現を示唆しているように見えました。このあいまいさは、次のケースに変換されます。一方で、距離教育を選ぶのが難しいと思われるのは、対面モダリティよりも「深刻」で「要求が厳しい」という難しさに結びついているかもしれません。一方、THEが難しいという事実は、何かが必ずしも否定的ではないことを示唆しているかもしれません。つまり、それが「難しい」という事実は、肯定的であることを証明することができます。この単語は、前のセクションのアゴラを構築した喚起よりも比較的少ないが、以下の表80に示すように、EGOの起こしの数はALTERの約5.8倍少ない。

表 80 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラ- アゴラ ディフィシル

アゴラ	人々
自我	435
変更	2553

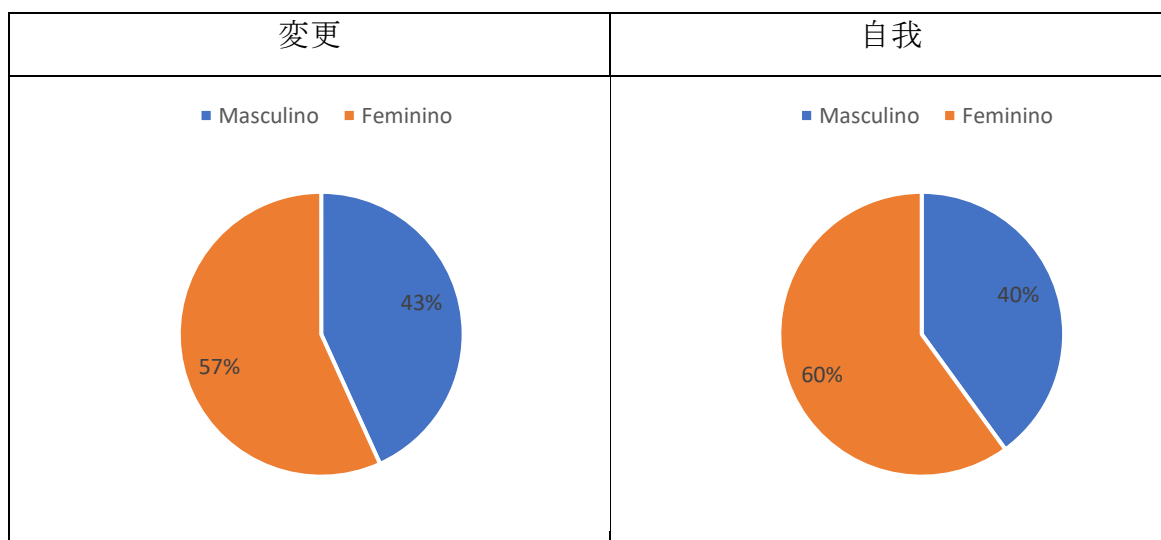
「困難」の喚起に関連して、この可能な社会的表現は、より肯定的かより否定的かを知らずに、18歳から20歳までの年齢層の言及のピークを持ち、高齢者の年齢に応じて徐々に減少する(図表81、下)。EGO と ALTER の両方に反映されるこの特性は、一定の類似性のために、両方のグラフィック表現で観察できます。

表 81 -年齢変動 - 困難なアゴラ



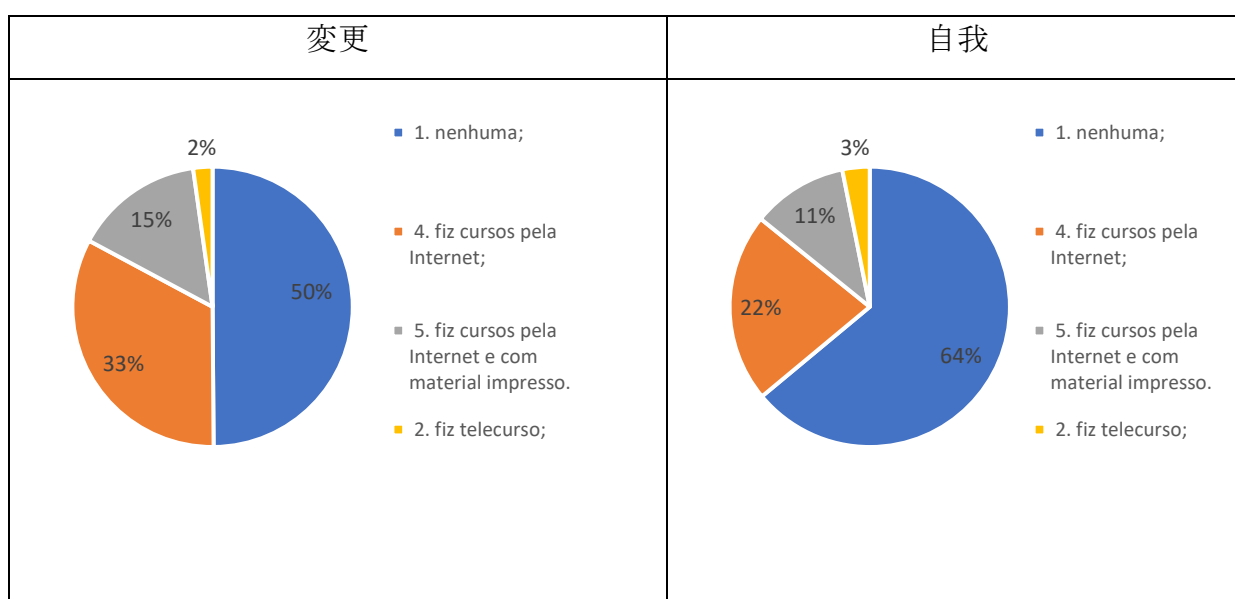
興味深いことに、この喚起に関して、我々はセックスに関連してEGOとALTE Rの間の類似性を観察した(下記の図82)。困難の可能な表現(EGOがあなたをどう思うか、あなたがALTERについてどう思うかに関連して)、喚起は主に女性によって行われ、約60%です。

表 82 - セックス - ハードアゴラ



「困難」の喚起に関しては、EDとの経験に関連して、この直前に議論したアゴラの「怠惰」と同様のバリエーションを見つけます。EAD の難易度に関して EGO が作成できる表現は、ALTER よりも大きくなっています。この場合(下記表83)は遠隔教育の経験が無いという事実に関する。

表 83 - EAD の経験 - 困難なアゴラ



「困難」という言葉の喚起の地理的分布については、EGOとALTERの両方で、リオデジャネイロ州の大都市圏の自治体の優位性に気づくことは可能です(下記の

表84を参照)。EGOでは、これらの自治体の中には、アングラ・ドス・レイス(州の南)とマカエ(州の北)もその地域の外に現れます。ALTERに対する「困難」の喚起では、レゼンデ市(州の西)が現れます。表84が示唆するように、下には大都市領域と内領域の間に一定のバランスがあり、後者に対する重量を有する可能性がある。

表 84 -市の地理的分布- アゴラ・ディフィシル

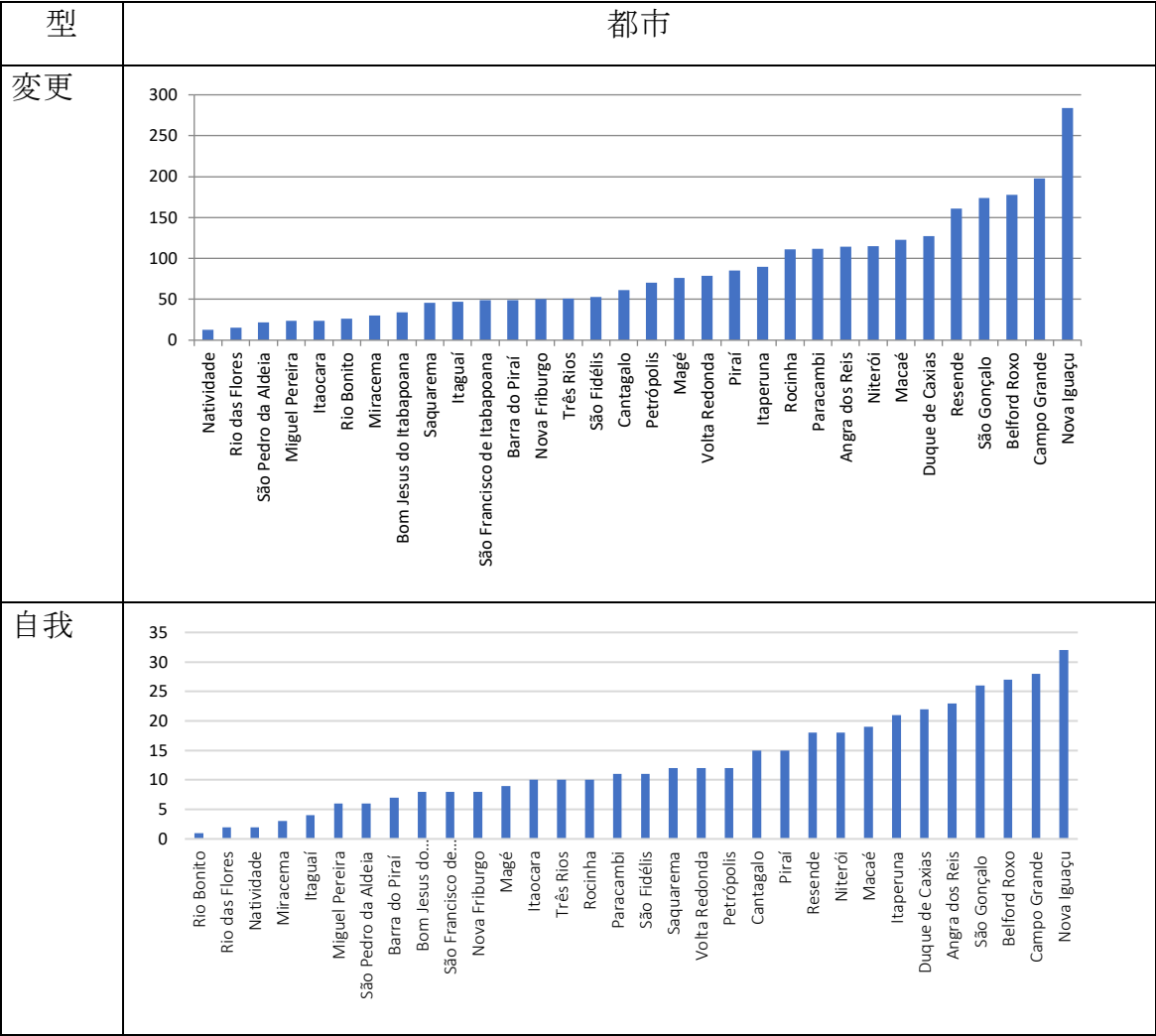
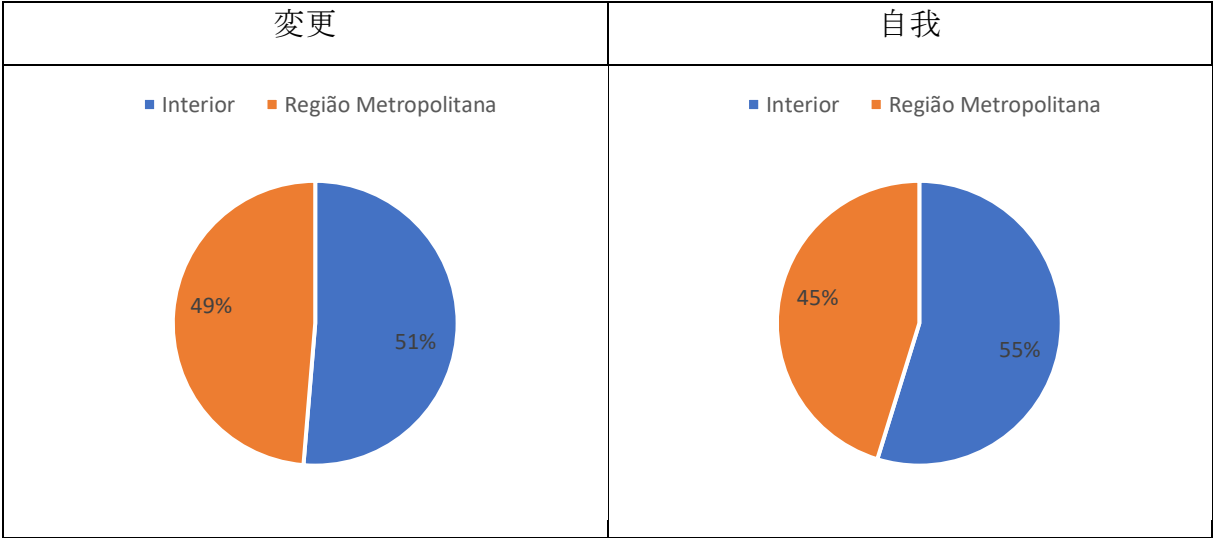
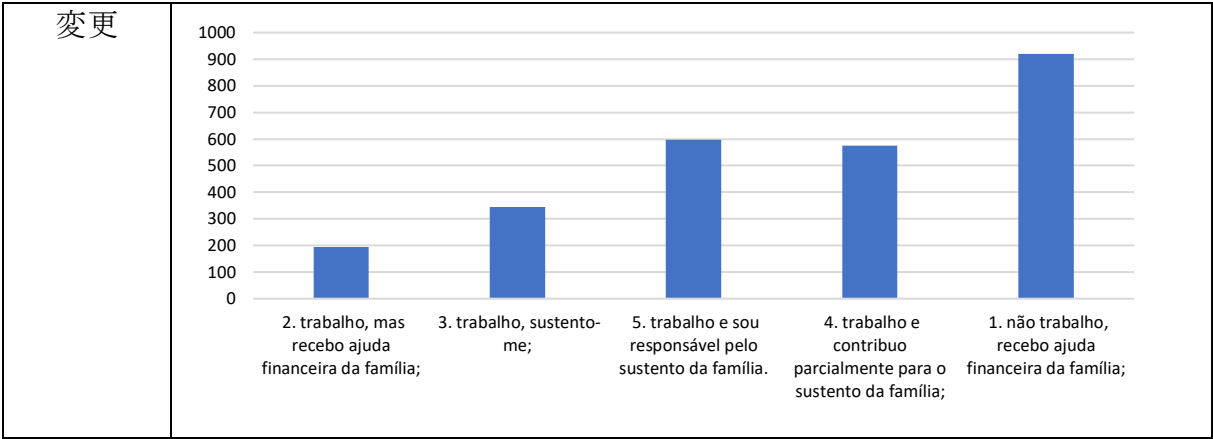


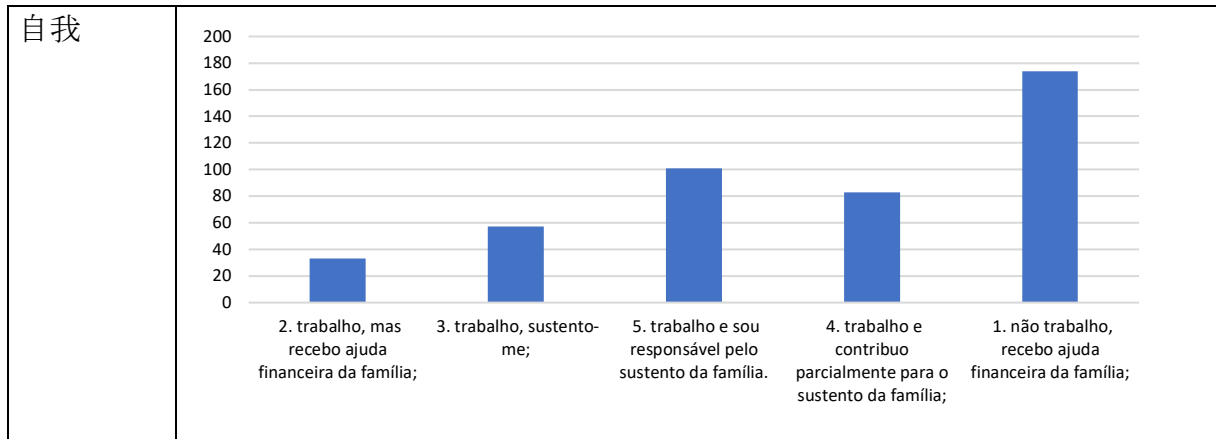
表 85 - 地域の地理的分布 - 困難なアゴラ



家族への経済参加は、EGOが自ら考え、ALTERについて何を考えているかに
関する「困難」の喚起と相関して、我々は、彼らが働いて、以下の表86に見られる
ように、財政援助を受けないことを観察した。EGO と ALTER
の間には類似点があります。

表 86 - 経済参加 - 困難なアゴラ





4.2.12.2 今の難易度

以前の喚起(「難しい」)に関連して、「難易度」という言葉は、項目4.2.12.2で提起された同じ質問に関連する疑わしい意味を持っています。この意味では、正と負の側面を示す可能性のある極性に関連して、その中で説明されているものを超えて詳しく説明しません。それでも、一般的な結果はあまり近くないことを言及する価値があります。EGOに関しては、ALTERに関して「難易度」という言葉は、下記の表87に記されているとおり、ALTERに関して3回言及されました。

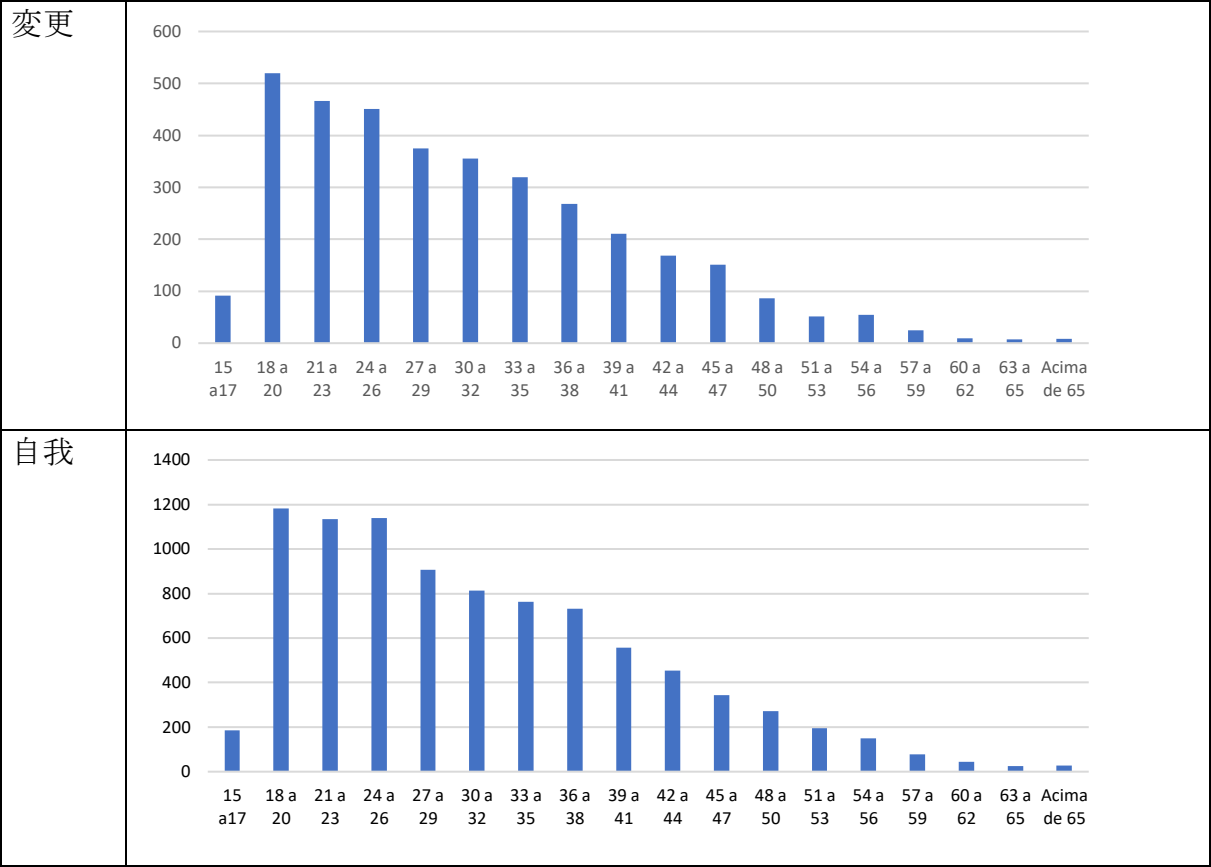
表 88 - エゴと ALTER - アゴラ アゴラ難易度

アゴラ	人々
自我	973
変更	3417

年齢層の変動では、下の表89に示すように、EGOと変化の両方において、特に若者との間で「難易度」という言葉の喚起が関連しています。18歳から20歳まで、人々が年を取るにつれて、呼び起こしが徐々に減少します。

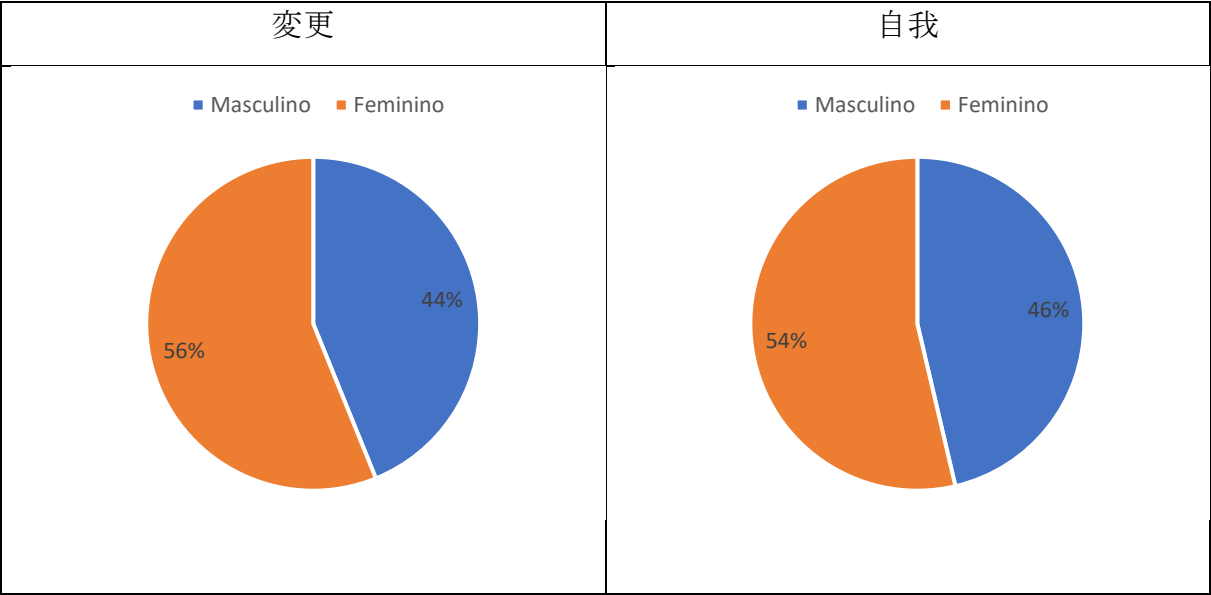
表 89 -年齢変動 - アゴラ難易度

型	年齢変動
---	------



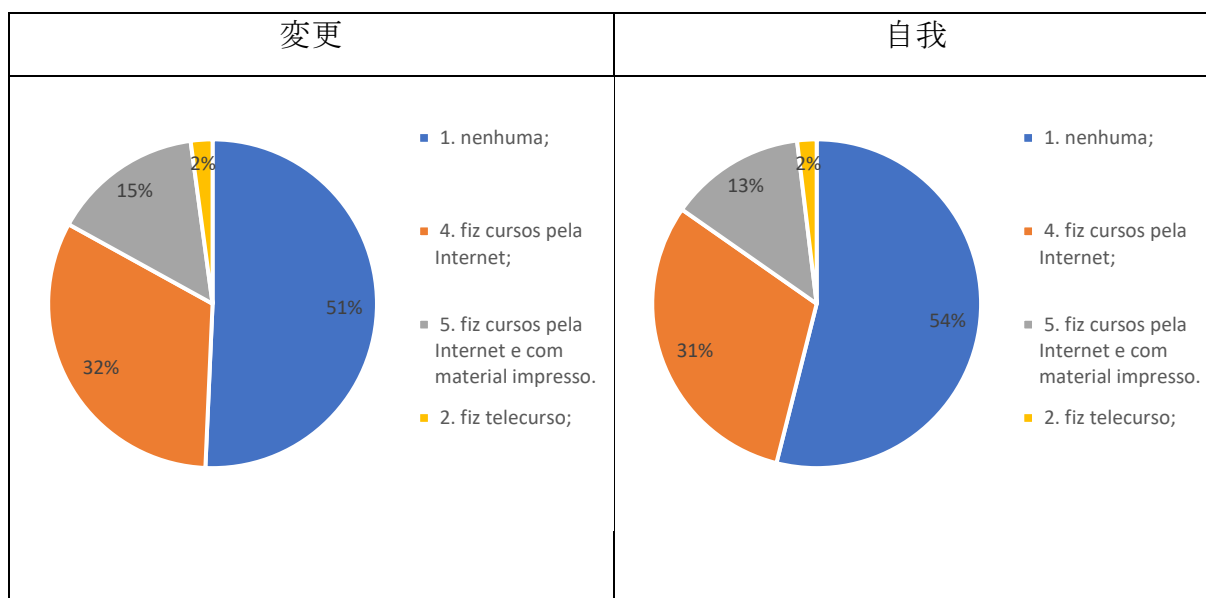
これまで研究してきたアゴラのほとんどで起こったように、以下の表90に示すように、「難易度」という言葉の喚起に関しては、女性の有病率があります。この普及は、EGOの現れと、それが他のALTERの表現の両方に起因する。

表 90 -セックス アゴラ難易度



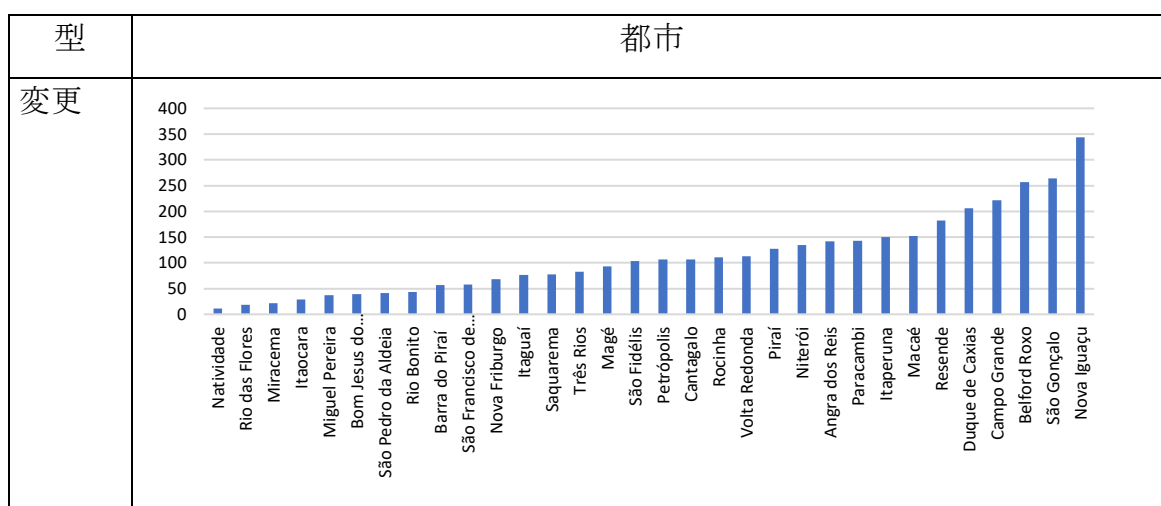
「難易度」という言葉を呼び起こした人々のDISTANCEの経験に関連して、下記の表91で確認したように、絶対多数は遠隔教育のモダリティを持つ経験がありません。この特性は、エゴの喚起に関して、そしてそれが他のALTERを作る両方に発生します。

表 91 - AEd の経験 - アゴラ・ディフィカルダーデ



「難易度」という言葉を引き起こした人々が住んでいる都市については、EGOとALTERの両方で大都市圏の自治体の優位性が明らかに注目できます。これらに加えて、表92に示すように、下の、州西部の都市であるレゼンデと北部地域のマカエを際立たせる。

表 92 - 市区町村地理分布- アゴラ・ディフィカルダーデ



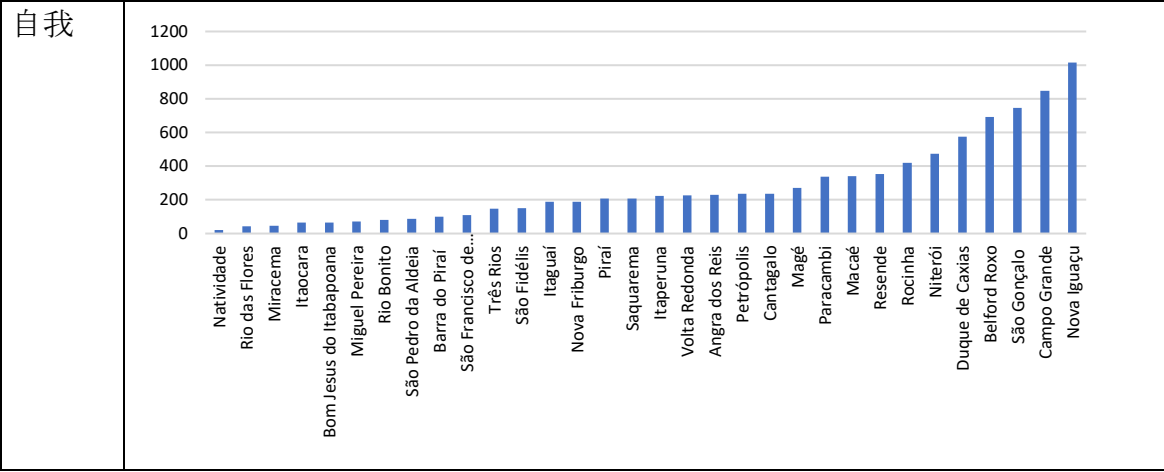
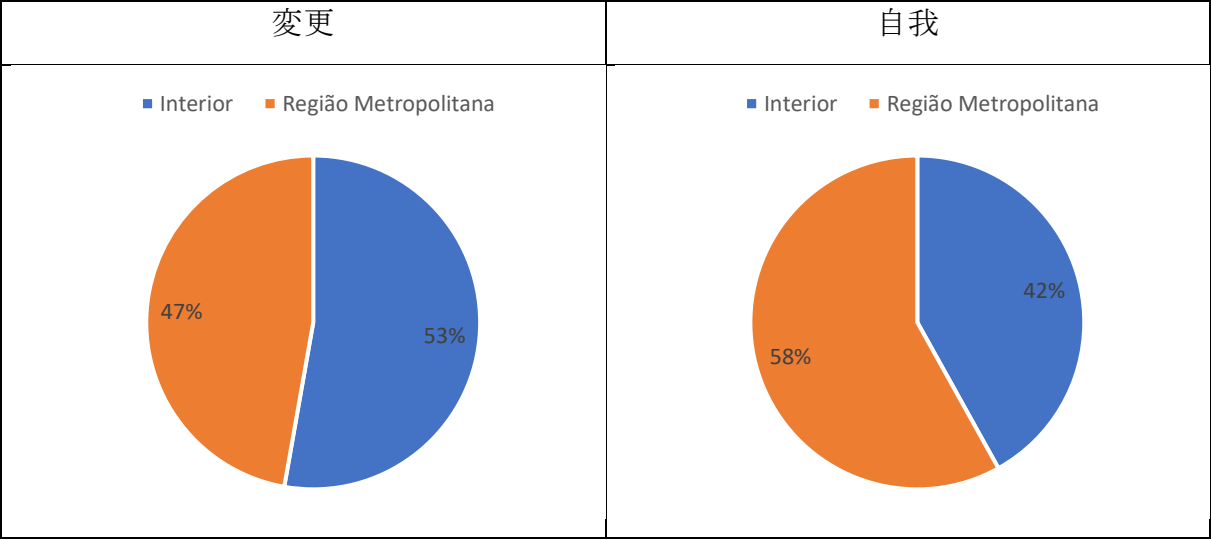
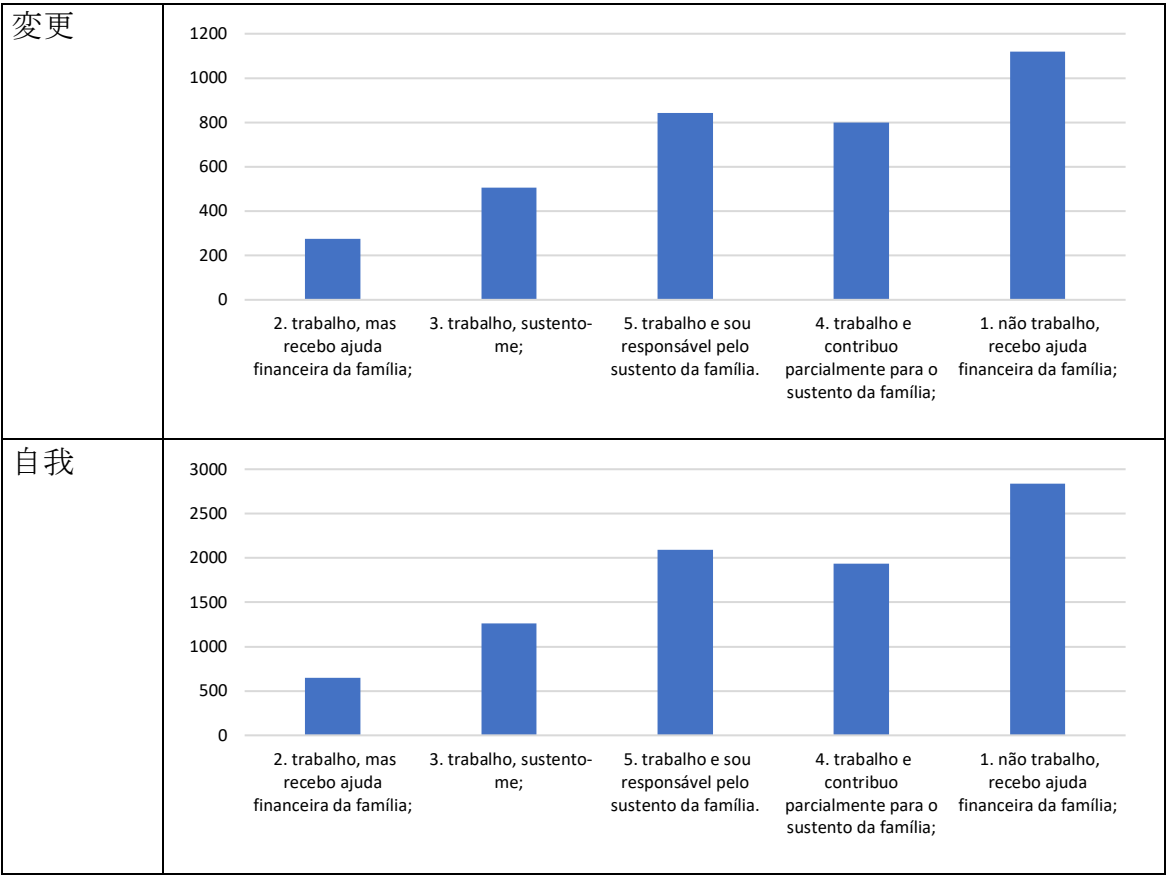


表 93 -地域の地理的分布 - アゴラの難易度



家族への経済参加については、主に「難易度」という言葉呼び起こす人々(表94、下)は働かなく、家族に支えられていることが観察される。この知見はEGOとALTERの両方に適用され、部分的または完全に働く人々のかなりの数の症例に重点を置いている。

表 94 - 経済参加 - アゴラ・ディフィカルダーデ



4.2.12.3 アゴラ施設

「難しい」「難易度」という言葉に似た方法で見ることができるので、「容易」という言葉の喚起に起因する社会表現の可能性も疑わしい言葉と考えています。一方で、THEは否定的な意味で対面教育システムよりも簡単です(それは価値が低く、くだらないです、試験に合格するのは簡単です)。一方で、人々の日常生活を促進するシステムとして、機会を広げるツールとして理解することができます。

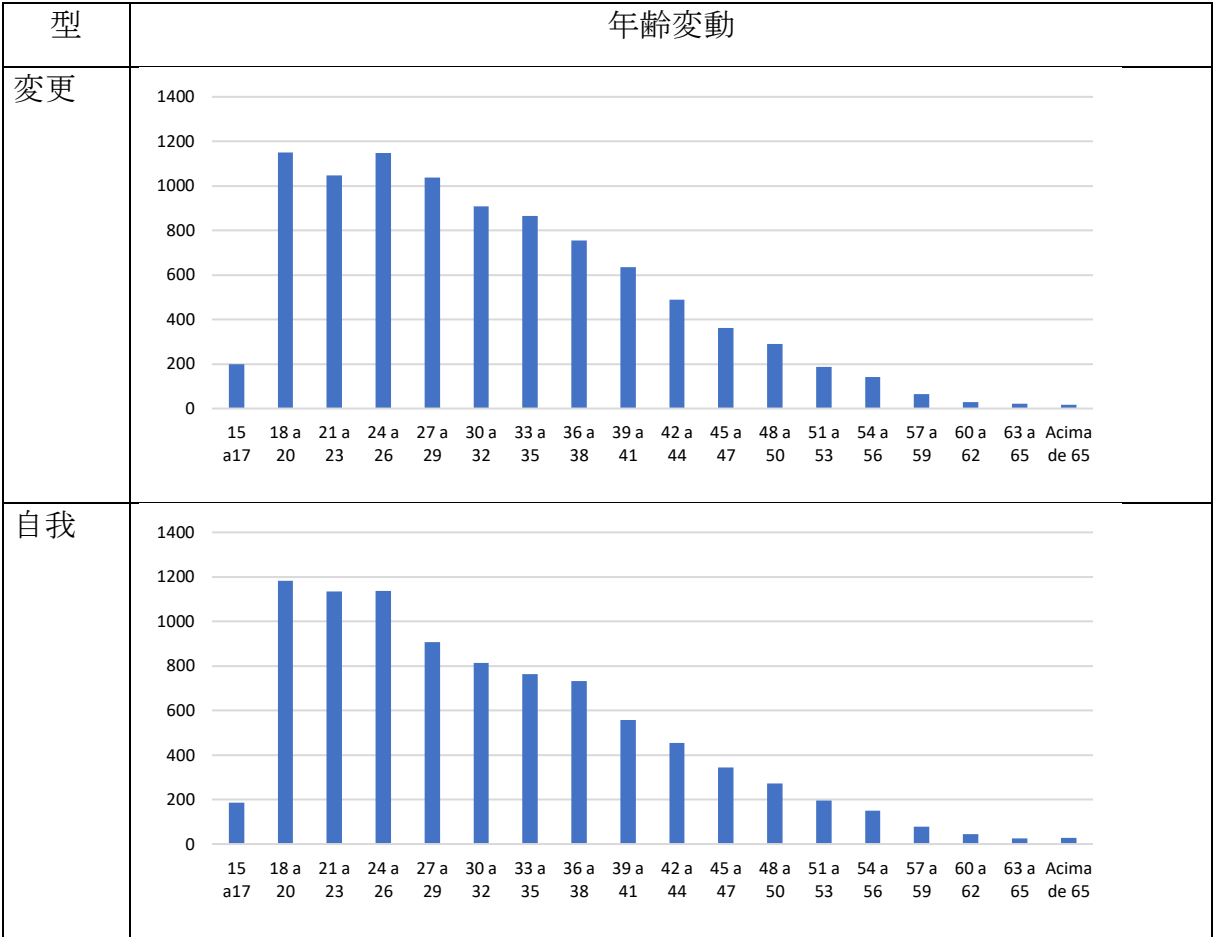
EGOがTHEにどのように反映されているか、そしてALTERがどう考えているかについて考える点の両方に関して、「イーズ」(以下の表95)という言葉の喚起には、大きなバランスと言及の数があります。

表 95 - エゴと ALTER の喚起 - アゴラ・ファシリダーデ

アゴラ	人々
自我	8551
変更	8918

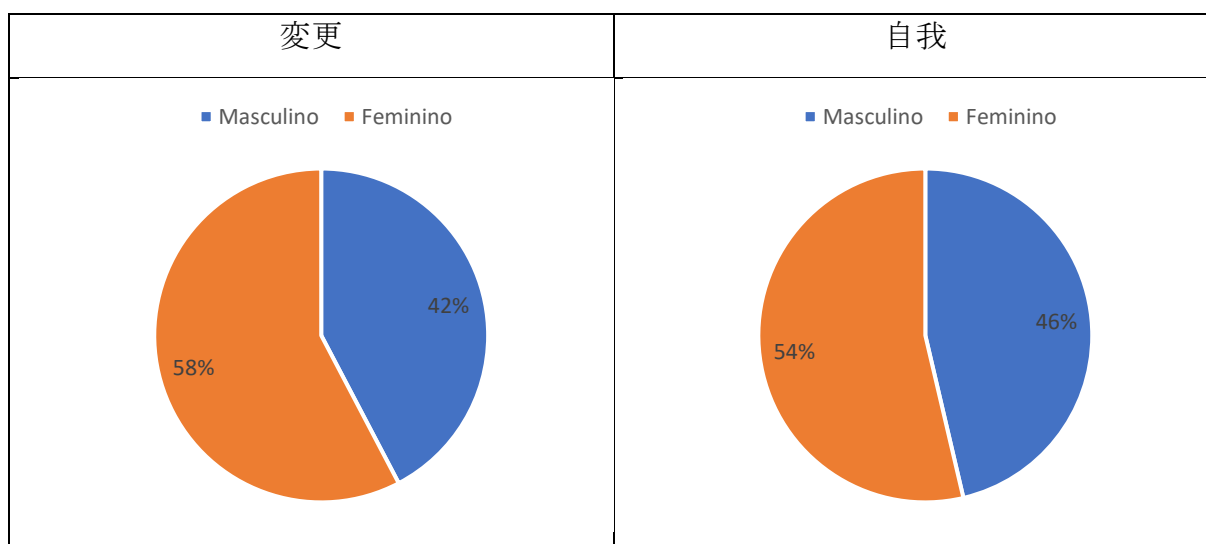
以前のagorasで観察されたように、「容易さ」は、EGOとALTERの両方の高齢者と比較して、若い人の間で起きの有病率を示しています(表96、下)。18歳から26歳までの若者の優位性があり、年を取るにつれて発生が減少します。

表 96 -年齢バリエーション - アゴラ施設



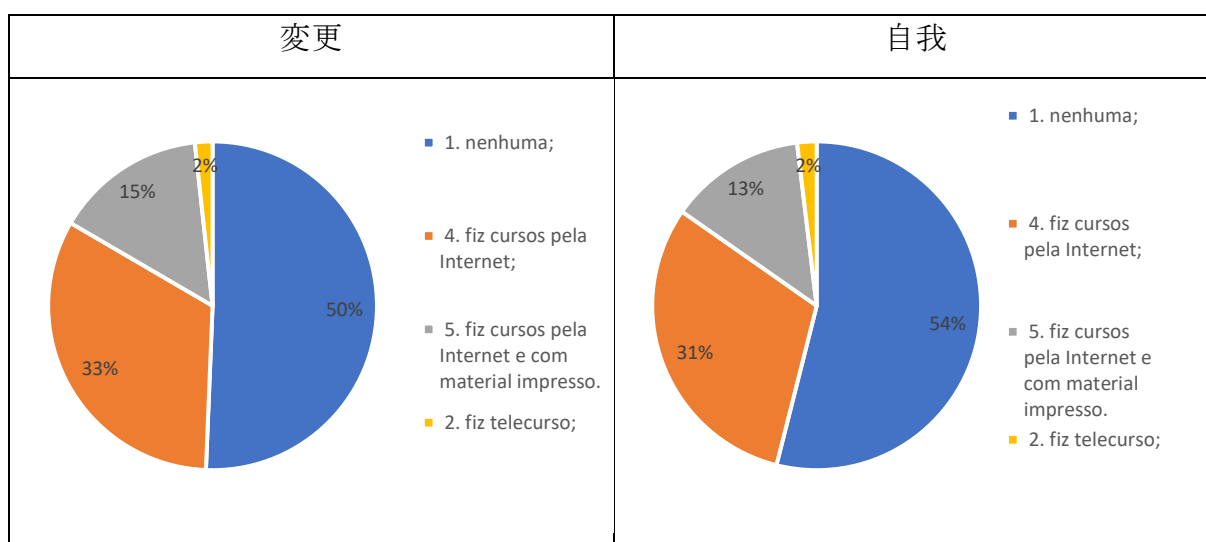
セックスに関しては、女性が作ったものに対する傾向が大きい「容易さ」の喚起の間にほぼバランスがある(図表97、下)。この場合、EGOでは有病率は ALTER よりもわずかに低く、EGO では 54% 、ALTER では 58% に達する「容易さ」の喚起が行われています。

表 97 - セックス アゴラ 施設



EDSの経験に関して、「容易さ」の喚起は、EGOとALTERの両方の言及の大半を示唆しています(表98、下)。どちらの場合も、そのほとんどはこのタイプの教育との接触の欠如から始まります。しかし、EGOの呼び出しに関しては、より大きな違いがあります。

表 98 - EAD の経験 - アゴラ ファシリダーデ



EGOとALTER(下記の表99)の両方の「容易さ」の喚起が起こった自治体に関連する地理的分布については、それらのほとんどは、ALTERとEGOの両方でリオデジャネイロ州の大都市圏の都市から来たことを確認することができます。「容易さ

」(以下の表99)の喚起の地域地理的分布に関しては、EGOとALTERの両方で同様の過半数が内部の大都市圏の有病率を張り出しています。

表 100 - 市区町村の地理的分布 - アゴラ・ファシリダーデ

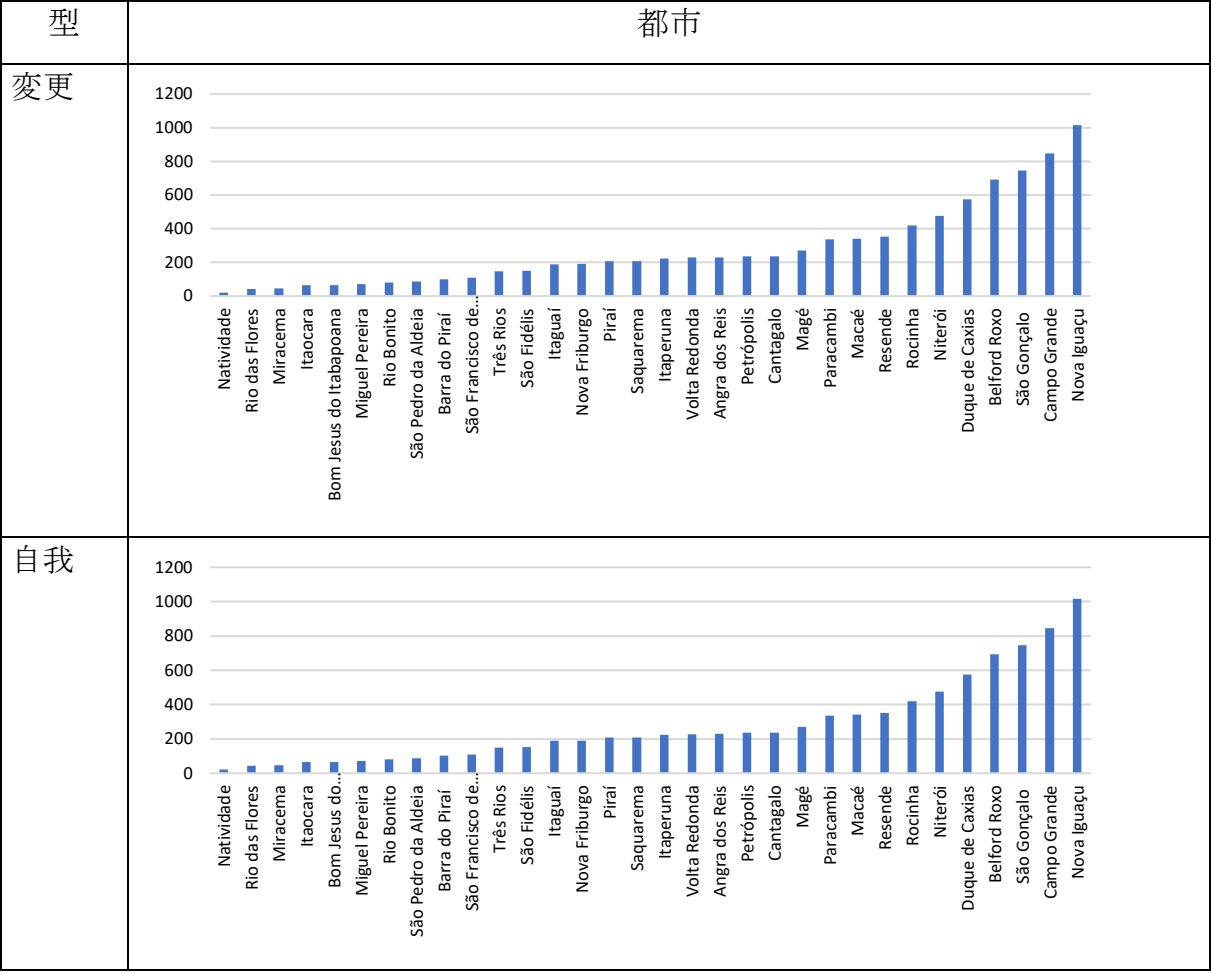
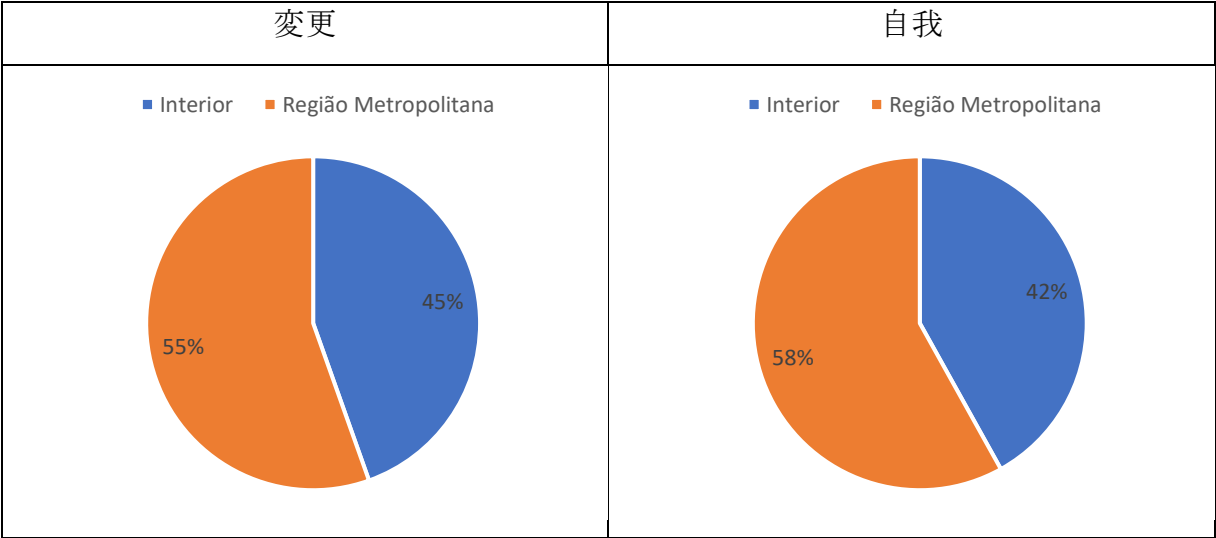
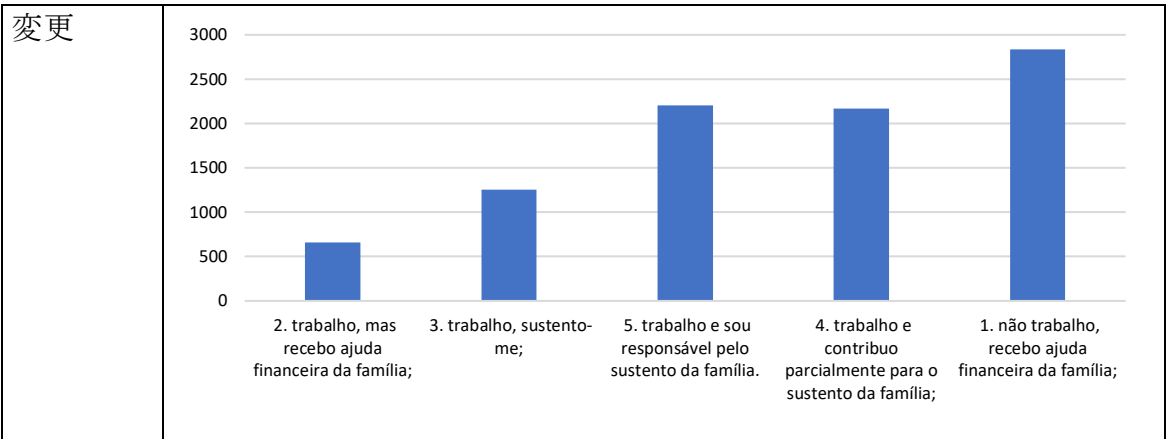


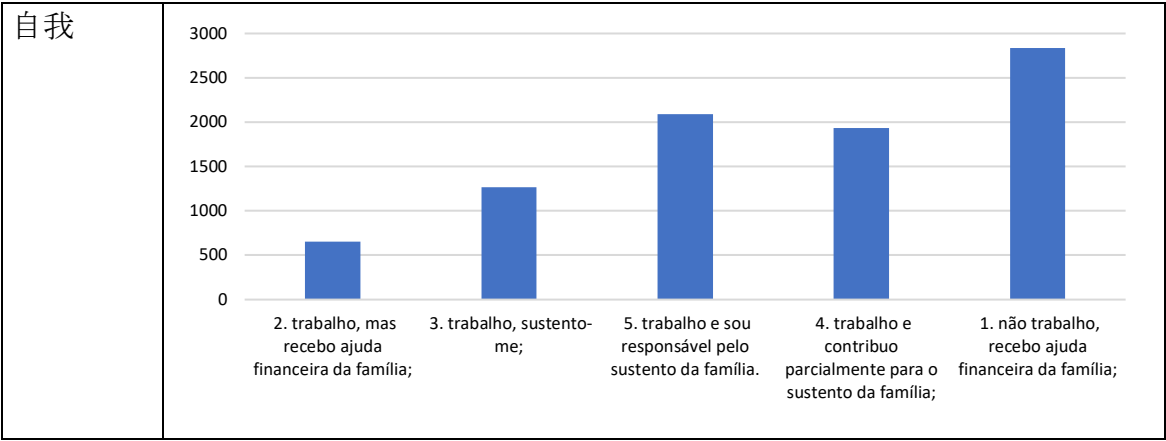
表 101 - 地域の地理的分布 - アゴラ・ファシリダーデ



経済参加に関する社会人口統計学的アンケートの声明に関連する「容易さ」という言葉の喚起に関して。また、EGOがあなたについて何を考えているか、そしてあなたがALTERについてどう思うかの類似性も確認します(表102)。両方とも、働いて家族から経済的援助を受けていない人々の大半があり、その後、家族のニーズを部分的にまたは部分的に与える全責任が続きます。

表 102 - 経済参加 - アゴラ・ファシリダーデ





4.2.13 軸1の結果の全体的な分析 - 負のアゴラ

否定的な社会的表現を示唆する言葉の喚起からアゴラの形成を観察した後、我々は現時点で、それらのそれぞれに関連するいくつかの問題を反映しています。結果の分析の軸1では、分類に関して、我々は観察できるように、次の喚起に関連するアゴラを構築しました:「恐怖」、「偏見」、「弱い」、「悪い」、「不信」、「複雑」、「疑い」、「無知」、「怠惰」、「困難」、「難しさ」、「容易さ」。

4.2.13.1 恐怖

アゴラ「恐怖」では、EGOに関連して、リオデジャネイロ州の内部の都市は、遠隔教育に関連するこの感覚の喚起を明らかにし、他の ALTERの認識では、それが大都市圏であることを知っています。この絵は、内部に大きな大学がないことと相まって、学生が高等教育の学位を取得する方法として遠隔教育を求めることを仮定することができます。EGOに関して恐怖の喚起を表明する人は女性であるということに留意すべきです。これらの問題に加えて、EGOとALTERの両方で、たとえそれが古いグループ(しかしより少ない程度)でも、恐怖の可能な社会的表現を詳述している若者の大半が気づくことが可能です。「恐怖」という言葉の喚起は、EADでの経験の欠如と、市場による卒業証書の認識が同等に低下することによっても理解できます。これらの仮説(ムーア;KEARSLEY, 2010)多くの研究者による調査結果に関連しています (BELLONI,

1999;AISA;サントス,2009;ムーア,2007;VIANA, 2011)

学習過程で教師の人物の分権化などの事実は、教師が職を失ったり、家庭教師に置き換えられる恐れに加えて、恐怖感を促進することができます。

4.2.13.2 偏見

アゴラ「偏見」については、うなずくという言葉を呼び起こす人の間に大きな年齢差があることに気づくことが可能です。これは、この可能な社会的表現は、THEを求める多くの人が従来の大学時代ではないという事実に関連していることを示唆している。もう一つの重要なポイントは、年齢を超えて偏見が広く態度に関連していることです。この表現(EGOにおける偏見、他方のALTER-

も持っている可能性があることを発見する)を持つことは、例えばインタビューでEADの卒業証書の起源を隠すなどの態度を正当化するでしょう。偏見はまた、労働市場などの架空の実体に関連して個人の懸念の一種を明らかにするかもしれない(EXAM E、2017;KAHNEMAN, 2011),

また、AEに関連する偏見に関する文献レビューで提示されたいくつかの理論に会うに加えて (BELLONI, 1999;カルロス,

2007;AISA;サントス,2009;フェレイラ,2010;ムーア,2007;サントス,2006;ヴィアナ、2011)

もう一つ重要な点は、私たちの書誌調査で、我々は「デジタルネイティブ」(PRENSKY、2001)と呼ばれるものを含む状況です:

情報時代に生まれ育った人々。この年齢層に関連して、金の一部に偏見のより多くの仮定があるだろう

-

ALTER-

、そしてEGOによってあまり明らかにされていない。しかし、THEに関連する否定的な偏見があります(これは、cederjの前庭に登録された最初の500人の単語の分析に関して、軸5でも説明します)。

4.2.13.3 弱

「弱い」アゴラに関連して、一般的に、THEに対する偏見の理由として、答えはALTERに関連する喚起で見たように、モダリティ距離に関する判断に弱いことに関連することに注意することができます。私たちの分析によると、「弱い」という言葉は、偏見を裏付けることができます(CARLOS、2007;AISA;サントス,2009;サントス、2006))は、距離教育に対する否定的な感情を引き起こしました。また、距離学習が弱い社会表現の中で最も多いのは、リオデジャネイロの大都市圏から来たことを強調することも重要です。また、このアゴラでは、印刷物の使用を含め、インターネット上で既にコースを受講している人が多いことも注目されています。彼らはすでにTHEとの経験を経て、まだ、否定的な感情に関連する「弱い」という言葉を呼び起こすという事実は、AEdの形態を経験した後には知らずに判断し、判断することは異なるので、このアゴラの重要性を強化します。

4.2.13.4 悪い

アゴラの構成では、「弱い」と「悪い」を関連付けるかどうか疑問があります。「悪い」アゴラに関しては、弱さの感覚が悪いと考えられても、これらの言葉のそれぞれを呼び起こした人の特徴が異なるため、ステミングは最初に行われませんでした。「弱い」アゴラを評価する際には、「悪い」アゴラで観察されたものよりも年上の人々からの喚起を特定します。つまり、その意味は社会集団間で異なる可能性があるため、喚起を行う人々の特徴に関する一般的な概要がなければ、生み出す必要はありません。「悪い」アゴラ自体については、主に、THEと接触していない大都市圏の多くの若者によって呼び起こされたことを示しています。「悪い」という言葉に関連する重大な負担は、いくつかの著者の論文を補強します(CORRÉA;サントス、2009)は、まだ否定的なイメージを持っていると信じています。偏見の理解は、ALTERとEGOの両方で単語を呼び起こした人々の大半が、遠く離れたモダリティと接触したことがないことが観察されると強化されます。これは、実際には「悪い」がTHEとの小さな経験を考慮して、偏見に関連していることを示唆しています。ALTERにおけるこの可能な社会的表現の予測は、上記の著者の意見における差別の概念を強化する。

4.2.13.5 不信感

アゴラの「不信」に関しては、主に38歳以上の年配の男性が他方のALTERを持っているという考えに強く結びついていることに注意することが重要です。また、若い人が若ければ若いほど、距離教育に対する不信感があり、ここで技術との関係に世代的な影響を与えることを明らかにした。また、「不信感」を呼び起こした人々の財政状況もさまざまであることを指摘します。最後に、被験者がDAに不信感を抱いているという認識は、大多数が遠隔教育に出席しなかったというデータに加え、文献に記載されている偏見の考えを強化することを強調する必要があります (CARLOS、2007;AISA;サントス,2009;サントス、2006)。

4.2.13.6 複雑

「複雑な」アゴラに関連して、私たちは家族の財政援助に依存している若者のより大きなグループに属する過半数を見つけました。これはALTERに関連して起こり、リオデジャネイロ市の大都市圏でより再発しています。EGOに関しては、リオデジャネイロの南と北に重点を置いた州の内部です。ここで考えられる解釈は2つあります: "複雑な"呼び起こしに関連する表現は「困難な」シノニミアを示します。別の可能な表現は、私たちが何か悪いことに与える意味にリンクされ、この場合は偏見を示唆しています。年齢変動を取ると、アゴラ「悪い」との類似性が見えます。私たちが見る限り、科学文献には「複雑」という言葉の記録はありません。したがって、この意味では、我々の結果と地域の文献目録に直面する議論をすることは不可能です。

4.2.13.7 疑わしい

アゴラ「疑い」では、家族の主な提供者である27歳から41歳までの年齢層に関連する年齢の変動はほとんど見られ、もう一方のALTERで作られている表現に関しては観察できます。しかし、EGO自身に関しては、大多数が働き、家族の部分的な支援に貢献しているにもかかわらず、完全に家を支える人はほとんどいません。T

HEに関する「疑念」を持つことは、可能な社会的表現として、この地域で行われた研究を確認するモダリティに関して一定の偏見を示唆する可能性がある。私たちは、ALTERでは、インターネット上のコースでいくつかの経験を持っていたにもかかわらず、単語を呼び起こした人々の40%以上がそれを経験しなかったという点で、ADの経験に大きな違いがあることに気づきました。EGOに関しても同じことが起こらなかったが、70%以上の人々が遠隔教育と接触したことがないと報告した。彼らが経験のない疑問を持っているなら、最ももっともらしい仮説は抵抗や偏見のものである。

4.2.13.8 無知

アゴラの「無知」では、この喚起は、大学教育を受けている家族や、人生のある時点で大学を出た家族に経済的責任を負う大多数の人々に関連しています。この発見は、距離教育が第二の教育のための手段であることに加えて、保存する方法であることを示す分野の研究を裏付ける(MOORE;キアズリー,2010;サントス、2006)。また、他の考え方(ALTER)が既にTHEと接触している人々を支配していると考えられていることに関して、「無知」という言葉の喚起が、矛盾の可能性を示唆していることにも注目してください。いずれにせよ、アゴラの「無知」は、THEとの偏見よりも抵抗に関連しているようです。

4.2.13.9 怠惰

アゴラの「怠惰」については、この喚起は、可能な否定的表現を示し、カンポス(2017)属性に関連する行動を「意志と道徳」として反映していることに注意することが重要です。ALTERに関連して、距離教育の主題の判断は、これは彼らの人生のために簡単なものを望む怠惰な人々のものです。今回の研究で行った書誌調査では、「怠惰」という言葉の言及は見つけ出せなかった。しかし、遠隔教育のモダリティは、一部の著者が、対面よりも教育の容易な形式として、常識に関して指摘しているという事実に関連付けることができます(CORRÉA;サントス、2009)

.主にALTERに結びついた怠惰の喚起は、この調査では、それを採用する人々を信じない程度の偏見の兆候と考えることができます。

ダブル演技のアゴラス

4.2.13.10 難しい

既に明らかにしたように、我々は次の理由のために二重解釈として困難なアゴラを評価しました:回答者は難易度を大学(厳格で深刻であるという意味で)またはEDコース(完了するのが複雑であるという意味で)に起因している可能性があります。困難な表現を呼び起こした人々の変化とエゴの両方に表現力豊かな数字があり、このアゴラのほぼ6倍が変化に関連しています。この表現を呼び起こした人々は、オルターとエゴの両方で18歳から20歳までの若者であり、そのほとんどはリオデジャネイロ州の内部の人々で構成される女性の聴衆に属しています。この最後の特徴についていくつかの仮説を立てることができますが、そのうちの1つは、Cederjコンソーシアムが長い間インテリア都市の中にあり、これがこのテーマに影響を与える可能性があるというものです。

EADの経験レベルと難しい判断の交差点に関連して、興味深い事実を見ることができます。変更では、我々は既に述べた他のアゴラと同等の平均を持っていますが、約45%から50%。エゴの場合、統計は平均を逃れ、64%に上昇し、距離コースを受講したことがない人は、何らかの接触を持った人よりも難しいと感じる。私たちは、被験者自身の経験なしに難しいかどうかを知ることができないので、THEの難易度の概念が他の人との相互作用を通じて通過した可能性があることを感覚の生態学から理解することができます、これは遠隔教育のための先入観を明らかにすることができます(CAMPOS、2017)。

4.2.13.11 難易度

困難なアゴラと難易度の間には、いくつかの類似点があります。これは、大学やEADコースによる難易度を指すこともできます。ここの年齢層は、主に18歳から20歳までの若者によって形成され、働いていない人々によって形成され、女性の

発生率が高い家族によって支えられている。さらに、このグループ化は、エゴとオルターの両方で、距離コースを受講したことがない人の50%以上を集中させます。

今の困難との類似点にもかかわらず、地理的な問題には違いがあります。困難なアゴラでは、エゴとオルターの両方が主に内部の人々によって形成されましたが、このアゴラ難易度では、エゴの大都市圏の人々の優位性があり、内部から、変化があります。感覚の生態(CAMPOS、2017)では、存在の物質的条件(この場合は首都と内部の間)と意識、意志と道徳(この場合は判断)の間で異なる分析を行うところまで戻ります。

4.2.13.12 イーズ

また、112ページで提起されたアゴラ難易度に関する同じ考慮事項は、陽性と否定性に関して、このアゴラ(容易さ)もこの軸1と軸2に表示されるようにします。

既に説明したように、私たちは、高等教育にアクセスしたり、日常の仕事に注意しながら研究に対処したり、大学の試験に合格するのが容易であることが理解できるので、社会的表現の容易さも複数の解釈の言葉と考えています。それは、不思議なことに、三重の解釈さえも設定するでしょう。我々は、これらの考察は、この研究の理論的基盤の1つと調和していることを強調する(CAMPOS、2017):日常生活のための施設としてのEADを研究することは、存在の物質的な状態(著者の感覚の構成の層の1つ)を構成するだけでなく、モダリティに出席するの容易さを構成するは、意識、意志、道徳(生態学の別の層)を表します。

このアゴラ

—

容易さ

-

変化とエゴの両方で、それぞれ800以上の表現で、呼び起こしのバランスを持っています。分身とエゴの年齢差は、18年間でより高いレベルと似ており、主に親戚によって支えられているリオデジャネイロの大都市圏の女性を中心に、26歳まで高いままであることに気付くことができます。

状態の容易さは、被験者の日常生活のために解釈される場合、THEの機能的側面、ならびに他の多くのアゴラ、特に次の章で見られる文献レビューに関連するものと直接関係がある。アゴラ施設の解釈がコースでの卒業がいかに簡単であるかということであれば、多くの著者にとって偏見と考えられている書誌調査でも見ることができます。

観測 - 軸 1 - ネガティブアゴラス

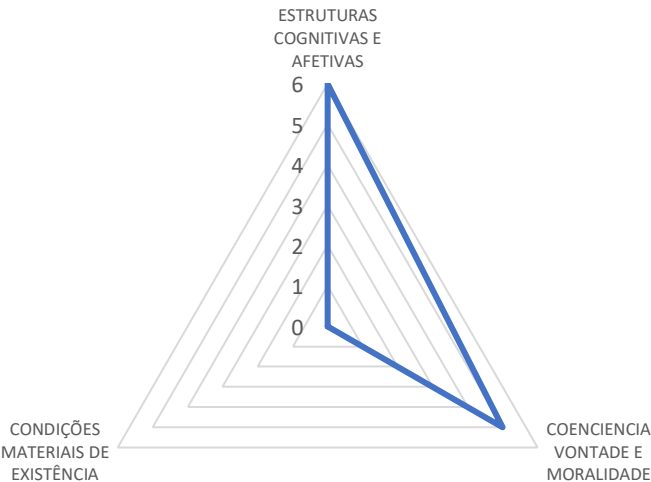
社会でTHEについて流布する意味の生態学について考えれば、軸1に関しては、否定的な言葉は、多くの場合、倫理的・道徳的判断として統合される認知に基づく感情に大きく関連していると言えます。これらの判断(この場合は否定的なもの)が現実に従っている場合、これは、たとえ原因があっても、この研究では研究されていない可能性のある社会的表現のみに焦点を当てた本研究では議論されるべきではありません。これらの判断の多くは、言葉の喚起プロセスに参加した人々の経済状況に関する観察で見てきたように、生命の物質的状況に関連している可能性があります(人生の困難とAEによって得られた卒業証書が労働市場へのアクセスを妨げる可能性があるという認識の両方で)、技術は、より良い収入を得る必要があります。この点で、我々はまた、若者にデジタル技術を扱う上でより容易に生み出す世代の効果を持っています。

サントス(2006)やViana(2011)などの著者は、技術の問題に関連するAEdに対する抵抗について語っていますが、この側面は、この論文には強引だが間接的な方法で現れなかったもので、例えば、人々は「恐怖」などの言葉を引き起こしたので、技術に対する恐怖に関連している場合と関係がないかもしれません。

五感の生態に関する情報や傾向をより明確にするために、3つ以上の定量的なソースからの多変量データを提示し、トレンド観測を助けることができる方法であるレーダーと呼ばれるチャート形式を軸1と2に使用します。内部番号は、行われた起起電であり、グラフの各端は、五感の生態構成のストランドの1つであると考えられています。そして、図23では、cオンフォームは、グローバル形態の喚起は、主に意識、意志と道徳、認知的小および情動構造に関連しており、THEを含む物質回路とは関係ない。これは、被験者がTHEに関連して持っている認識の種類の概念を持っ

ている、つまり、この研究の否定的な側面が物質的側面と直接ではなく、象徴的または抽象的な側面と関係を持つことを観察することが重要である。(カルロス、2007)

図23 - 陰性アゴラ感覚の生態



4.3 Axis 2 - 文献レビューと比較した最も呼び起こされる表現のアゴラの分析

4.3.1 はじめに

の社会的表現に関する研究の全国的な検証作業を行うには (BARRETO;メネセス;モスコン, 2016;コンセプション;シルバ、米国;ユーゼビオ, 2011;マルキソッティら, 2017;SANTOS,2006),本学に関する文献に記載されている呼び起こされる言葉を同定し,アブリックのSS理論(1997)に基づいて行われた研究から発見した。現在の場合、すべての喚起は、ブラジルの遠隔教育の社会的表現を調査した著者によって同定された中央核から来ている。我々は、上記の喚起から、以下の表103に示された組織システムを作成し、我々の研究にも出現した国文学の喚起を左側に示した(左側:研究におけるこれらの表現の出現数)。その結果、研究で4回の課題がある利便性、3つの出来事がある施設、2つの出来事がある未来など、社会表現を提示します。

表 103 – 文献から取られた AE でブラジルの想定される社会的表現の喚起

ソーシャル表現	発生
利便性	4
容易	3

将来	2
インターネット	2
いち早く	2
時間	2
自主性	1
安い	1
コスト	1
困難	1
規律	1
経済	1
柔軟性	1
柔軟	1
時間	1
フレキシブルな時間	1
自由	1
機会	1
実用性	1
準備	1
教師	1
認識	1
孤独	1
浅薄	1

私たちは、感覚の生態学のダイナミクス(CAMPOS、2017)に従って、水密で固定的な方法で文献に提示された社会的表現として見られるこれらの喚起を理解しようと努めた(CAMPOS、2017)。この目的のために、私たちは否定的な感情に関連して、以下の表104に示す一連の呼び起こされる単語を選びました。私たちが作った分類から推測できるように、私たちの解釈によると、被験者の認知的および情動的構造(「孤独」)に関連する唯一の呼び起こされる単語があります。この孤独の中で、倫理的・道徳的判断として明らかにされた私たちの意志の意識に関連する喚起と、言葉を選んだ人々の存在の物質的な条件を指すものが推測されました。

表 104 –

文献レビューにおける感覚の生態学の解釈に従って組織された可能な社会的表現に関連する喚起

表現(ワールドイメージ)

認知的および情動的構造	コエンシエンシアの意志と道徳	存在の物質的条件
孤独	将来	利便性
	自主性	容易
	自由	インターネット
	機会	いち早く
	認識	時間
	浅薄	安い
	準備	コスト
	規律	経済
	困難	柔軟性
		柔軟
		時間
		フレキシブルな時間
		実用性
		教師

私たちのアゴラの命題は、理論的な構造として、中央コアの概念では機能しません。それでも、この研究で行う使用は、文献で報告された結果の説明と比較を目的とし、研究プロセスで得られたものと、議論のために利用可能な唯一のパラメータを使用することを目的としました。遠隔教育に関連する呼び起こしの方法に基づく異なるプロセスは、異なる結果につながりますが(少なくとも、他の科目などで他の時間に行われるため)、彼らはまだ私たちに教育学習のこのモダリティへの抵抗と偏見を反映するための興味深いパラメータを与えます。つまり、研究者が「撮影」する歴史的文化的瞬間によって、意味の生態が異なります。現在のケースでは、必須ではありませんが、この解釈ブラシストロークを指標として提示し、その前に、データベースから得た最初の100の最も呼び起こされる単語の中で、その発生に関連するEGOとALTERの分析に移ります。

Fこんにちは、したがって、我々は、以下の表105で詳述した、比較可能な基準を確立する。これは、文献レビューから抽出された中央核の言葉と一致する最初の最も引用された単語が含まれていました。これらの表現が ALTER と EGO の両方に現れたかどうかを確認しました。「はい」と言うところは、書誌調査の表現の出現が、最初の100の最も引用された言葉の中で、私たちの研究における言葉の喚起と一致することを示しています。

表 105 – EGO と ALTER に関連して、私たちの研究で呼び起こされる最初の 100
単語に対して、文献で呼び起こされる単語

文献レビューに存在する社会的表現	自我	変更
自主性	はい	
安い		はい
利便性	はい	はい
コスト	はい	はい
困難	はい	はい
規律	はい	はい
経済	はい	はい
容易	はい	はい
柔軟性	はい	はい
柔軟		
将来	はい	
時間		
フレキシブルアワー		
インターネット	はい	はい
自由	はい	
機会	はい	はい
実用性	はい	はい
準備		
教師		
いち早く		はい
認識		
孤独		
浅薄		
時間	はい	はい

したがって、我々は、国家科学文献で報告されたものと一致し、私たちの研究の両方の最も引用された言葉の11の喚起を発見しました。これは、ALTERの「はい」とEGOの「はい」によって指摘されたものの中で。これらの11の呼び起こされる単語の選択によって、THEに関連する社会的表現を示唆し、我々はそれらのそれぞれを参照してアゴラを構築しました。浮かび上がったのは、「利便性」、「コスト」、「難しさ」、「規律」、「経済」、「容易さ」、「柔軟性」、「インターネット」、「機会」、「実用性」、「時間」という言葉に関連するものです。

4.3.2 アゴラの利便性

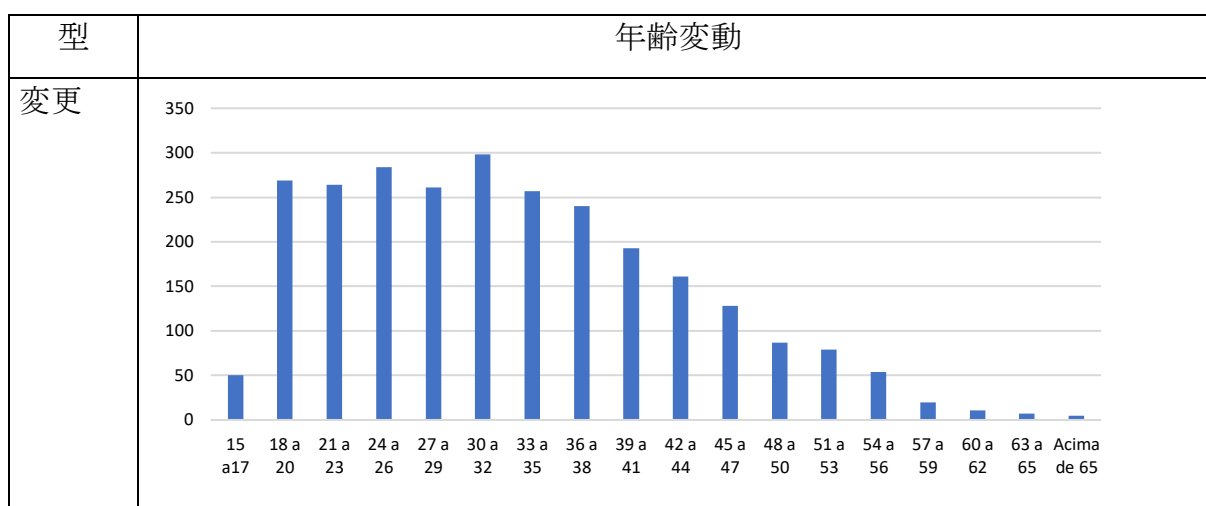
これまでに研究されたほとんどのagorasとは異なり、以下の表106に示すように、EGOの「利便性」という言葉はALTERよりも多くなっています。

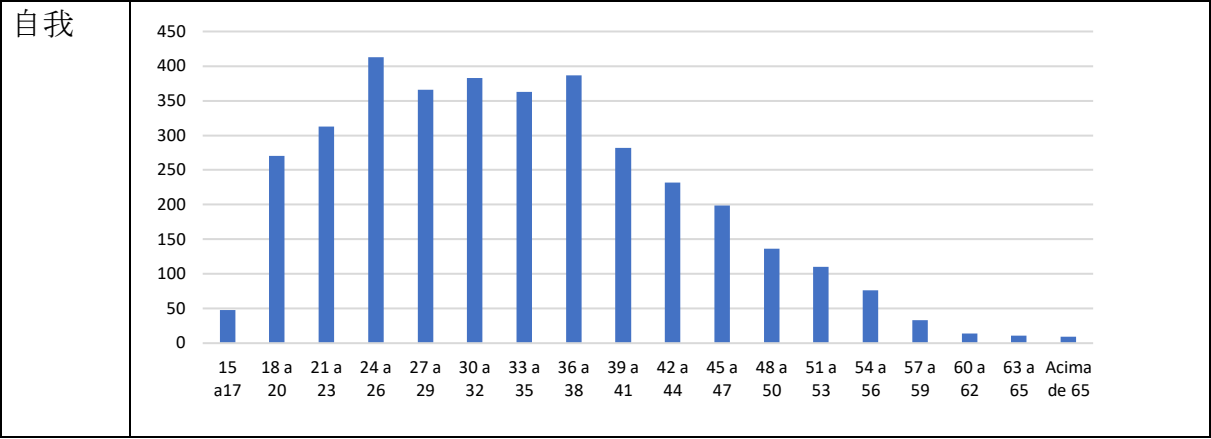
表 106 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラ コンビニエンス

アゴラ	人々
自我	3718
変更	2718

年齢変動に関しては、EGOとALTERの両方で、18～35歳の若い人たちの間で一定の安定度を実現することができます(図表107、以下)。EGOでは、ピークは24歳から26歳、27歳から38歳、ALTERでは30歳から32歳までです。私たちは、若者にとって、遠隔教育は快適であるように見えると推測することができます。

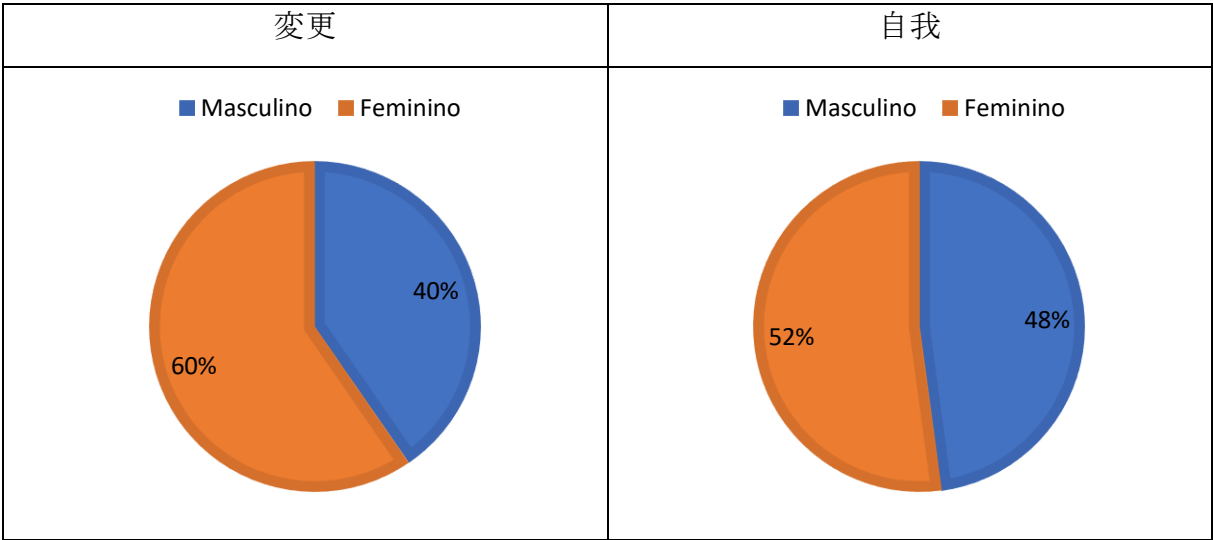
表 107 - 年齢バリエーション - アゴラ コンビニエンス





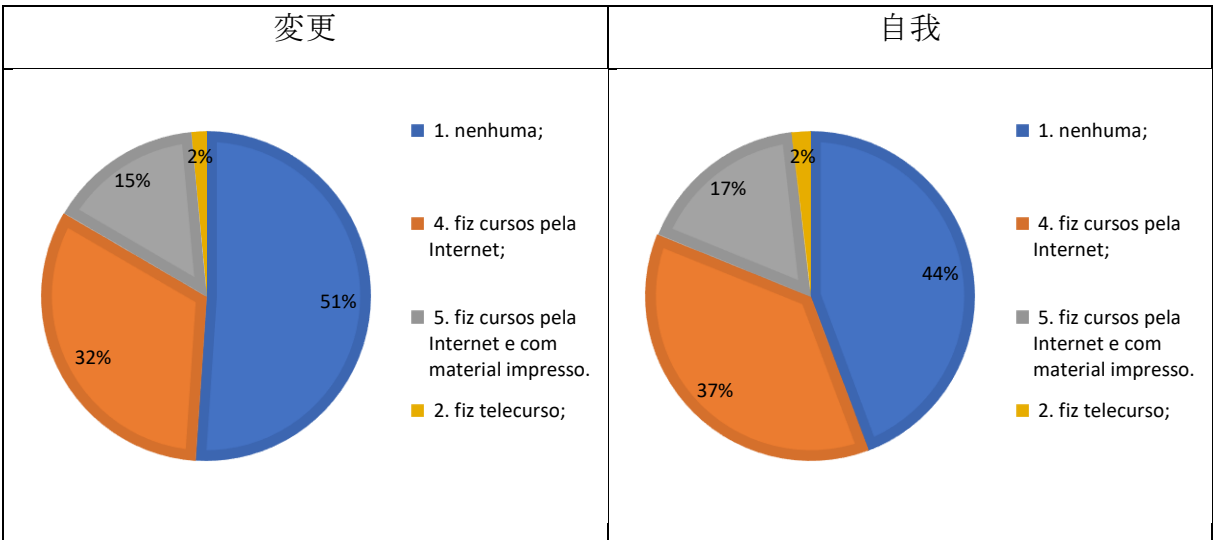
セックスに関しては、表108で、女性の過半数がEGOとALTERの両方でEADを快適に判断していることに注意してください。したがって、私が他の人について考えているのは、あなた自身のことを考えるよりも顕著です。

表 108 - セックス - アゴラコンビニエンス



「便利」という言葉を引き起こした人の中で、以下の表109に示すように、DI STANCEの経験に関連して、EGOとALTERの類似性を持つミラーリングがあることがわかりました。経験の不足は、インターネット上の経験と共有されています。

表 109 - EAD での経験 - アゴラコンビニエンス



リオデジャネイロ州の自治体における喚起の起源の地理的分布は、大都市圏からの優位性を示しています。この現象は、EGOとALTERの両方を下回る図表110で、この視聴者の60%以上が表現の利便性を持って観察しました。

表 110 - 市町村の地理的分布 - アゴラの利便性

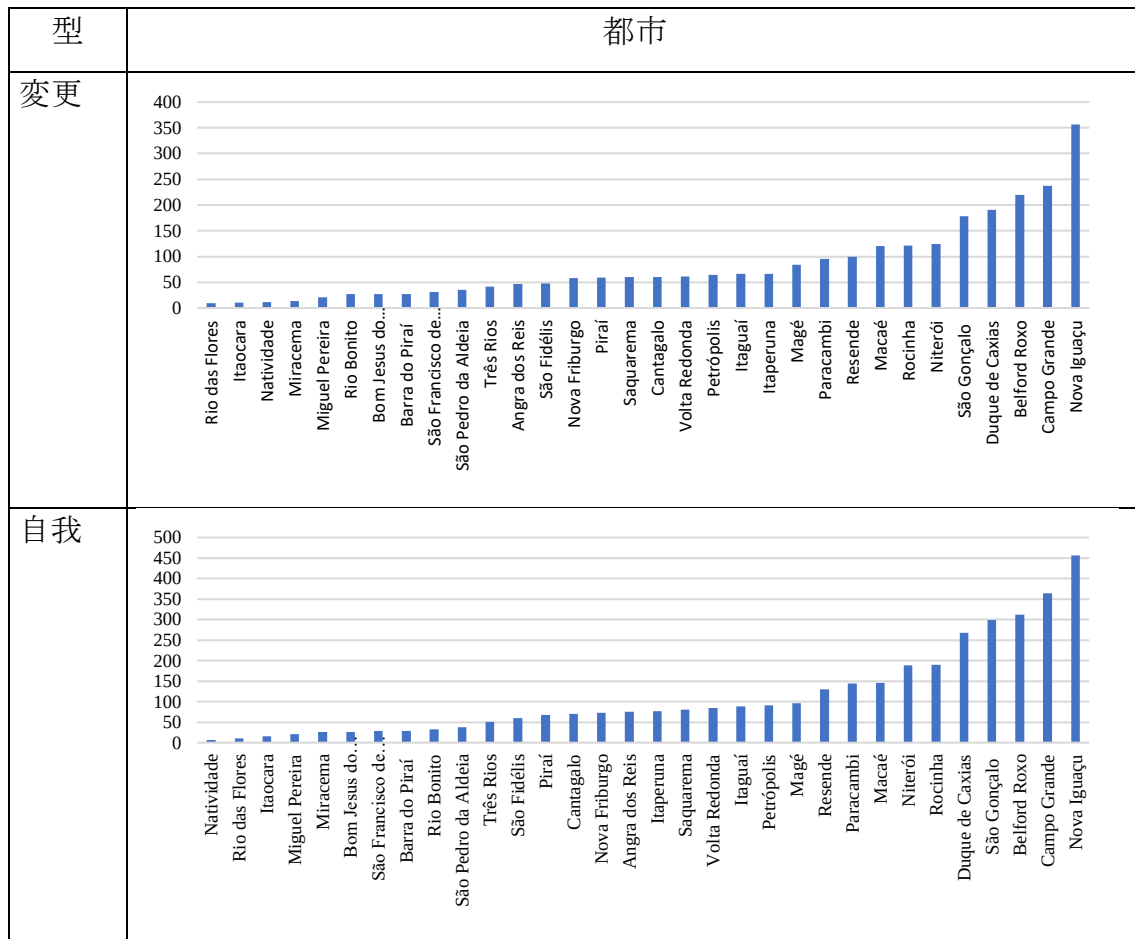
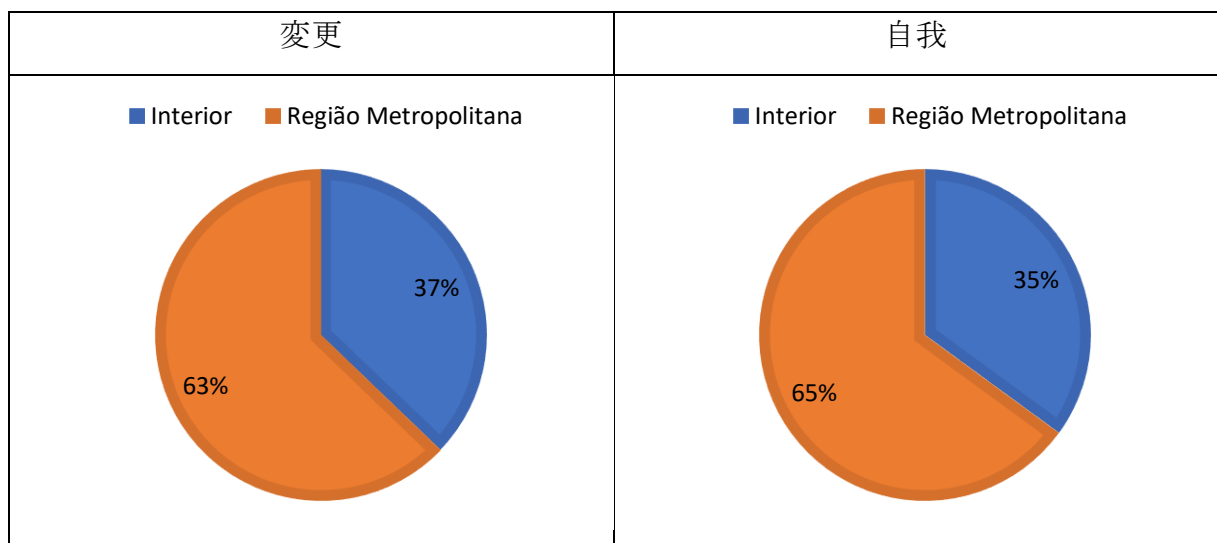


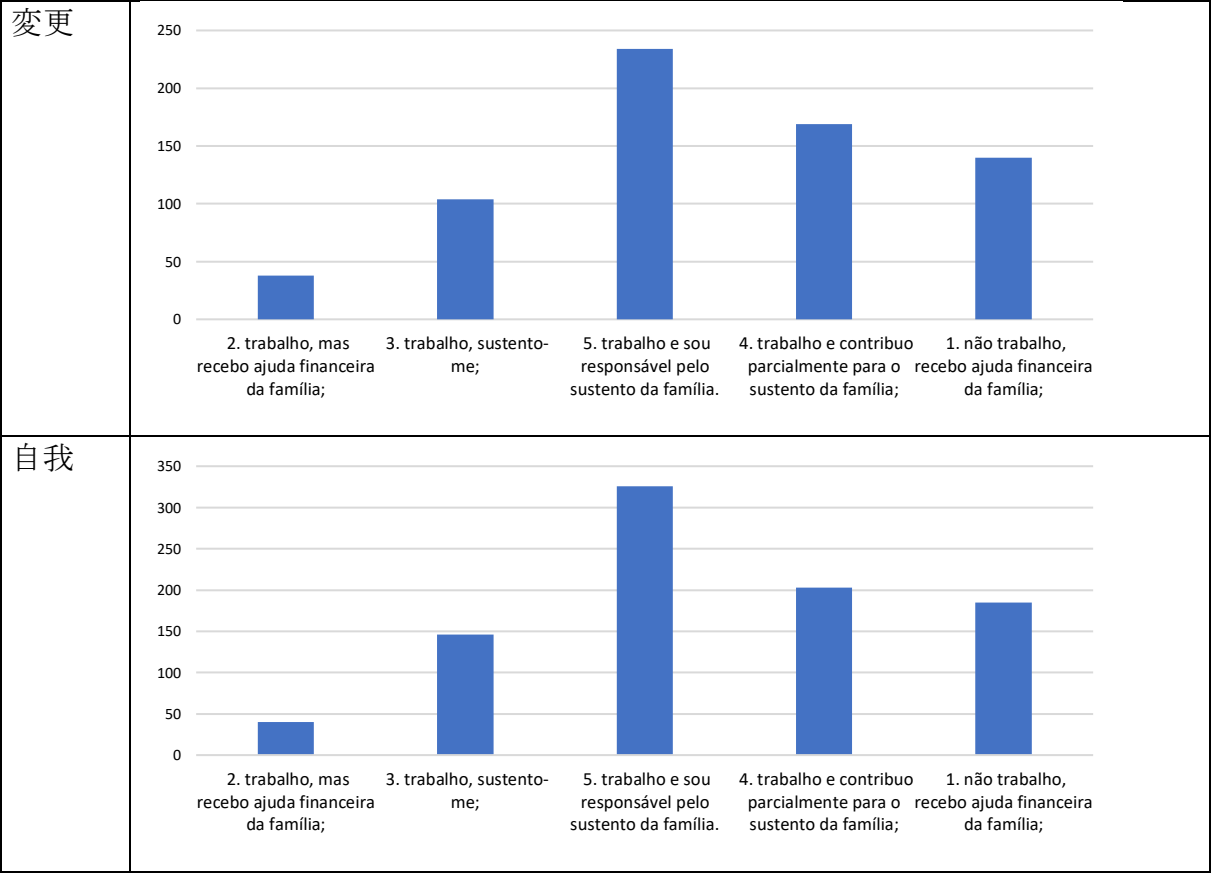
表 111 - 地域の地理的分布 - アゴラの利便性



家族への経済参加について、私たちはEGOとALTERの両方で「利便性」という言葉を引き起こした人々が主な提供者であることを観察しました。下の表112に示

すように、密接なミラーリングがあり、他の形態の経済状況と一定の同等性があります。

表 112 - 経済参加 - アゴラコンビニエンス



4.3.3 アゴラコスト

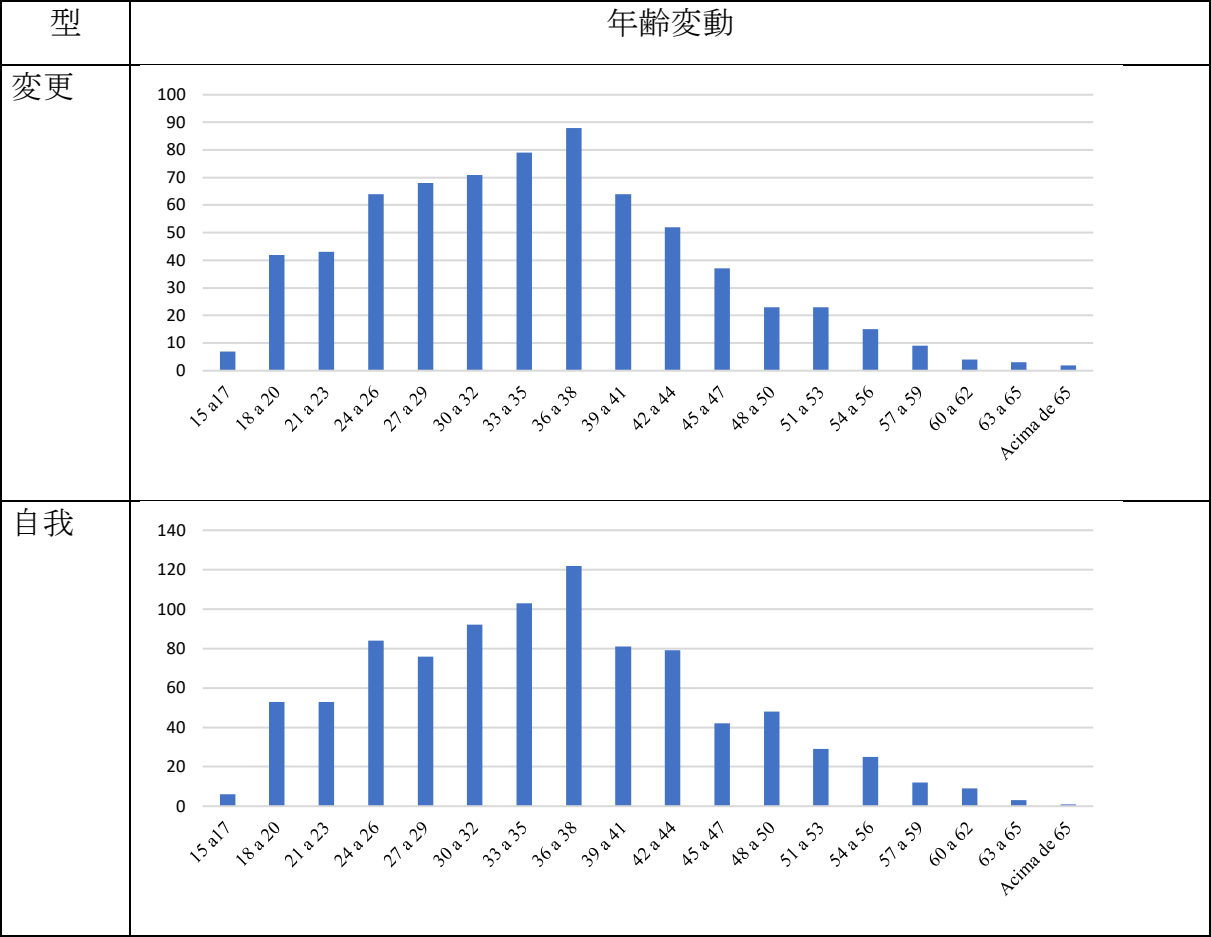
安価な教育を提供するTHEとの頻繁な関連を考えると、「コスト」という言葉の喚起は、私たちにとって特に重要に思えました。他のアゴラを統合した言い換えで提示されたものと比較して数値的にはあまり大きくない呼び出しの中で、我々は図113、以下)で、ほとんどがEGOによって言及された。

表 113 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラ コスト

アゴラ	人々
自我	938
変更	713

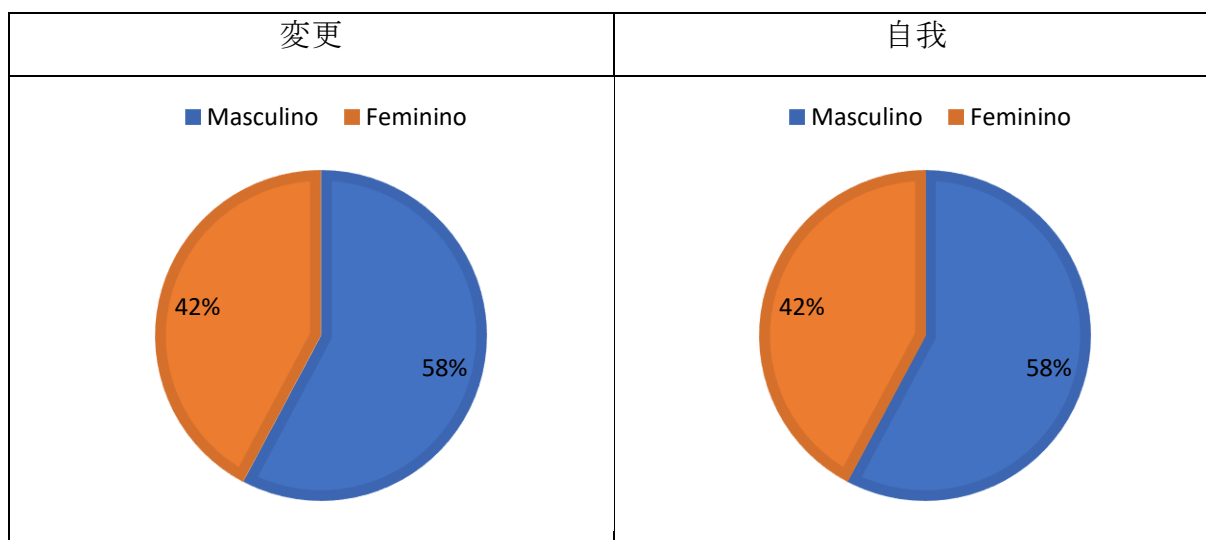
年齢変動に関しては、EGO関連の喚起とALTERの両方で36～38歳前後のピークを迎える中年層のコストが大きいと観察しました。下の表114に示すように、中年期のピークまでのコストに対する懸念が高まちは、多かれ少なかれ高齢層の間で急激に低下している。したがって、結果の曲線はEGOとALTERの両方で似ています。

表 114 - 年齢変動 - アゴラコスト



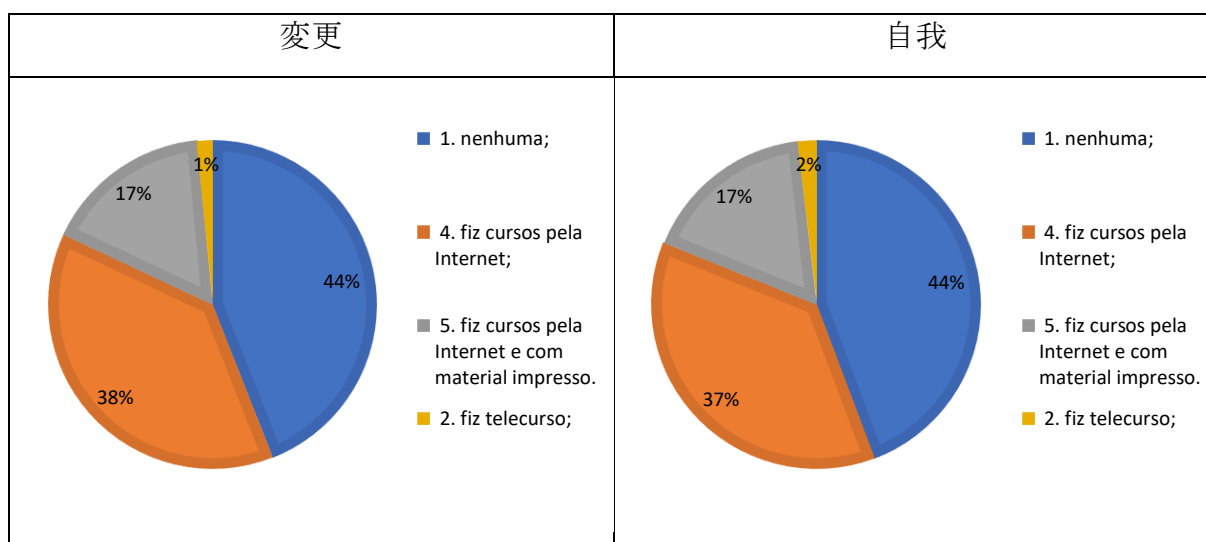
コストの喚起の場合、以下の表115に示すように、以前のもののほとんどとは異なり、この言葉に言及した人のほとんどは男性であるアゴラを見つけます。コストアゴラの形成は、セックスの観点から、EGOとALTERでeid6entica。

表 115 - セックス - アゴラ コスト



また、「コスト」という言葉の喚起に関して、AEdとの経験に関連して、我々は、他のケースと同様に、ALTERとのEGOの類似性に気づいた、表116、以下に示す。大多数は、EGOとALTERの両方で、THEを知らない人とすでにインターネット上のコースの経験を持っている人の間で分かれています。

表 117 - EAD の経験 - アゴラ コスト



「コスト」という言葉の喚起の地理的分布は、リオデジャネイロ州の自治体で、EGOとALTERの両方の分野でノヴァイグアス、カンボグランデ、ベルフォードロキソの自治体のための焦点として、首都圏の都市で、以下の表118に見ることができるように、集中していました。唯一の違いは、最初の都市でサンゴンサロを呼び

起こしたEGOの憲法です。また、表118に見られるように、以下に示すように、首都圏からの言及の有病率も、内部と比較した。

表 118 - 市町村の地理的分布 - アゴラコスト

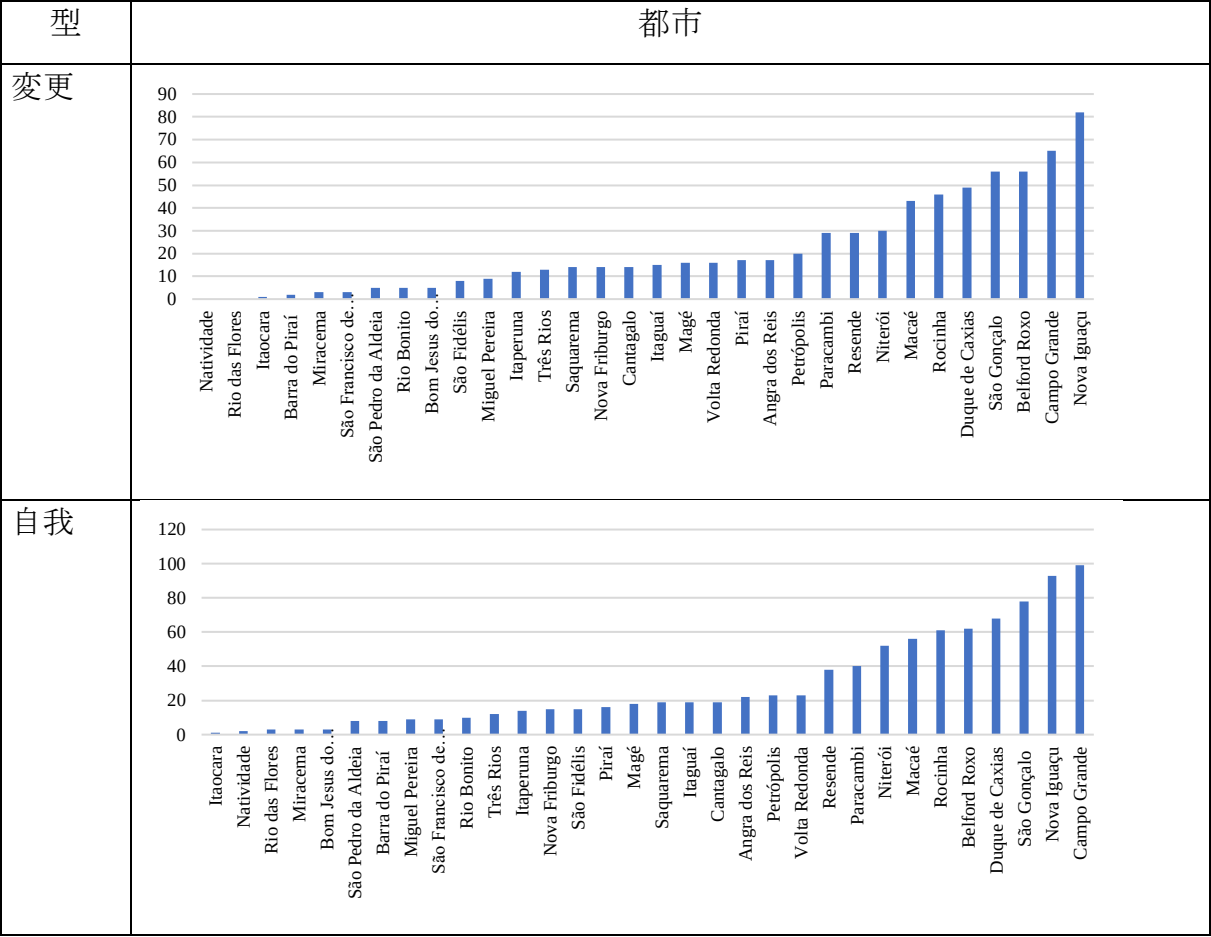
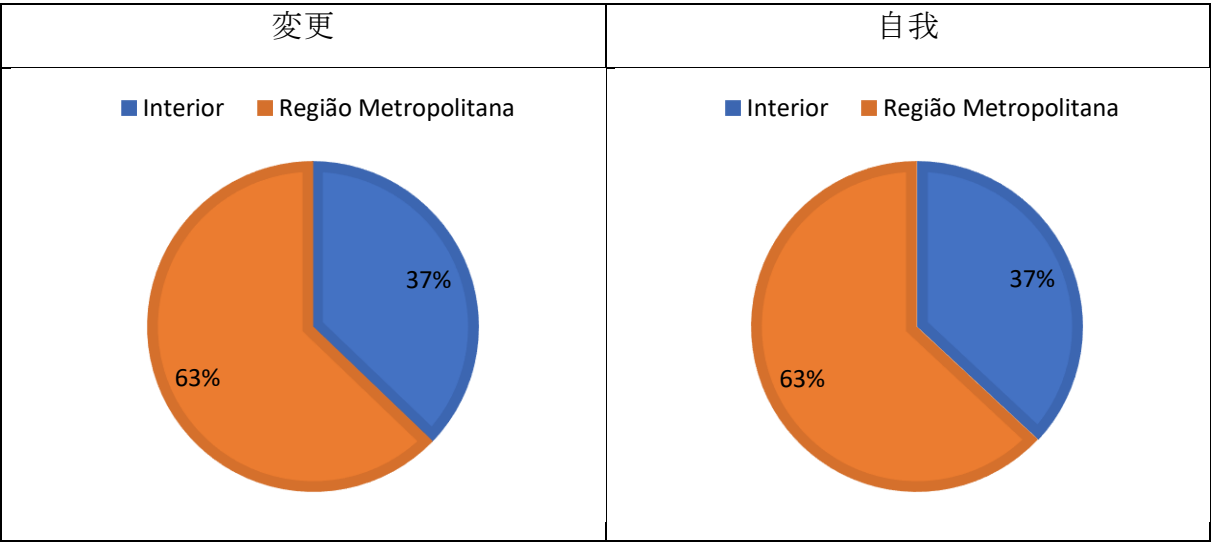
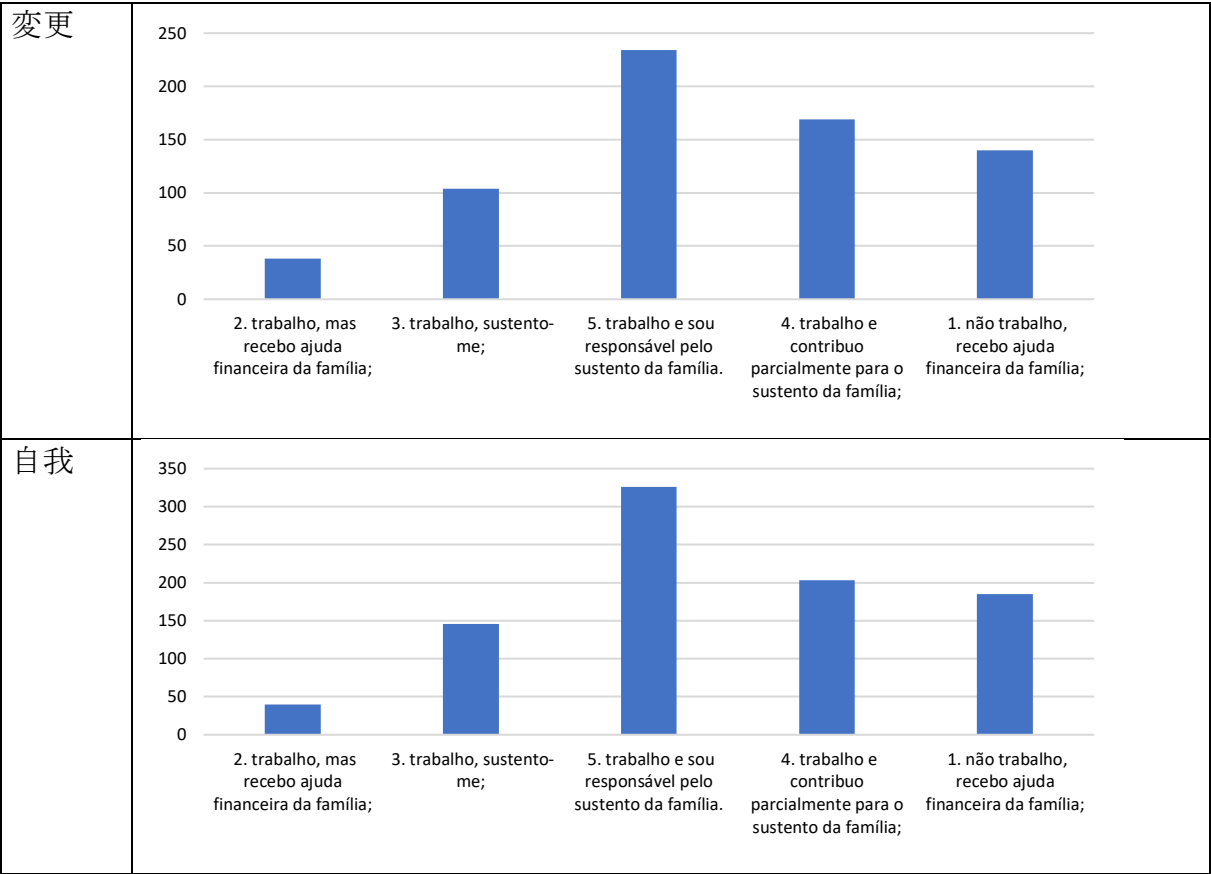


表 119 - 地域の地理的分布 - アゴラコスト



コストの喚起は、経済参加に関して特に関連しています。この場合、下記の表120に示すように、EGOとALTERの間には同等性がある。「コスト」に言及した回答者の大半は、家族の支援の主な責任であると報告しました。以下の言及は、部分的なプロバイダーと財政状態のない人の言及であり、家族に依存する。

表 120 - 経済参加 - アゴラ・コスト



4.3.4 アゴラの難易度

このアゴラの場合、疑わしい言葉に関連して、アクシス1で提示する分析を読者に紹介します。

4.3.5 アゴラの規律

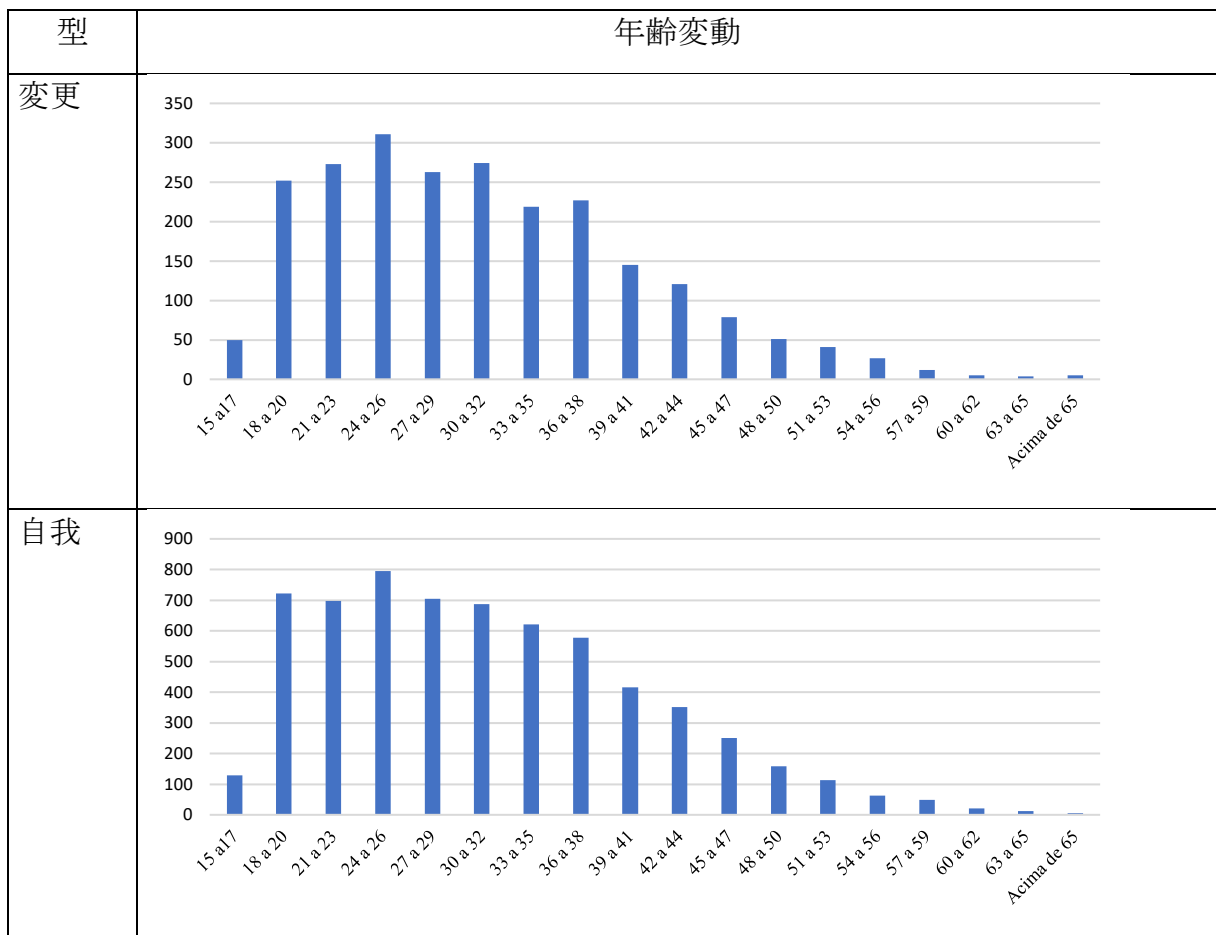
以下の表121に示すように、アゴラの規律はALTERよりもはるかにEGOで普及しています。割合は、第2に比べて1番目の割合をほぼ8倍高くする。

表 121 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラの規律

アゴラ	人々
自我	6553
変更	2406

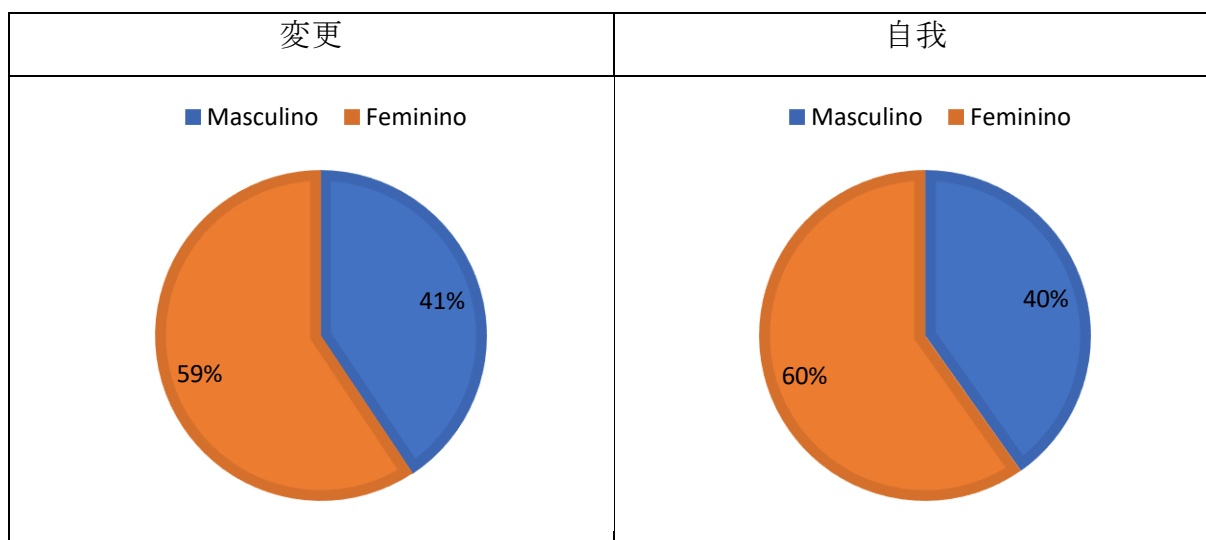
EGOとALTERの両方で、若者が「規律」という言葉の喚起に蔓延していることに注意することができます。24歳から26歳までの年齢層は、以下の図122に示すように、喚起の数の頂点を占めています。

表 122 - 年齢バリエーション - アゴラ規律



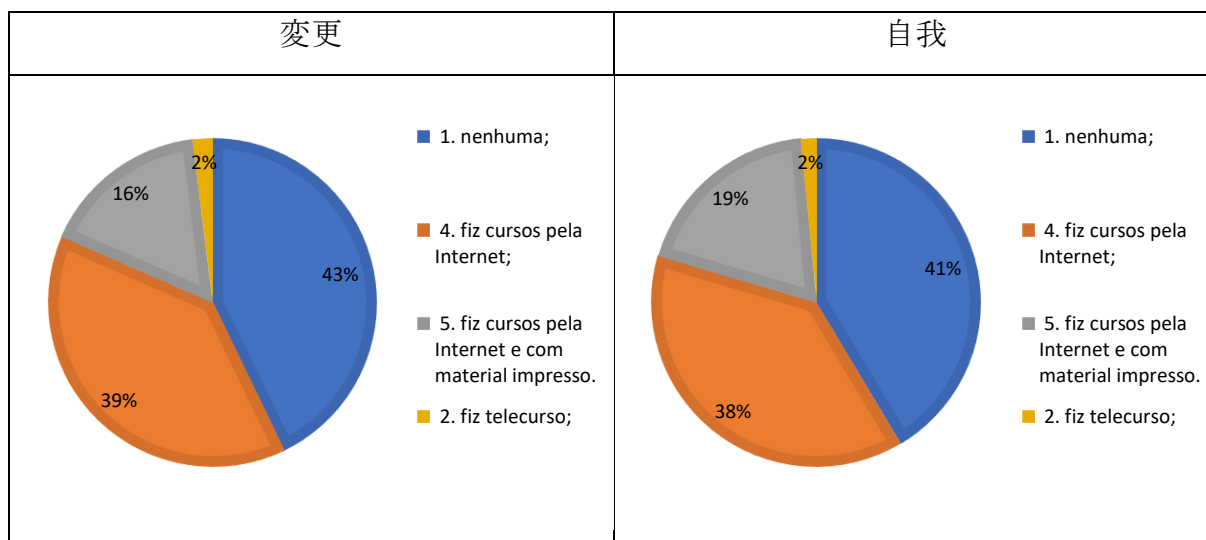
セックスに関しては、下の図113に示すように、規律の喚起の大部分は女性です。EGO と ALTER の両方で、言及の割合は非常に近いです。

表 123 - セックス - アゴラ規律



以下の表124に示すAEdの経験に関連して、「規律」という言葉の喚起に関するエゴと変化のバランスを見つけました。どちらの人でも、約40%の人が遠隔教育プロセスの経験を持っていないか、インターネット上のコースでの経験を持っていません。

表 124 - EAD の経験 - アゴラの規律



自治体の地理的分布に関しては、EGOとALTERの両方で、マカエ市を含みリオデジャネイロの大都市圏の都市に焦点を当てて、EGOとALTERのバランスを見分けることもできます(表125、下)。このアゴラの場合、以下の表125に示すように、EGOとALTERの両方の内部に首都圏の蔓延があります。

表 125 - 市町村の地理的分布 - アゴラの規律

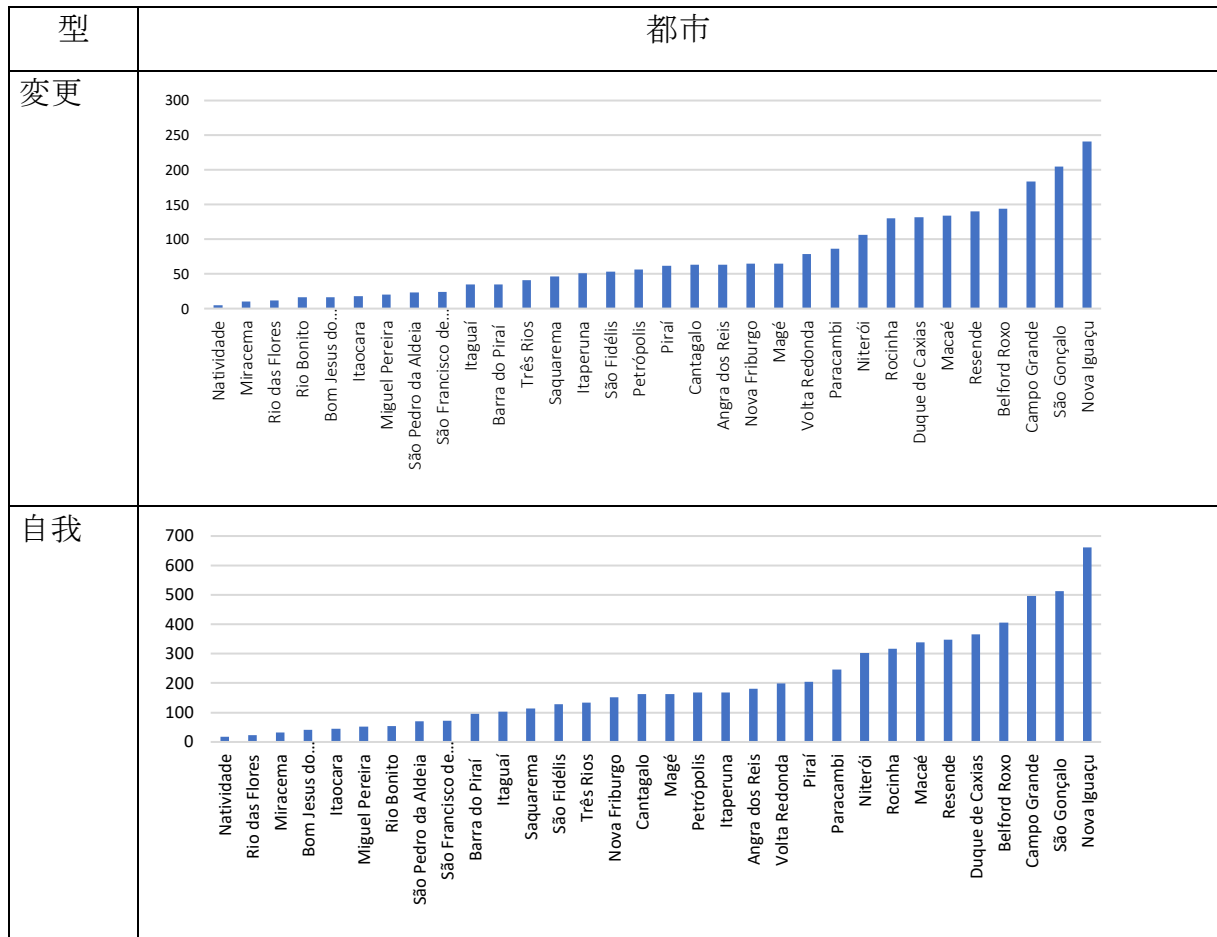
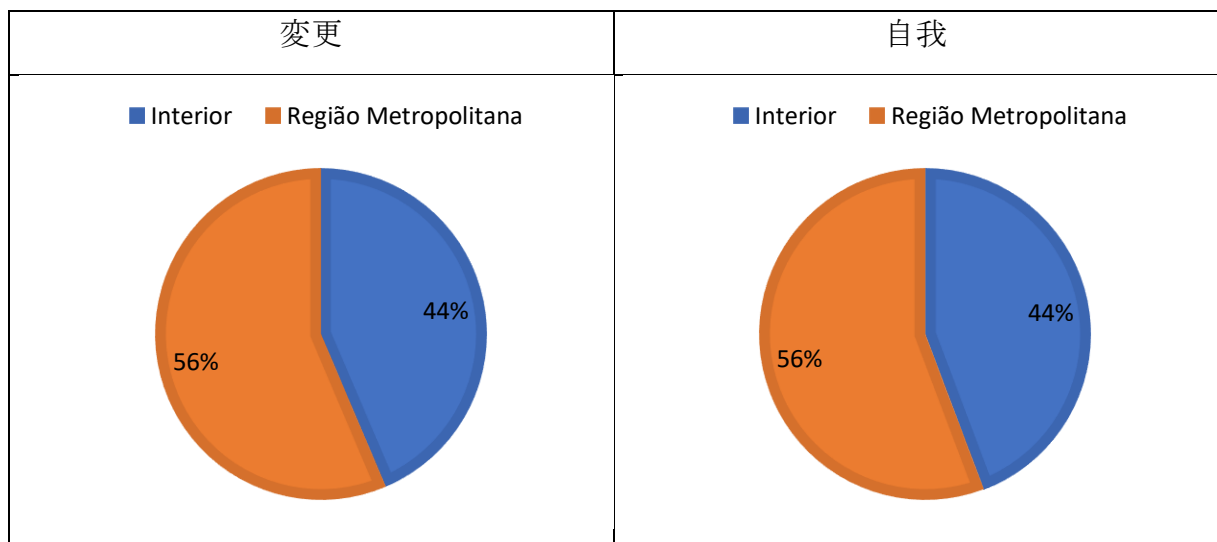
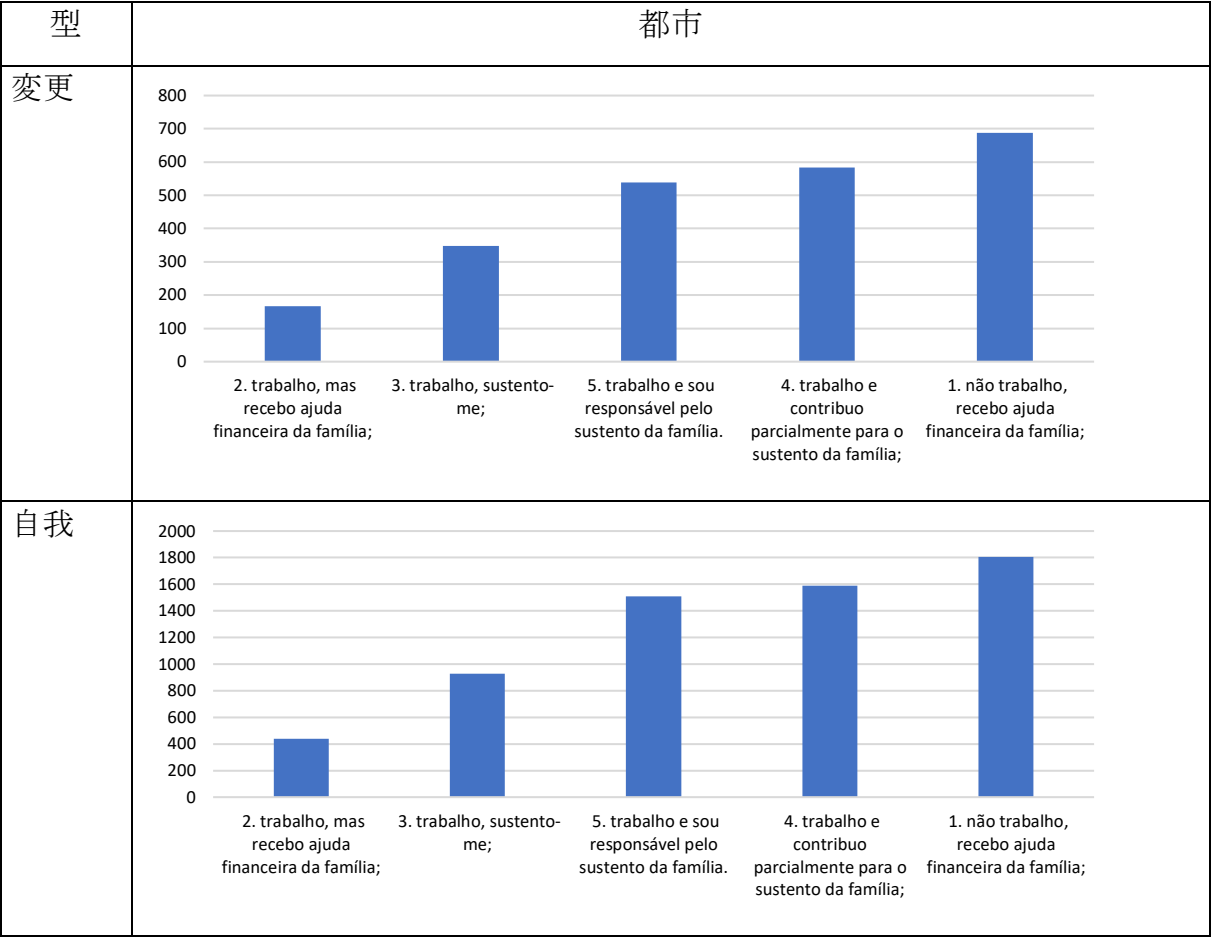


表 126 - 地域地理的分布 - アゴラ・ディシプリナ



「規律」という言葉呼び起こしたほとんどの人は、好奇心旺盛に働いておらず、収入がなく、以下の図表127に示すように、エゴと変化の両方の現れで家族によって支えられています。大多数ですが、この状態は、部分的または完全に家族をサポートする人々が密接に続いています。

表 127 - 経済参加 - アゴラ規律



4.3.6 アゴラ経済

「経済」という言葉の喚起に関しては、言及のほとんどはEGOから来ました。

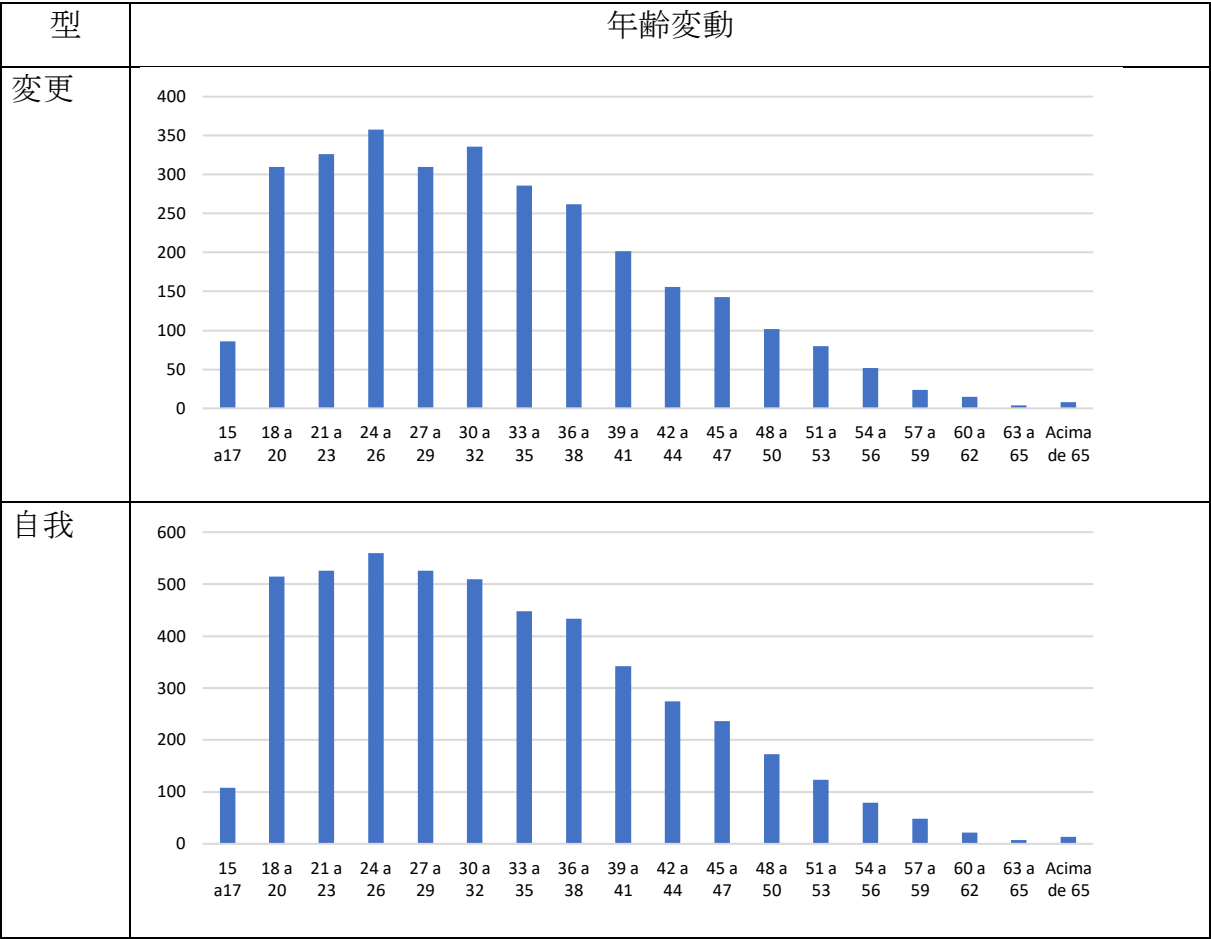
表 129 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラ エコノミア

アゴラ	人々
自我	5061

変更	3146
----	------

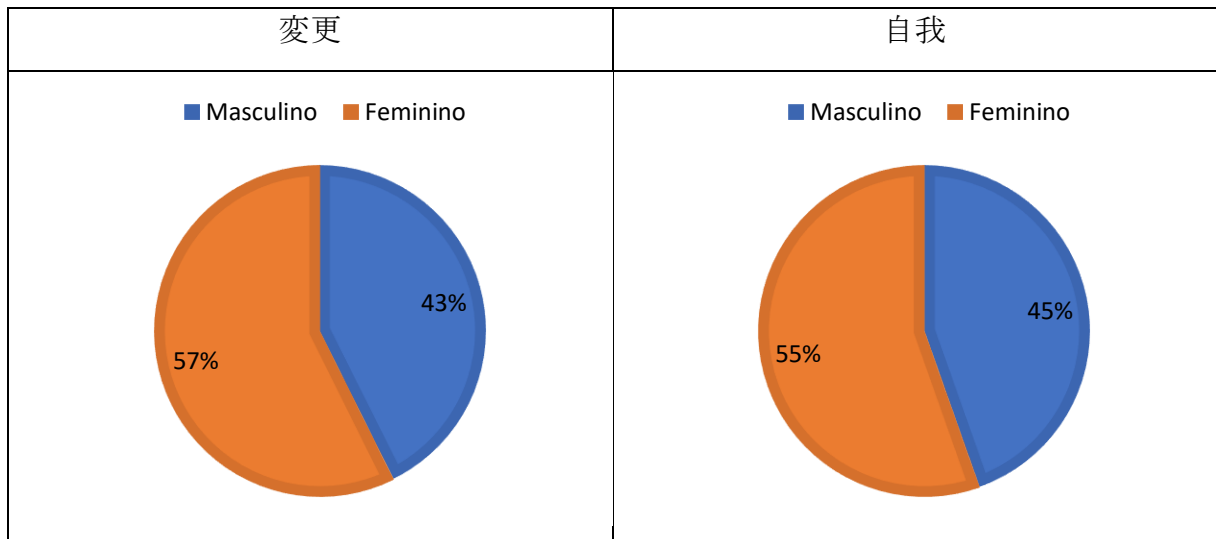
これまでに研究されたアゴラの大多数と同様に、このアゴラでは若者が「経済」という言葉の喚起のほとんどを担当しています(以下の表130)。頂点は、EGOとALTERの両方で24歳から26歳までの年齢層で、回答者の高齢に応じて減少しています。

表 130 - 年齢バリエーション - アゴラ エコノミア



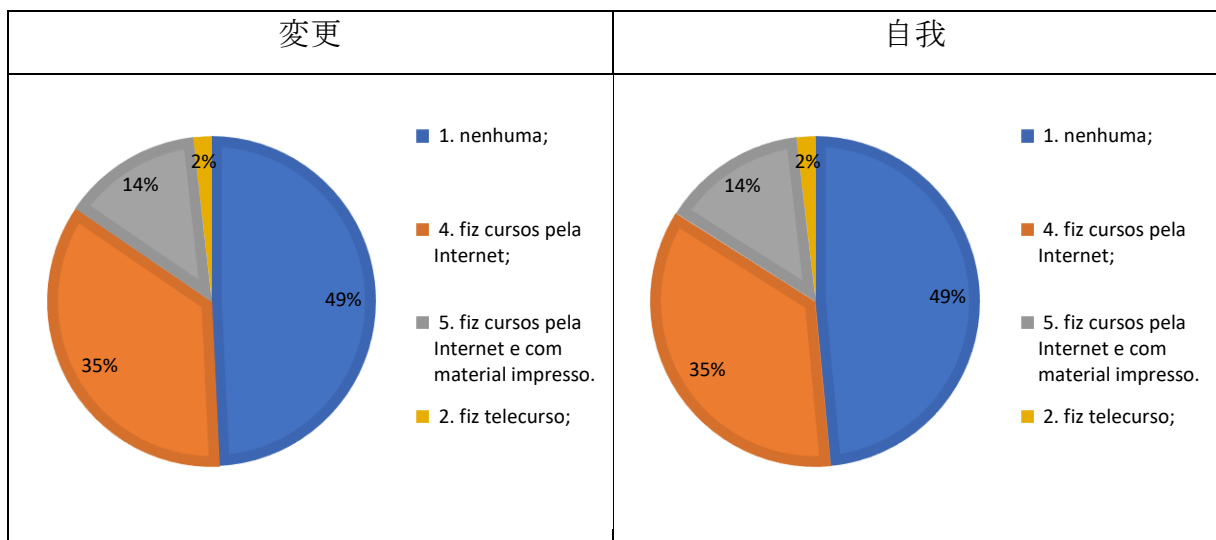
「経済」という言葉呼び起こした人々の性について、下の表131に示すように、主に女性によって言及されたことを確認することが可能である。EGO と ALTER の両方で、呼び出しの量はパーセンテージに近づきます。

表 131 - セックス - アゴラ エコノミア



遠隔教育のモダリティにおけるプロセスの経験に関して、以下の表132に示すように、「経済」という言葉の喚起に関して、同一のミラーEGOとALTERがあります。どちらの場合も、ほぼ絶対多数が遠隔教育プロセスの経験を持ったことがなく、印刷物のサポートの有無にかかわらず、すでにインターネット上でコースを受講しているグループが続きます。

表 132 - EAD の経験 - アゴラ エコノミア



自治体の地理的分布に関して、以下の図133は、EGOとALTERのリオデジャネイロの大都市圏の都市の有病率を示唆しています。地域の地理的分布(下記)では、E

GOとALTERの平均65%を、首都圏からの「経済」という言葉の喚起を、内部の平均35%と比較して観察しました。

表 133 - 市の地理的分布- アゴラ・エコノミア

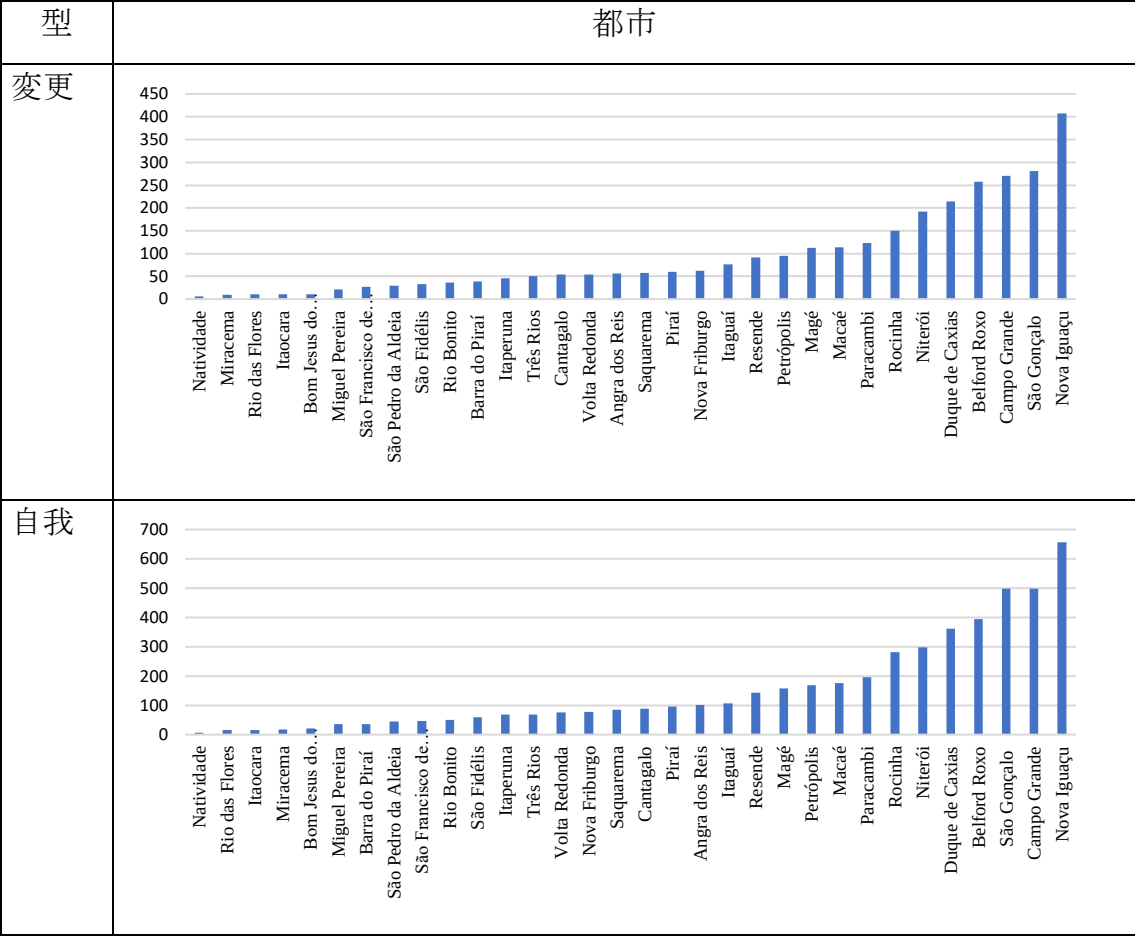
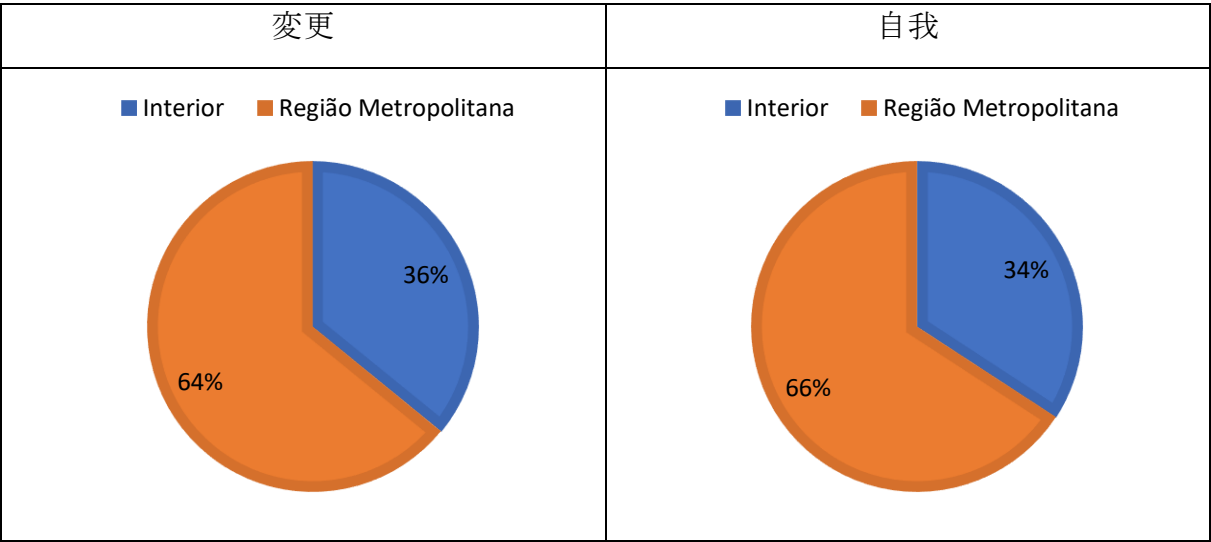
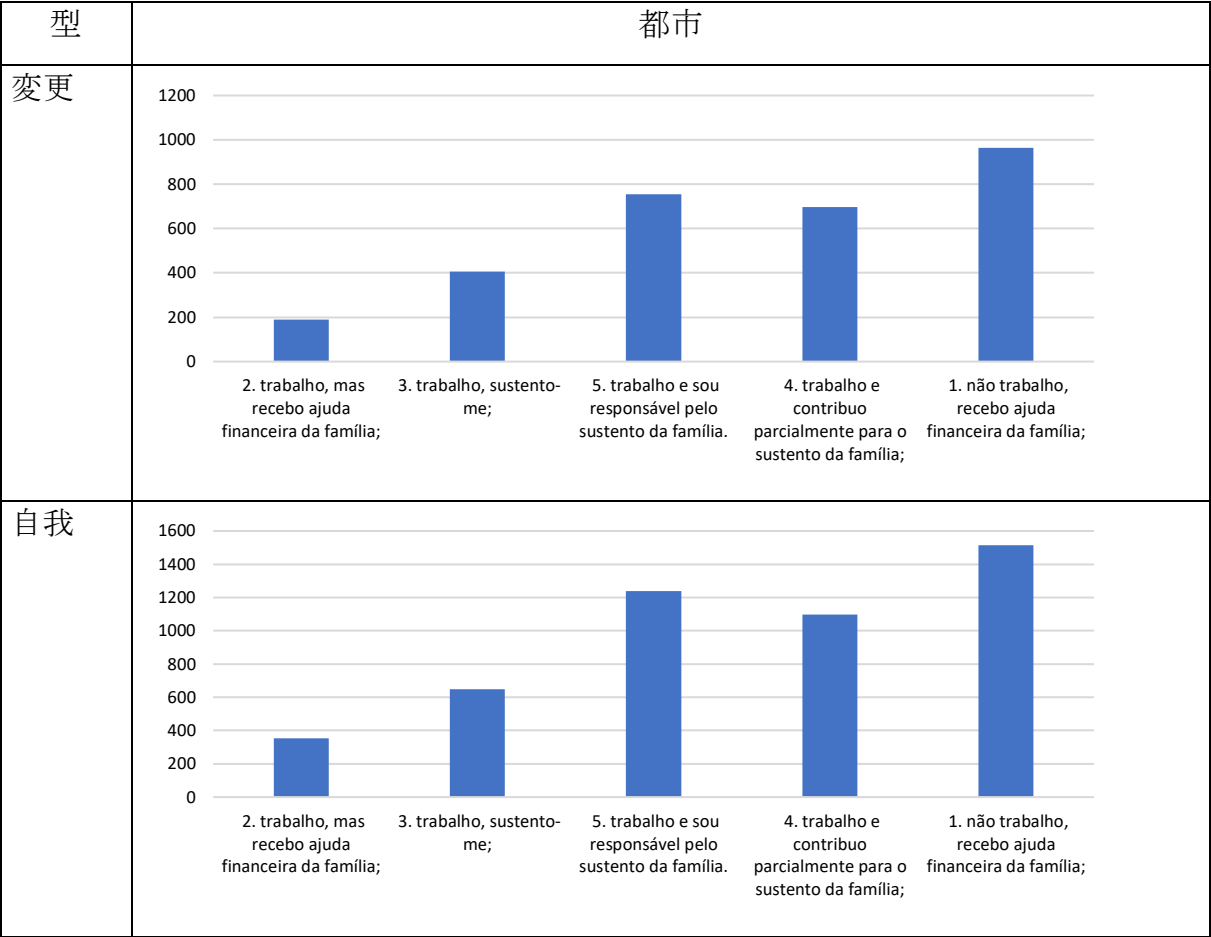


表 134- 地域の地理的分布 - アゴラ・エコノミア



家族のニーズに合わないかの「経済」という言葉呼び起こした人々は、主にEGOとALTER(下記表135)の両方に依存し、財政問題に対する懸念の強い理由を示唆している。次に示す、完全または部分的なプロバイダーである人々の喚起です。

表 135 - 経済参加 - アゴラ・エコノミア



4.3.7 アゴラ施設

このアゴラの分析は、疑わしいまたはあいまいな意味として理解された単語の喚起を扱うAxis1の議論で提示されたアゴラのリストの中で見るすることができます。

4.3.8 アゴラの柔軟性

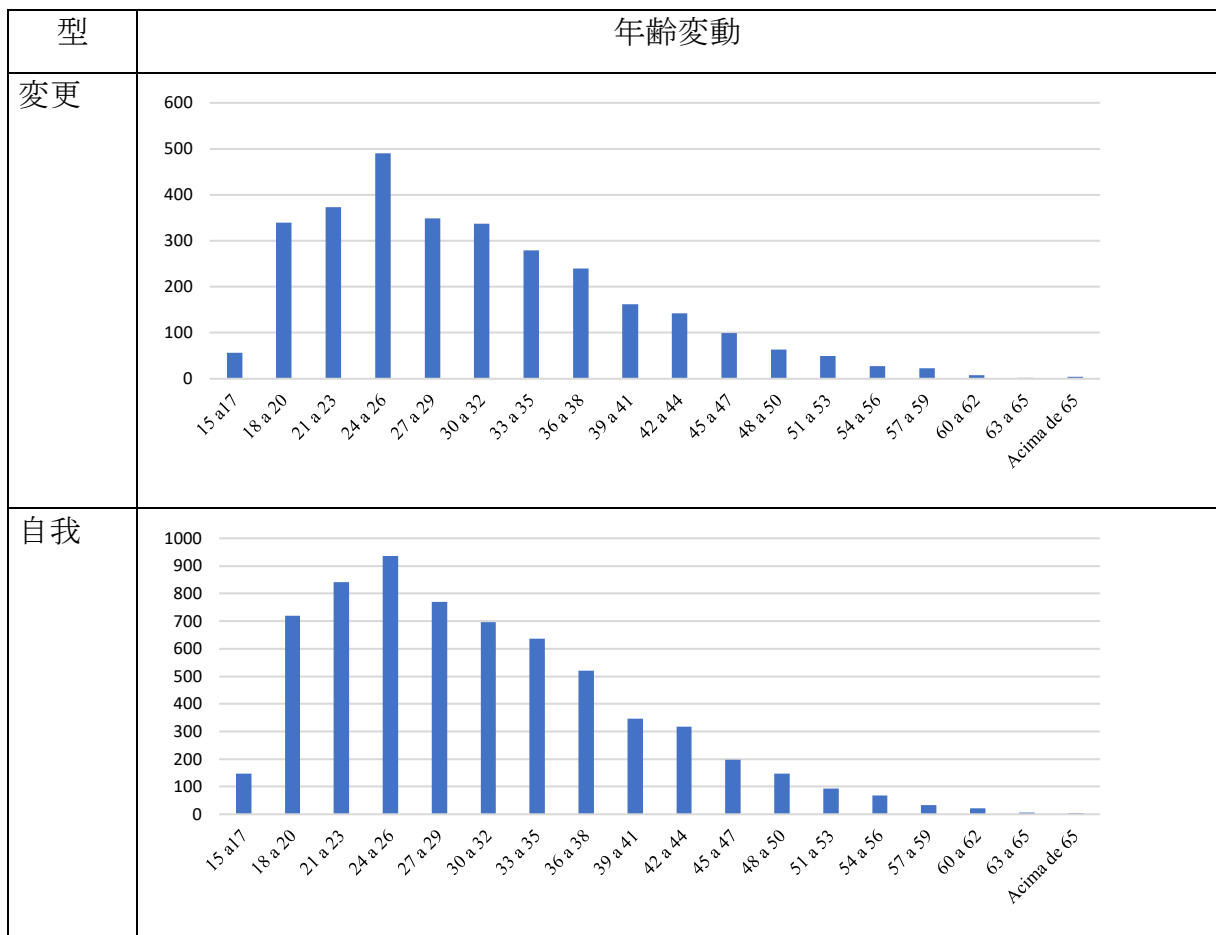
「柔軟性」という言葉の喚起に基づいて設立されたアゴラの建設は、この可能な品質が主にEGOによって認識され、以下の表136に示すように、ALTERに起因することが少ないことを示しています。EGOの起動数はALTERの2倍以上です。

表 136 - EGO と ALTER の呼び起こし - アゴラの柔軟性

アゴラ	人々
自我	6667
変更	3126

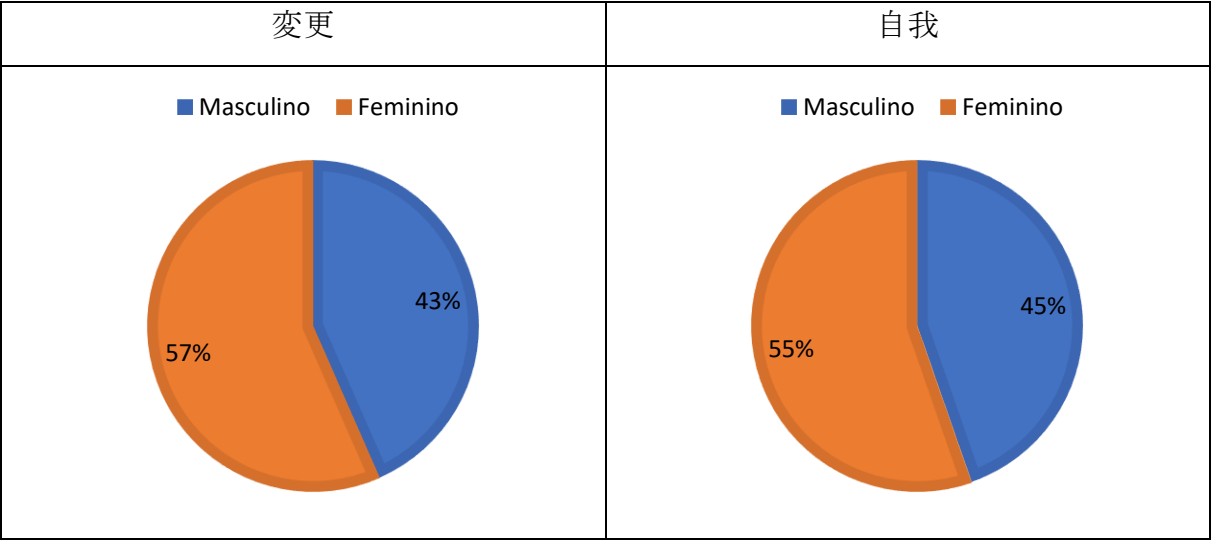
これらの「柔軟性」の喚起は、以下の表137に示すように、EGOとALTERの両方から大多数の若者によって行われました。どちらの場合も類似性は明らかであり、24歳から26歳までの範囲のピークで、回答者の高齢に応じて減少する。

表 137 - 年齢変動 - アゴラの柔軟性



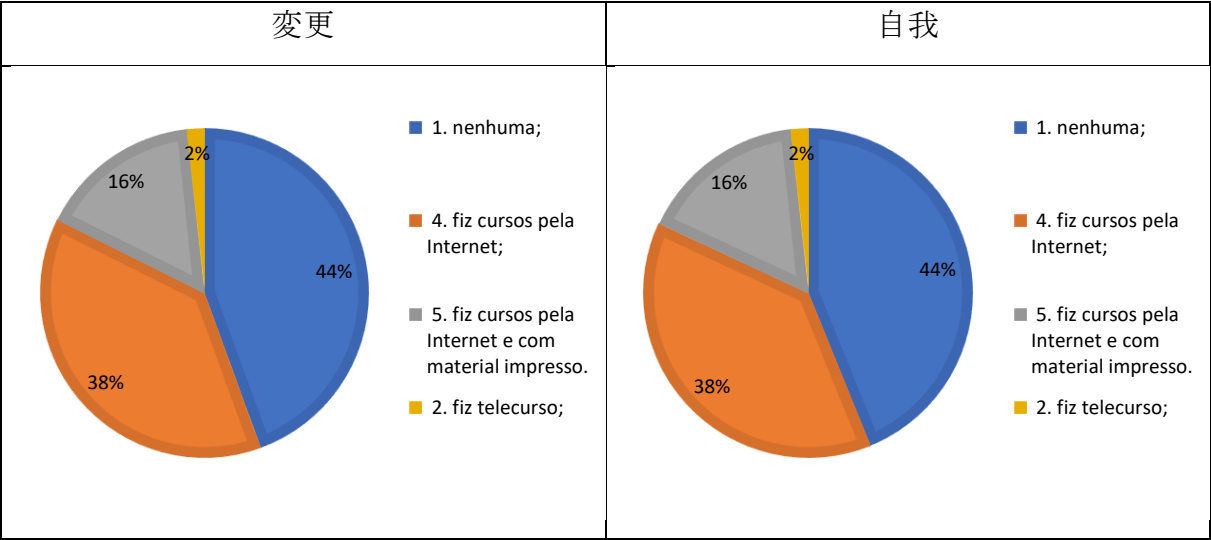
「柔軟性」という言葉を引き起こした回答者の性別に関しては、表138に示すように、その大半がEGOとALTERの両方の女性であることを観察しました。

表 138 - セックス - アゴラ柔軟性



単語を引き起こした人々の44%は、以下の図139に示すように、EGOと変更に関連する言及の両方で、遠隔教育と接触したことがない)。しかし、インターネット上のコースを通じてEADと接触した人々の重要なグループがあります。

表 139 - EAD の経験 - アゴラの柔軟性



自治体の地理的分布に関しては、EGOとALTERの両方で、「柔軟性」という言葉呼び起こした人々は、リオデジャネイロ市の大都市圏の自治体とつながりがあり、下の表140に示すように、マカエの都市、北海岸、そして州西部のレゼンデの外観が小さくなっています。地域分布に関しては、以下の表140に示すように、首都圏の都道府県と比較した有病率があります。

表 140 - 自治体の地理的分布 - アゴラの柔軟性

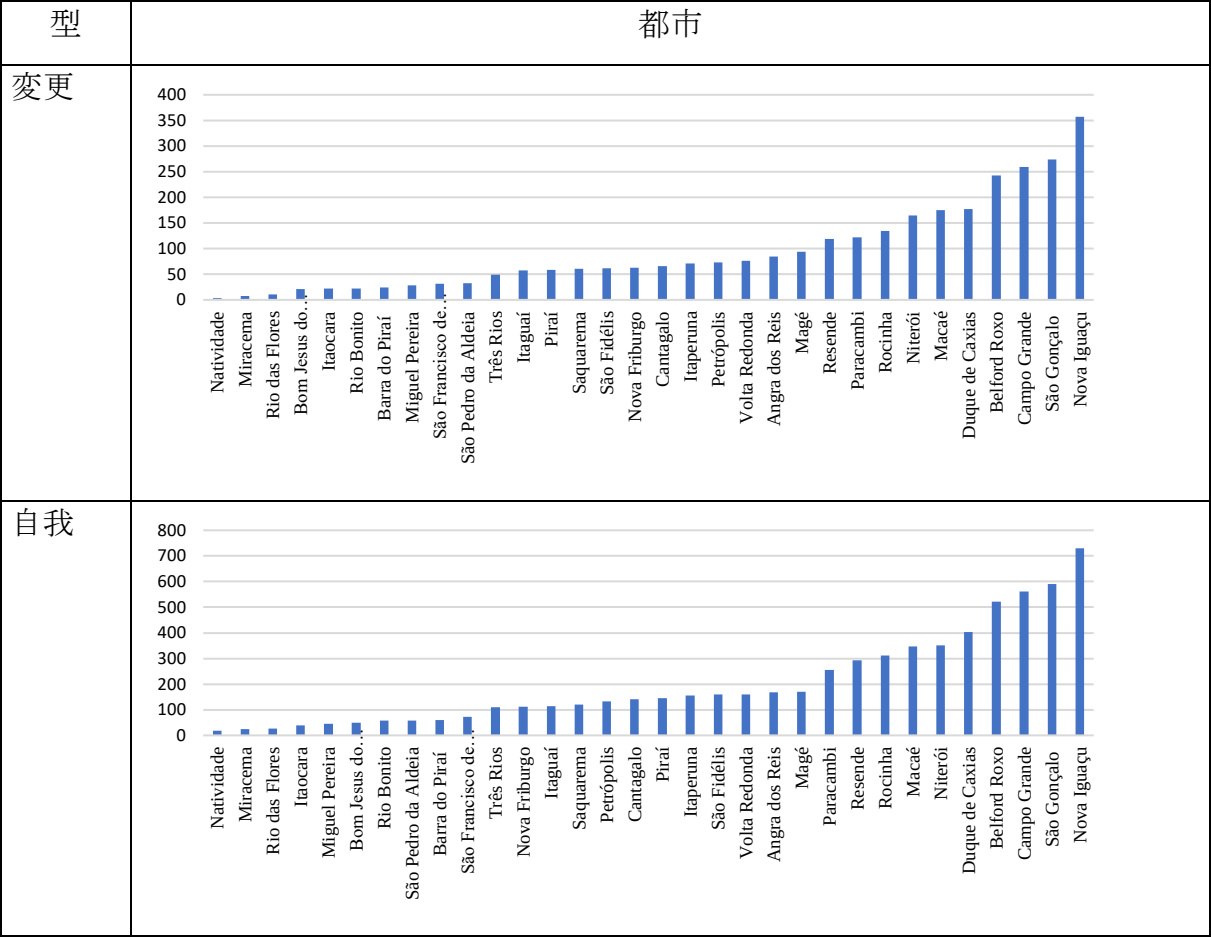
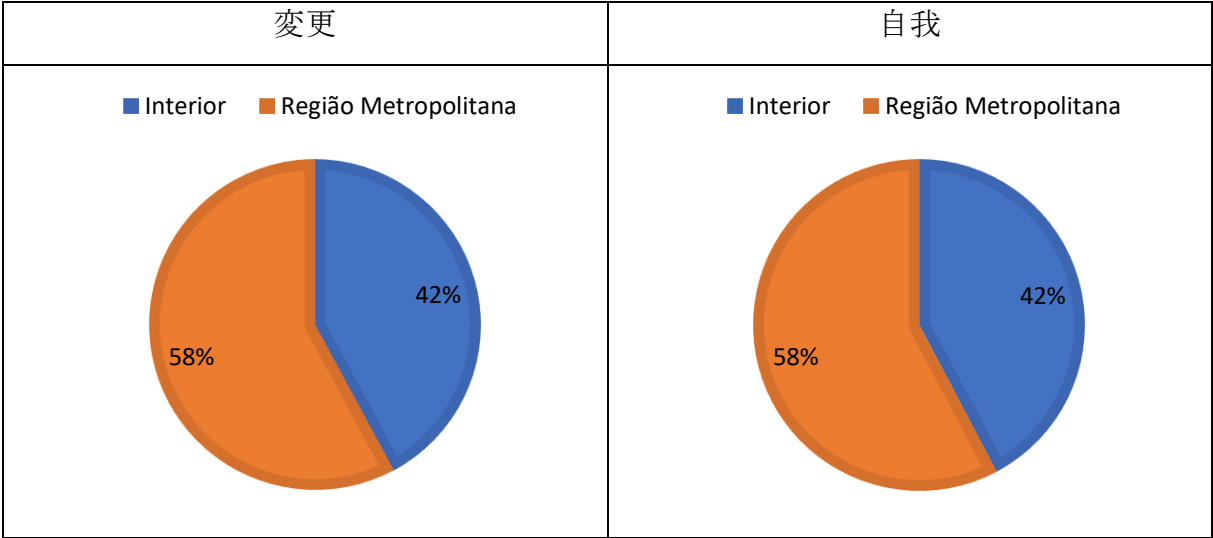
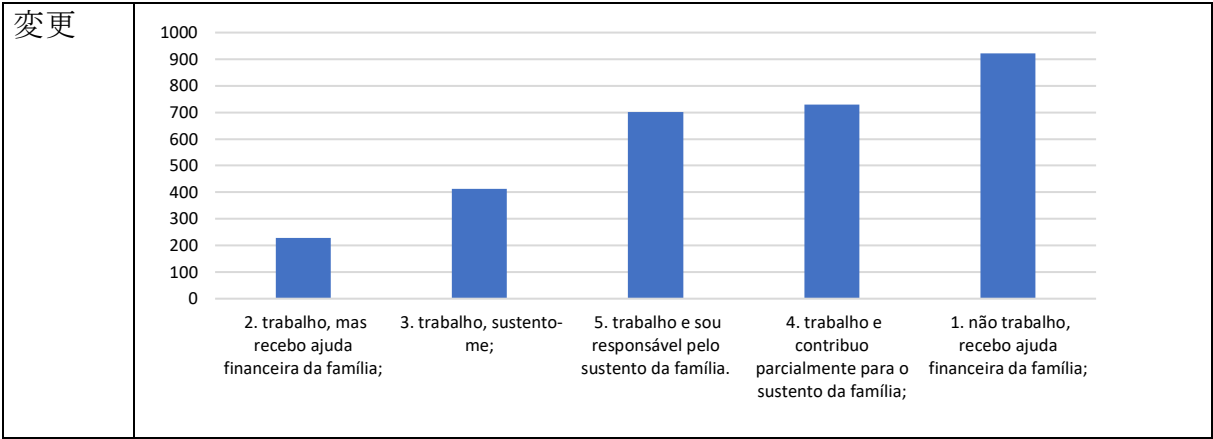


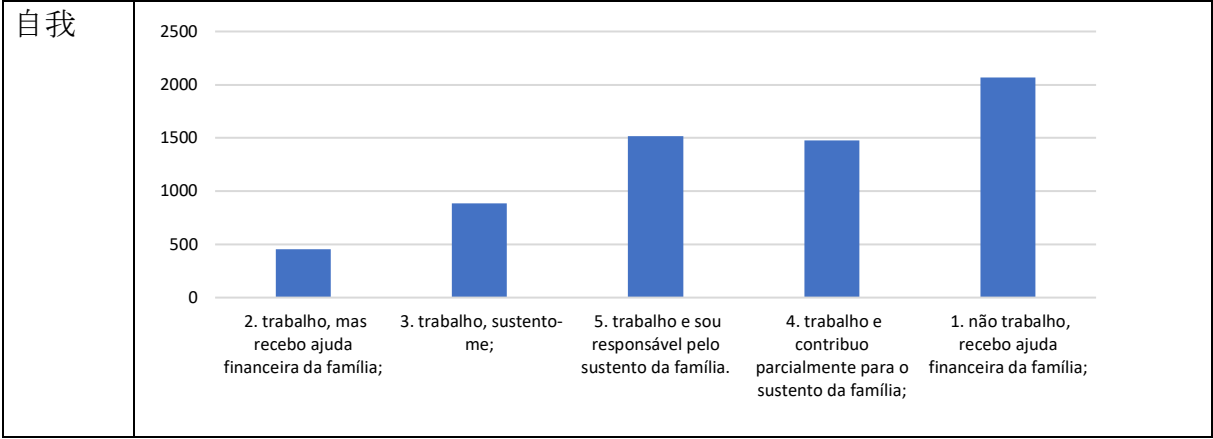
表 141- 地域地理的分布 - アゴラの柔軟性



「柔軟性」という言葉に言及した大都市圏で流行している若者のこの大多数は、以下の図表142に示すように、エゴ喚起とALTERの両方で、彼らの生活のために家族に依存する主に失業者で構成されています。それでも、家族の全部または一部にプロバイダーである人々の重要なグループがあります。

表 142 - 経済参加 - アゴラの柔軟性





4.3.9 インターネットアゴラ

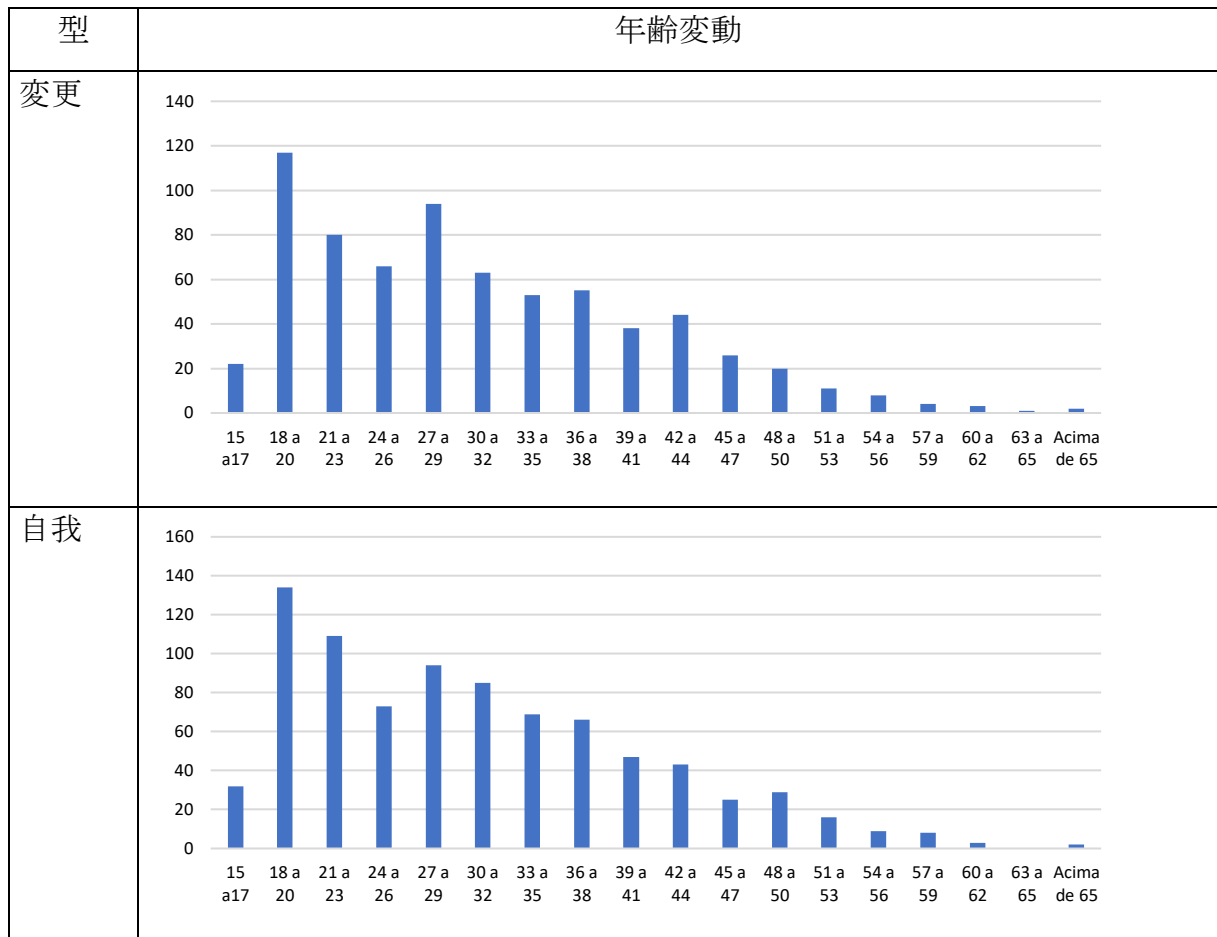
不思議なことに、「インターネット」という言葉は、呼び起こされた他の人と比較すると、EGOとALTERの両方でわずかな数の発生を示しますが、最初のケースではより多く表示されます(表143、下)。観察できるように、EGOでは、インターネットの想定される社会的表現を呼び起こす人の数がALTERよりも多い。

表 143 - EGO と ALTER - アゴラ インターネット

アゴラ	人々
自我	858
変更	722

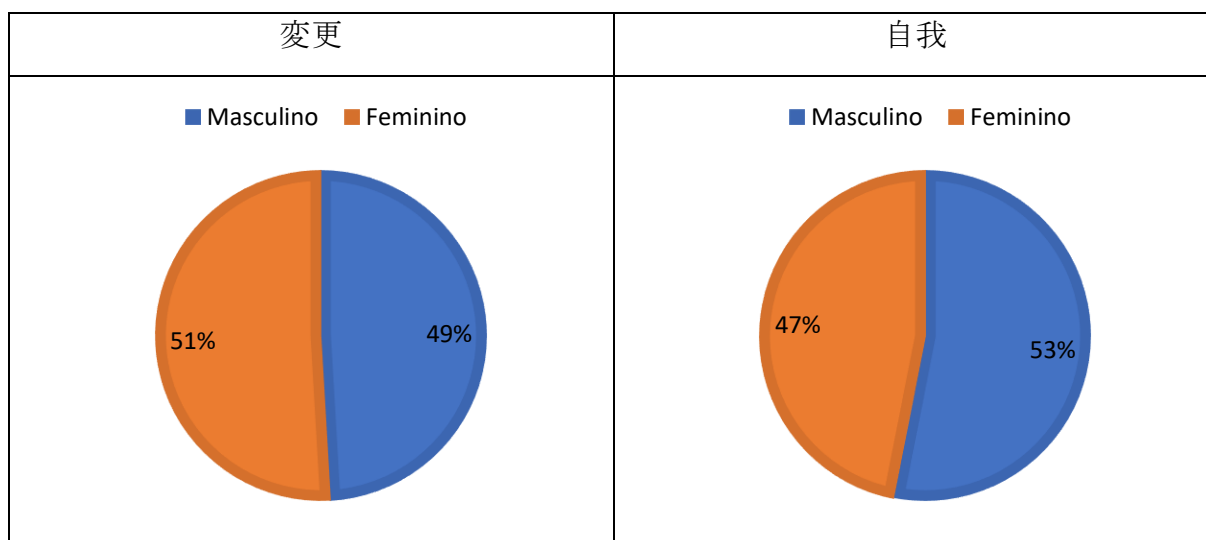
青年が取り除かれると、以下の図144に示すように、EGOとALTERの両方に関連して、18～20年の間に有意なピークを迎える「インターネット」の喚起が若い人たちの間で強さで現れます。この年齢から年齢が減少する傾向があり、ピークは21～23歳、ピークは27歳から29歳です。

表 144 - 年齢バリエーション - アゴラ インターネット



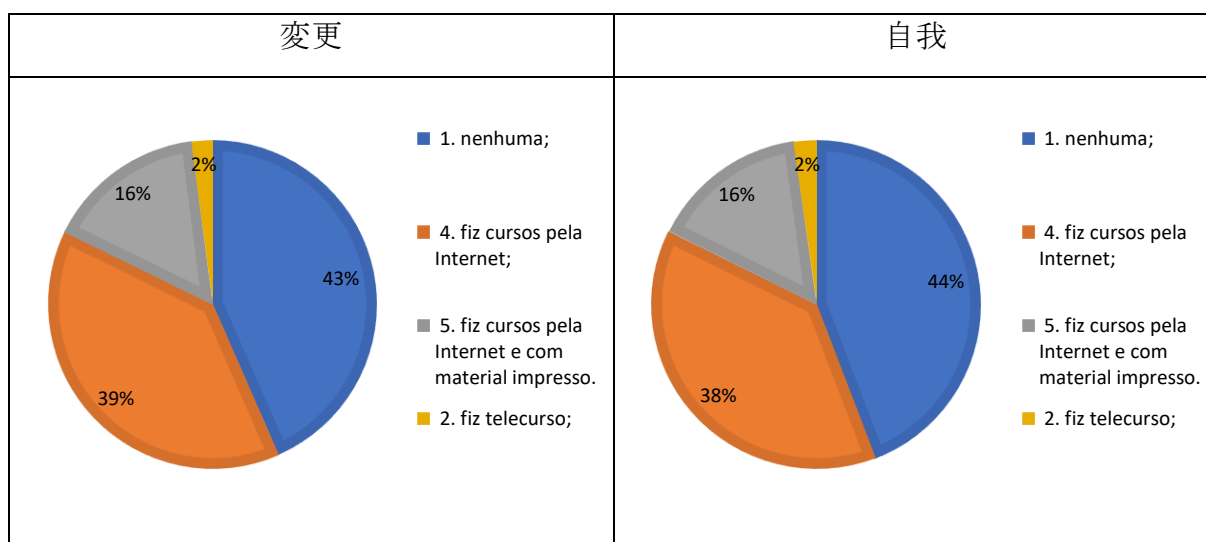
インターネットを呼び起こした人々の性別に関しては、下の表145に見られるように逆のバランスがある。EGOから出発した呼び起こしには、男性のごく一部があります。しかし、この状況は、女性の少数の過半数の優位性があるALTERに関連して逆転しています。

表 145-セックス - アゴラ インターネット



遠隔教育の経験に関連して、EGOとALTERの両方で「インターネット」という言葉の喚起は、以下の表146に示すように類似性と近接性を示す。この場合、AEの経験のない人々の有病率の前の前に既に検証された傾向、続いてインターネット上の遠隔教育と接触した人々がコースを通じて繰り返されます。

表 146 - EAD の経験 - アゴラ インターネット



自治体の地理的分布に関しては、リオデジャネイロの大都市圏の都市のEGOとALTER、マカエ州の北海岸では、「インターネット」という言葉の喚起の発生が少なくなります(表147、下)。また、表147では、地域地理分布に関して、EGOとALTERの両方で、内部と比較して大都市圏から来る起起こるのが高い。

表 147 - 市区町村の地理的分布 - アゴラインターネット

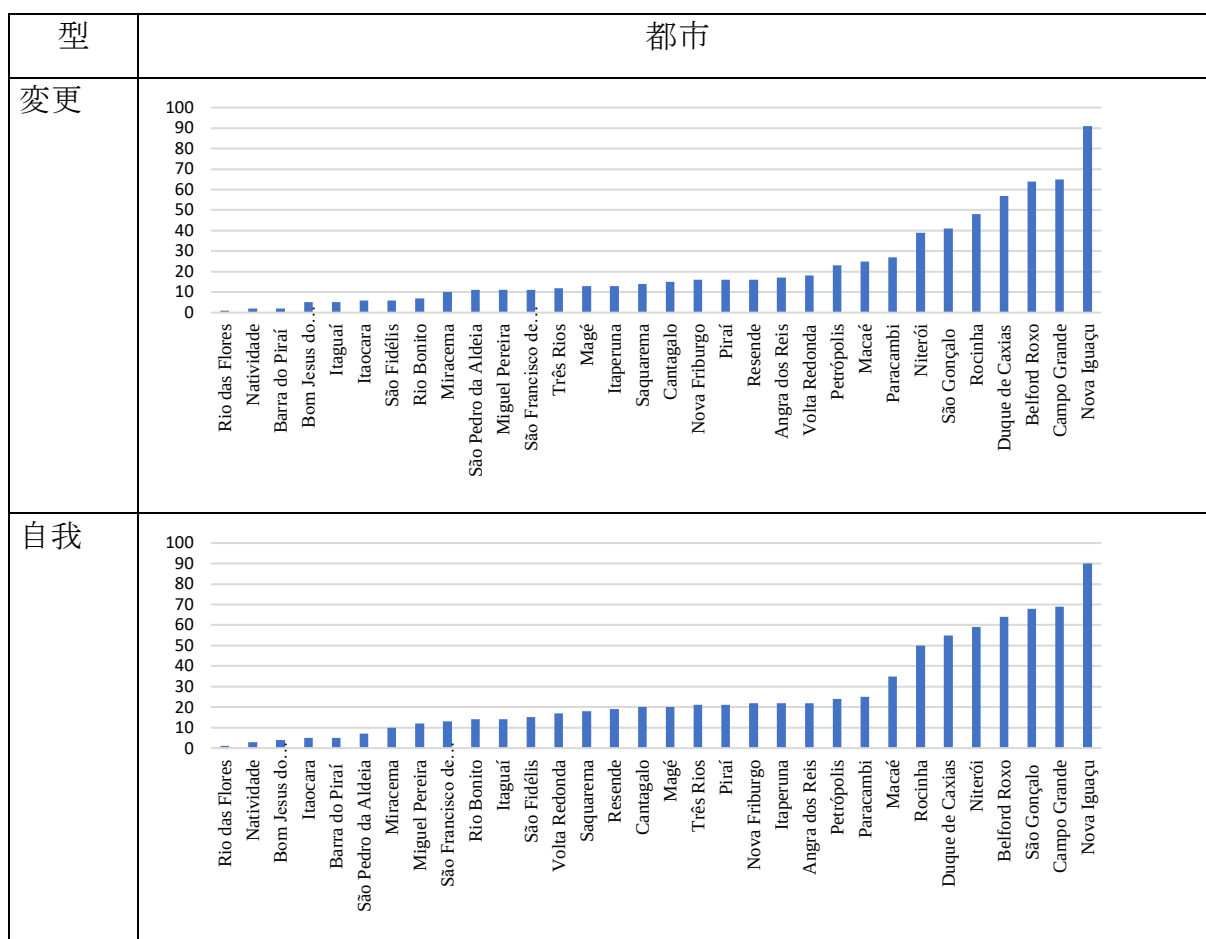
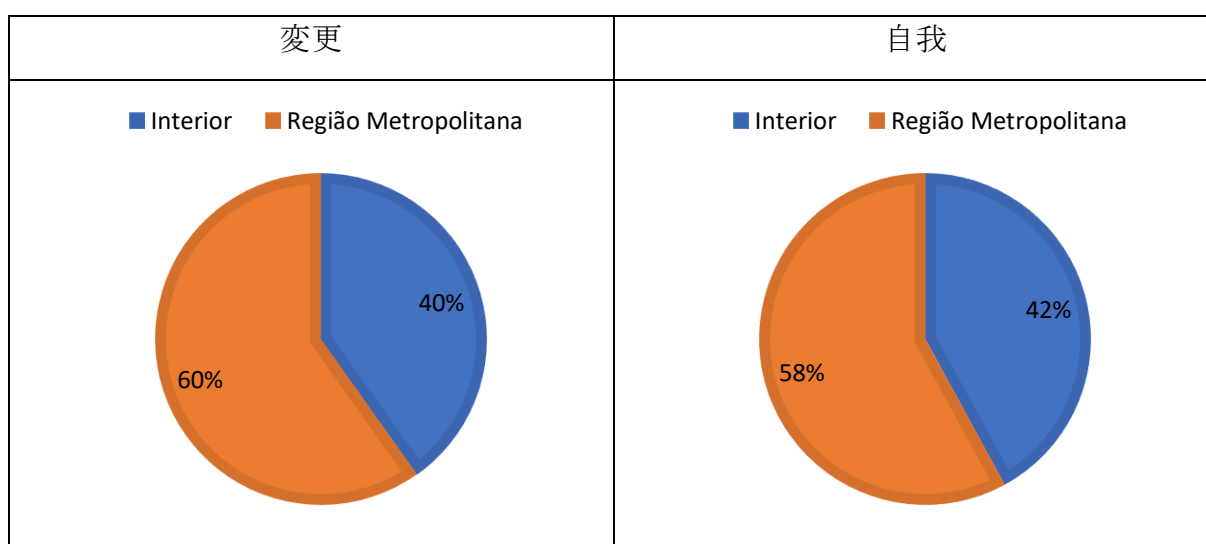
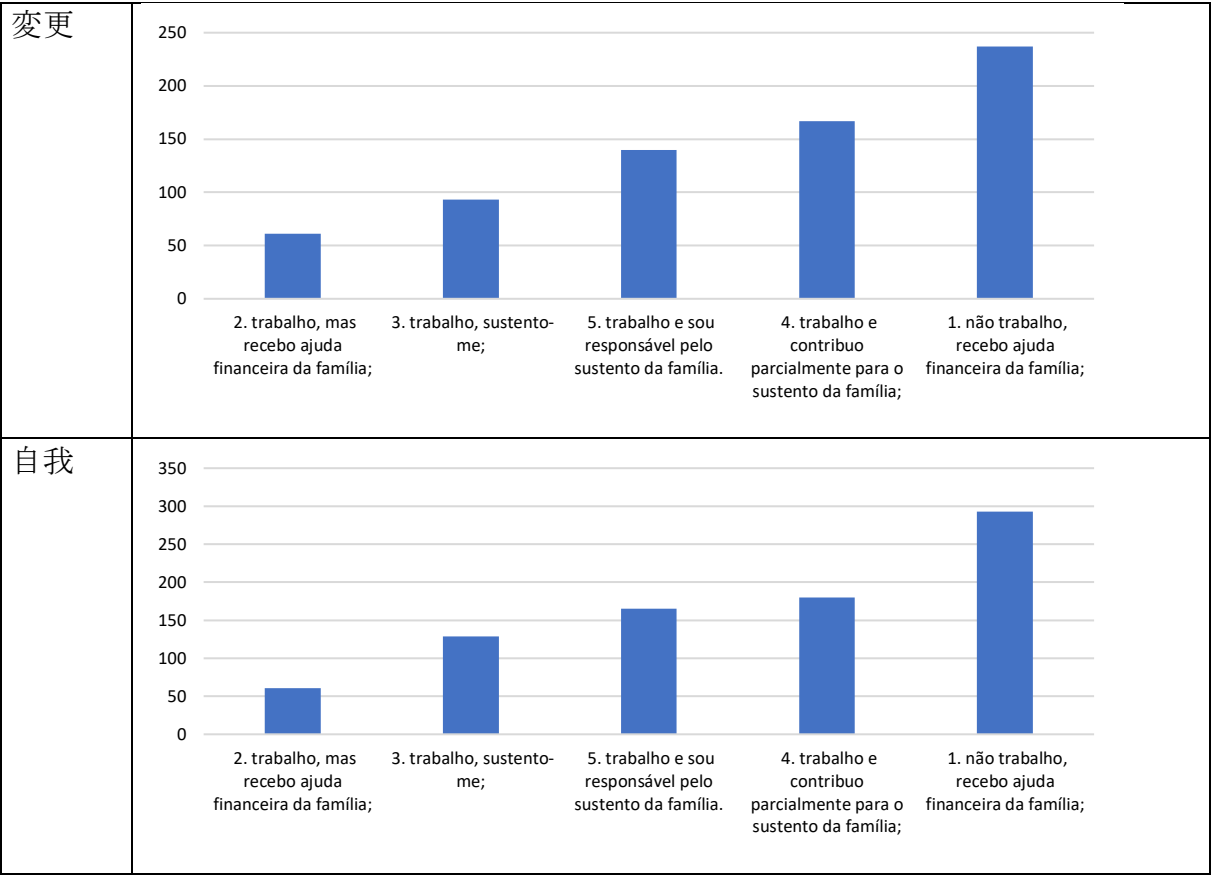


表 148 - 地域の地理的分布 - アゴラ インターネット



前のアゴラと同様に、「インターネット」という言葉に関連するものは、エゴとALTERの両方の喚起(表149、下)の両方で家族に依存する人々に関連し、続いて家族に完全または部分的に責任を負う人々を呼び起こします。

表 149 - 経済参加 - アゴラインターネット



4.3.10 アゴラ ・ ザ ・ ポートユニティ

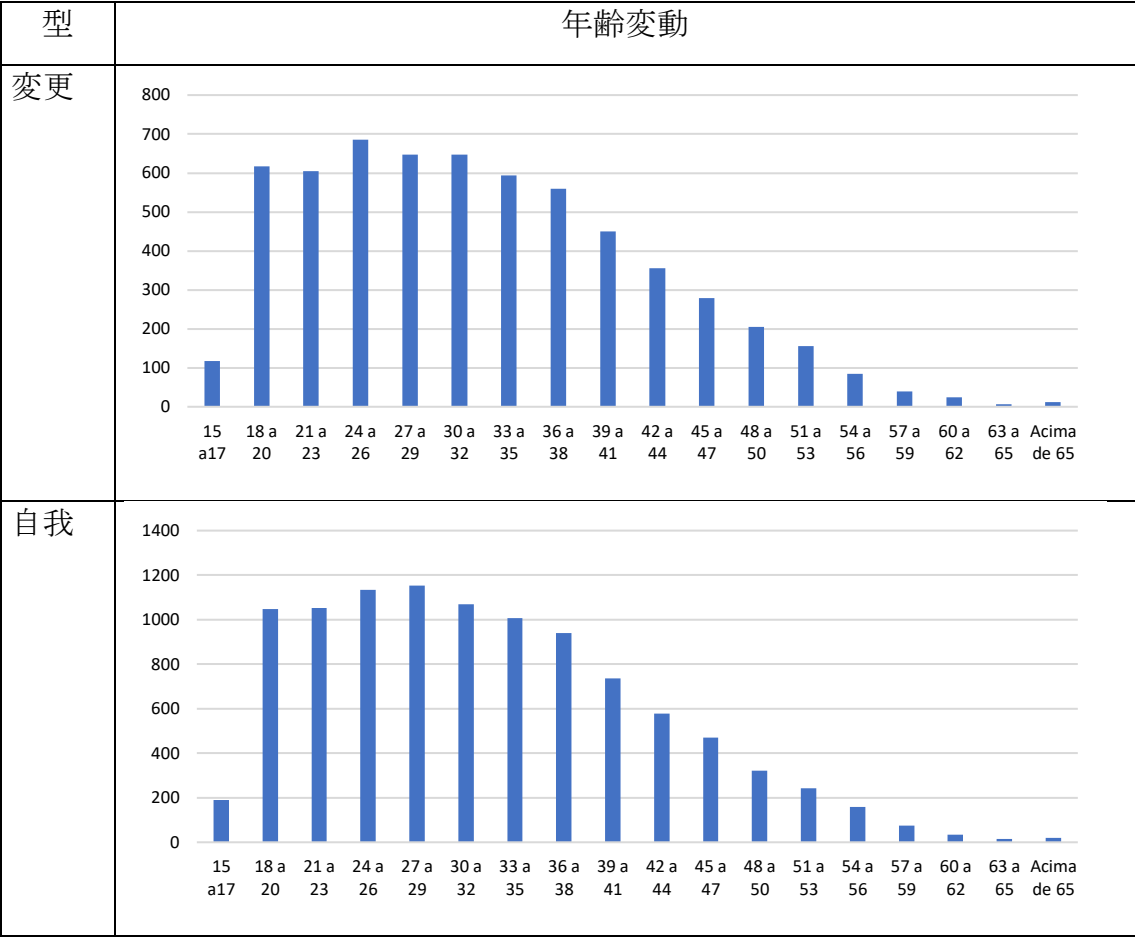
「機会」という言葉の喚起によって形成されたアゴラは、以下の図150で強調するように、EGOに関連する私たちの研究の1万人以上の回答者の中で最も引用されたものです。ALTERの場合、かなりの数の呼び出しにも影響します。また、ALTERでは、最も引用されたものではありませんでしたが、トップ50の中に入っています。

表 150 - EGO と ALTER の喚起 - アゴラ の 機会

アゴラ	人々
自我	10539
変更	6238

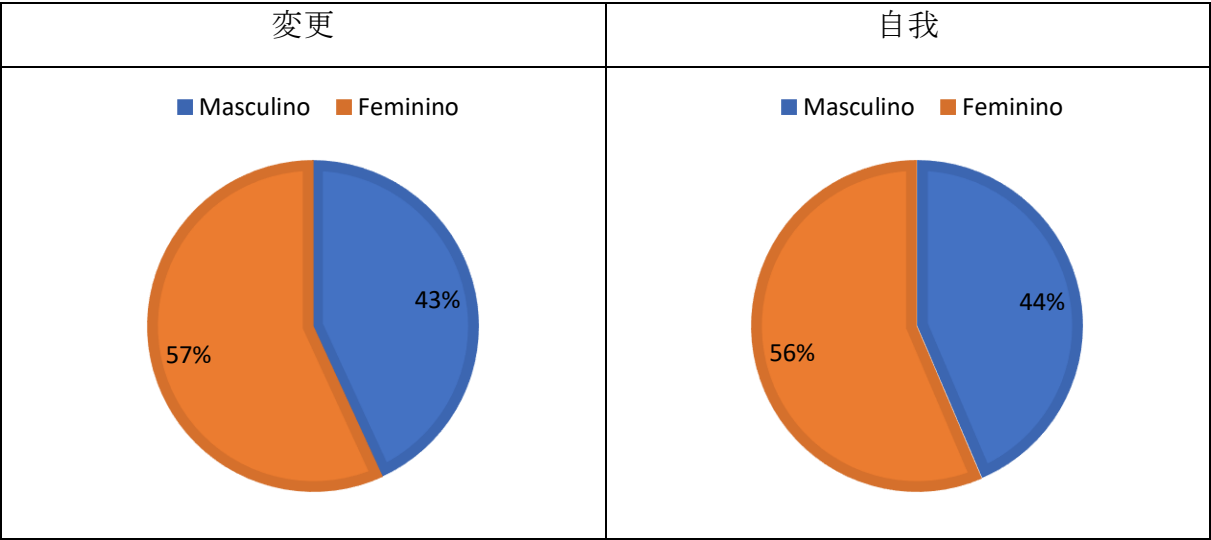
年齢変動に関しては、EGOとALTERの両方に「広い若者」と呼ばれるものに「機会」という言葉の喚起が分布し、20年をカバーし、18年から38年まで、次に減少することを断言することができます。以下の表151に示すように、EGOでは27～29歳のピークがあり、ALTERでは24歳から26歳までです。

表 151 - 年齢変動 - アゴラ・オポチュニティ



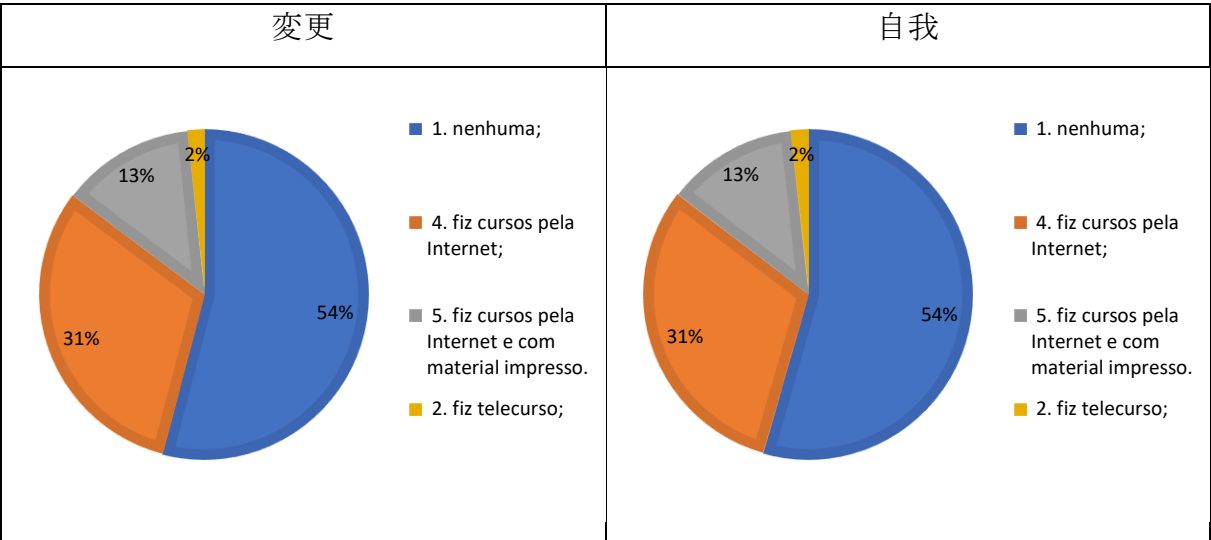
セックスに関連して、以下の図152に示すように、女性の過半数を持つ「機会」という言葉の喚起において、EGOとALTERのバランスに気づくことは可能です。

表 152 - セックス - アゴラの機会



距離教育の経験に関連して「機会」という言葉の喚起のセットでは、我々は再び類似性効果を持っています(下の表153)、すでに以前に観察されています。インターネットを介して遠隔教育プロセスに参加している人の重要なケースを見つけるにもかかわらず、AEdの以前の経験のない人々の有病率があります。

表 153 - EAD の経験 - アゴラの機会



EGOとALTERの両方で、自治体の地理的分布の文脈における「機会」という言葉の喚起に関連して、以前の傾向が繰り返され、リオデジャネイロの大都市圏の都市が優位に立っています(表154、下)。また、この場合、図154に示すように、以下

はEGOとALTERの両方で、内部に関連して大都市圏からの人々の喚起の有病率である。

表 154 - 市町村の地理的分布 - アゴラの機会

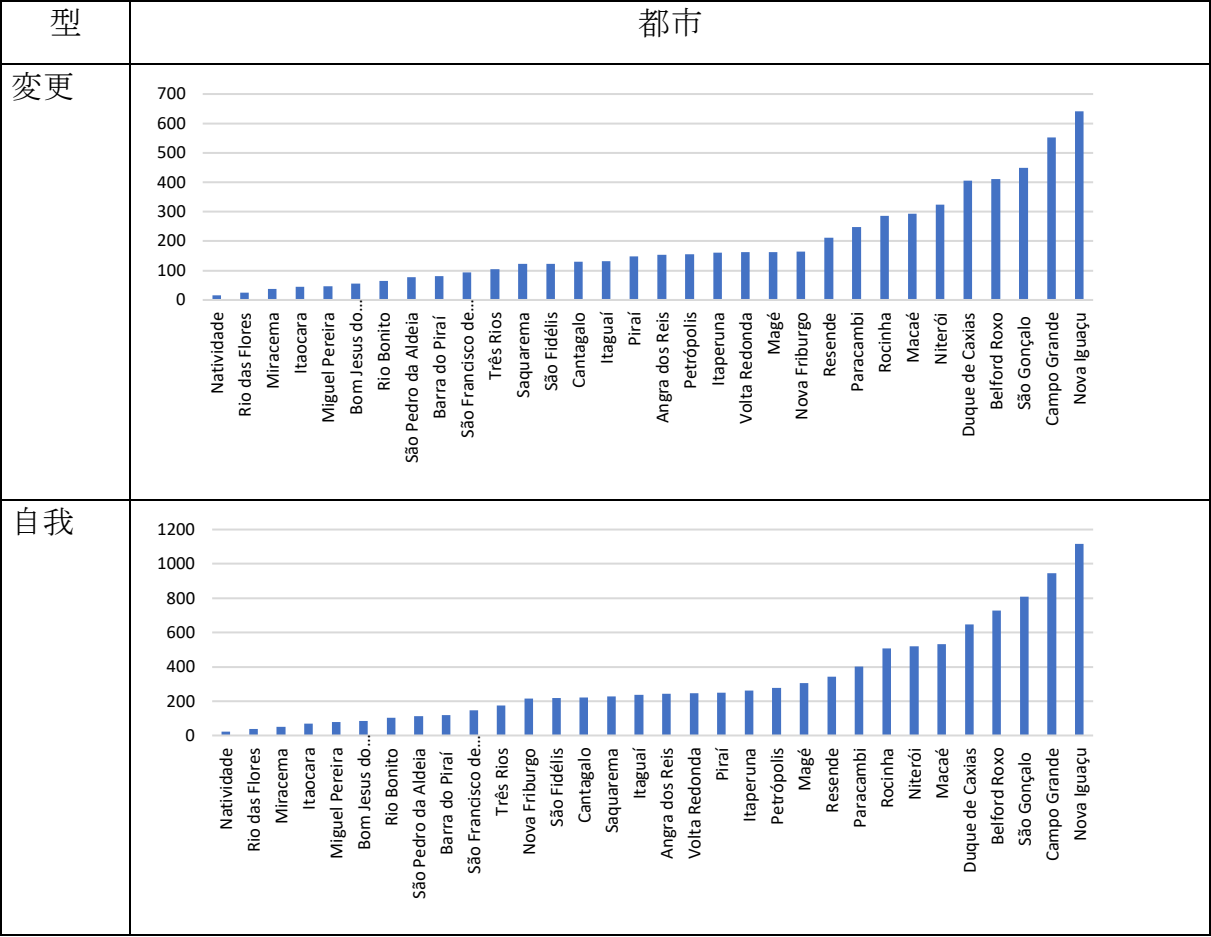
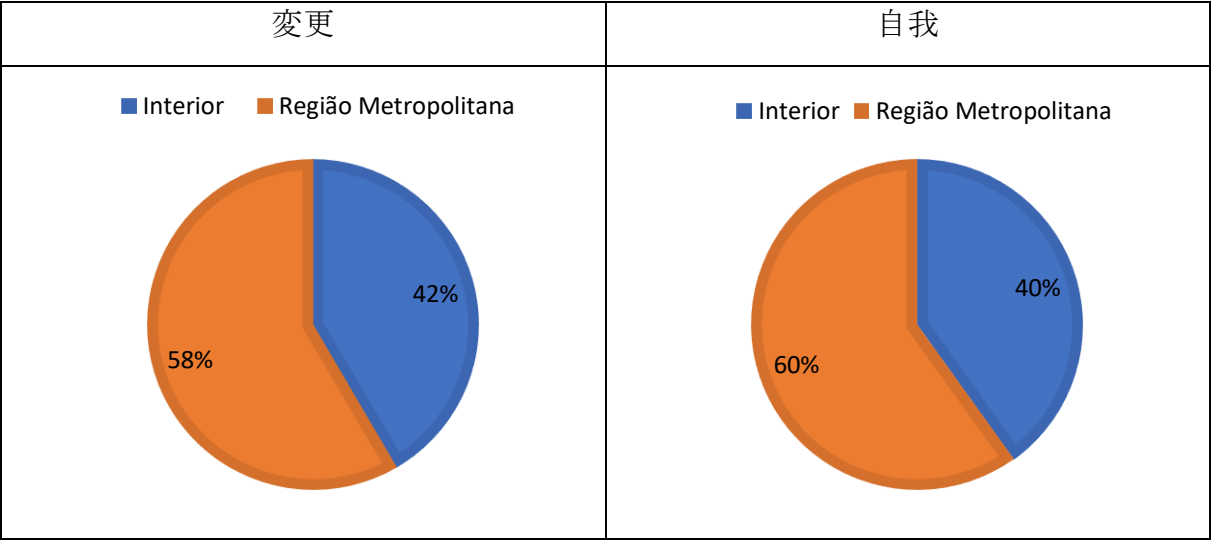
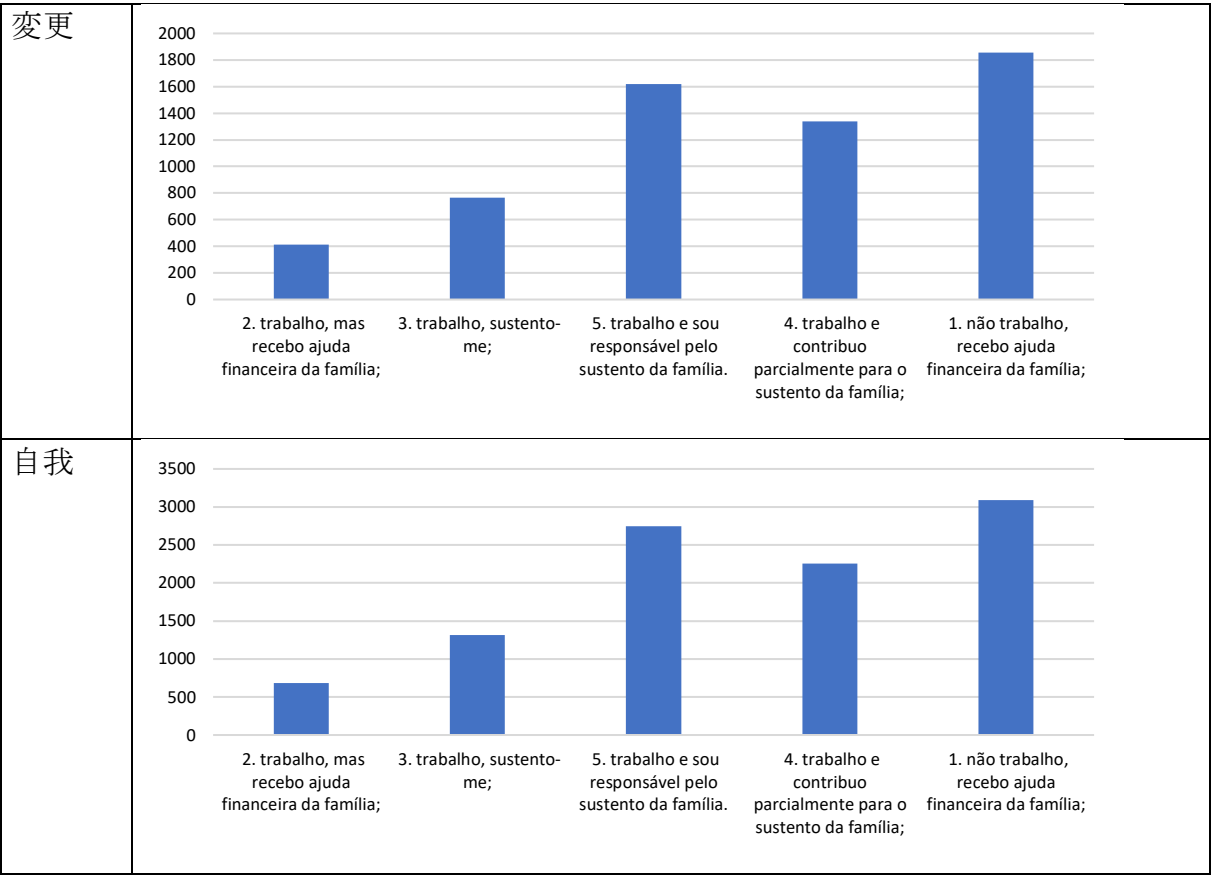


表 155 - 地域の地理的分布 - アゴラの機会



経済参加に関して、「機会」の喚起は、主に経済的困難な人々によって行われ、家族に依存していますが、エゴとALTERの両方の喚起に関与する他の人々の大きな参加を持っています。体重は少ないが、それでも実力主義的な言及で、私たちは家族に部分的に責任を負う人々によって作られた「機会」という言葉を喚起しています。

表 156 - 経済参加 - アゴラの機会



4.3.11 アゴラの実用性

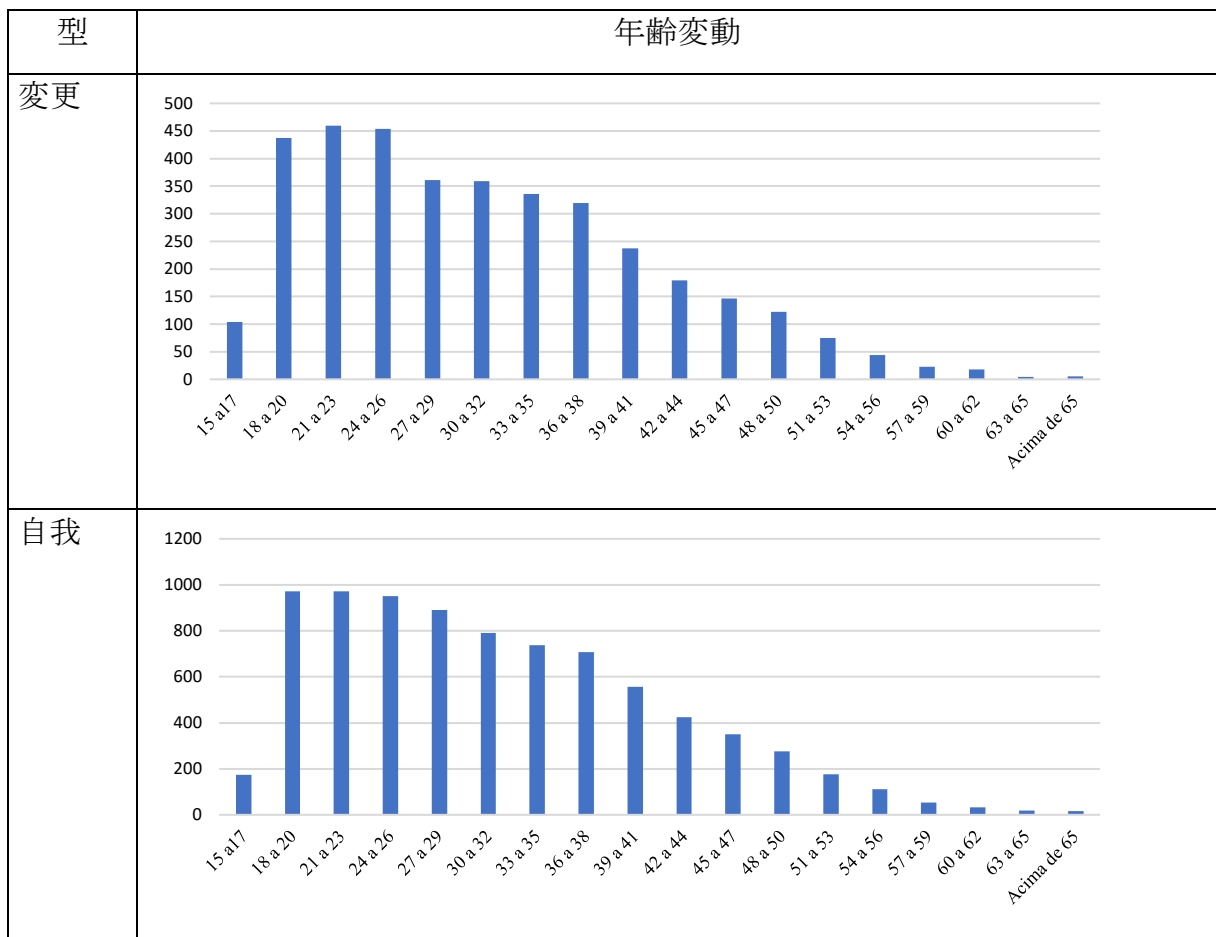
「実用性」という言葉の喚起から築かれたアゴラは、前のものと同様に、それを言及した人々の印象的な数を提示します。EGOの観点から呼び起こしたものは、以下の表157に示すように、変更の2倍以上の大きさでした。

表 157 - エゴとオルター・エヴォーション - アゴラ・プラティシティ

アゴラ	人々
自我	8384
変更	3764

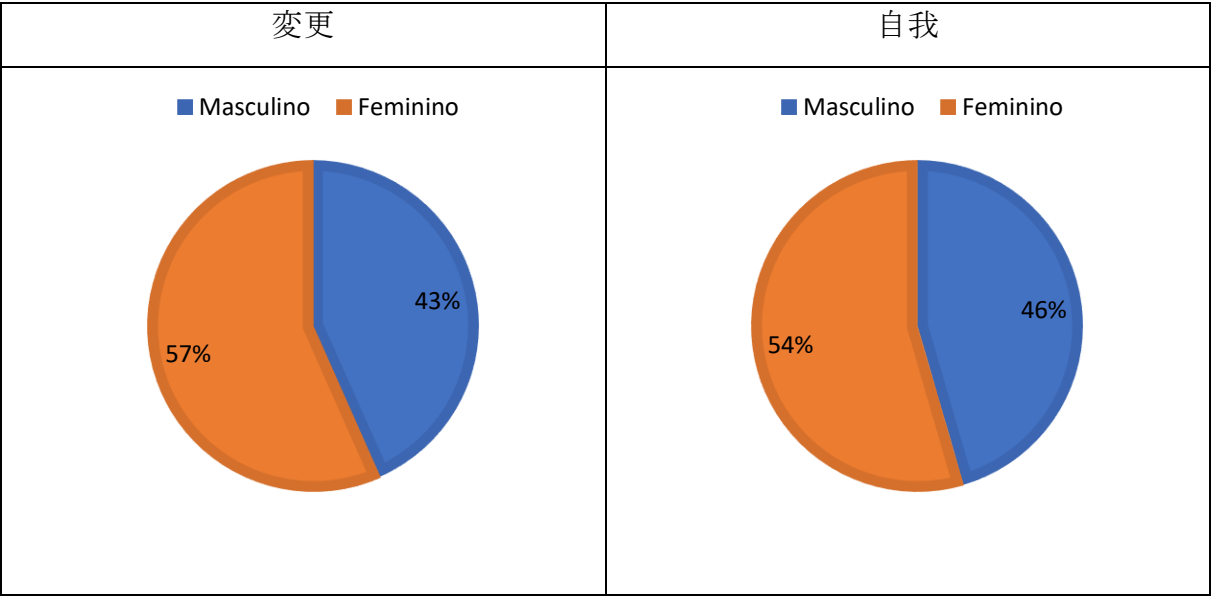
これは、EGOとALTERの両方で、他のアゴラの呼び起こしにおける若者の有病率の同じ動きをアゴラ実用性の年齢変化に関して観察することができる。それは18年から26年までより強引に制限され、後で(EGOでより穏やかに、より突然ALTERで)減少しますが、「実用性」という言葉の喚起は、表158に示すように、27年後に年齢の論理が低下します。

表 158 - 年齢変動 - アゴラの実用性



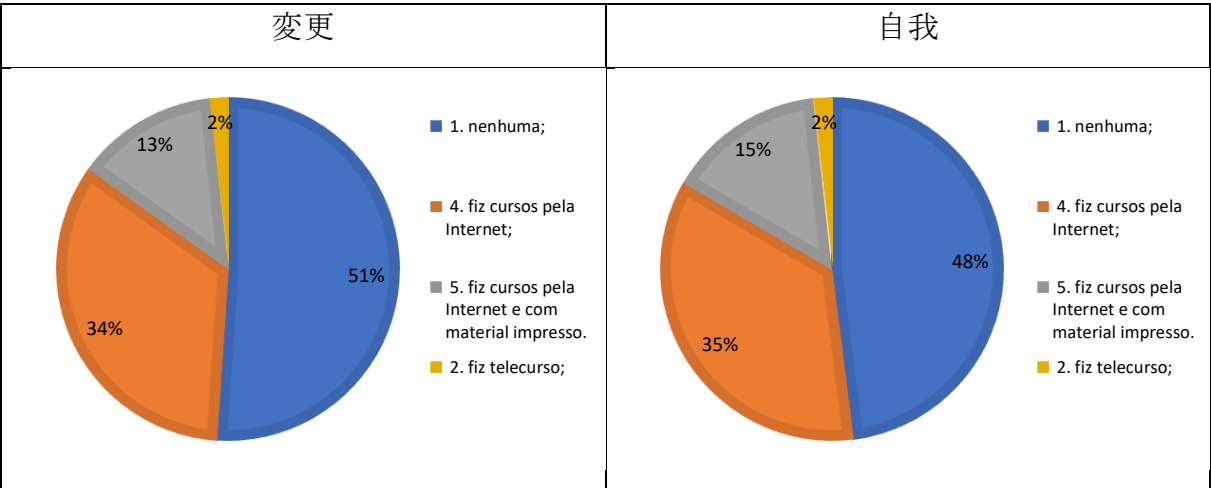
「実用性」という言葉と呼ばれ起こした人々の性別に関しては、以下の図表159に示すように、率直な大多数の女性が男性の前に現れます。

表 159 - セックス - アゴラプラティシティ



DISTANCEでの経験に関連して、EGOとALTERにおいて、遠隔学習の経験を一度も経験したことがない人々によって、「実用性」という言葉の喚起によって形成されたアゴラが、下の表160に示すように作られています。これは、以前に研究されたagorasのように、インターネット上でコースを受講した人々のかなりの割合に続きます。

表 160 - EAD の経験 - アゴラの実用性



ここでは、都市から発せられる実用性の喚起のEGOとALTERでの自治体の地理的分布について言及しましょう。ここでは、人々が「実用性」という言葉と呼び

起こしたりオデジャネイロの大都市圏の自治体の蔓延の傾向を繰り返します(図表16
1、下)。このパターンは、EGOとALTERの両方で地域地理的分布を示す図161に再び
現れ、内陸部と比較した場合の大都市圏の有病率を示す。

表 161 - 市区町村の地理的分布 - アゴラ・プラティシティ

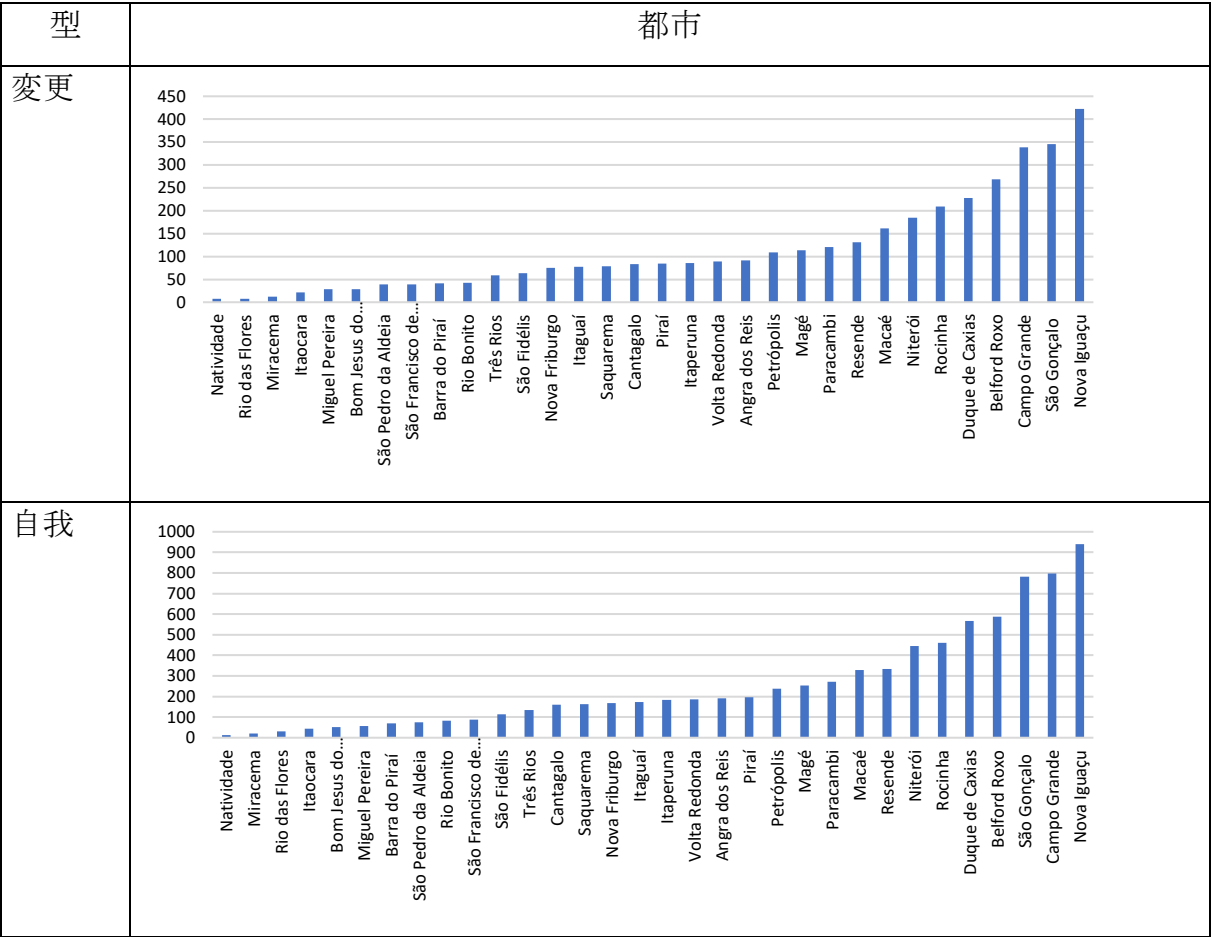
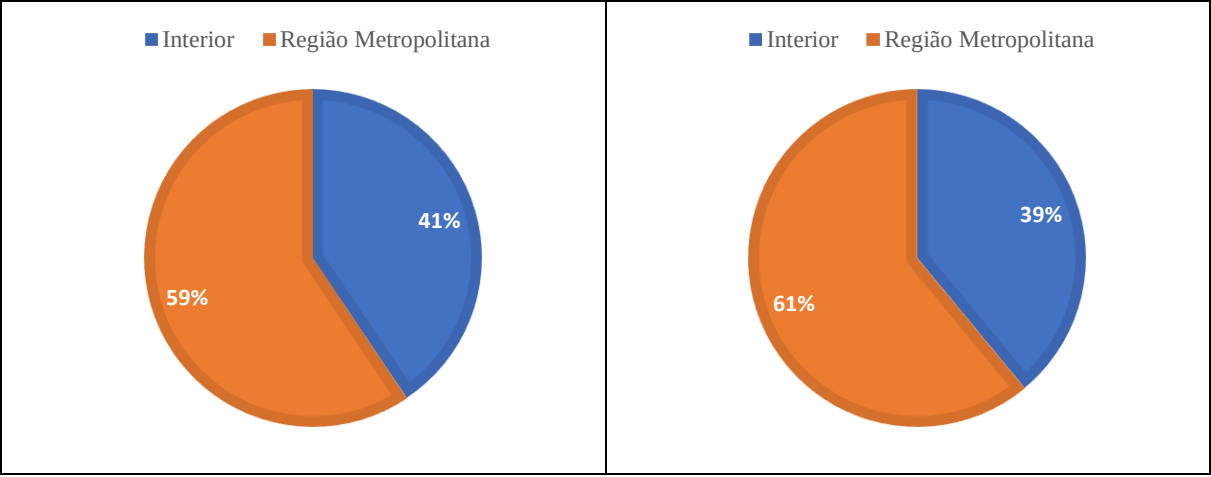


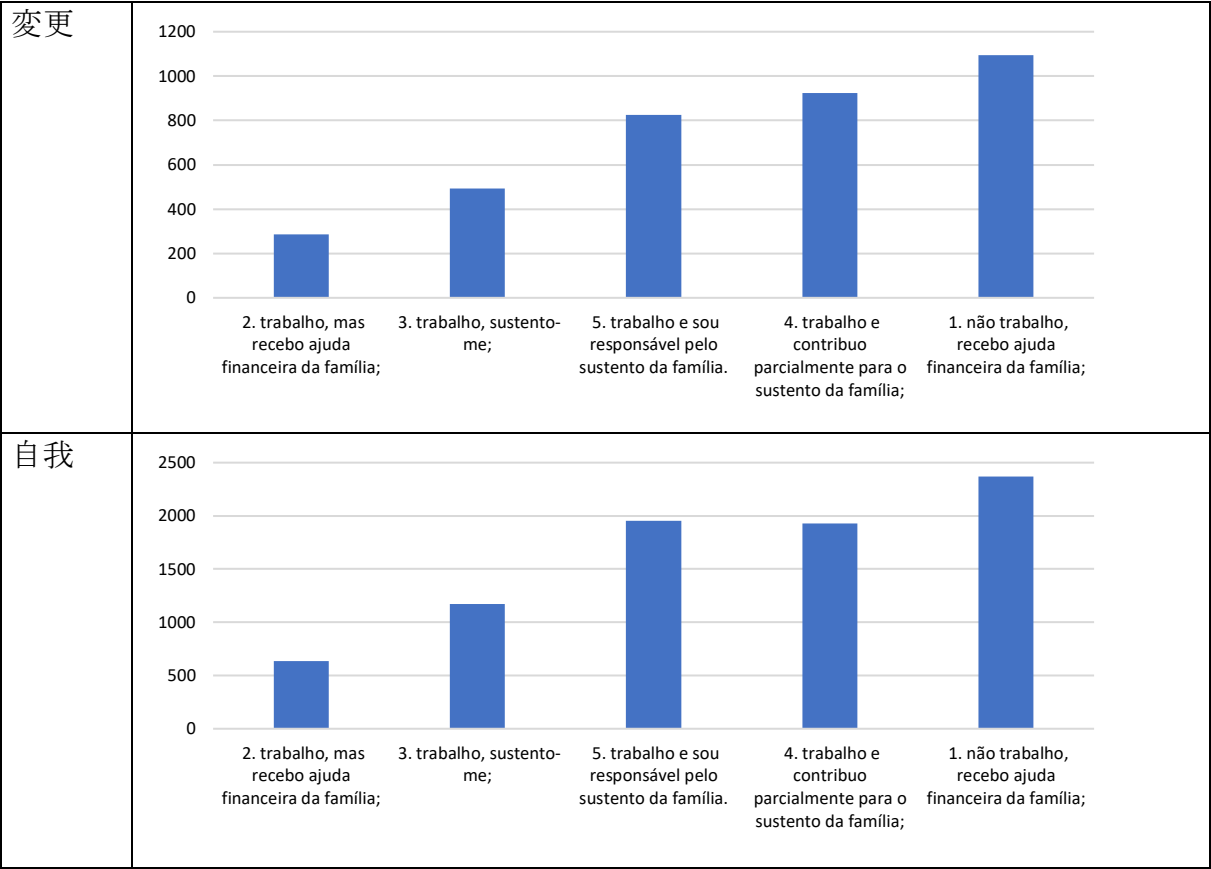
表 162 - 地域の地理的分布 - アゴラプラティシティ

変更	自我
----	----



家族の経済参加に関して、私たちはEGOで観察し、またALTERで、停滞の手段を持たない人々の通知された「実用性」という言葉の喚起を観察し、その家族に依存しています。しかし、以下の表163に示すように、家族の収入に部分的または完全に貢献する人々の数は無視できません。

表 163 - 経済参加 - アゴラ・プラティシティ



4.3.12 アゴラ時間

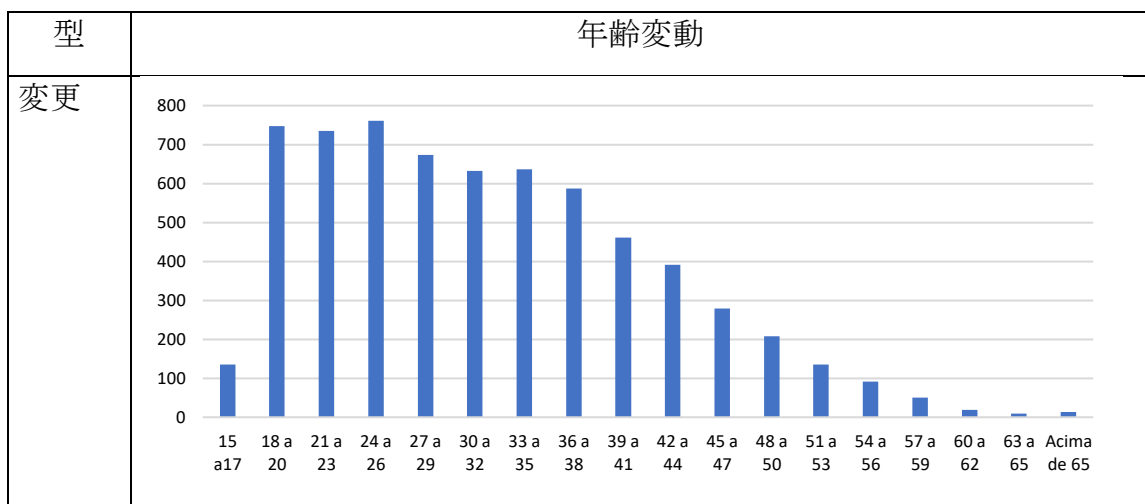
非常に重要なのは、以下の図164に示すように、特にEGOに関連して、「時間」という言葉も最も引用されたものの1つです。時間の問題を呼び起こす人の量は、他の人が気にする事も非常に表現力豊かである。

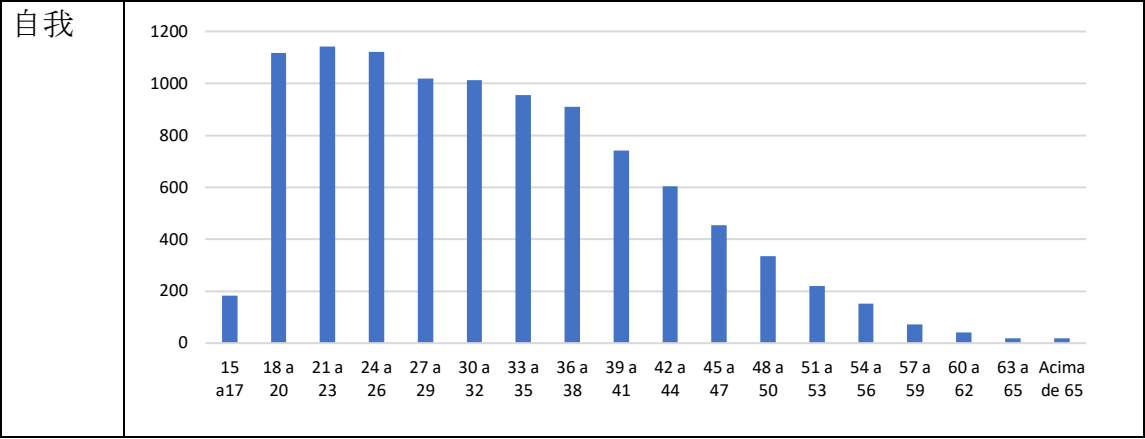
表 164 - EGO と ALTER - アゴラ テンポ

アゴラ	人々
自我	10372
変更	6772

アゴラテンポの年齢変化に関しては、これまで研究した他のすべてのアゴラよりもはるかに拡張された分布に気づき、若者や成人の関心事でしたが、研究対象の人口の人口効果によるものは少なくなっています。EGOとALTERの両方で、時間に関するこの懸念の拡張が観察され得る(図165、下図)。それはALTERよりもEGOでより顕著であることを留意すべきです。

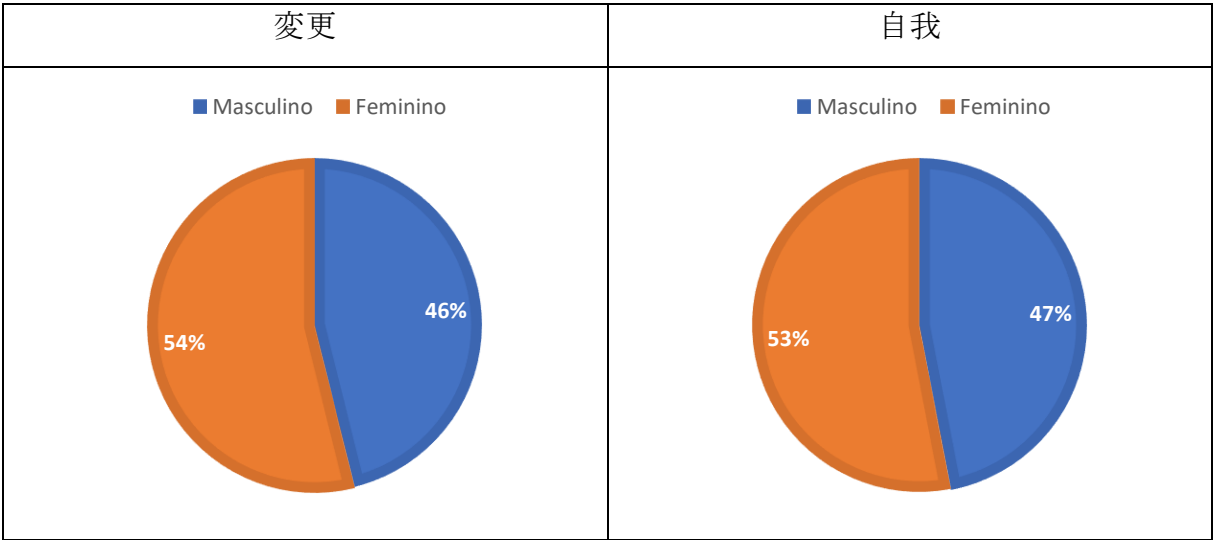
表 165 - 年齢バリエーション - アゴラテンポ





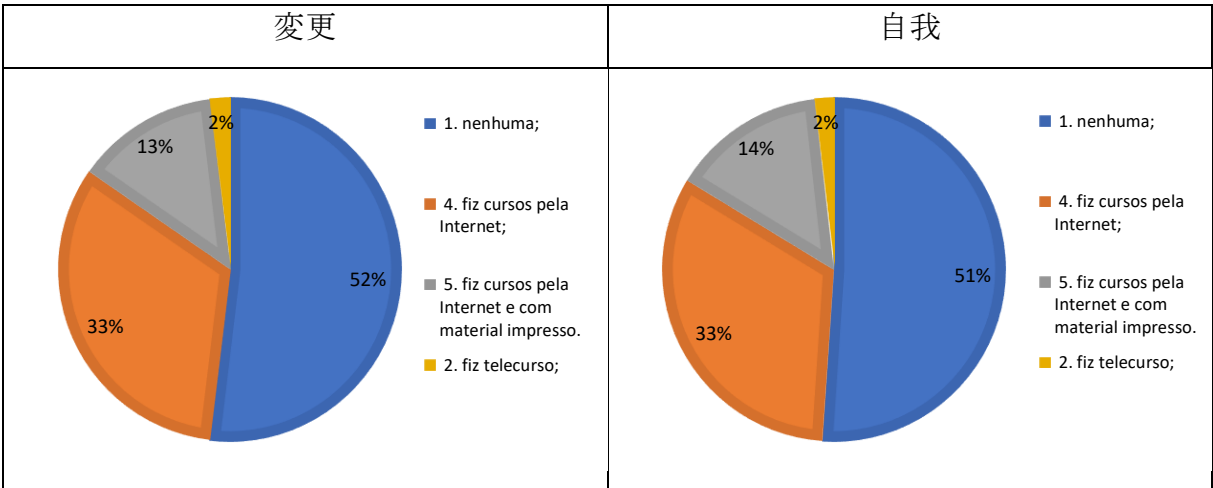
時間に対する関心の影響は男性と女性によって共有されていますが、彼らは「時間の不足」の可能な社会的表現を指し、最も言葉を引き起こす最後のものです。表 166 では、以下にこれら 2 つの現実を示します。

表 166 - セックス - アゴラテンポ



「時間」という言葉の喚起によって生み出されたアゴラは、これまで研究されたほとんどの場合のように、EGOとALTERの両方で、AEとの経験の無知のパターンを繰り返します(表167、下)。前のケースと同様に、この言葉呼び起こしたかなりの数の人々がすでにインターネット上のコースをフォローしています。

表 167 - EAD の経験 - アゴラテンポ



「時間」という言葉の喚起に関連する自治体の地理的分布は、私たちが研究するほぼすべてのアゴラの傾向を繰り返します。EGOとALTERの両方で、リオデジャネイロの大都市圏の自治体の人々は、天候、特にノヴァイグアス(下の図168)に関心を持っています。地域の地理的分布は、EGOおよびALTERの傾向を確認し、主に

、以下の表168に示すように、内部よりも大都市圏における時間に対する関心をはるかに高めている。

表 168 - 市町村の地理的分布 - アゴラテンポ

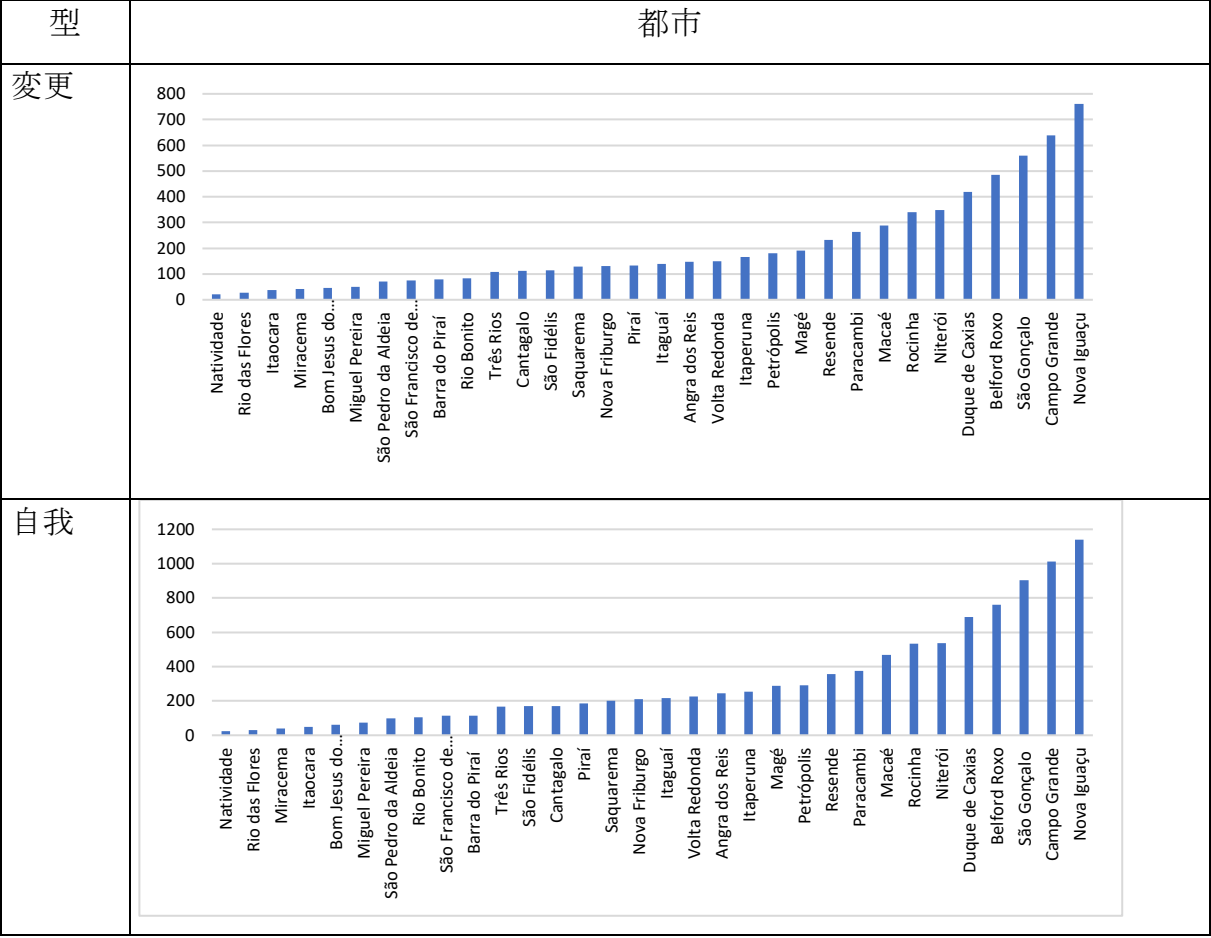
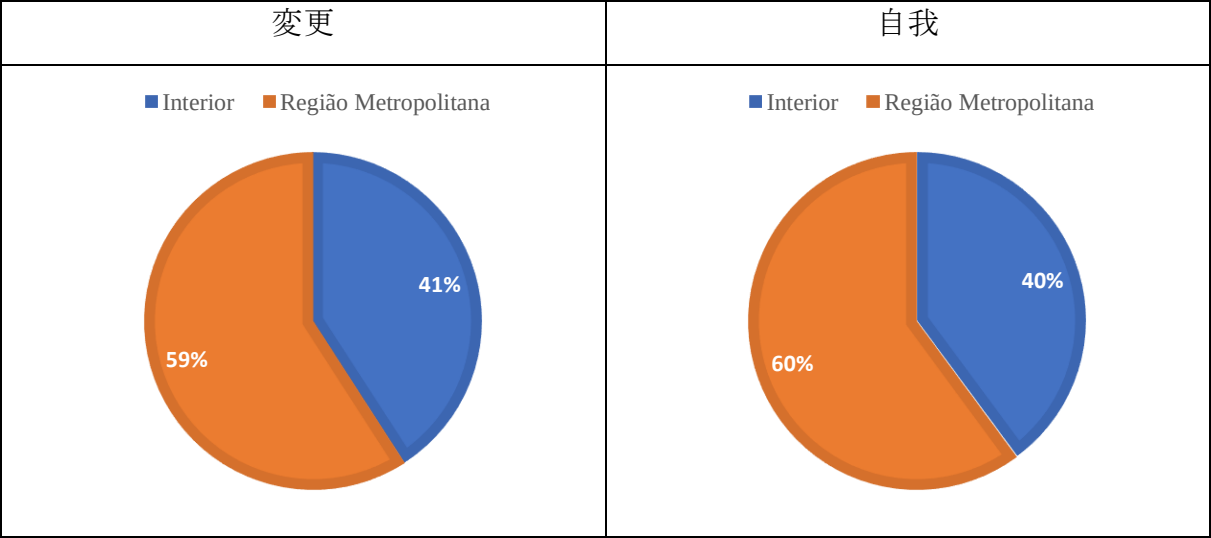
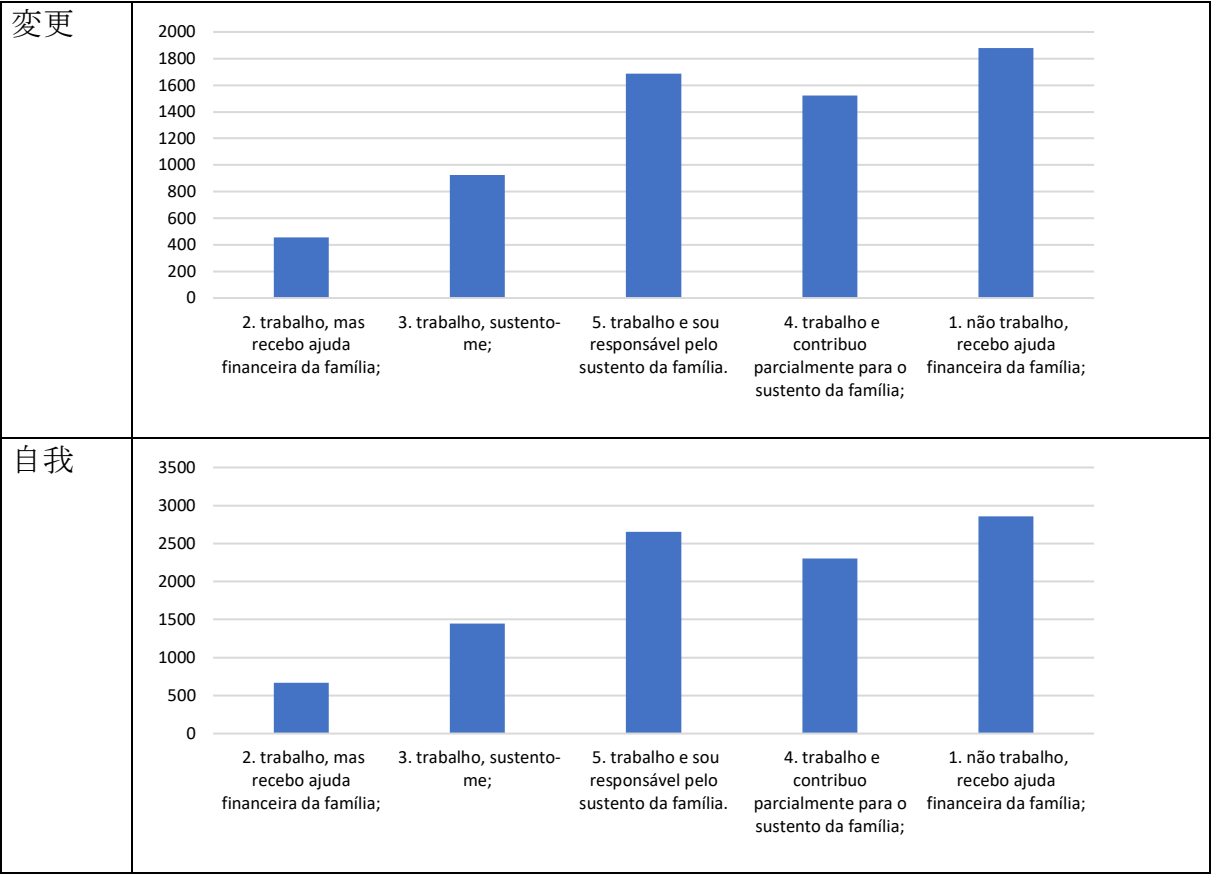


表 169 - 地域の地理的分布 - アゴラテンポ



時間は、以前のアゴラとは大きく異なる家族への経済参加の絵を生み出していないようです。EGOとALTERでは、「時間」という言葉は、主に仕事がなく、家族から助けを受けている人、次いで家族から完全に来て、部分的に来る人によって呼び起こされました(下の表170)。

表 170 - 経済参加 - アゴラテンポ



4.3.13 軸2の結果の全体的な分析

ここでは、研究で見つかったものと一致する社会表現に関連する科学文献に存在する研究で呼び起こされる言葉からなる軸2のアゴラを分析します。

利便性

アゴラの利便性は、カケナーテ・モウラ(2006)などの著者による文献レビューで見つかり、遠隔教育の主な特徴の1つとして強調しています。

この意味で、この研究の多くの人々にとって、満足度、妥当性、有用性、あるいは日常生活の中で彼らに役立つ利便性さえあることが理解できます。したがって、彼らは遠隔学習を日々の学習を促進するツールと考えています。ムーアやキアズリー(2010)のような一部の著者によると、距離教育は、このモダリティを選択する人の多くはもはや大学時代、仕事、または子供を持っていないので、快適であることを目的としています。したがって、自宅で、またはあなたが望むいつでも勉強の利便性は、この聴衆にとって理想的であろう。この表現に関しては、この研究では、年齢が高いほど、エゴに呼び起こされているように見えるほど評価することが可能であった。このデータにより、遠隔教育によって提供される利便性をテーマにした若者の懸念があると仮定することができ、24歳から、この表現の進歩が大きい。変更が重要でない限り、このアゴラに与えられた重要性は18年から37年の間バランスを保っているようです。カンポスの感覚の生態(2017)によって、存在の物質的条件によって構成された利便性を解釈することができます。

利便性という言葉を正当化できるものは、変化とエゴの両方で、大多数が彼らの家の主な提供者であり、それ自体が表現だけでなく、研究に仕事を調和させたいという願望を正当化することに注意できることです。

コストと経済

この特定のケースでは、意味的にこれら2つの喚起が同等であり得ることを理解しているため、コストと経済表現を一緒に分析します。しかし、また、アゴラス(コストと経済)に異なる視聴者が含まれている可能性があることを示すために、異なる分析を行います。

アゴラのコストでは、この表現を呼び起こした大多数は、経済よりも年齢層の高い人々で構成されています。最初の(コスト)は36歳から38歳の男性で構成され、2番目の(経済)は24歳から26歳までの女性によって、そして2つのアゴラはリオの大都市圏の人々によって呼び起こされました。どちらか一方のアゴラを単独で解釈することの重要性は、この特定の公衆の下では、若い人たちはコストを気にせず、高齢者の間でそのような懸念が存在するという事実によって裏付けられています。しかし、これらの表現の分析により、語彙の使用は、年齢範囲の変動に応じて、効果的に財

政問題に来ることを理解することができ、この事実は、各年齢層の人生経験に関連している可能性があります。これは、費用について言及した人の場合、ほとんどが家族に経済的責任を負い、支払い可能な伝票、生活費などのコスト関係とより直接的な関連付けを持つためです。経済に言及しながら、ほとんどの人は働いておらず、持続しており、コストの喚起に内在する金融のニュアンスは、他のグループのように彼らの人生の文脈の一部ではないとの解釈につながっています。大多数は、両方の表現において、変更よりもエゴでより多くの喚起を持っていた、これは、この問題が被験者自身に影響を与えることを示し、被験者が他方であるときにはあまり関連性が低い。

DISTANCEのコストと経済比は、文献レビューでは、例えば、距離教育の主な機能は低コストではなく、教育の柔軟性であると言うベローニ(1999)によって広く批判されている安価と解釈することができます。この著者は、教育の民主化ではなく、教育企業のグループがより多くのお金を集める理解になるので、社会的に利益がないことを理解して、安価なモデルを批判しています。しかし、ムーアとキアズリー(2010)は、教育費を削減することは教育構造を拡大し、レベルの不平等を助けることを理解しています。五感の生態に関しては、この表現は存在の物質的条件に関連する可能性があり、この要因自体は距離教育の探求の正当性である可能性があり、つまり、被験者は財政状況のために安価であるため、THEを求める。

困難

このアゴラは軸1で対処されています。

規律

この分野は、学生の教育の集中化のモダリティであるため、学生の学者によって広く取り上げられているため、この適性は学生の良いパフォーマンスに不可欠です。一部の著者は、多くのコースは教育的ではなく、アンドラゴギック(MOORE、2007)、つまり大人向けに設計されたプロセスで働くので、子供には遠隔教育は不可能であると主張しています。定義上、EADは、学生が教育プロセスの中心になる

ことを提案しています。この中心性は、それ自体が規律と時間の組織の重みを運びます。私たちは、教師が与えられたテーマについて口論的に説明し、学生が教師の提案とステップを受け入れる教育における特定の古典的な構造で学ぶことを条件としています。教育の責任者が学生であるシステムには慣れていませんでした。このパラダイムシフトは、あなたの学習を行うために必要な規律を必要とします (FORMIGA; リット、2009; ムーア、2007; ムーア; キアズリー、2010)。

興味深いことに、アゴラの規律の場合、喚起は変化よりもエゴの8倍高かったことに注意してください。オルターとエゴの両方で、私たちは、彼らの家族によってサポートされ、仕事を持っていない被験者の24～26歳の支配的な範囲を見つけました。五感の生態(CAMPOS、2017)との関係において、被験者の特徴の傾向から「意識、意志、道徳」に関する関係があることを理解しています。

容易

このアゴラは軸1で対処されています。

柔軟性

このアゴラを生み出す表現は、文学レビューのいくつかの研究で関連性を持って取り上げられており、距離高等教育の実現のための主な理由と魅力の1つと考えられている(MOORE; キアズリー、2010)

.この社会的表現自体は、時間や勉強の柔軟性などのいくつかの意味をもたらし、国でこの形式の教育を求める人々の大半が働くことを考えると、ブラジルのモダリティの大きな魅力になる可能性があります(ABED、2016; アブレーアド、2008; ANT; リット、2009; MOORE、2007)は、最も呼び起こされたようにこれらの表現を持つことは必ずしも驚きではありません。ブラジルの文献レビューで求められているすべての研究において、この表現は、s図s

6および7(p49および50)に見られるように顕著に現れた。また、研究は、その一般の人々に関連して、大多数が大学時代と、リオデジャネイロの大都市圏から24歳から2

6歳までの女性によって形成された最大の影響を持つ年齢層から離れ、同年代に注目されています。

しかし、CaregnatoやMoura(2006)などの著者によると、柔軟性は、規律がある場合にのみ遠隔教育に柔軟であることが可能であると指摘しています。カンポスの感覚の生態(2017)に関しては、この社会的表現は、被験者が快適で、例えば働く必要性に関して彼のルーチンに直接害を与えない一種の教育を必要とする存在の物質的な条件に関連していることを強調する。

インターネット

インターネットの社会的表現に関しては、これは今日、今日の主要なエンジンの1つであり、おかげで、教える距離のモダリティは非常に低コストになり、毛細血管が得られ、地理的に教育を受けているかもしれない人々に会うことができます(BELLONI, 1999; 海岸から; フランコ, 2005; ANT; リット, 2009). 分身とエゴの両方でインターネットのアゴラを呼び起こした一般の人々は、主に18歳から20歳の間の人々であり、教育の道具としてこの媒体と若者の関連付けにつながります。性別に関しては、ほとんどの男性は質問がエゴに向けられたときですが、状況は変化の中で逆転し、主に女性によって構成されています。また、働いていない人の大多数が、その親戚から資金援助を受けていることに注意することも可能です。

インターネットは、最も引用されている中で、物質的要素である唯一の表現であり、EADの構成要素である。プラットフォームや家庭教師としての遠隔教育を構成する他の要素は直接関係しておらず、前述のようにTHEを介してこのコミュニケーション手段を持つ強さの考えを強化しました。また、遠隔教育構造の知識の欠如は、この場合、インターネット、車両としてTHEを混同する研究につながると解釈することが可能であろう。

五感の生態の観点(CAMPOS, 2017)では、このアゴラは物質的な存在条件に結びつくのが理解でき、人気の観点から最も引用されたものの中での参入を正当化する可能性もあります。

機会

社会的表現の機会は、喚起の数に関して最も重要であり、10,539人がこのアゴラの最大の表現を担当するエゴで呼び起こされます。一方、6,238人が改ざんの答えを代表した。エゴの大多数の年齢層は27～29歳で、変更のために24歳から26歳であった。この点で、これらの人々のほとんどは大学とみなされる年齢から外れ、距離卒業に出席できる可能性を考えるべきこれらの人々にとって、表現機会の肯定的な意味の帰属につながると仮定することができます。この時点で、我々は「第二のチャンス」の教えとして指摘されているに関する文献レビューと関連することができる(SCHLICKMANN

ら、2009)。しかし、これは必ずしも何か悪いことである必要はなく、学習モダリティとしての距離教育の選択の優位性、すなわち教訓的な資質のためではなく、むしろ機能的であるという事実を明らかにするだけです。機会であることの問題は、これらの回答者のほとんどが働いておらず、家族に支えられていると言っていることを分析すると、雇用の欠如と訓練を考慮して、EADで彼らの生活の中で機会の形を見ることができると分析したときに補強されます。これに加えた、高齢。もう一つの特徴は、主に大都市圏の女性で構成されているセックスの問題です。

社会経済的に関連する社会的表現の機会は、異なる意見を持つ著者による文献レビューをもたらした確認をもたらします。フォルミガとリト(2009)にとって、EADは大学時代に勉強する機会がまったくおらず、資格を得る必要がある聴衆を引き付けます。これに対抗するため、シュリックマンや協力者(2009年)などの著者は、たとえモダリティがこの一般の人々によって劣っている資格があっても、卒業証書を達成するという観点からそのような研究方法に提出することに同意すると考えています。

カンポスの感覚の生態(2017年)に関しては、この表現は意識、意志、道徳に結びついていると分類し、被験者の親密なフォーラムの側面(例えば、失業から抜け出す意志と高齢)は、人生の昇天方法としてTHEに代表される解決策によって慰められていると理解されています。

実用性

アゴラの実用性では、エゴに関してははるかに高い数があり、変化の2倍以上があることに注意してください。このアゴラに関して、18歳から始まり、26歳までがメインオーディエンスとして広くバランスのとれた年齢層に気づくことが可能であることがわかります。

文献レビューでは、敏捷性と使いやすいとしてTHEのくもくも膜的なバラクティズムに関連するいくつかの点で実用性の理解を見つけ、そのような側面が関連するルーチンに適した教育形式の構成を見つける。この表現は、時間、柔軟性、容易さなど、この研究で既に探求されている他の人とのリンクを持つことができます。

カンポスの感覚の生態との関係(2017)では、このアゴラは物質的な生活環境として組み立てられ、例えば家を出ずに勉強のしやすさに結びついていました。

時間

アゴラ時間はアゴラ的機會と並んで最も重要なものの1つですが、後者とは異なり、時間表現はおそらく親密な理解(良心、意志、道德との関係)ではなくTHEの特徴と関係があります。時間の概念は、柔軟性を提供する非同期アクティビティを開発する可能性から、ムーア(2007)などの一部の著者によってもたらされた時間の節約の概念まで考えることができます。

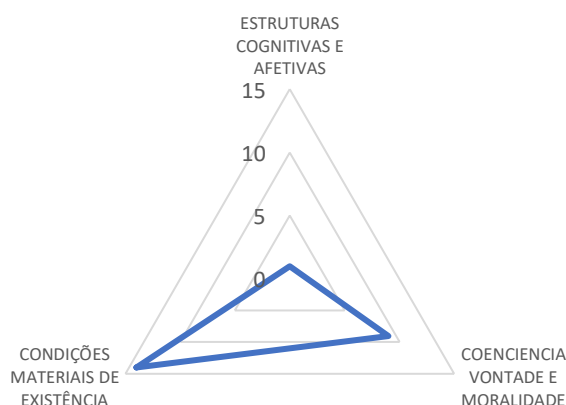
このアゴラの形成は、10,113以上の喚起を持つエゴのためのハイライトポイントを持っていますが、変更のために、6,570があります。エゴと変化の両方の場合、年齢層は、リオデジャネイロの大都市圏で18歳から26歳の間にある一定の類似点を有する。ほとんどは仕事がなく、家族によって支えられています。また、このグループの半数以上がTHEの経験を持たないことも注目されています。したがって、26歳までの若者は、時間の概念に対する関心や理解が大きいと推測できます。

五感の生態(CAMPOS、2017)に関しては、被験者の日常生活に関連するTHEの周りの物質的なつながりを、おそらく時間最適化の面で日々の生活を促進するという意味で再び理解することができます。

観測 - 軸 2 - アゴラス文学レビュー

世界のイメージ形成における感覚の生態を考えると、以下の図24の分析が見られ、これらのアゴラは主に被験者の日常的な問題と彼の社交性、意識、意志、存在の道德と物質的条件、研究の基礎理論の意味の構成の層によって形成されていることを理解することができます。

図24 - 理論的枠組み:感覚の生態学における文献レビューのアゴラ



興味深いことに、被験者の認知的構造と情動構造の理論の第3層は、この軸2: アゴラス文学レビューのいかなる表現とも関連付けられていないことを強調する。

4.4 軸3 - アゴラアフィニティプランの分析

4.4.1 はじめに

この研究でこれまでに提示されたものから推測されるように、アゴラの形成は、構造的・方法論的提案Abrie(1994)によると、社会的表現の喚起の体系的パターンの作成を考慮して、2つの理論的貢献から生まれ、一方で、我々はネットワークとグループの形成と理論の貢献に触発されています(MARTO、2002年)、方法論的段階で既に明らかにされているように。このように、この研究の軸1および2に適用されたように、社会的表現およびそれを構成するグループを特定の表現上のハブを形成することが可能であった。しかし、社会的表現による人々のグループ化をより広く理解するには、複数の表現を持つハブを作り、イデオロギー的親和性の負担が大きくなる可能性があります。実際には、この研究の場合、一致するRSだけでなく、2、3、4、さらには5つの社会的表現によって人々を結び付けることができ、

したがって、我々は、同じアゴラにグループ化された異なる喚起の数が多いため、この研究の場合、テーマに関連してより大きなイデオロギー的親和性を持つ

分散した人々のアゴラを作成しました。実際には、呼び起こされる用語の偶然の数が多いほど、被験者間のイデオロギー的親和性が高くなると推測します。これらの親和性に、我々は計画と呼ぶ。軸1と2は、一致する言葉によってのみ形成されたため、飛行機1アゴラスによって行われました。しかし、計画2、3、4、5のアゴラスがあり、後者は個人間でより大きなイデオロギー的親和性を持つものになる可能性があります。また、統計的には、方法論に見られるように、それらの間に持たなければならない偶然の数のために、他の飛行機よりも1つの計画が存在する可能性が高いことも理解されています。つまり、アゴラスのアフィニティプランは、私たちが作成する方法論の詳細な概念であり、共通の表現、つまり特定の主題についてよく考える人々をテーマ別にグループ化することが可能です。

回答者はAEdについて最初の5つの言葉を表現するように求められたので、この解答では、最大5つの親和性計画を得ることが可能でした。1から5の一致した喚起まで、異なるレベルで親和性がありました。しかし、この部分では、変化の偶然の出現がほとんど重要ではなかったので、エゴに関連してのみ表示される5つの一致する社会的表現の最大レベルを実証します。最も可能性の高いアゴラ形成(平面1)、すなわち共通の起起物のみの、軸1および2の前のサブチャプターで実証され、議論された。

4.4.2 アフィニティプラン

最大アフィニティプラン(5つの単語または表現)の最も高い発生率を分離する過程で、私たちはエゴで見つかった2つの最大のフラット5アゴラの下にリストしました。彼らはそれぞれ、以下に観察されるように、呼び起こされる5つの表現で絶対に平等に反応した19人と29人を有する。

表 171- レベル 5 EGO アフィニティー・プラン、より高いオカレンス

ソーシャル表現	件名
規律, 組織, 動機づけ, プロアクティブ, 自律性	19
規律, 組織, 動機付け, プロアクティビティ, 好奇心	27

研究されるアゴラスを混乱させることに問題がないように、19人を「A1プラン5」と呼び、もう1人を「A2プラン5」の27人と呼びましょう。

しかし、この研究のこの部分の主な動機は、この研究に記載されている他のより豪華なものに関連して、ここで提示された被験者の数がピフィオスのように見えることを理解し、できるだけ多くの人々を捕獲しないことです。ここで重要なのは、アゴラスとの研究のより広い可能性を実証することだ。もう一つの重要なポイントは、ステミングが実行され、偶然が文字通りであることを理解することです、つまり、これらの被験者は、これらのアゴラがレベル5のアフィニティプレーンによって作成されるように、まったく同じ単語を書かなければならなかった。

4.4.3 アゴラ・デ・A1プラン5 (規律、組織、動機付け、プロアクティビティー、自律性)

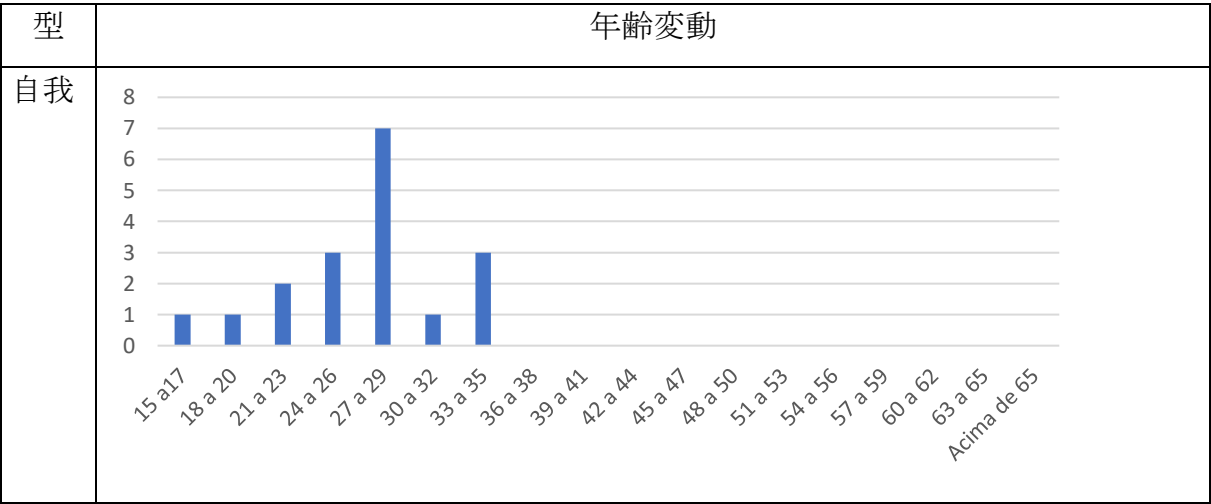
このアゴラでは、以下の表に示すように、変更でこれらの同じ表現を持つ2人しか見つからなかったのもので、EGOのみがチェックされます。

表 172 - A1 計画 5 の EGO の喚起

アゴラ	人々
自我	19

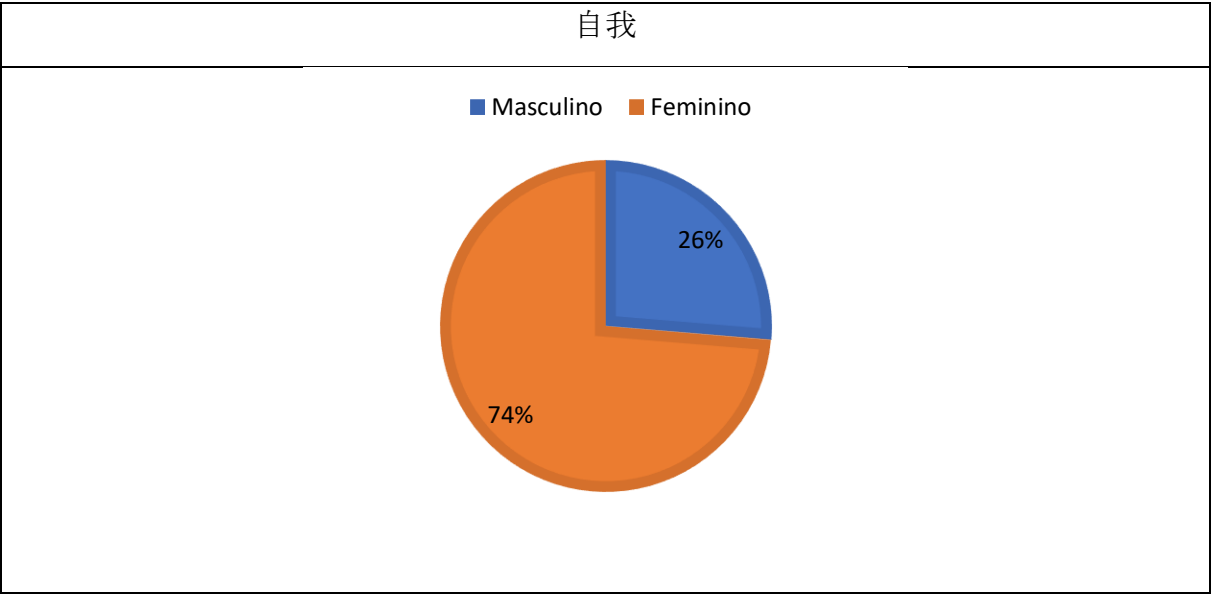
図173(下)では、このアゴラの年齢変動に関して、最も多くの人々が27歳から29歳の間にあることに気づいたが、24～26歳と33～35歳の範囲でいくつかの小さなピークを見ることもできます。

表 173 - 年齢バリエーション - アゴラ "A1 プラン 5"



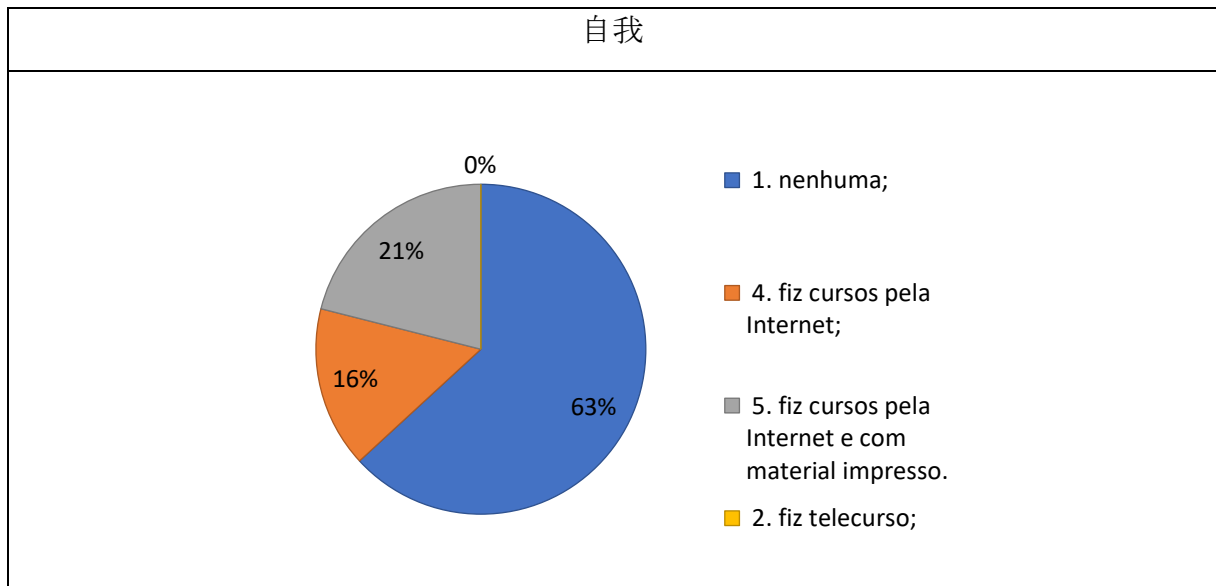
アゴラA1計画5の形成に男性の過半数の数があることに気づくことが可能であり、その後、それはこのアゴラの人口の約3/4で構成されています。少数派(26%)女性で構成されています。以下の表
174
では、これらのステートメントを示します。

表 174 - セックス - アゴラ "A1 プラン 5"



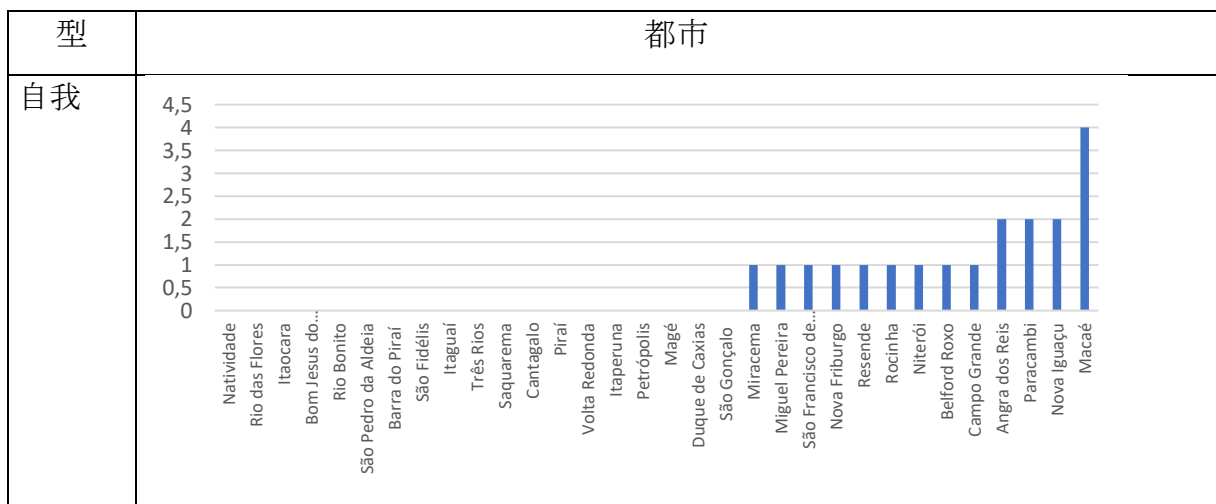
私たちは、THEとの経験に関連して、ほとんどがこのタイプの教育の経験を持っていない、これは、以下の表175で理解できるように、この聴衆の63%で大多数であることに注意してください。

表 175 - EAD の経験 - アゴラ "A1 プラン 5"



地理的分布では、リオデジャネイロ州の内部、特にリオデジャネイロ北部のマカエ市からの人々の発生率が高くなることに気づくことが可能です。以下の表 176 を参照してください。

表 176 - 市町村の地理的分布 - アゴラ "A1 プラン 5"



経済参加に関連して、彼らの大半は、このアゴラは、グループのほぼ70%で、家族によってサポートされている人々で構成されていました。データは、下記の表177で見ることができる。

表 177 - 地域の地理的分布 - アゴラ "A1 プラン 5"

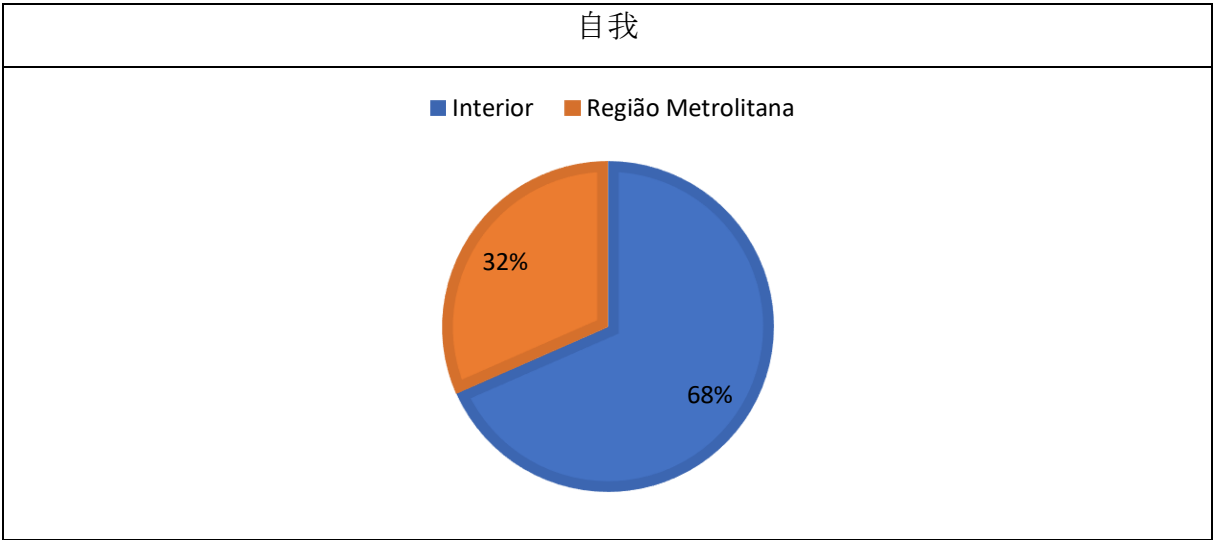
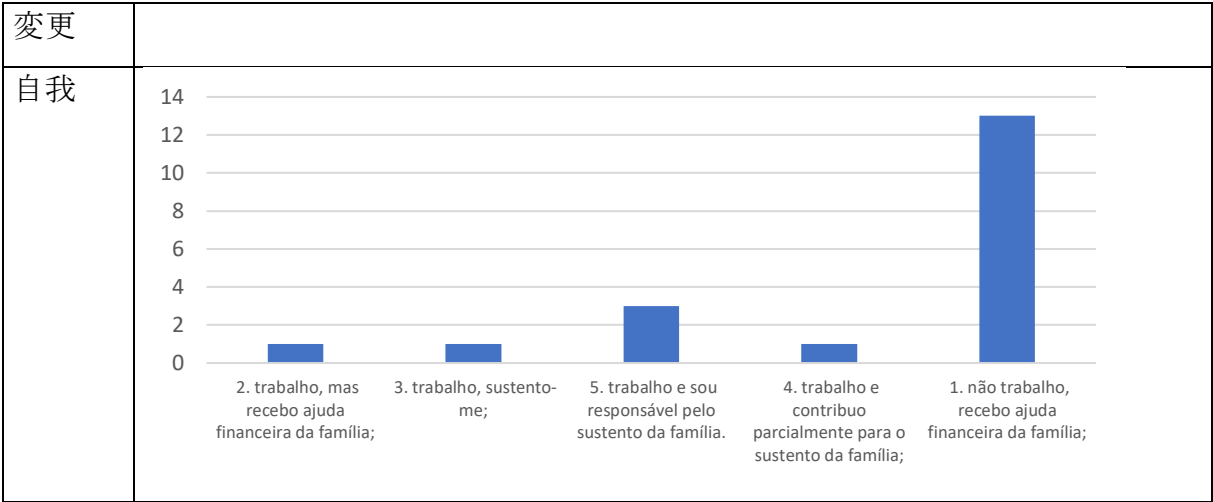


表 178 - 経済参加 - アゴラ 「A1 プラン 5」



4.4.4 アゴラ・デ・A2プラン5 (規律、組織、動機づけ、プロアクティビティー、好奇心)

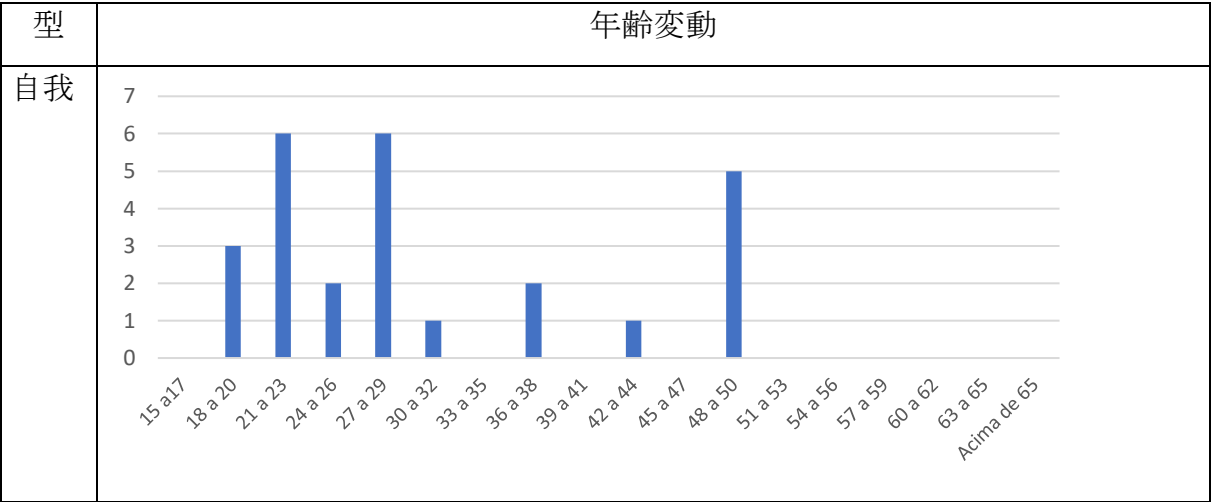
このアゴラの形成は27人で構成され、計画5のアゴラのために達成された絶対的な言葉で最大でした。提示された結果は、エゴのみを参照しています。

表 179 - EGO の呼び出し

アゴラ	人々
自我	27

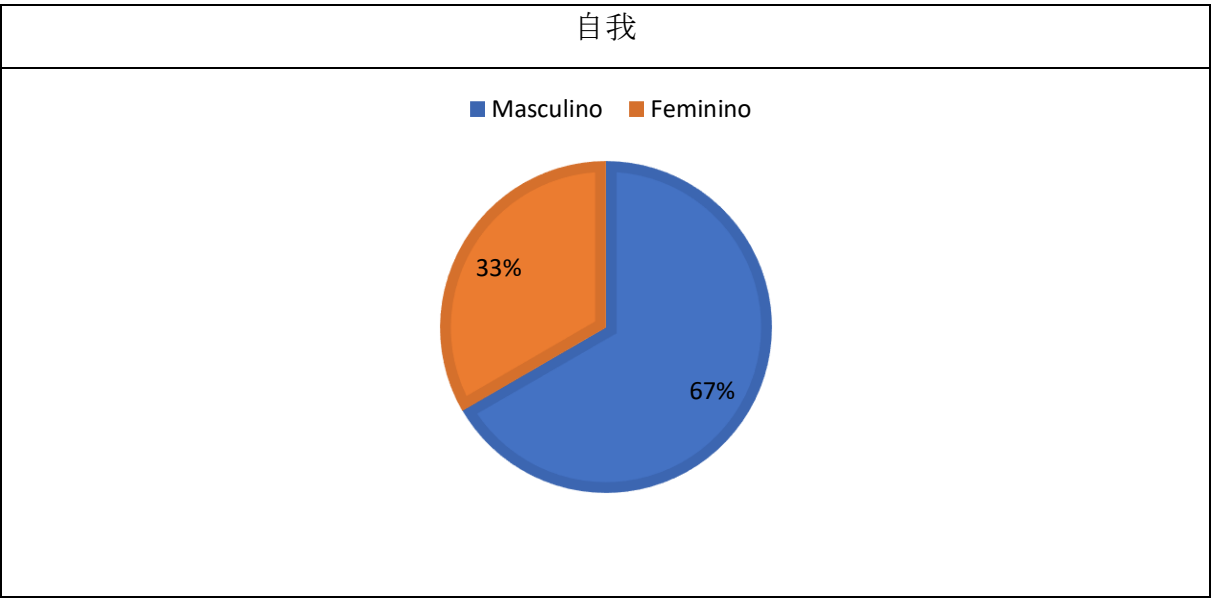
このアゴラの年齢変動に関しては、21歳から23歳まで、もう1つが27歳から29歳までの2つの主要なバンドが数値的に結びついていることを見ることはできますが、3番目に顕著な範囲は48～50歳の範囲です(図表180、下)。

表 180 - 年齢バリエーション - アゴラ "A2 プラン 5"



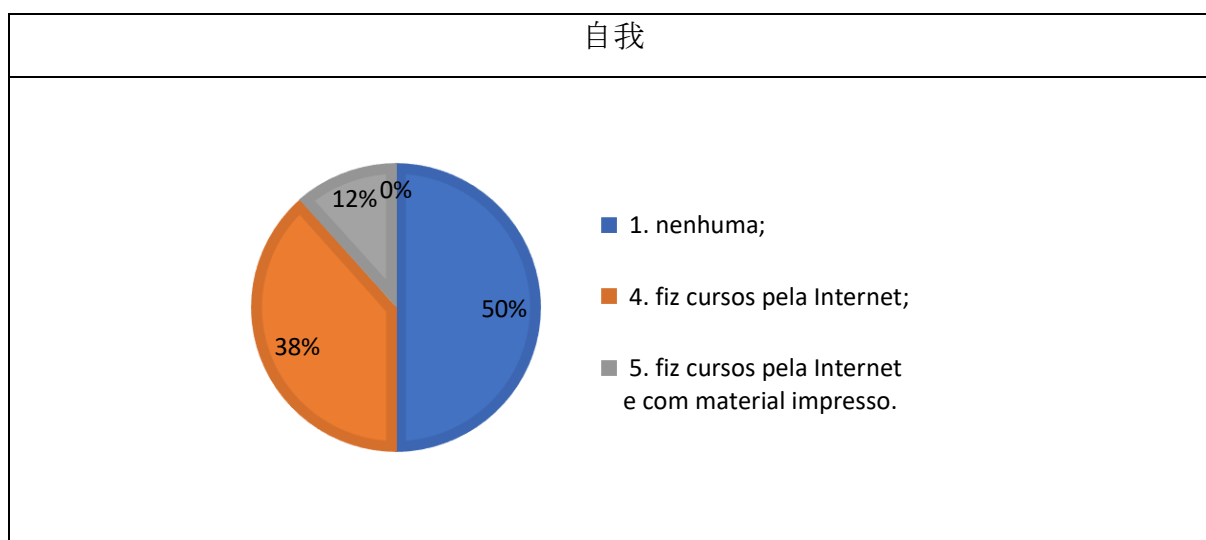
アゴラA2計画5の形成に男性の過半数が存在し、形成された大多数の構成員であり、女性の一般市民に33%しか残さなことに気付く可能性があります。表 181では、以下にこれらのステートメントを示します。

表 181 - セックス - アゴラ "A2 プラン 5"



私たちは、大多数が以下に見ることができるように、回答者の50%で構成されている遠隔教育の経験を持っていないというTHEとの経験に関連して以下に注意することができます。

表 182 - EAD の経験 - アゴラ "A2 プラン 5"



地理的分布では、リオデジャネイロ州の内部から人々の発生率が高いことに気づくことは可能ですが、これらの喚起の最も多くが発生した都市は、リオデジャネイロの首都圏を構成するノヴァイグアスでした。

表 183 - 市町村の地理的分布 - アゴラ "A2 プラン 5"

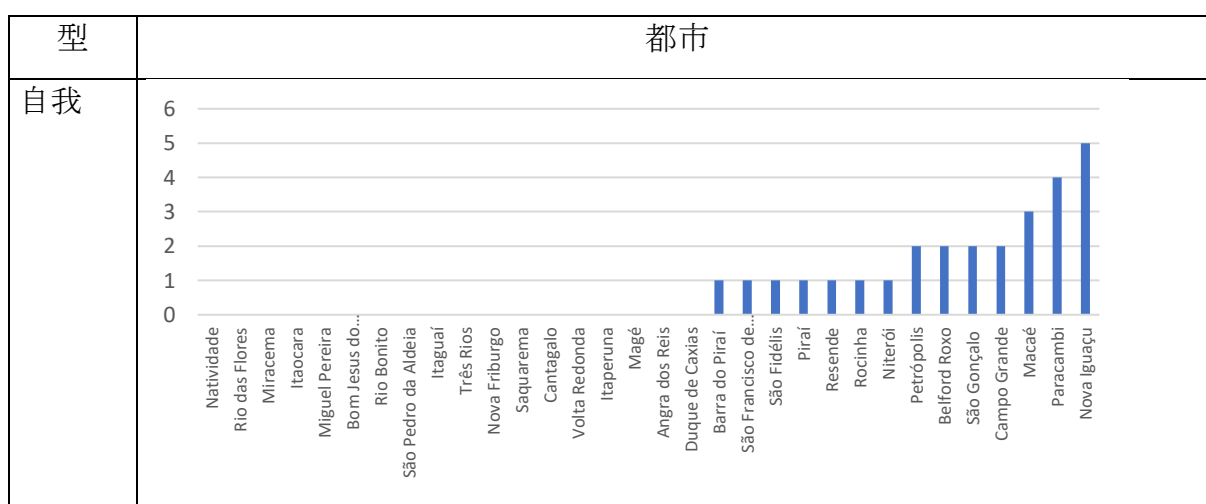
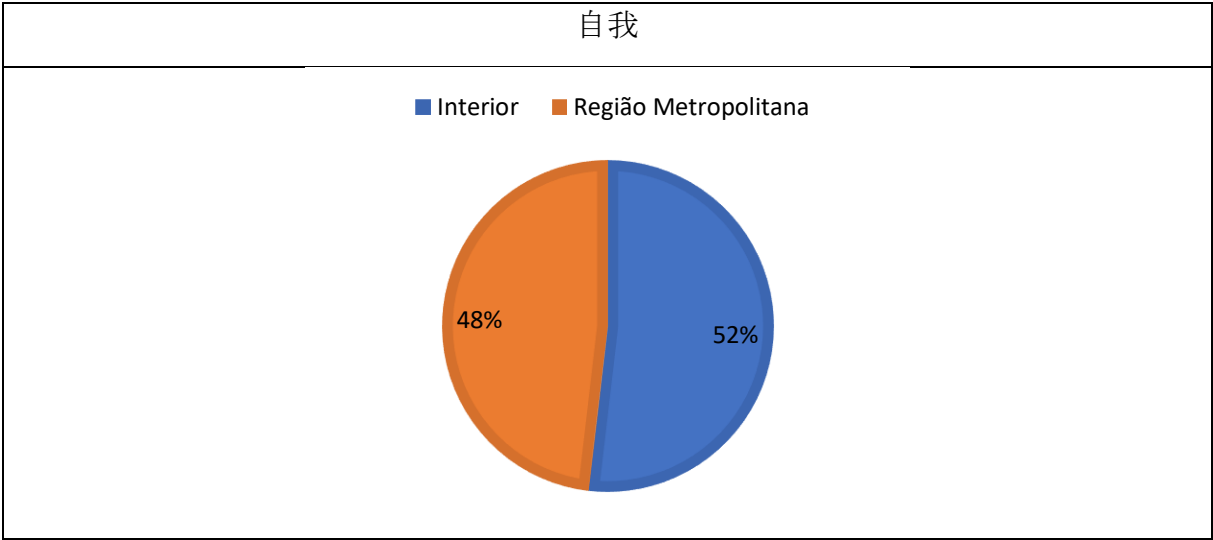
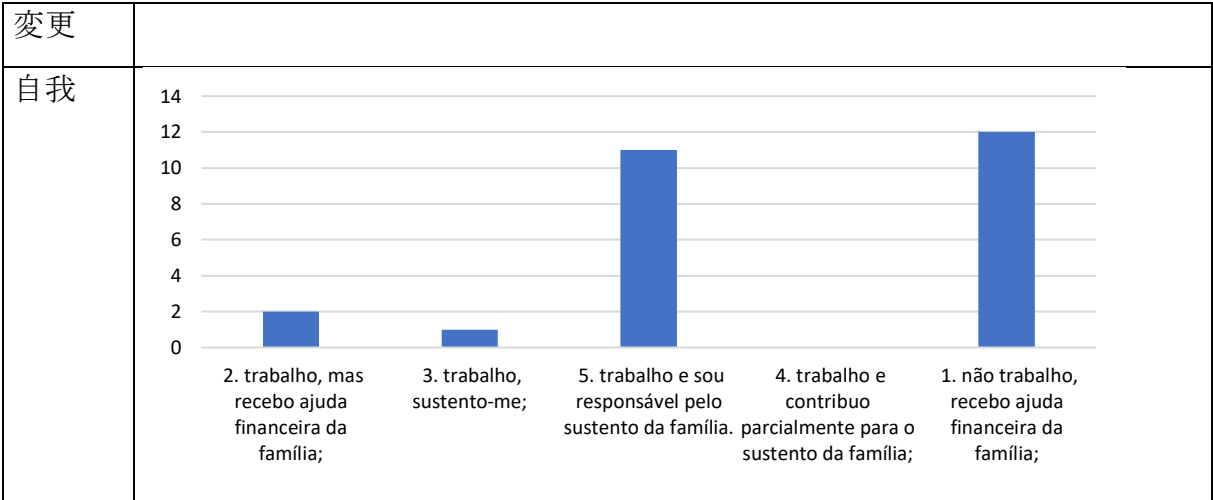


表 184 - 地域の地理的分布 - アゴラ "A2 プラン 5"



経済参加に関しては、大多数が家族の支援を受けることを宣言したものの、家族の利用者である最初のグループ、つまり家の支援を担当する人々とほぼ引き寄せる回答者のグループがあることに注意してください。(表185、下)。

表 185 - 経済参加 - アゴラ 「A2 プラン5」



4.4.5 軸3の結果の全体的な分析

展示する2つのフラット5アゴラの分析は、それらを比較し、共通のポイントを検証するために、このアイテムで共同で行われます。最初は、一方が1つと他方の形成の類似点を強調することができ、2つは親和性のために計画4アゴラに含まれる

という考え方を強調することができます。観察されるべき重要な点は、アゴラ「A1 Plano

5」では、表現規律、組織、自治が最も引用された50の中にあり、「A2プラン5」では、最も引用された50のグループの外の言葉、すなわち表現の動機、プロ活動、自律性が大多数の形成であったということです。2つの形成は、主に27歳から29歳までの同じような年齢層で働いていないリオデジャネイロ州の内部の男性で構成されています。

個人の見解では、マカエ市の男性とリオデジャネイロ州の内部の男性によって形成されたその大部分を占める「A1プラノ5」は、家族に支えられている30歳近い(27歳から29歳)の人々で構成されています。この場合、この特定のグループで呼び起こされる表現との地理位置情報(Macaé)の関係を観察することは興味深いです。その後、アゴラA1プラン5を構成する規律、組織、動機、プロティビティ、自律性がこの地域の語彙の一部であると推測することができます。

アゴラ「A2プラノ5」の場合、27歳から29歳までの範囲の優位性とノヴァイグアス市をより多くの人々を集中させた場所として、より多くの年齢の多様性を見ることができます。このグループは、大部分は働いていない人で構成されています。

感覚の生態(CAMPOS、2017)に関しては、物質的条件や認知的構造、情動構造に関する相関関係を持たない、意識、意志、道徳に関連するすべての表現を分類します。この理論にも取り組むことができる重要なポイントは、共通の表現は、マカエ市の典型的な自然と社会環境の交換で封印することができるので、カンポス(2017)が提案した被験者間の関係との関係です。

これらの表現的親和性を持つきっかけを理解するためにこの研究に求めないことを注目に値しますが、被験者間の相互作用と彼らの人生経験の共有によって形成されることを観察することができます。

4.5 軸 4 - アゴラの関係分析

4.5.1 はじめに

この研究の軸では、この研究で既に行われているように、社会経済的プロフィール全般を分析するのではなく、オルタナトとエゴを分離するアゴラスの関数としての表現の再現を分析します。ここでの作業は、アゴラとその表現を組み合わせることで構成されています。この段階の伝導は、この分析のために選択された3種類のアゴラを持っています:1つは、EAD自体の構成要素を参照している唯一のものであるため、他の表現から逸脱するため、インターネットアゴラ(軸2)からのものになります。他のものは、軸1と2、2つの否定的(偏見と弱い)、1つの疑わしい(困難)と最も呼び起こされる(機会)に従って選ばれました。

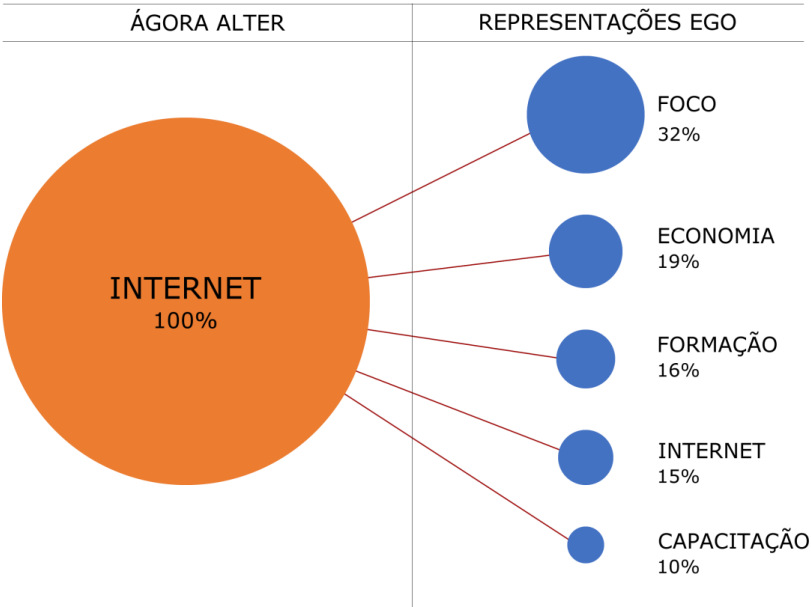
4.5.2 リレーショナル分析エゴとオルター

強調する重要な点は、アゴラとエゴの表現と変化のグラフに表示されるパーセンテージ関係の割合です。各表現は、アゴラのメンバーである人々の数に応じてその合計を持つことになります。各人が最大5つの社会的表現を呼び起こすことが出来るので、その合計が100%を超える場合が起こる可能性があることを強調する。

変化におけるインターネットアゴラの関係分析

以下の図を分析することで、インターネットアゴラを形成した人々は、焦点、経済、トレーニング、インターネット、トレーニングなど、エゴの中で最も引用された表現として変化がなかったと結論付けることができ、その32%が焦点を当てています。

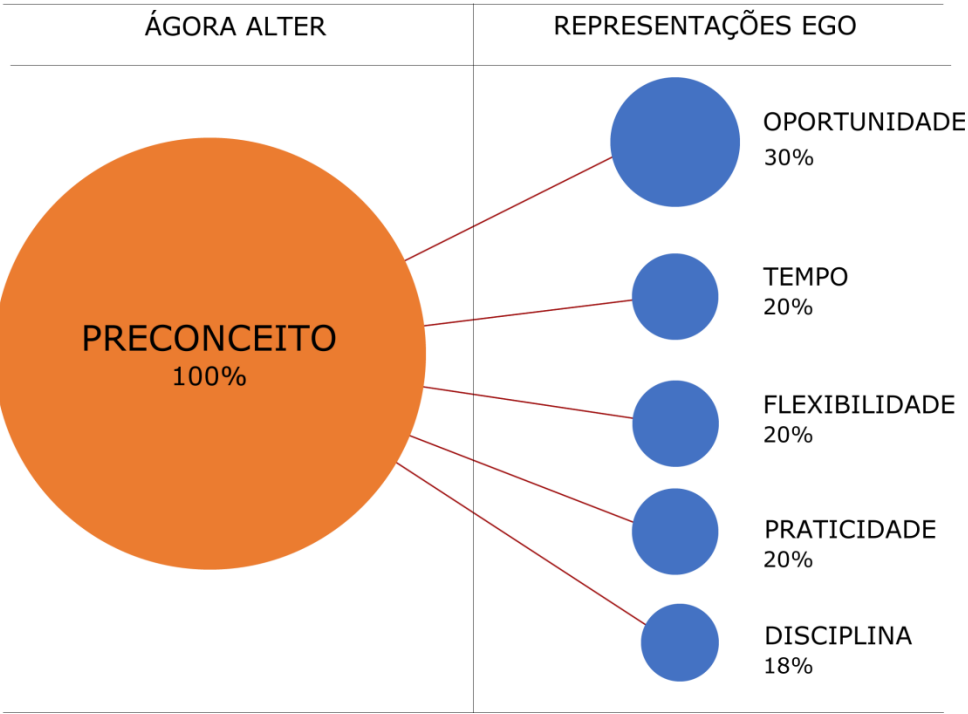
図25 - アゴラインターネットの変化やエゴの社会的表現



変化におけるアゴラ偏見の関係分析

このリレーショナルアゴラでは、全体の30%、時間、柔軟性、実用性、規律の4つの特定の表現で20%(近似値)の同等性を持つ、表現機会との重要なリンクがあります。

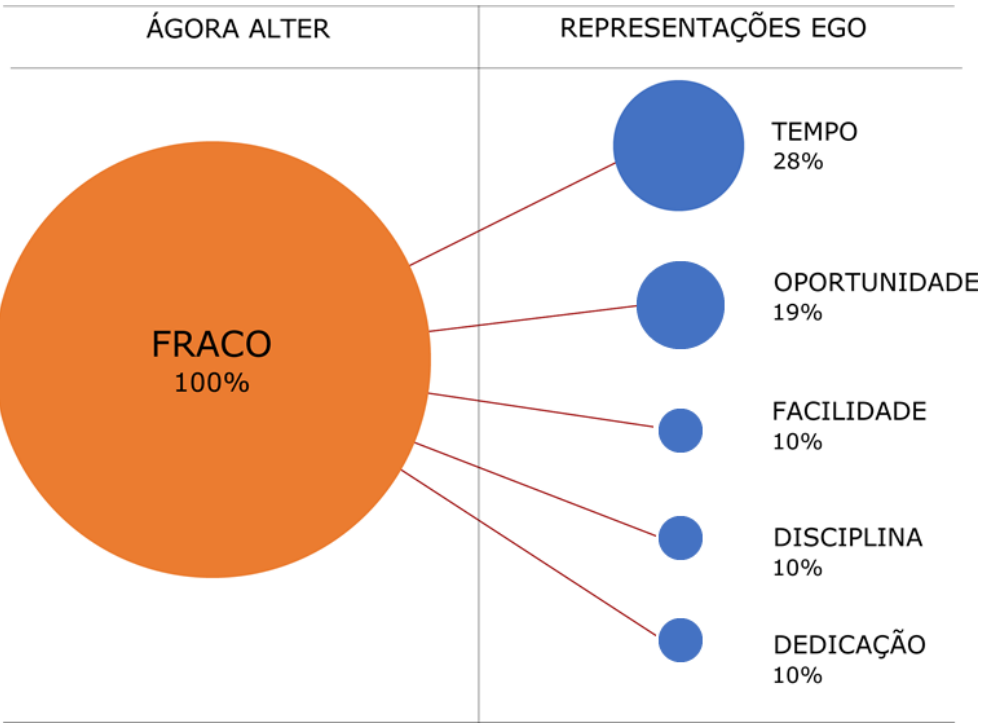
図26 – エゴにおける変化と社会的表現におけるアゴラの偏見



変化における弱アゴラの関係分析

図27に示すように、変化の弱いアゴラを構成する被験者は、時間として社会的表現を有し、これらは28%であり、第二に、19%の「機会」である。その後、約10%で結ばれ、以下の図27に示すように、私たちは簡単で規律と献身を持つことになります。

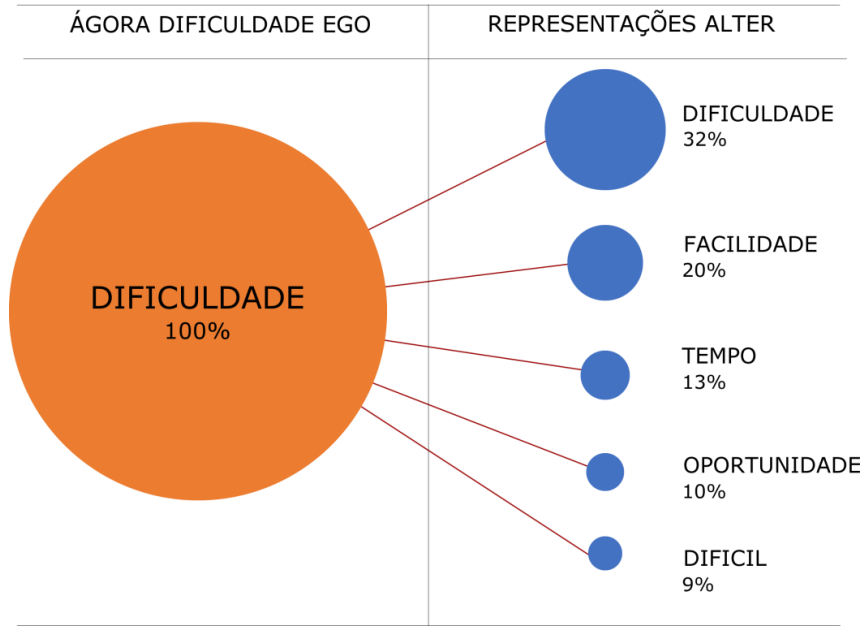
図27 - エゴにおける変化と社会的表現における弱いアゴラ



エゴにおけるアゴラ難易度の関係分析

以下は、図28では、リレーショナルアゴラの難易度では、変化に関連する表現の難しさを持つ人々の32%、つまり他の人がTHEで困難を見ているという考え方を持っています。興味深いことに、エゴによってアゴラの難しさを構成した人は、変化の容易さ、すなわち、収集された表現の容易さを言及しました - 変更-dificuldade(32%)と容易(20%)同じ答えで。このような好奇心は、この軸の結論に反映されています、項目 4.4.3.

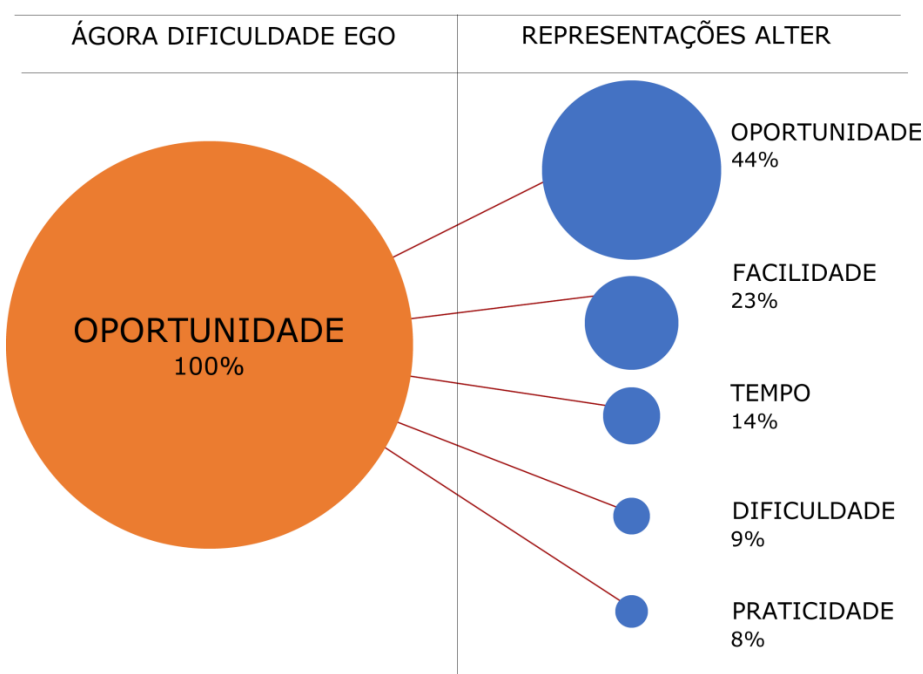
図28 – エゴにおけるアゴラの難しさと変化の社会的表現



エゴにおけるアゴラ機会の関係分析

エゴにおけるアゴラ機会の関係分析では、変化の機会を呼び起こした人が多数いること、つまり、他の人々がこの同じ表現(約44%)を持っていると信じている人が多数いるということを検証することができます。また、時間、難易度、実用性などの低い値を持つ他の人や簡単に注意してください。

図29 – エゴにおけるアゴラの機会と変化の社会的表現



4.4.3 軸4の結果の全体的な分析

この軸では、我々が見てきたように、我々は変化とエゴを異なる、アゴラの関数として表現がどのように再現されているかを示しています。いくつかの反射に行きましょう。全体として(エゴと変化の両方で)研究では、教育とDISTANCEの関係はほとんど確立されていませんでした(50の最も引用された表現のうち8つ-エゴで(16%)、50の中で5つ(10%)。変化におけるインターネットアゴラの関係分析では、エゴに記載されている2つの表現が教育と直接関係していることがわかりました: トレーニング(16%)とトレーニング(10%)。この結果は、人々がより頻繁に分析されたagorasの間で、変化のインターネットアゴラによって接続されている場合にのみ教育とADを関連付けることが示唆されています。これは私たちが驚かせることを考えると、THEは教育モダリティであり、論理的な質問のために、私たちは教育に関連する喚起がより言及することができると想像しました。

変化におけるアゴラ偏見の関係分析については、他方がTHEに偏見を持っていると信じている大多数が、自分自身(エゴ)、機会のために、回答者の30%であることを見ていることに注意することは興味深いです。実質的に等しい割合を構成する他の表現では、規律であるAEを完了するために必要と考えられる別の特徴に加えて、日常生活との直接的なつながりを時間、柔軟性、実用性で見なしています(MOORE, 2007)。

変化における弱いアゴラの関係分析のために、我々は、エゴに関して、社会的表現時間を主とする関係を、約28%有する。私たちが作ることができる関係は、他の人がEADが弱いと考えていると考えた人(貧しい教えとして推測する)、時間を言及した(その欠如として推測する)、自我では、このモダリティにおける独自の存在は、勉強する時間がほとんどないため、他の人の意見が距離教育に対するデメリットの方向性を構成していると考えた。

項目

4.4.2

で述べたように、異常なデータが見つかりました。エゴにおけるアゴラ難易度の関係分析では、変化の表現が容易であることがわかりました。自分自身のために、困難を持つDSを関連付ける同じ個人は、他の人が簡単にそれを関連付け、20%で2番目の位置に数字を発すると信じているので、ナンセンスに思えるもの。難易度と容易さの両方が2つのビュー(1つは正と1つの否定的)を持っていると解釈することができます。最初のケースでは、合格することは困難であり、したがって、教えることは良い(肯定的な見解)、またはTHEが複雑であり、前進するのが困難なプロセス(負)である。2番目のケース – 簡単 – 距離モダリティは、日常(正)または品質が悪い(負)の場合を支援するという事実リンクすることができます。この最後の視点を取って、容易に表現するための悲観的、アゴラ難易度と相関させることが可能であり、また、その負の意味で、遠隔学習が複雑であるという。その後、一見珍しいと思われるこのような関係(エゴの難しさと同じ応答の変化の容易さ)は、この分析を考えると、親和性によって、呼び起こし難しさと容易さに含まれる否定的な解釈に近い、それほど珍しいことではないだろうとわかりました。

私たちが特別な注意を払うもう一つのアゴラは、興味深いデータを抽出できるエゴの機会です。THEが機会(エゴ)であると信じている人は、他の人もそれを分類していると信じている人とほぼ同じで、人口の44%の表現力豊かな数が調査されています。この結果の興味深い点は、逆の考慮を観察することです:変更で機会を表明した人々のグループは、ほとんどの場合、自分自身のために同じ表現を取る人(74%)です。これは、他の人々がEADが機会であることについて考えているのは自分の意見と同じことだと信じている「イデオロギーバブル」の存在の可能性について推測につながります。

4.6 軸 5 - アンケートの最初の 500 有効な回答の分析

4.6.1 はじめに

各表現に従って研究した人口の縮図としてのアゴラの分析に加えて、マクロ分野では、アゴラの視点の外にあるが、EGOとALTERの間の理解を得て研究を行った。そこで、この研究の最初の500人の参加者の社会的表現を用いて研究が構築された。人々のアーカイブは、変更とエゴの両方のために、それぞれの喚起でコンパイルされました。その直後に、データ処理が実行され、さらに2つの列が追加され、これらの表現のセットで単語を分類(表186)、したがって、宣言された5つのうち1つに負の位置があるかどうかを確認することができます。否定的な表現がある場合、下のモデルで見られるように、Xはスコア付けにマークされます。すべての答えを持つ元のファイルは、附属書1で好きになることができます。

表 186- 否定性分類を含む表モデル

件名	自我	変更	ネガティブエゴ	ネガティブ・アルター
1	表現1、表現2、表現3 、 表現4、 表現5.	表現1、表現2、表現3 、 表現4、 表現5.	はい 0	はい 0

4.6.2 軸5の結果の全体的な分析

結論として、読み、マーキングした後、上記で説明したように、合計約45%(22人)が得られ、そのセットに関する改変に関する否定的な表現がいくつか含まれていた。このファイルは、附属書

1

で注記することができます。しかし、エゴの場合、見つかった合計された否定的な表現の数は、わずか4、つまり500人の評価の8%の全体の8%をもたらしました。これらは否定的なものとして理解され、この場合、表現だけでは、社会的表現の恐怖のための1つの出現と3つの繰り返ししかありません。ジャン=ポール・サルトルは、「地獄は他の人である」という言葉を提案するのが正しいかもしれません。そして、この場合、「私」にはほとんど否定的な属性や失格がなかったので、さらに多くの。我々はまた、研究されている一般の人々が距離大学の候補者になることを提案し、これは彼らの否定性を大幅に低下させた可能性があることを理解しています。これを理解して、研究対象は、本当にこのモダリティに入る彼の意図を考慮して、自分自身の中で何か悪いことを観察しないかもしれません。しかし、他方の意見を仮定したものでTHEを失格させることによって、たとえ間接的であっても、遠隔学習を拒絶する可能性があります。軸1が否定的なアゴラを提示し、すでにエゴと変化の間に大きな違いを認識していることを考えると、改変の部分に対する否定的な理解は、このテーゼでは新しいものではないだろう。偏見を構成する可能性のあるTHEのこのような否定的な見解は、文献レビューの他の著者の反映においてもこの研究で示された。しかし、この研究道は、モダリティに対する抵抗性に関する本学の議論を超えた理解を開始する。これは、(否定的な視点

による)偏見の可能性のアプローチは、この研究で開発した概念である変化の観点から作られているからです。

5 ディスカッション

5.1 研究の問題について

この議論では、軸の探索ですでに多くのことが議論されていることを考えると、アゴラスとデータを単独で持ち込まないことを強調することが重要です。これまでのこの問題の軌跡に沿って観察できる一般的な考察を持っていこう。

まず、研究の質問の最初の2つの質問を思い出しましょう：

質問1:アゴラは、社会的表現の理論の範囲を拡張することができるモデルとして関連していますか？

質問2:被験者自身と他者の社会的表現で構築できるアゴラの検証は、文献で検証されたTHEに関する偏見や抵抗に関してうなずき、地域の知識に広がり、貢献していますか？

次のページでは、軸 1 から軸 5 までの重み付けを行います。しかし、まず、アゴラシステムの運用基盤の1つを含む、この研究で使用された自己(エゴ)だけでなく、この研究で使用された自己(エゴ)だけでなく、この研究に関する主題の理解に向けた質問の使用に関する、研究のすべての軸と質問に浸透するいくつかのポイントを提起する必要があります、この過程を通じてデータの解釈とその有用性の差別化された方法論的理解を与える。このトピックでは、エゴに同じ喚起を置いた人の数を確認し、これら2つの分岐部分間のこの差別が理にかなっているかどうかを検証するために変更します。回答によると、調査対象の合計42,626人で、エゴと変更で同じことに答えたのはわずか3,953人でしたが、38,673人の回答者が異なる方法で呼び起こされ、90%以上を占めました。この表現力豊かな統計を単純に理解することは、研究における変化のインターペラサンに関連する研究の重要性の一部を明らかにすることができます。エゴの明確な変化の喚起は、明らかにこの主題が適応し、外部環境を通じて自分自身を行う彼の手段を形成する彼の外部の世界観のより良い理解をもたらすことができます。この変化の認識は、被験者の単なる溶出ではなく、主観的宇宙の環境解釈の一部であり、モスコビッチ(2000年)、ヨヴチェロヴィッチ(2014年)、マルコヴァ(2003年)などの著者を含む現実のものとして現実的である。また、カンポスのビジョン(2017)に浸透し、何かに関連する主題の形成と解釈も彼

の相互作用から、そして他の人のビジョンから、物質的な状況や調停要因から来ていると理解することができます。感覚の生態におけるもう一つの重要なポイントは、社会的文脈と同様に、彼らの感情もまた、被験者の債務/信用関係から他方に向かって来ている。文献でレビューされた外部の概念は、主題の構成要素であり、誰も孤独な方法で人間として自分自身を構成することはできません理解されているほど原始的な理解で提示されています(BERGER、2001)。

また、環境適応の仕組みを持つ柔軟なシステムにおける社会的相互作用の助けとして、他者や環境の社会的表現の重要性を理解することができる。被験者は環境に影響を与え、環境は彼に影響を与え、感情的な反応と表現系の間の交換を行います(BERGER、1986、p.107):(.)

社会的な場所は、私たちの行動に影響を与えるだけでなく、私たちの存在、私たちが何であるかにも影響を与えます。Logoは、この理解において、常に環境典礼を考慮に入れて、被験者を儀式や実体に適応させる必要がある。カンポスの視点(2017)から、感覚の生態学は、被験者が静的な実体ではないことを示唆し、いくつかの象徴的な社会システムで動作し、絶対的または一定の真実(CAMPOS、2017)なしでそれらに適応することができる。生命に関する不変または科学的な真実に対する非要求は、生きるためには、事実の立派なバージョンではなく、世界とその状況を解釈する最低限であるため、常識の存在そのものを示しています(MARKOVÁ、2003)。

環境が私たちに影響を与えるという見解は、社会心理学の他の熟考から遠く離れていません。イラストとして、私たちは、主題が彼の位置、位置と社会的文脈によって定義されたスクリプトに従う役割の理論を取ることができます。この役割の交代は社会的に受け入れられており、個人が人格やエゴを破壊したとは言いません(BERGER、1986;ベルガー;ラックマン、1991).ベルガー自身(2001年)の例を使用して、兵舎内の優れた一般主義者の役割を果たす将校は、彼の兵舎内で強く粗野な立場を取り、尊敬の印として名誉ある敬礼を支払うことを期待し、妻と娘と一緒に自宅で、彼の妻と娘と一緒に自宅で自分自身を提示できることを想像することは困難ではありません理にかなって環境の中で彼を目立つ位置に置くユニフォームとメダルは、自分の家で同じ価値を持っていません。アクシオ腫が優勢であり、コンテキストの論理を形成し、このスレッドでは、時には社会的表現の形式があります。

主題が彼を取り巻く質問をどのように見ているかを理解するために思い浮かぶ質問は、彼が他の人を取り巻く同じ質問の不可欠な部分を考慮することなく、この個人を理解する方法ですか？

(ベルガー、1986;マルコヴァ、2003).また、特定の社会的フォーマットに器械と正当性を与えるためにアイデアが形成されることも理解できます。

被験者と他者との関係が通信経路によって人身売買されることを理解し、カンポス(2017)は、感覚の生態学の重み付けで、交換が送信者/受信者の行為によって行われるだけでなく、受信者がメッセージに対応し、負債や信用感を追加し、彼の宇宙によって再形成されたメッセージ、すなわちメッセージ自体の不可欠なエージェントとして他のビジョンを返す広範なコミュニケーション構成によって行われることを示唆しています。グラボフスキー、2011;グリゼ、1993)。

感覚の生態学のスキーマ化の仮定に基づくもう一つの熟考は、変化を考慮して共鳴するであろう基本的な仮定である:a)与えられた言説の方向がある対話主義、すなわち主題のメッセージは誰かにまたは何らかの文脈状況に対処される。このテーマの場合、DSは文脈とブラジル人、コミュニケーションのターゲット、b)被験者が彼の人生の文脈に関与し、何らかの理由でTHEを求める状況になります。c)コミュニケーションを行うために研究された表現は、自分自身、他のオブジェクトまたはテーマを表します。d)被写体が出現している事前に構築された社会)オブジェクトの非常に構造(GRABOVSKI;カンポス、2014;グリゼ、1996)したがって、分身とエゴに基づく質問の正当性は、彼の周りのすべてに直面する個々の顔を理解することが重要であろう。

この変更の見解は、ここで考える社会的表現の概念的なアライメントと一致し、「対人コミュニケーションの過程で日常生活に由来する概念、提案、説明のセットである。彼らは私たちの社会では、伝統的な社会の神話と信念システムに相当します:彼らはまた、常識の現代的なバージョンとして見ることができます"

Moscovici

(2000);したがって、私は、主題の日々の信念システムが他の人に対する彼の理解に浸透していることを理解しています。この理論的なアライメントは、Abric(2004,p.14)によって開発された社会表現の4つの機能にも反映され、変化の理解を通して、変化の理解が彼自身の現実の理解につながる知識の機能を持つことになります。b)

アイデンティティ機能は、被験者が自分自身を知覚し、また、彼が他の人が自分または特定のテーマや目的を知覚すると想像するものの観点から自分自身を構成することができる。他の2つの側面は、Abricの処方と同じ方法で解釈することができます

(2004): c) ガイダンス機能, 社会における主題の行動と実践の実施と;d)機能を正当化し、被験者が取られた行為と位置を正当化することを可能にする。つまり、概念的には、経験的分野の調査を助けることができる社会的表現の理論の中でそれを仮定することに問題はないだろう。我々は、軸1、2、4、5に置かれた分身と自ゴの使用が大きな価値を持っていることを擁護し、距離教育への偏見のこの研究において関連する利益と良い貢献を考慮する。

5.2 EAD の否定性について

軸1と5については、2人が研究中の負の発生率を反映しようとするので、この説明でそれらをまとめます。これら2つの軸で強調される最初の点として、我々は事実上すべての否定的な表現が変更から来たことを持っています。この現象に対する我々の理解は、主に彼らがこのモダリティのコースの候補者であるため、調査対象者によるTHEに関する偏見がないかもしれないということです。しかし、社会的結社は偏見を持ち、これらの主題が社会的に相互作用する方法に影響を与える可能性があるという理解があります。弱い、悪い、不信感や怠惰などの偏見の表現で他の人に自分の認識を修飾した個人が理解することができます。例えば、学ぶことに同じ重みを持っていることを理解していても、卒業証書の起源を恥ずかしいと思うでしょう。しかし、彼がこの教育形式を利用したという事実は、労働市場(別のもの)の前に彼を失格させるだろう。例えば、軸5の数値データは、500人で45%が否定的な立場を示したことを確認したもので、改変の研究の重要性だけでなく、社会によるTHEの見解を反映させることも確認しています。

それでも否定的な表現の関係について、弱くも悪い面でも、私たちはTHEに向けられた恐怖と不信感との関係を見ました。しかし、表現の怠惰では、興味深いことは、それはモダリティではなく、それに出席する被験者の形容詞であり、距離を研究する必要がある人々を失格にすることです。それは、学生自身が怠惰である

と見なされたときに失格と見なされる可能性があるため、コースが良くなるのに役立たないという事実私たちの注意を引きます。この属性は、弱い表現や悪い表現にリンクされている可能性があります。

文学レビューで引用されたいくつかの著者で、さまざまな方法で検証することができるという考え方: ブラウアー(2008)は、例えば、情報学への抵抗に基づいてAEdへの抵抗をコミットし、その時点で検証する。

ムーア(2007)は、偏見は、この方法論にあまり適応されていないコースの歴史にリンクすることができ、距離コースは対面コースよりも簡単である可能性があると誤って信じていると指摘しています。コレイアとサントス(2009)はすでに距離コースを説明するピックアップスなどの言葉に関するヒントを与えましたが、フェレイラ(2010)は、偏見はアカデミー自体で始まり、教師の役割の変化に関連すると言います。サントス(2006)は、DAを行わなかった人々の一部に偏見がある可能性があることを理解した経験的なケースを挙げ、ベローニ(1999)は、教育を民主化する方法ではなく、教育の質に注意を払わない経済的性質の何かであることを考えると、偏見は正当化される可能性があると考えています。この意味で、この研究で否定的な表現を見つけることは新しいものではありませんでした。だから、私たちが自分自身に尋ねる質問は、すでにいくつかの著者によって踏み込まれた否定的なアイデアがあったので、このテーマにアゴラの貢献は何であろうかです。答えは簡単です。アゴラの目的と貢献は、表現が否定的か肯定的かを検証することではなく、それにリンクされた人々のプロファイルを特定し、それぞれが自分の視点の自然なグループ化によって有機的に形成されることを理解し、各アゴラが実際にこの研究で起こったように異なるプロファイルを提示することです。

各アゴラのこれらの異なるプロファイルでは、分身とエゴの違いを見つけます。例えば、年齢層に関連して、表現の怠惰は18歳から23歳までの大学の若者とより関連し、偏見は24歳から32歳までの年齢層が高いことを観察することが可能であった。不信感などの他の表現は、33歳以上の人々に関連付けられます。年齢問題だけでなく、家族のリスクである38歳前後の男性と結びついたアゴラ無知などのジェンダープロファイルにも違いがあります。

この研究は、DISTANCEが否定的と見なされる問題に戻って、24歳未満の若者の93%が労働市場による認識の欠如を恐れて遠隔学習に関連する卒業証書を持つことを望まないことを示すInstitutoデータポピュラー2016の調査を確認しています(人気、2016)。

カンポスの感覚の生態に関する否定的なアゴラのもう一つの関連点は、認知のおよび情動的構造に加えて、存在の物質的条件との非直接的な関連であるが、意識、意志および道徳である。これは、今日のTHEの大きな障壁が象徴的で情動的であると信じているコンセイソン(2011)のような著者を確認することができます。感情が人間の環境を評価する方法になることを考えると(DAMÁSIO、2004)、我々は、コミュニケーション関係(負債)の価値の交換から来る否定性が被験者自身の選択に影響を与え、明らかに社会的に受け入れられないものを減らす可能性があることを理解しています(CAMPOS、2017)。また、軸1と5(1-否定的表現の1-分析と最初の500の有効な回答の5-分析)に関する回答は、部分的には、エゴの理解の変化を考慮し、イデオロギー的に関連する前の前にグループ化することによって異なるプロファイルをトレースすることの有効性を実証した程度に、研究の質問1と2を満たす補助的であったことを理解しています。

5.3 文献レビューアゴラス

軸2

文献レビューのアゴラスに関連して、我々は、社会的表現を理解するために喚起を使用した研究と、THEが被験者の日常生活のためのツールと機能的な性格を持っていることを考慮したサントス(2006)と主に解釈的な類似点を理解しています。

私たちは、この軸に見られる表現の4つのグループにグループ化されました:

(1)

agoras規律と機会の個人的な属性を持つ.機会に、私たちは訓練の必要性を強調することができ、規律では、卒業証書を取得するための特徴;(2)表現の利便性、困難(疑わしい)、難しさ(疑わしい)、容易さ(疑わしい)、簡単、柔軟性、実用性と時間の表現の日常および機能的属性。(3)被験者の金銭的ニーズが理解されるコストや貯蓄などの

金融属性。(4)インターネットなどの構造属性。THEのインストゥルメンタルビューは、人生の結び点に適応できる教育ニーズを考慮して、このモダリティへの参入のハイライトであり得るが、しかし、THEのインストゥルメンタル使用は日常生活への適応の必要性を伴う複雑なシステムにあるであろうことを理解する。この事実は、技術の進歩の概念に関する現代社会の願い(LASTRES;)アルバグリ、1999) .この意味でのEADは、これらの進歩に直接リンクされます (FORMIGA;リット、2009) .

結果に関連して、いくつかの強調することができます,財政的側面に関連する表現のような,

コスト表現は、より多くの年齢グループに関連付けられていることを観察することが可能です

36

へ

38

年とその家族の主要な提供者.現在の経済は、家族に支えられている24歳から26歳前後の若者と結びついている。語彙との関連によってプロフィールの2つの異なるグループを見るという事実は、アゴラス擁護ネタの研究の分析の重要性を理解することができます。五感の生態(CAMPOS、2017)の観点から、これらの表現は、彼らの経験のために起こったかもしれない意志と道徳について何らかの関係を持つ被験者の存在の物質的条件に向けられる可能性があります。

学習と認知の改善に起因する可能性のある要因は見つからず、この事実は、THEが良い教育や訓練に関連付けられていないこと、または明らかに被験者の表現システムに構成されたものではないことを反映して興味深いものです。実際には、私たちがこれについて考えるのは、THEが良いトレーニングやその教訓的な属性を得るために求められるのではなく、特定の問題の解決策として求められるということです。

5.4 アフィニティプラン

アゴラアフィニティ計画の作成である軸3に関連して、目的は、複数の社会的表現を使用して、それらの間のより大きなイデオロギーの親和性を持つアゴラを構築することであった。一般的な概要については、アゴラスは、それらを作成するために5つの一致表現が必要なアフィニティ計画5で構成されていました。その結果、

私たちは、19人、27人によってエゴで構成された最大のグループで得た、すなわち、「規律、組織、動機付け、プロアクティブ性、自律性」と「規律、組織、動機付け、プロアクティブ性、好奇心」。

一般的な観察として、我々は、感覚の生態学について考えるならば、我々は意識、意志と道徳に広くリンクされ、動機付けと行動として枠組みにする体質を主に持っていたことを評価することができます(CAMPOS、2017)。すでに強調されている重み付けの1つは、19人のこの計画5アゴラが平均27歳の被験者にリンクされていることです。本研究で開発されたこの種の方法論は、文献レビューには見つからず、社会心理学や社会表現理論に対する理解において、この研究によって行われた買収と重要な点としても考えられる。このアゴラモデルは、研究の質問1の一部の理解に役立ち、被験者がイデオロギーによって位置付けたりグループ化したりできる自然な体系的なアゴラの重要性も考慮します。

5.5 アゴラの関係分析

軸4に関しては、変化とエゴの両方によって形成されたアゴラの分析は、その表現の観点から行われ、これによりアゴラ自体を構成する形成のより多くの観察を得ることができました。この実習では、分身とエゴの違いを観察し、10,000人以上の人々を集めたエゴのアゴラ「機会」など、アゴラスと表現の関係を作り出し、これに関連する表現を改変で求めると、値は約6,000人に減少することがわかりました。実際には、エゴで「機会」を呼び起こした人々のほとんどが、その変化と同じであり、明らかにこのグループは独自のイデオロギーに関与していると評価することも可能でした。

変化の「弱い」アゴラのような他の結果は、日常生活に関連する彼らのエゴ表現に「時間」として、また「規律」と「献身」としての個々の努力の考え方を持つことになります。「フォーカス」として、そして金融にリンクする「経済」として、そして学習に「訓練」として、スタッフへの方向性に関連するエゴ表現で得られた若者によって形成された変化のアゴラ「インターネット」。

この軸は、研究の問題に答える使命ではなく、アゴラのビジョンを深める使命です。本研究で提案された関係分析の形式は、社会表現に関する文献レビューにも見られず、研究に関連していると考えます。

5.6 その他の観測値

私たちが軸上で行うことができる他の観察は、グループが使用する語彙の問題です。この研究では、キーワードによる表現の喚起を用い、主に人間科学において、これらの言葉は状況や思考の数学的精度に対応していない可能性があることを理解しています(CAMPOS、2017)。

明らかに、否定的な表現の数が多いか、THEに関する世界的な理解の欠如があります。「価値がない」「EADは狂ったもの」「私でさえも」「柔らかさ」「母は許さない」などの表現が、調査対象の回答で使用されました。しかし、これらの喚起は、より分散した方法で出現したため、ステミングのリソースが使用されないことを考慮して、研究の否定的表現のグループ化の減少を引き起こした可能性がある。この楽器を使っていたとしても、それを適用する複雑さを強調する価値があります。これは、表現が文脈に応じていくつかの意味を持つ可能性があるため、つまり、使用される語彙は、さまざまな状況に対する思考や感情の特定の次元を持つ場合があります、あるいは語彙に何かを表現する存在さえする可能性があるからです。2004年のブラジルのケースは、この議論を示しています:当時の文庫平部教育大臣は、数ヶ月後、彼の予期せぬ辞任の前に、彼が「欲求不満」、すなわち救済との欲求不満の混合物を感じたと宣言しました(TERRA、2004)。

いずれにせよ、単語の意味のアプローチでは、特定の用語や表現が異なるグループで使用され、グループ化の作成に役立ったと仮定して、agorasの計算のための語彙の重要性を考慮します。この意味で、私たちは、語彙が自然環境や社会環境の中で特定の問題を理解または解決するために文化で 사용할ことができることを理解しています。寒い北極地域に生息し、アラスカからグリーンランドまで広がるエスキモー族としても知られるイヌイット族は、異なる種類の白い色を区別するために言葉で語ります。それはコミュニケーションと生き残りの大きなチャンスを与えるだろう、

氷と雪の間の差別化を行います、

だけでなく、様々な環境組成物(OLIVEIRA, 2015).
言語の意味的な絶え間ない存在を知っていても、私たちは語彙を通じて表現を解釈し、アゴラの創造を強制しようとする正当な試みを考えます。結局のところ、「ナビゲートは正確であり、コミュニケーションは不正確です」(CAMPOS、2017)。

6 結論

この論文は、THEの歴史と定義、そして大陸の大陸の大きさの国におけるその重要性を議論する第1章から始まりました。

私たちは、この種のモダリティがその歴史を通じて苦しんできた偏見と抵抗を歩き、低い学術的価値の安価なコースに関連しています。これはおそらく、社会とTHEの間の象徴的な障壁を結晶化し、我々は明らかに遠くでモダリティと対面の間の同等性を指すことを考えると根拠がない偏見と抵抗のプロセスを議論するポイントです。その中で、情報へのアクセスを迅速かつ低コストにする知識ベースの社会が必要です。

第2章では、モスコビッチで始まった社会的表現の理論を論じ、その定義と歴史的基盤を理解した。同じ章では、社会における人類の進化に対するコミュニケーションの文脈における社会的表現の重要性と、通貨そのものを象徴的な人工物として、様々な概念が社会を通して伝わる、目的と記号の2つの世界の創造。また、社会的表現(RRT)の理論の中で、エゴと変化の対話の中でマルコヴァ(2003年)のようなこの理論にとって重要な線や概念を見ていきます。その後、RRTの構造的アプローチは、その主要な著者の1つであるAbrie(1997)を持つ喚起を用いた技術の使用によって議論された。次にカンポスの感覚の生態(2017年)と、この過程におけるGrize(1993)の貢献との相互作用とコミュニケーション機能、そして他者の議論における愛情(alter)を紹介します。

第3章では、我々が受け取った応答に分ける分けとエゴを分けることによって、我々が基礎として取るアゴラの体質を支持する方法を議論する。第4章では、5つの研究軸に分けられたデータの結果と解釈の分析を見ました:これらの軸は、プリズムを通してだけでなく、理解を得ることができるように、いくつかの側面でデータを観察する目的を持っていました。つまり、軸

1

は負のアゴラを理解するためのものでした。軸2、文献レビューを参照するアゴラスに;そして3は、我々が複数の社会的表現とアゴラを統合しようとしたアフィニティ計画に。軸4では、アゴラスと分身から逸脱した表現との関係を確立しようとし、最後

に(軸5)、分身とエゴに基づく調査を中止し、THEの否定的な見解を示した被験者を採りました。

これは、いくつかの最初の一般的な結論を振り返ります。遠隔学習に対する否定的な見解は、特に他の人が考えていること(変化)に関して、恐怖、偏見、悪いなどによって証明されるように確認されたようです。(サントス、2006年、P.

15).これらの事前判断は、THEに関する否定的な表現を持ついくつかの人々がモダリティと接触したことがないので、研究にまだ存在しているようです。

この研究で見られる距離のモダリティにおける偏見の問題は、それ自体に関してだけでなく、これは学生のための延長を持つことになります。社会の見解では、ADの学生は個人的な欠陥を持っているか、副業しています。知覚は、それが表現怠惰によって観察することができるということです、

これは、個人的な特性を指す唯一のものでした。つまり、遠隔教育を選んだ人は怠惰で、勉強や仕事を好まないのです。

恐怖、弱い、悪いなどの表現は、調査対象の最初の500人の回答が読まれ、THEに関連する否定的な値を持つ人々の約45%を見つけることができたとき、アゴラスの外の世界的な理解を含め、変化の中で最も引用された。実際には、今日の世代でさえ、THEによって受け継がれている偏見や問題を確認します。

したがって、一方でモダリティに関連して社会の多くの偏見を持つことができるならば、訓練を必要とする人々の緊急性と必要性もあるので、私たちは、THEを作る人々の沈黙の苦しみを認識します。一般的に、これらの否定的な概念は、他の人が何を考えるかという彼のビジョンを変えるアゴラの深化のおかげで達成されただけであることを言及する価値があります。

THEにおける社会的表現における否定性は、ブラジルの使用に関する歴史のために起こった可能性がある。どうやら、悪いの質が勝ち、若い年齢層を含む年齢層で否定的な形成を見つけることが可能でした。しかし、遠隔学習に関連する企業が学問的資質を本当に気にすることなく利益にのみ取り組むことは否定できないと付け加えました(BIELSCHOWSKY、2018)、教育プロセスの安価な一種としてEADのFordist接続に結び付け、教育的な品質(MAGGIO、2001)に懸念を抱くことなく、しかし、貧しい国の教育費の削減は、このあまり好ましくない層の包含を促進できることを否定すべきではない、これは「コスト」や「経済」などの表現を伴う喚起の指

標を考えると、この研究でも非常に明確である。高等教育の民主化に関しては、この側面は肯定的なポイントです。しかし、私たちの見解では、入学を取得する品質を下げることは、大学の首都が知識であり、この知的買収なしに被験者が形成されると、卒業証書を正当化するために学術的な演劇性を持つ詐欺に関与することを考えると、茶番になる可能性があります。教育を「買う」人は、テーマを「買った」というテーマをマスターしていないため、何を得ているかを評価することはできません。つまり、低品質の市販コースは、ユーザーが治癒特性を持つ救済策を取っていると思う知的プラセボの一種である可能性があります、よく包まれた「カプセル」従来の救済策の公式ラベルが詰まっていた。この点では、この分野の専門家の規制上の重要性を強調し、国全体に有害な問題を回避する価値があります(BIELSCHOWSKY、2018)。

規制の欠如を考慮すると、より安価で悪いコースは、より大きな購買力を持つ層によって良いものが得られるのに対し、より少ない好みの層によって取得することができるので、これは社会的深い要因としても考えています。

結論として、EDは多くの人にとって、特定の理由で大学に直接通う機会ができない人や、伝統的な型が出席する合併症がある人生の段階にある人々である、訓練を受けるためにしがみつくことができる生命線になることを観察することができました。このテーゼで何度か述べるように、THEは「第二のチャンス」モデルとして理解できると考えています(SCHLICKMANNら、2009)。

外国の外観から見ると、このモダリティを扱う悲観的な方法のように見えるかもしれませんが、大きなグループにとっては、人生の機会であり、時には第二のチャンスではなく、おそらく最初の唯一の機会であると考えています。この用語は、このアイデアを強化するために私たちを導くエゴの呼び起こしの数で、研究で生じるタイプの「機会」の喚起に同調している「大きな誇りを持つ第二のチャンス」のようなものにリダイレクトする必要があります。THEの強化は、機会の教えとして、イストリアメンタルキャラクター自体を通して理解することができ、それは柔軟であると理解され、被験者の仕事、研究、私生活を促進する。

この論を推測できるもう一つのポイントは、アゴラスの助けを通じてより良い理解を得て、表現の利便性がより高度な年齢層に関連していた、すなわち年齢が高齢であるなど、異なるタイプの人々やグループを持つことができる懸念やニーズ

の種類です。複雑なアゴラでは、私たちは約18歳の若い多数派と関係を持っていました。この結果の動機は何ですか?若者は、技術と非常につながりがあるが、従来の対面モデルから離れた研究モダリティに従事する関心とイニシアチブの欠如によって複雑なDISTANCEを考慮するだろうか?このように、この設定を理解するために、検索で他の質問が発生する可能性があります。

この研究で探求された否定性に関しては、感覚の生態学によって発表されたように、被験者の人生の瞬間などのニュアンスを持つプロフィールのバリエーションを提示するとも言えます(CAMPOS、2017)。彼の本の中でナビゲートは正確で不正確なコミュニケーションであり、著者はナビゲーションで彼の理論をほのめかしています。同じ比喻を使用して、この理論の場合、社会的表現は、記憶の抽象的なアンカーを通じて、モスコビッチ(2000)によってもたらされた分身と物体(EAD)の間の不溶性で世界を救出し、理解することができる港である、この理論の場合、社会的表現は、ナビゲーションの最後のポイントであると言えます。我々はまた、アゴラスを通じて、社会的表現に関するコンセンサスや絶対的な真実の単一点が存在することはあり得ないことを理解し、被験者の宇宙のバージョンは外界との相互作用に由来する(JOVCHELOVITCH、2014;モスコビッチ、2000)。

カンポス(2017)にとって、「コミュニケーションが不正確である」場合、思考の行為を想像してみてください。いくつかのバリエーションが確立できるのか!したがって、同じ表現群における解釈のいくつかの可能性を持つこの研究で提示された多数の結果と、インターネットによる交流の増加に伴うアイデアの流通の増加傾向は驚くべきことではありません。現代の結腸では、ソーシャルネットワークにおけるますます複雑な相互作用が社会心理学の大きな課題の1つとなっています(JOVCHELOVITCH、2014)。

私たちは、物理的な領域が優先事項ではなく、アイデアのアゴラスのようなフォーマットは、サイバー空間のいくつかの現象の理解に役立つと考えています。

アゴラスは、被験者の論理を形成するアクシオ腫の理解を助けることができます。イデオロギーによってプロファイルを識別する機能は、AEを深く理解し、各グループのニーズを反映するのに役立つツールです。我々の意見では、アゴラの価値は、現在の理論をもたらす分化された理論的アプローチによって、また社会的表現の分野における有意な方法論的転換によって、表現と社会心理学の新しい研究を

提供することにある。それ以来、私たちはイデオロギーの形成、考え方、偏見などの社会問題を理解することができます。この具体的な点は、差別に言及し、この研究では、教育分野の反省の中で強調された。しかし、この研究で開発されたアゴラ
の概念は、コミュニケーション、マーケティング、人材、政治、経済などの議論にも応用される可能性があり、社会の心理的主題を理解しようとする試みに向かうことを理解しています。

